



Multimedia Owner's Manual

For your safety and comfort, read carefully and keep in the vehicle.

HIGHLANDER



本車両は米国にて生産され、主にニュージーランド国内でのご使用を前提として設計されております。
そのため、日本国内においては一部機能に制限が生じる場合がございます。誠に恐れ入りますが、あらかじめご理解・ご了承のうえ、ご使用くださいますようお願い申し上げます。

| | | |
|-----------------|--|---|
| 基本操作 | マルチメディアシステムの基本操作 | 1 |
| 各種設定および登録 | さまざまな機能に関する設定や登録など | 2 |
| スマートフォンや通信機器の接続 | Bluetooth® や Wi-Fi® を使用するには | 3 |
| ナビゲーション | 地図画面を使用するには 地図を検索するには ルート案内させるには | 4 |
| オーディオシステム | ラジオを聴く 音楽を楽しむには | 5 |
| ハンズフリー電話 | 携帯電話をハンズフリーで使用するには | 6 |
| コネクティッドサービス | コネクティッドサービスの操作 | 7 |
| 駐車支援システム | 車両周囲の状況を確認するには | 8 |
| 付録 | 参考情報 認証・商標についての情報 | 9 |
| さくいん | アルファベット順で検索 | |

Introduction

| | |
|----------------------|----|
| 知っておいていただきたいこと | 6 |
| 安全にお使いいただくため | 7 |
| 本書の見方 | 8 |
| イラスト目次 | 10 |

1 基本操作

1-1. マルチメディアシステムの基本操作

| | |
|---------------------|----|
| ディスプレイと操作スイッチ | 12 |
| マルチメディア画面の概要 | 14 |
| メインメニュー | 15 |
| ステータスアイコンの見方 | 17 |
| タッチスクリーンの操作 | 19 |
| 画面の基本操作 | 22 |
| 文字や数字の入力 | 24 |

1-2. ナビゲーションの基本操作

| | |
|------------------------|----|
| 地図画面表示 | 25 |
| 車の現在地の表示 | 27 |
| 地図のスケール(縮尺)の切りかえ | 28 |
| 地図の向き切りかえ | 29 |
| 地図の動かし方 | 30 |

1-3. オーディオの基本操作

| | |
|------------------------------|----|
| オーディオの ON/OFF と音量を調整する | 31 |
| オーディオのソースを変更する | 33 |
| USB 機器を接続する | 35 |

1-4. 音声操作システム

| | |
|---------------------|----|
| 音声で操作する | 36 |
| 音声操作システム | 38 |
| 音声で操作する | 40 |
| キーボードで情報を検索する | 44 |

2 各種設定および登録

2-1. マルチメディアシステムの初期設定

| | |
|---------------------|----|
| ユーザープロファイルの登録 | 46 |
|---------------------|----|

2-2. 各種設定

| | |
|-----------------|----|
| 各種設定を変更する | 51 |
|-----------------|----|

2-3. ドライバー設定

| | |
|--------------------------|----|
| ユーザープロファイルの変更および登録 | 53 |
| ドライバーの特定方法を設定する | 56 |

2-4. 共通設定

| | |
|-----------------------------|----|
| マルチメディアシステムの共通設定を変更する | 58 |
|-----------------------------|----|

2-5. 画面設定

| | |
|--------------------|----|
| 画面表示の設定を変更する | 60 |
|--------------------|----|

2-6. 音声操作設定

| | |
|--------------------|----|
| 音声操作の設定を変更する | 62 |
|--------------------|----|

2-7. 車両設定

| | |
|-------------------------|----|
| 販売店情報の設定 | 64 |
| セキュリティ設定を変更する | 65 |
| ソフトウェア情報の確認や更新をする | 67 |

2-8. ナビゲーション設定

| | |
|------------------|----|
| ナビゲーションの設定 | 70 |
| 地図表示設定をする | 71 |
| ルート設定 | 73 |
| 案内設定 | 76 |
| その他の設定 | 78 |

2-9. サウンド&メディア設定

| | |
|-------------------------|----|
| サウンドやメディアの設定を変更する | 84 |
| 各ソースの音を調整する | 87 |
| 画質を調整する | 88 |
| 画面モードを切りかえる | 89 |

2-10. Wi-Fi® 設定

| | |
|--------------------|----|
| Wi-Fi® 設定の変更 | 90 |
|--------------------|----|

2-11. Bluetooth® 設定

Bluetooth® 機器を設定する92

3 スマートフォンや通信機器の接続

3-1. Bluetooth®機能の使い方

Bluetooth®機器使用上の留意事項98

Bluetooth®仕様、対応プロファイル100

Bluetooth®機器をマルチメディアシステムから登録する ...102

Bluetooth®機器の登録を削除する105

Bluetooth®機器との接続106

Bluetooth®機器をメイン機器に設定する109

Bluetooth®機器をサブ機器に設定する110

3-2. Wi-Fi®ネットワークへの接続

Wi-Fi®機器使用時の留意事項 ...111

Wi-Fi®に接続する113

3-3. Apple CarPlay/Android Autoの使い方

Apple CarPlay および Android Auto 使用上の留意事項116

未登録のスマートフォンで Apple CarPlay を使用する119

登録済みスマートフォンで Apple CarPlay を使用する122

未登録のスマートフォンで Android Auto を使用する125

登録済みスマートフォンで Android Auto を使用する128

Apple CarPlay/Android Auto が故障したとお考えになる前に131

4 ナビゲーション

4-1. ナビゲーション

Wi-Fi®を使用した地図情報提供サービスの利用について ...136

コネクティッドナビ137

4-2. 地図の情報について

地点情報の表示138

地図オプション画面139

POI アイコンの表示140

地図表示設定141

高速略図（ハイウェイモード）について144

4-3. 目的地の検索

目的地検索について145

目的地検索画面の見方146

検索結果リスト画面の見方149

経由地を追加する150

スマートフォンから目的地を設定する151

4-4. 目的地の設定

全ルート図表示画面の見方153

目的地案内のデモを見る154

ルートオプションを変更する ..155

他の経路に変更する156

通過する地点を設定する157

経由地を編集する158

4-5. ルート案内

ルート案内画面の見方159

さまざまなレーン表示画面160

ルートを再探索する162

代表的な音声案内メッセージ ..163

4-6. 地図データの更新

地図データベースのバージョンと対応エリア164

5 オーディオシステム

- 5-1. ラジオの操作
 - ラジオを聴く166
 - DAB を聴く168
- 5-2. インターネットラジオ
 - インターネットラジオの使用 ..170
- 5-3. USB メモリーの操作
 - USB メモリーの再生についての留意事項171
 - USB メモリーの音楽ファイルを再生する173
 - USB メモリーの動画ファイルを再生する175
- 5-4. iPod/iPhone の操作
 - iPod/iPhone の再生についての留意事項177
 - iPod/iPhone を再生する178
- 5-5. Apple CarPlay の操作
 - Apple CarPlay の再生についての留意事項180
 - Apple CarPlay を再生する181
- 5-6. Android Auto の操作
 - Android Auto の再生についての留意事項183
 - Android Auto を再生する184
- 5-7. Bluetooth® オーディオの操作
 - Bluetooth® オーディオの再生についての留意事項186
 - Bluetooth® オーディオを再生 ..187
- 5-8. Miracast® の操作
 - Miracast®再生時の留意事項190
 - Miracast®対応機器の接続191
 - Miracast®の再生192

6 ハンズフリー電話

- 6-1. ハンズフリー電話使用上の留意事項
 - ハンズフリー電話についての留意事項196
 - ハンズフリー電話が故障したとお考えになる前に200
- 6-2. ステアリングスイッチでのハンズフリー電話の操作
 - ステアリングスイッチで操作する203
- 6-3. 電話のかけ方
 - 履歴から電話をかける205
 - お気に入りリストから電話をかける206
 - 連絡先から電話をかける207
 - キーボードから電話をかける ..208
 - ウェイト/ポーズ信号を使って電話をかける209
- 6-4. 電話の受け方
 - 電話に出る210
 - 着信を拒否する212
- 6-5. 通話中の操作
 - 通話画面で操作する213
 - 割込着信の電話に出る215
 - 通話中に別の通話相手へ電話をかける216
 - グループ通話をする217
 - 電話を切る218
- 6-6. ハンズフリー電話の変更
 - ハンズフリー電話を切りかえる219
- 6-7. 連絡先データの編集
 - 連絡先データの転送220
 - 連絡先に新規データを追加する224
 - お気に入りリストの登録226

6-8. メッセージ機能の使用方法

| | |
|-----------------------|-----|
| メッセージ機能使用時の留意事項 | 227 |
| メッセージ機能から電話をかける | 231 |

7 コネクティッドサービス**7-1. Web ブラウザ（インターネット）**

| | |
|-------------------------------|-----|
| Web ブラウザ（インターネット）機能について | 234 |
| Web ブラウザ画面の表示 | 235 |
| Web ブラウザ画面の操作 | 236 |

8 駐車支援システム**8-1. リヤビューモニター**

| | |
|-------------------------|-----|
| リヤビューモニターの機能とはたらき | 242 |
| リヤビューモニターの注意点 .. | 245 |
| 故障とお考えになる前に | 251 |

8-2. バックガイドモニター

| | |
|--------------------------|-----|
| バックガイドモニターの機能とはたらき | 252 |
| ガイド画面を表示する | 253 |
| ガイド線表示モードの切りかえ | 255 |
| バックガイドモニターの注意点 | 260 |

8-3. パノラミックビューモニター

| | |
|-------------------------------|-----|
| パノラミックビューモニターの機能とはたらき | 269 |
| シフトレバーが「P」のときの表示モード | 273 |
| シフトレバーが「D」、「N」のときの表示モード | 275 |
| シフトレバーが「R」のときの表示モード | 282 |
| ドアミラー格納時の画面 | 289 |
| 画面を拡大表示する | 290 |
| 床下透過映像を表示する | 292 |

| | |
|-----------------------------|-----|
| パノラミックビューモニターの設定を変更する | 294 |
| パノラミックビューモニターの注意点 | 295 |
| 故障とお考えになる前に | 309 |

9 付録**9-1. 付録**


| | |
|-----------------------|-----|
| メディア／データについての情報 | 312 |
| 認証・商標についての情報 | 324 |
| さくいん | 325 |

知っておいていただきたいこと

マルチメディア取扱説明書

- 本書は、マルチメディアシステムの取り扱いを説明しています。車両本体の「Owner's Manual」と併せてお読みください。
- 本書の内容は、仕様変更やソフトウェアの更新などによりお車と一致しない場合があります。あらかじめご了承ください。
- このマニュアルには、システムソフトウェア Ver.2036 以前に関する情報が含まれています。最新情報については以下の URL をご参照ください。本システムを使用する前に、最新ソフトウェアバージョンに関する情報を必ずご確認ください。現在のソフトウェアバージョンの詳細は「ソフトウェア情報の確認や更新をする」(→ P.67) でご確認ください。

国や地域によっては、ソフトウェア更新サービスを利用できない場合があります。

| URL | QR コード |
|---|---|
| https://toyotamanuals.com.au/owners-manual-and-navigation-manual-updates/replace.html?param=om48p93e.kluger.2510.hev.mm |  |

- 本書の画面と実際の画面は、装備、契約の有無、地図データの作成時期などによって異なります。
- 本書に記載されている会社名や商品などは、各社の商標および登録商標です。

データの補償に関する免責事項について

マルチメディアシステムは各種データを内蔵メモリーに保存します。マルチメディアシステムの故障、修理、誤作動、不具合などにより、メモリーに保存されたデータなどが変化、消失することがあります。

お客様がメモリーに保存されたデータについて、正常に保存できなかった場合や損失した場合のデータの補償、および直接または間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

バッテリーの取りはずしについて

パワースイッチを OFF にすると、全データがシステムに保存されます。12V バッテリー端子をデータ保存前に取り外すと、正しく保存されない場合があります。

オーストラリアのオーナー向け

トヨタグループのプライバシーおよび与信情報ポリシーについては <http://www.toyota.com.au/privacy>

安全にお使いいただくため

安全のため、次の内容にしたがってお使いください。

ナビゲーションは、目的地に到着するまでのサポートをするものです。運転者には、安全運転をして乗員の安全を守る全責任があります。安全運転をさまざまなような使い方はしないでください。運転中は常に交通規則にしたがって安全運転を心がけてください。道路標識が変更されている場合、経路案内に最新情報が反映されていないことがあります。

運転中は、音声案内に従い、安全な状況でのみ少しのあいだけ画面を見るようにしてください。ただし、音声案内にすべてを頼るのではなく、あくまでも参考としてください。正常に自転車位置を特定できない場合、音声案内が誤っていたり、遅れたり、音声案内されないことがあります。

システム内のデータは不完全な場合があります。運転規制（左折禁止や通行止め）などの道路状況はひんぱんに変更されます。そのため、指示に従う前に、指示の内容が安全かつ合法であるか確認してください。

本システムは、地域の安全性、道路状況、緊急サービスの利用可能性などについて警告することはできません。地域の安全性に不安がある場合は、その場所へ運転して行かないでください。いかなる場合でも、本システムは運転者自身の判断に代わるものではありません。




▲ 警告

- 安全のため、運転中は運転者がシステムを操作しないでください。道路や交通への注意が不十分な場合、事故を引き起こす可能性があります。
- 運転中は、必ず交通規制を遵守し道路状況に注意してください。道路の交通標識が変更された場合、一方通行指示などの情報がルート案内に反映されない場合があります。

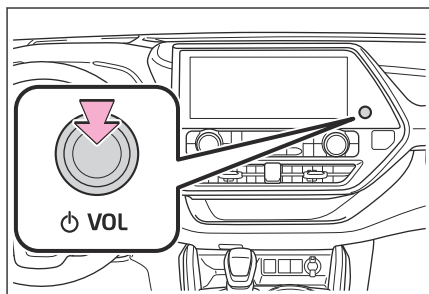
本書の見方


本書で使用している記号について説明します。

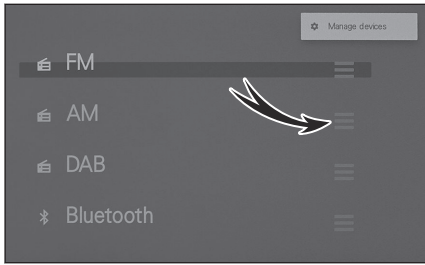
本文の記号について


| 記号 | 意味 |
|---|---|
|  | 警告：お守りいただかないと、お客様自身と周囲の人々が死亡、または重大な傷害につながるおそれがあることを説明しています。 |
|  | 注意：お守りいただかないと、車や装備品の故障や破損につながるおそれがあることを説明しています。 |
| 1 2 3... | 操作や作業の手順を示しています。 |
|  | 知識：機能や操作方法の説明以外で知っておいていただきたい、知っておくと便利なことを説明しています。 |

イラスト上の記号について



| 記号 | 意味 |
|---|---------------------|
|  | 押す、まわすなどの操作を示しています。 |

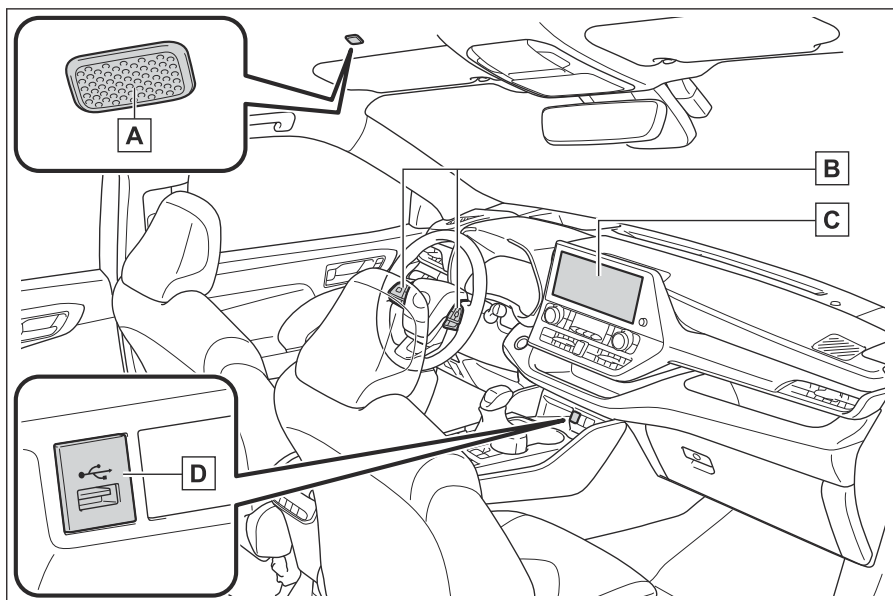


| 記号 | 意味 |
|---|-------------------|
|  | 説明している部品や場所を示します。 |

イラスト目次

インストルメントパネル

以下の図は左ハンドル車を例にしています。

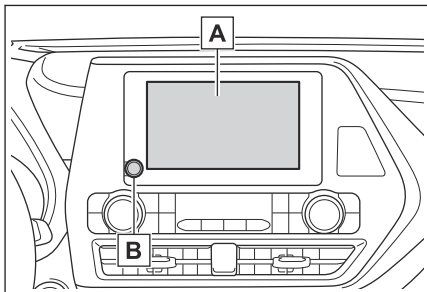


| | | |
|---|------------------|-------|
| A | マイク | P.37 |
| B | ステアリングスイッチ | |
| | オーディオを操作する | P.33 |
| | 音声で操作する | P.38 |
| | 電話をかける | P.203 |
| C | ディスプレイ | P.12 |
| D | USB 端子 | P.35 |

- 1-1. マルチメディアシステムの基本操作**
- ディスプレイと操作スイッチ 12
 - マルチメディア画面の概要 14
 - メインメニュー 15
 - ステータスアイコンの見方 17
 - タッチスクリーンの操作 19
 - 画面の基本操作 22
 - 文字や数字の入力 24
- 1-2. ナビゲーションの基本操作**
- 地図画面表示 25
 - 車の現在地の表示 27
 - 地図のスケール（縮尺）の切りかえ 28
 - 地図の向きの切りかえ 29
 - 地図の動かし方 30
- 1-3. オーディオの基本操作**
- オーディオの ON/OFF と音量を調整する 31
 - オーディオのソースを変更する 33
 - USB 機器を接続する 35
- 1-4. 音声操作システム**
- 音声で操作する 36
 - 音声操作システム 38
 - 音声で操作する 40
 - キーボードで情報を検索する 44

ディスプレイと操作スイッチ

▶ 8 インチディスプレイ装着車



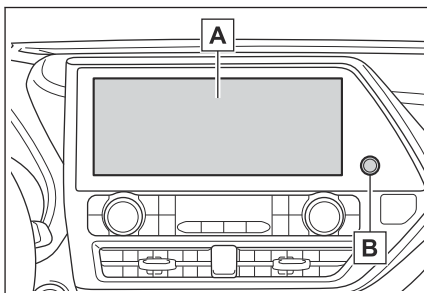
A ディスプレイ

タッチスクリーンを指で直接ふれて操作します。

B [VOL ] ノブ

オーディオの ON/OFF や音量を調整できます。

▶ 12.3 インチディスプレイ装着車



A ディスプレイ

タッチスクリーンを指で直接ふれて操作します。

B [ VOL] ノブ

オーディオの ON/OFF や音量を調整できます。

知識

- 図は左ハンドル車の例です。右ハンドル車ではボタン位置や形状が異なります。
- 液晶画面は、周囲環境や見る方向により画面が白っぽく見えたり、黒っぽく見えたりします。
- 日光や外部光が画面に当たると見えにくくなることがあります。
- 偏光サングラスを着用すると画面が暗く見えたり見えにくくなることがあります。

▲ 警告


安全のため、走行中はできるだけディスプレイの操作を避け、停止してから操作してください。走行中の操作は、誤ってハンドルを切るなど危険であり、予期せぬ事故につながる可能性があります。走行中は必要な場合のみ、短時間ディスプレイを見るようにしてください。

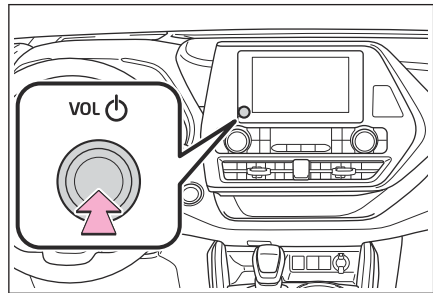
▲ 注意

ハイブリッドシステム OFF 状態で長時間ディスプレイを使用しないでください。12V バッテリーが消耗する場合があります。

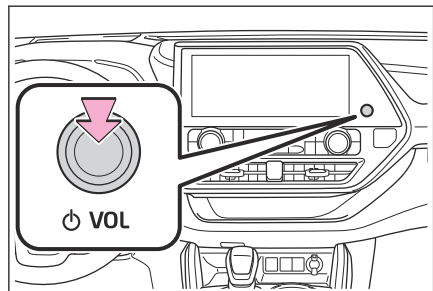
システムを再起動する

システムの応答が非常に遅い場合、システムを再起動できます。

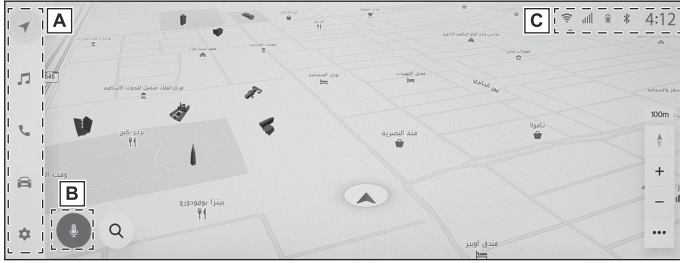
- [VOL VOL] ノブを 3 秒以上押し続けてください。



- ▶ 12.3 インチディスプレイ装着車



マルチメディア画面の概要



A メインメニュー

アイコンを選択して画面に表示する機能を切りかえることができます。

B マイクボタン

音声操作画面が表示され、音声でナビゲーションやオーディオなどさまざまな機能を操作できます。

C ステータスアイコンの見方

時計や各種通信状況などの情報アイコンが表示されます。

関連リンク

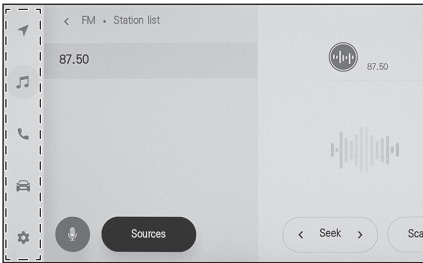
[メインメニュー \(P.15\)](#)

[ステータスアイコンの見方 \(P.17\)](#)

[音声操作システム \(P.36\)](#)


メインメニュー

アイコンを選択して画面に表示する機能を切りかえることができます。



 : Apple CarPlay


Apple CarPlay 画面を表示します。(→ P.119)

 : Android Auto™


Android Auto 画面を表示します。(→ P.125)

 : ナビゲーション


地図画面を表示します。ナビゲーションシステムを操作して、目的地の検索や、その他のナビゲーションシステム関連のタスクを実行できます。(→ P.25,136)

 : オーディオ


オーディオ操作画面を表示します。お好みのオーディオソースを選択して再生できます。(→ P.33,165)

 : 電話

電話画面を表示します。Bluetooth®接続した携帯電話を使用してハンズフリー通話を行うことができます。Bluetooth®(→ P.195)


 : 車両連携 *1

車両情報画面を表示します。

 : 接続

アプリ画面を表示します。

一部地域では本機能は利用できません。詳細（サービス提供国一覧、操作、設定など）についてはトヨタ販売店にお問い合わせください。

 : 設定

設定画面を表示します。マルチメディアシステムや車両設定を変更できます。(→ P.51)

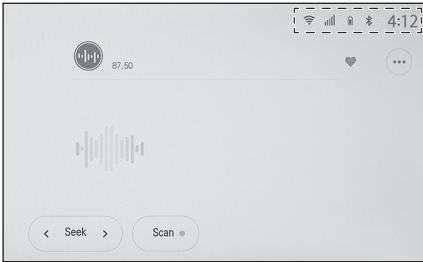
*1: 詳細は、別冊「Owner's Manual」をご覧ください。

 **知識**

Apple CarPlay／Android Auto 対応機器が接続され、該当機能が有効になるとアイコンが表示されます。

ステータスアイコンの見方

時計や各種通信状況などの情報アイコンが画面上部に表示されます。



4:12

現在の時刻が表示されます。時計にタッチすると、日付や時刻の設定画面を表示できます。



Bluetooth®接続の携帯電話の接続状態を表示します。アイコンをタッチするとBluetooth®設定画面が表示されます。



接続されている携帯電話の受信レベルが表示されます。



接続されている携帯電話の電池残量が表示されます。



通信モジュール（DCM）の受信状態が表示されます。*1



Wi-Fi®の受信レベルが表示されます。



クリアランスソナーが動作中に表示されます。*1



ハンズフリー通話中に電話画面以外が表示されている場合に表示されます。*2



インターネットラジオ再生中に表示されます。*2

*1: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

*2: この機能は一部の地域では利用できません。



ワイヤレス充電器が装備されている場合に表示されます。*1*2

 知識

- 携帯電話の表示される残量が端末の表示と一致しない場合があります。機種によっては残量表示ができない場合もあります。
- Wi-Fi[®]の受信状態が悪いと使用できない場合があります。
- 次のような場所や州で携帯電話を使用する場合、Bluetooth[®]経由で接続できない場合があります。
 - 携帯電話がシートのうしろや下にあるとき、グローブボックスやコンソールボックスの中にあるとき
 - 携帯電話が金属製のものに接していたり、覆われていたりするとき
- 携帯電話を省電力モードに設定していると、自動的に Bluetooth[®]接続が切断されてしまうことがあります。この場合は、携帯電話の省電力モードを解除してください。

— 関連リンク —

[マルチメディアシステムの共通設定を変更する \(P.58\)](#)

[Bluetooth[®] 機器を設定する \(P.92\)](#)

*1: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

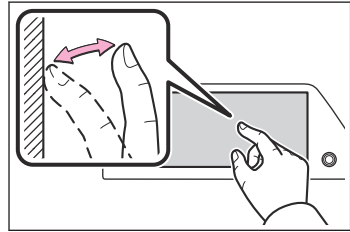
*2: 左ハンドル車

タッチスクリーンの操作

画面を指で直接ふれて操作します。

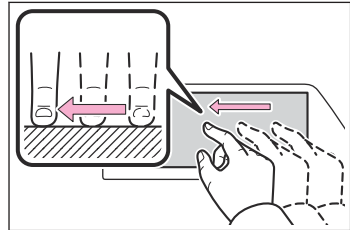
■ タッチ

画面を指で軽くタッチします。画面内の項目を選択できます。



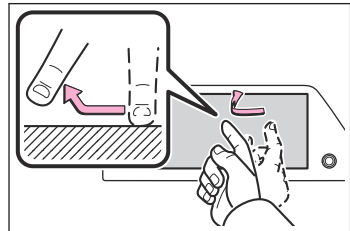
■ ドラッグ

画面にふれたまま指を動かします。リスト画面や地図画面を指を動かした分だけスクロールできます。



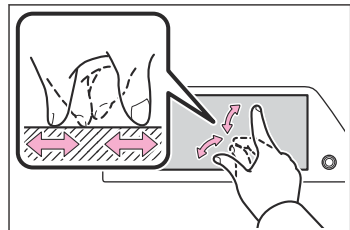
■ フリック

画面にふれた指先を素早く払います。リスト画面や地図画面を大きくスクロールできます。



■ ピンチイン／ピンチアウト

画面にふれた2本の指を広げたり近づけたりします。地図の拡大や縮小を行うことができます。



□ 知識

- 一部の機能において、長押し（画面にタッチし続ける）やダブルタップ（画面に素早く2回タッチする）が必要な操作があります。
- 画面をタッチするときの感度レベルを変更できます。
- 画面のボタンにタッチしたときの応答音出力の有無を変更できます。
- フリック操作は、標高の高い場所ではスムーズに操作できないことがあります。
- 走行中は操作が制限されます。

— 関連リンク —

[マルチメディアシステムの共通設定を変更する \(P.58\)](#)

タッチスクリーン操作上の留意事項

□ 知識

- タッチスクリーン操作の反応がないときは、一度画面から手を離して再度操作をしてください。
- 次の場合、タッチスクリーン操作が反応しなかったり、誤作動することがあります。
 - 手袋などを装着しているとき
 - 爪で操作したとき
 - 他の指や手のひらが画面にふれているとき
 - 画面に汚れや水分が付着しているとき
 - 画面にフィルムなどを貼ったり、塗装などをしたとき
 - 近くにテレビ塔や発電所、ガソリンスタンド、放送局、大型ディスプレイ、空港など、強い電波やノイズを発生する場所があるとき
 - 無線機や携帯電話などの無線通信機器を携帯しているとき、または車内で充電しているとき
- 画面に次のような金属製のものが接していたり、覆われていたりしている場合、タッチスクリーン操作が反応しなかったり、誤作動することがあります。
 - アルミ箔などの金属の貼られたカード
 - アルミ箔を使用したタバコの箱
 - 財布やかばんの金属部品
 - 小銭
 - CD/DVD などのメディア、USB ケーブルなど
- 画面に手がふれた状態でシステムを起動すると、タッチスクリーン操作が反応しないことがあります。画面から手を離し再度操作をしてください。それでも反応しない場合は、パワースイッチを OFF にし、再度システムを起動してください。

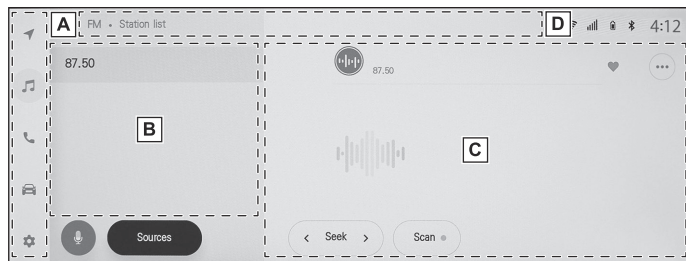
- Apple CarPlay のマップアプリはピンチイン／ピンチアウト機能に対応していません。

注意

- 画面保護のため、指を軽く画面にふれてタッチスクリーンを操作してください。
- 指以外のものでもタッチスクリーンを操作しないでください。
- 画面の汚れは、メガネ用クリーニングクロスなどのやわらかく乾いた布で軽くふき取ってください。手で強く押したり、かたい布などでこすったりすると表面に傷がつくことがあります。
- ベンジンやアルカリ性溶液などを使用して画面を清掃しないでください。画面が損傷するおそれがあります。
- 条件によって画面表面が熱くなることがあります。長時間ふれ続けると低温やけどを起こす可能性があります。

画面の基本操作

設定画面や楽曲検索など、複数の候補がある場合にリスト画面が表示されます。リストをスクロールして希望の項目を選択します。



A メインメニュー

アイコンを選択して画面に表示する機能を切りかえることができます。

B サブメニュー

項目がリストで表示されます。ドラッグまたはフリック操作でリストをスクロールできます。

C 詳細エリア

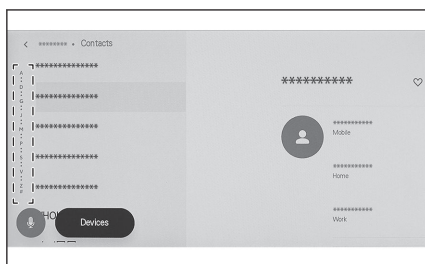
サブメニューで選択した項目の詳細情報が表示されます。

D 戻るボタン／画面タイトル

画面タイトルが階層表示されます。[<]にタッチすると前の画面に戻ることができます。

■ リストの検索

インデックスの文字にタッチすると、リストの中から希望の項目を表示できます。

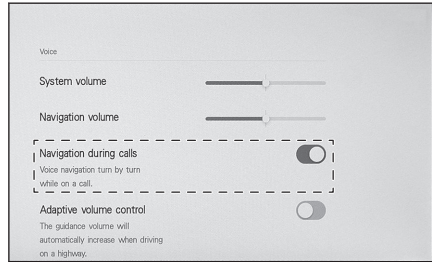


■ 設定の ON/OFF 切りかえ


項目にタッチすると、設定の ON/OFF が切りかわります。

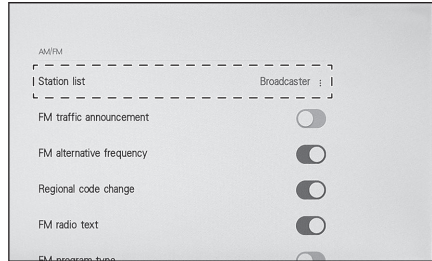
 : ON

 : OFF



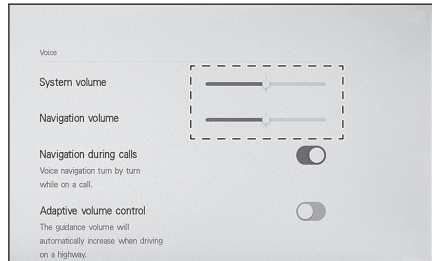
■ 複数オプションの設定項目

[] 項目に触れると、複数の選択肢から項目を選択できます。



■ レベル調整

スライダーをドラッグして項目のレベルを調整できます。



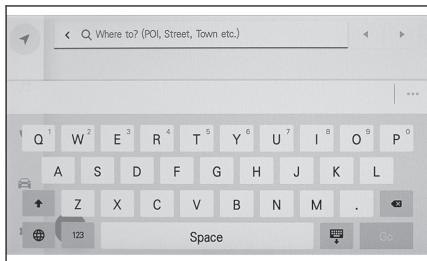
— 関連リンク —



[メインメニュー \(P.15\)](#)


文字や数字の入力


キーボードを使用して、文字や数字を入力できます。文字を入力すると、あとに続く文字を予測して変換候補が表示されます。


▶ 画面例




 /  : キーボードを終了して前の画面にもどります。


 : 現在の入力内容に基づき候補テキストを表示します。


 : 1つ前の文字を消去します。


 : キーボードの種類を切りかえます。*1

 : 大文字と小文字を切りかえます。



[Go] : 入力した文字を確定して検索を実行します。

 : キーボードを閉じます。

 : 数字や記号の入力モードに切りかえます。


 : 英字の入力モードに切りかえます。

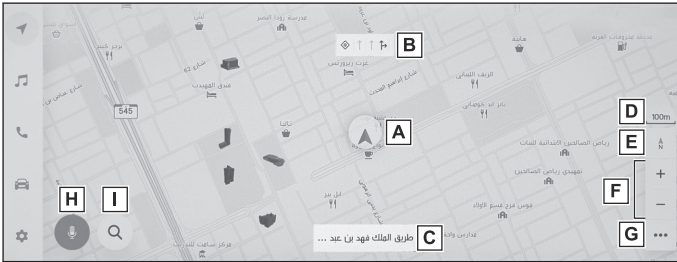
知識

- 機能により、表示されるキーボードの種類が異なります。
- [] を長押しすると、キーボードの種類を直接選ぶことができます。*1
- [] をダブルタップすると、入力する文字を大文字に固定することができます。

*1: この機能は一部の地域では利用できません。

地図画面表示

地図画面上に表示される情報の説明および役割を説明します。地図画面を表示するには、メインメニューの [] にタッチします。



- A** 現在位置マーク
現在位置と車が向いている方角を表示します。
- B** レーン（車線）表示
交差点／ジャンクションでの直進および右左折レーンを表示します。（地図データに情報がある交差点／ジャンクションのみ）
目的地案内中は走行を推奨する車線がハイライト表示されます。
- C** 名称表示
走行している道路の名称を表示します。（地図データに情報のある地点のみ）
- D** スケール表示
表示させている地図の縮尺を表示します。
- E** 方位マーク
地図の方角を表示します。タッチすると地図の向きが切りかわります。
地図の向き変更については「地図の向きを変更」を参照してください。
- F** 拡大／縮小ボタン
地図の表示を拡大／縮小します。
- G** 表示設定ボタン
地図オプション画面を表示し、施設記号や交通情報など地図上に表示する情報を設定することができます。
- H** マイクボタン
音声操作画面を表示します。
- I** 目的地ボタン
目的地の検索画面を表示します。

関連リンク

[車の現在地の表示 \(P.27\)](#)


[地図の向きの切りかえ \(P.29\)](#)

[地図表示設定 \(P.141\)](#)



目的地検索について (P.145)

音声で操作する (P.36)





車の現在地の表示

車両の現在位置は現在位置マーク [] で表示されます。



地図画面をスクロールした後、メインメニューから [] または [] をタッチすると、地図が車両の現在位置に戻ります。

知識

- 車両が新しい場合、または 12V バッテリー端子が接続解除後に再接続された場合、現在位置マーク [] によって表示される内容は異なる場合があります。ただし、しばらく走行すると、地図マッチングと受信した GPS 情報により表示される現在地 [] が自動的に修正されます。(状況によっては数分かかる場合があります。) GPS 情報が受信されず、現在地 [] 自動修正されない場合は、安全な場所に停車し、手動で現在地を修正してください。
- 地図の色によって現在位置マーク [] の形状が異なります。

— 関連リンク —

[地図表示のカスタマイズ設定 \(P.72\)](#)

[位置／方向の補正 \(P.83\)](#)

地図のスケール（縮尺）の切りかえ

地図画面は拡大／縮小できます。

地図画面で [+] または [-] にタッチします。



- 画面をタップしたり、ピンチイン・ピンチアウトの操作でも変更できます。
ダブルタップ拡大：画面を素早く2回タッチ
縮小タップ：2本指で画面に触れる
- [+]/[-] を長押しすると、地図の縮尺を連続的に調整できます。

市街図の表示

地図を拡大したときに、市街図を表示させることができます。

スケール表示が50mのとき [+] にタッチします。


市街図表示を解除するときは、[-] にタッチ、または画面のピンチイン操作をします。


知識

- 地図データに情報がないときは、市街図は表示されません。
- 市街図がない地域に地図または現在地を移動させると、市街図表示は自動的に解除されます。


地図の向きの切りかえ

車の進行方向に合わせて地図の向きを切りかえることができます。お好みに合わせて変更してください。


地図画面上の [] にタッチするごとに、ノースアップ表示、ヘディングアップ表示または 3D 表示に切りかわります。

- ノースアップ表示 []

車の進行方向に関係なく、つねに北が上になるように地図を表示します。

- ヘディングアップ表示 []

車の進行方向が つねに上向きになるように地図を表示します。

- 3D 表示 []

地図を立体的に表示させることができます。3D 表示に切りかえているときは、車の進行方向が つねに上向きになるように地図を表示します。

知識

- 3D 表示の角度を調整することができます。
- ヘディングアップ表示と 3D 表示は、目的地の設定で呼び出した地図や全ルート図表示画面などの現在地画面以外の地図にするとノースアップ表示になりますが、現在地画面にするとヘディングアップ表示または 3D 表示に戻ります。

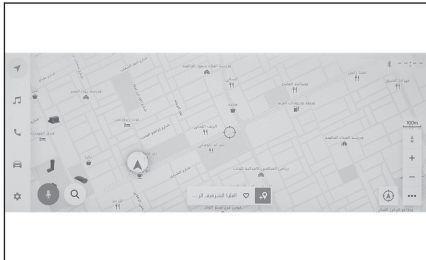
— 関連リンク —

[俯角設定 \(P.72\)](#)

地図の動かし方

タッチした地点が画面の中心になるように地図を動かすことができます。
地図上の地点にタッチします。

- タッチした地点が画面の中心になるように移動します。



- POI 情報がある場合は、タッチすると表示されます。
- 地図を任意の地点までスクロールした後、[📍] をタッチすると、その地点を新しい目的地または経路地として設定できます。
- 地図を任意の地点までスクロールした後、[❤️] をタッチすると、その地点をお気に入りに設定できます。
- [🏠] または [📍] をタッチすると、車両の現在の位置に戻ります。

📖 知識

画面のフリック操作やドラッグ操作で地図を移動させることもできます。

— 関連リンク —

[タッチスクリーンの操作 \(P.19\)](#)

[地図の向きの変更 \(P.29\)](#)

[地点情報の表示 \(P.138\)](#)

オーディオの ON/OFF と音量を調整する

オーディオを使用しないときに OFF にしたり、適度な音量に調整できます。
パワースイッチが ACC または ON のときに使用できます。

⚠ 注意

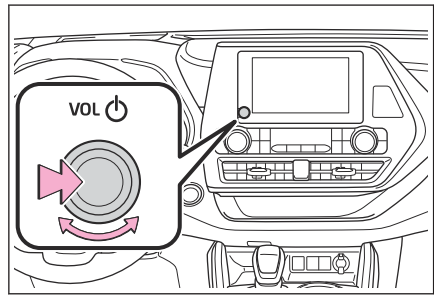
- ハイブリッドシステムが作動していない状態で、オーディオシステムを長時間使用しないでください。補機バッテリーがあがるおそれがあります。
- 安全運転に支障がないように適度な音量でお聞きください。

■ オーディオコントロールスイッチ／ノブで操作する

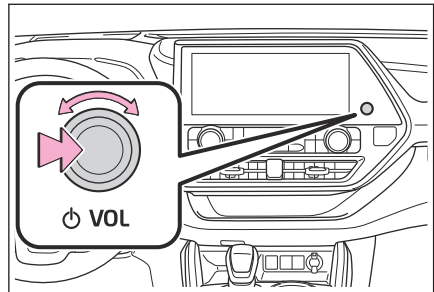
[VOL VOL] ノブ

押すごとに ON/OFF が切りかわります。回して音量を調整します。

▶ 8 インチディスプレイ装着車



▶ 12.3 インチディスプレイ装着車



■ ステアリングスイッチで操作する

[+] スイッチ

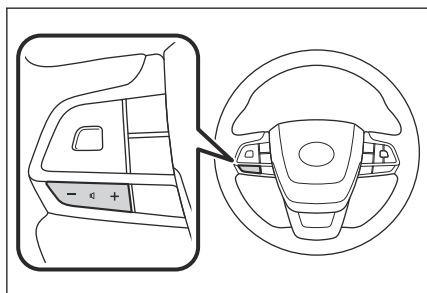
音量を大きくします。

押し続けると、連続して調整できます。

[-] スイッチ

音量を小さくします。

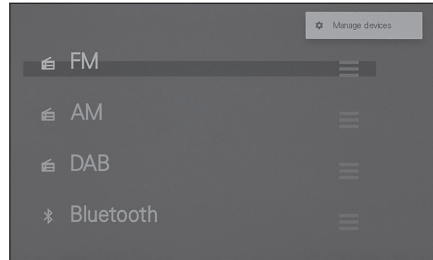
押し続けると、連続して調整できます。



オーディオのソースを変更する

ラジオや USB などのソースを変更できます。

- 1 メインメニューの [🎵] にタッチします。
- 2 [Sources] にタッチします。
- 3 希望のソースにタッチします。



📖 知識

- オーディオを聞いているときに、車内または車の近くで携帯電話を使用すると、オーディオのスピーカーからノイズ（雑音）が聞こえることがあります。
- Apple CarPlay の接続方法によっては、次の機能は利用できません。
 - iPod
 - USB オーディオまたは USB ビデオ
 - Bluetooth® オーディオ
 - Miracast®
 - Android Auto
- Android Auto を接続しているときは、次の機能を利用できません。
 - iPod
 - USB オーディオまたは USB ビデオ
 - Apple CarPlay

ステアリングスイッチでソースを変更する

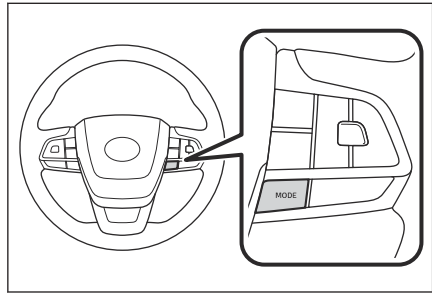
ステアリングスイッチでソースの変更ができます。

[MODE] スイッチ

ソースが順番に切りかわります。

押し続けると一時停止または消音します。再度押し続けると解除します。

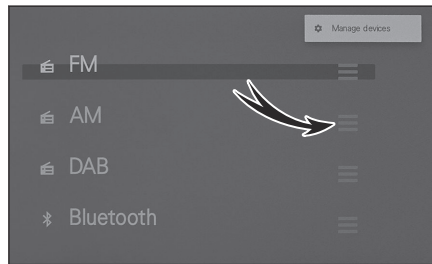
ソース選択画面のボタンの配置を変更すると、切りかわる順番もかわります。



ソース選択画面のリストの配置を変更する

操作しやすいようにリストの配置を変更できます。

- 1 メインメニューの [🎵] にタッチします。
- 2 [Sources]にタッチします。
- 3 移動先のソースの右側にある [☰] をドラッグして、リストのレイアウトを変更します。

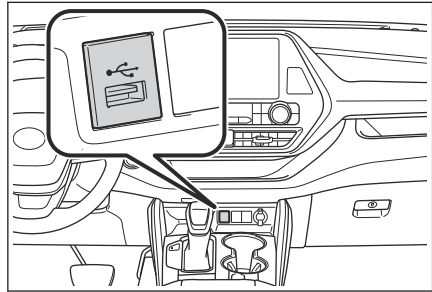


USB 機器を接続する

スマートフォンやポータブルプレーヤーなどの機器を接続できます。

● USB ケーブルを端子に接続します。

USB メモリーを接続するときは USB 端子に直接接続してください。



□ 知識

- お使いの機器によっては、視聴できない場合があります。
- USB ハブを使用して複数の機器を接続した場合、最初に認識された機器以外は使用できません。*1
- USB ケーブルおよび接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続する機器の電源は、機器に付属のバッテリーなどを使用してください。車に装着されているアクセサリソケットを使用すると、雑音が出ることがあります。(アクセサリソケットについては、別冊「Owner's Manual」をご覧ください)

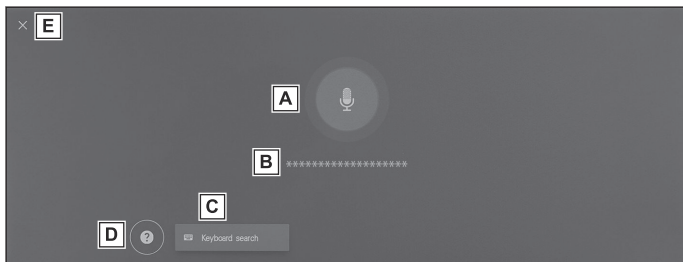
⚠ 注意





- 接続中に機器を押さえたり、不必要な圧力を加えたりしないでください。機器や端子が破損するおそれがあります。
- 端子に異物を入れないでください。機器や端子が破損するおそれがあります。

*1: USB メモリー、iPod/iPhone
USB ハブの動作は保証できません。

音声で操作する

音声操作システムを使用すると、ナビ、オーディオ、ハンズフリー通話など多くの機能を音声で操作できます。Toyota Connect 使用時は^{*1} クラウドサーバー上のコンテンツを活用した情報検索が可能です。



- A** 音声認識ステータスが表示されます。
 - []/[]: 発話待ち
 - []: 聞き取り中
 - []: 音声認識処理中
- B** 音声操作システムの応答や認識結果がテキストで表示されます。
- C** キーボード画面を表示します。
キーボードを使ってさまざまな情報を検索できます。
- D** 音声操作の発話例がリストで表示されます。
音声操作でよく使用される発話の一例を、機能ごとに確認できます。
- E** 音声操作画面を閉じます。

知識

- Toyota Connect の接続状況によって、^{*1}が画面に表示される場合があります。
[No online service]: Toyota Connect 契約がありません
[No internet connection]: インターネットに接続できない。
- 運転中は、音声操作画面が画面下に表示されます。

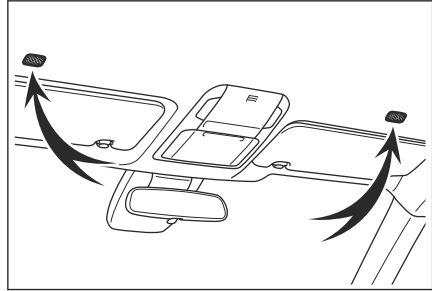
— 関連リンク —

[キーボードで情報を検索する \(P.44\)](#)

^{*1}: この機能は一部の地域では利用できません。

マイク位置

マイクは運転席側と助手席側にそれぞれ設置されています。



対応言語

この機能は以下の言語に対応しています：

■ オセアニア

英語

■ 中東

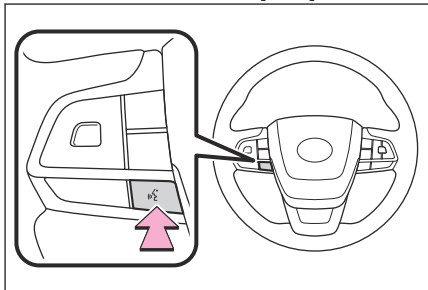
英語、アラビア語

音声操作システム

次のいずれかの操作で音声操作をはじめることができます。

■ トークスイッチを押す

ステアリングホイールの  スイッチ（トークスイッチ）を押す

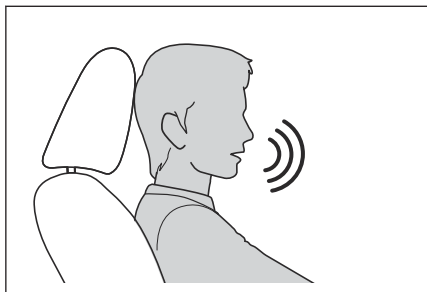


■ 起動ワードを発話する


「Hey Toyota」と発話します。

- 起動ワードは設定画面で変更できます。
- 起動ワードと音声コマンドを続けて一度に発話できます。

例：「Hey Toyota, go to nearby coffee shop」



■ マイクボタンにタッチする

画面の  にタッチします。



📖 知識

- 音声操作は、音声認識システムを起動ワードで起動することで運転席または助手席から行うことができます。この場合、起動した席以外からの音声コマンドは認識されません。
- 助手席からの音声操作は、一部の機能を利用することができません。

- 音声操作システムをトークスイッチまたはマイクボタンで起動した場合、運転席からのみ音声操作が可能です。
- 音声操作システムは、はっきり話さないと認識しない場合があります。使用時は以下の点に注意してください：
 - ハッキリした声で発話してください。
 - 騒音（風切り音や外部の音）などにより正しく認識されないことがあるため、窓を閉めてください。
 - エアコンの送風音が大きいときは、正しく認識されないことがあるため、風量を下げてください。
 - 音楽が大音量で再生されているときは、正しく認識されないことがあるため、音量を下げてください。
 - 複数人で同時に話すとは認識されないことがあります。
- 音声ガイドの途中でも音声コマンドを発話できます。
- 音声ガイドの ON/OFF は音声操作設定画面で変更できます。
- サウンド・メディア設定画面でシステム音声の音量を調整できます。

— 関連リンク —



[音声操作の設定を変更する \(P.62\)](#)

[音声操作システムの起動ワードを変更する \(P.62\)](#)

[サウンドやメディアの設定を変更する \(P.84\)](#)

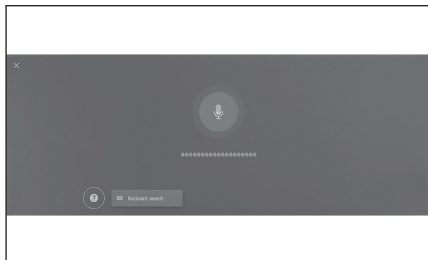
音声操作を終了する

次のいずれかの操作で音声操作を終了します。

- 「Cancel」 と発話します。
- 音声操作画面の  にタッチします。
- ステアリングの  スイッチ（トークスイッチ）を押し続けます。

音声で操作する

音声操作画面が表示されたら音声コマンドを発話してください。システムは自然な発話を認識できます。*1



知識

- 方言や言い方の違いなどにより正しく認識されないことがあります。
- 地名や施設を検索するときに、音声操作システムが地名や施設名の通称や略称を認識しない場合は、正式名称でお話してください。
- やりたいことを含めて話すと、音声操作システムが認識しやすくなります。例えば目的地検索時に名前だけではなく、「近くの〇〇へ行く」といった動詞を含めて話してください。「Go to nearby coffee shop」

機能一覧

音声で操作ができる主な機能と発話例の一覧です。

使用できる機能は、車両や搭載されるシステムによって異なる場合があります。

■ 共通コマンド

| 動作 | 発話例 |
|-------------|-----------------------------|
| 最初からやり直す | 「Start over」 |
| 音声操作を終了する | 「Cancel」 |
| 音声操作のヒントを聞く | 「Help」 |
| 前の画面に戻る | 「Go back」 |
| リストの番号を選択する | 「Number one」 |
| リストページを変更 | 「Next page」 「Previous page」 |

■ 目的地検索*1

目的地を施設の名称やジャンル、住所から設定することができます。

*1: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

| 動作 | 発話例 |
|-------|---|
| 施設を検索 | 「<POI カテゴリー／POI 名称>を探して」「近くの<POI カテゴリー>へ行く」 |
| 住所を検索 | 「<住所>まで行きたい」 |
| 自宅に戻る | 「自宅へ戻る」 |

■ ナビゲーション操作^{*1}

地図の操作や目的地の削除などができます。

| 動作 | 発話例 |
|---------------|----------------------------|
| 地図のタイプを変更する | 「Change map to 3D」 |
| 地図を拡大／縮小する | 「Zoom in」「Zoom out」 |
| 地図を表示する | 「Show map」 |
| 目的地までの所要時間を聞く | 「What's my ETA?」 |
| 目的地を削除する | 「Delete destination」 |
| 目的地の履歴を表示する | 「Show recent destinations」 |

■ オーディオ操作

ラジオ、USB メモリー、Bluetooth[®]オーディオなどの操作ができます。メディアに登録されているアーティスト名、アルバム名、曲名で指定できます。ラジオ局名から指定することもできます。

| 動作 | 発話例 |
|---------------------------|---|
| 音量を調整 | 「Volume up」「Volume down」 |
| オーディオをミュートする | 「Mute audio」 |
| 次の曲／前の曲を再生する | 「Next song」「Previous song」 |
| 楽曲を指定して再生する ^{*2} | 「Play <artist>」「Play <album>」「Play <song>」 |
| ラジオを選局する | 「Tune to <FM frequency>」「Tune to <FM station name>」 |
| オーディオソースを切りかえる | 「Change to <audio source>」 |

■ ハンズフリー電話操作

車両に接続されている Bluetooth[®]携帯電話で電話をかけることができます。連絡先に登録されている名前、電話種別を指定できるほか、電話番号からかけることもできます。

*1: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

*2: USB 接続機器に保存された音楽を再生できます。

| 動作 | 発話例 |
|---------------------|----------------------------------|
| 電話帳の連絡先に電話をかける *1 | 「Call <contacts>」 |
| 電話番号でかける *1 | 「Call <phone number>」 |
| 発信／着信履歴を表示する *1 | 「Show recent calls」 |
| メッセージを送信する *1*2*3 | 「Send message to <contact name>」 |
| メッセージを読み上げる *1*2 | 「Read message」 |
| Bluetooth®接続画面を表示する | 「Read message」 |

■ 情報検索サービス *2*4

オンラインサービスを利用して情報を検索することができます。

| 動作 | 発話例 |
|---------|--|
| 天気情報を聞く | 「Tell me the weather in Sydney tomorrow」 |

■ エアコン操作

エアコンの温度や風量を操作できます。

| 動作 | 発話例 |
|-----------------|---|
| エアコンを ON/OFF する | 「Turn on the air conditioner」 「Turn off the air conditioner」 |
| エアコンの温度を変更する | 「Turn up the temperature」 「Turn down the temperature」 「Set the temperature to 25 degrees」 |
| エアコンの風量を変更する | 「Turn the fan speed up」 「Turn the fan speed down」 「Set the fan speed to 3」 |

■ 車両情報

燃費や航続可能距離などの情報を確認することができます。

| 動作 | 発話例 |
|-----------|-------------------------------|
| 燃費を聞く | 「What's my fuel consumption?」 |
| 航続可能距離を聞く | 「What's my cruising range?」 |
| 平均車速を聞く | 「What's my average speed?」 |

■ 通知表示中の音声応答

着信やメッセージ受信に音声で応答できます。

*1: 助手席からの音声コマンドは認識されません。

*2: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

*3: 新着メッセージ機能は SMS のみ対応。返信機能は SMS と MMS に対応。


*4: Toyota Connect 契約が必要です。

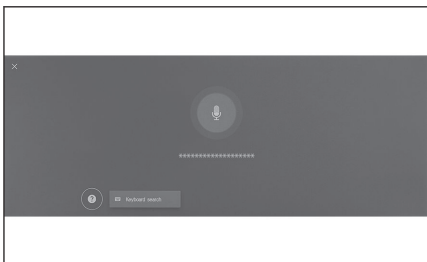
— 関連リンク —

[音声操作の設定を変更する \(P.62\)](#)

キーボードで情報を検索する

キーボードを使ってさまざまな情報を検索できます。

- 1  にタッチします。



検索履歴がある場合には履歴画面が表示され、履歴から選択できます。

- 2 検索したいジャンルを選択します。

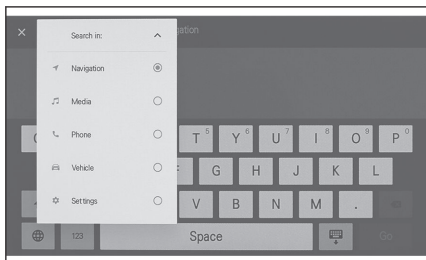
[Navigation]: 住所／施設名／電話番号／エリア／通り名／交差点などを検索できます。

[Media]: アルバム／アーティスト／曲名／プレイリスト／ジャンル／放送局名などを検索できます。

[Phone]: 電話帳に登録されている名称／電話番号などを検索できます。

[Vehicle]: 設定したい項目を入力して検索します。

[Settings]: オーディオ／電話などの設定項目を検索できます。



- 3 検索キーワードを入力し、**[Go]**にタッチします。



- 4 Apple CarPlay/Android Auto を接続しているときは、検索を利用できません。

知識

- 走行中は操作が制限されます。
- Apple CarPlay/Android Auto を接続しているときは、検索を利用できません。

- 2-1. マルチメディアシステムの初期設定
 - ユーザープロファイルの登録 46
- 2-2. 各種設定
 - 各種設定を変更する 51
- 2-3. ドライバー設定
 - ユーザープロファイルの変更
および登録 53
 - ドライバーの特定方法を設定
する 56
- 2-4. 共通設定
 - マルチメディアシステムの共
通設定を変更する 58
- 2-5. 画面設定
 - 画面表示の設定を変更する 60
- 2-6. 音声操作設定
 - 音声操作の設定を変更する 62
- 2-7. 車両設定
 - 販売店情報の設定 64
 - セキュリティ設定を変更する 65
 - ソフトウェア情報の確認や更
新をする 67
- 2-8. ナビゲーション設定
 - ナビゲーションの設定 70
 - 地図表示設定をする 71
 - ルート設定 73
 - 案内設定 76
 - その他の設定 78
- 2-9. サウンド&メディア設定
 - サウンドやメディアの設定を
変更する 84
 - 各ソースの音を調整する 87
 - 画質を調整する 88
 - 画面モードを切りかえる 89
- 2-10. Wi-Fi® 設定
 - Wi-Fi® 設定の変更 90
- 2-11. Bluetooth® 設定
 - Bluetooth® 機器を設定する 92

ユーザープロファイルの登録^{*1}

マルチメディアシステム初期設定としてメインユーザーのユーザープロファイルを登録します。

ユーザープロファイルを登録すると、マルチメディア設定やその他の車両設定をドライバーごとに保存できます。複数のドライバー（友人や家族など）が運転する場合でも設定変更の必要がなくなります。

ドライバー設定を利用しない場合は、ゲストドライバーモードで車両を使用できます。

ユーザープロファイル

マルチメディア設定やその他車両設定を保存し、該当ドライバーが運転時に呼び出せます。

- 最大3つのユーザープロファイルを登録できます。
- 音量、ナビ、オーディオなどの設定をプロファイルに保存できます。
- 設定を変更すると現在のプロファイルに自動保存されます。
- プロファイルを登録することにより、検索履歴や個人設定などのプライバシー情報を守ることができます。
- ドライバーを識別する機器を登録すると、プロファイルが自動的に読み込まれます。登録機器はスマートキーやスマートフォンから選択できます。

■ Toyota アカウントとの連携^{*1}

- ドライバー設定のご利用には有効な TOYOTA アカウントが必要です。
- TOYOTA アカウントが TOYOTA アプリに連携されている場合、有効なトヨタコネクトサービス契約があり、同じモデルのマルチメディアシステムが搭載されている車両を運転しているときに、クラウドからプロファイルをダウンロードできます。
- 登録済みプロファイルは Toyota アプリで確認や変更ができます。
- 所有者として登録されたドライバーは、車両内の全ドライバーを削除できます。所有者以外は所有者プロファイルを削除できません。
- 同じプロファイルを別の車両で同時に使用できません。
- 一部のマルチメディア設定を変更すると、クラウドに保存されているプロファイルが自動的に更新され、プロファイルが更新されたことをドライバーに通知する画面が表示されます。
- 一部のマルチメディア設定はセンターに保存され、ドライバーを削除してもセンターに保存されたマイセッティングは削除されません。

関連リンク

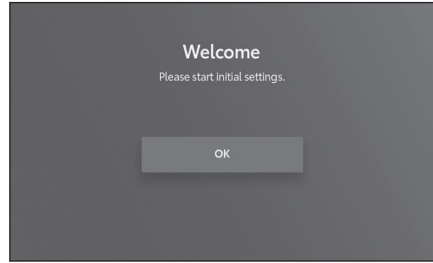
[ドライバーの特定方法を設定する \(P.56\)](#)

^{*1}: この機能は一部の地域では利用できません。

初めてのユーザープロフィールを登録する（タイプ A）

ドライバー設定のご利用には有効な TOYOTA アカウントが必要です。

- 1 パワースイッチ ON 後最初に表示される画面で[OK]をタッチします。



- 2 [Yes]をタッチします。
 - プロファイル登録を希望しない場合は[No]をタッチします。
- 3 スマートフォンの Toyota アプリから登録する場合は[Through myToyota Connect App]をタッチします。
 - アカウントとパスワードで登録する場合は[Enter account & password]をタッチします。
- 4 [Next]をタッチします。
 - TOYOTA アプリをお持ちでない方は、画面上の QR コードからアプリをダウンロードしてください。
- 5 スマートフォンで Toyota アプリを開き、画面指示に従って QR コードをスキャン、または[Link account via verification code]をタッチして確認コードを入力し、ドライバーを登録します。
- 6 [Confirmed]をタッチします。

登録が完了するとメッセージが表示され、プロファイルが保存されます。
- 7 プロファイルを登録したら、ドライバーを識別するために機器を登録してください。セットアップを続行するには、[Continue]をタッチしてください。

機器は後から登録することもできます。
- 8 ドライバー設定画面で機器を登録してください。ドライバーを識別する機器を登録すると、プロファイルが自動的に読み込まれます。
 - スマートキーやスマートフォンなど、任意の機器をプロファイルに登録できます。
 - プロファイルに複数の機器を登録できます。

知識

ユーザープロフィールが登録されていない場合は、ドライバー設定画面で登録を再開できます。

— 関連リンク —

[ユーザープロフィールの変更および登録 \(P.53\)](#)

ドライバーの特定方法を設定する (P.56)

初めてのユーザープロフィールを登録する (タイプ B)

- 1 パワースイッチを ON にすると、言語選択画面が表示されます。希望する言語をタッチします。

ドライバー登録時に表示言語を選択してください。ドライバー登録が完了すると、システム言語はデフォルトの言語に戻ります。

一部の地域ではこの画面が表示されない場合があります。

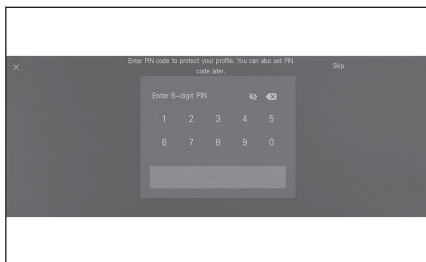
- 2 ユーザープロフィール登録は[Create]をタッチします。

プロフィールを登録しない場合は、[Don't create now]をタッチします。[Do not show set-up again]をタッチすると、プロフィール登録画面が表示されなくなります。

- 3 ユーザープロフィール名を入力します。

- 4 希望する PIN コードを入力します。

- ユーザープロフィールのプライバシーを保護するために PIN コードを設定します。
- PIN コードを設定せずにプロフィールを登録するには、[Skip]をタッチします。



- 5 プロフィールを登録するには、PIN コードを再入力してください。

登録が完了するとメッセージが表示され、プロフィールが保存されます。

- 6 プロフィールを登録したら、ドライバーを識別するために機器を登録してください。セットアップを続行するには、[Continue]をタッチしてください。

機器は後から登録することもできます。

- 7 ドライバー設定画面で機器を登録してください。ドライバーを識別する機器を登録すると、プロフィールが自動的に読み込まれます。

- スマートキーやスマートフォンなど、任意の機器をプロフィールに登録できます。
- プロフィールに複数の機器を登録できます。

— 関連リンク —

ドライバーの特定方法を設定する (P.56)

ユーザープロフィールを自動的に呼び出す

スマートキーやスマートフォンなど、ドライバーを認識する機器を携帯して乗車することで、ユーザープロフィールを自動的に呼び出すことができます。

- パワースイッチを ACC または ON にすると、車両はプロファイルに登録された機器を検出します。登録された機器が検出されると、その機器に割り当てられたプロファイルが自動的に読み込まれます。
- プロファイルに登録された機器が検出されない場合、車両はゲストドライバーモードで使用されます。
- [Settings] をタッチすると、プロファイルを変更できるドライバー設定画面が表示されます。
- 運転者を識別する機器としてスマートキーまたはスマートフォンを選択できます。

□ 知識

- プロファイルに登録されている複数の機器が検出された場合、最初に検出された機器の情報に基づいてドライバーを識別します。その後、信頼性の高い機器が検出された場合は、検出結果が更新され、プロファイルが変更されます。
- ユーザープロファイルに登録されている Bluetooth® 機器のうち、最後に使用したドライバーの Bluetooth® 機器のみを検出します。Bluetooth® 機器の使用状況によっては、ドライバーの識別が遅れたり、始動前にドライバーの識別ができない場合があります。そのため、Bluetooth® 機器に加えて、スマートキーを登録することをお勧めします。

— 関連リンク —

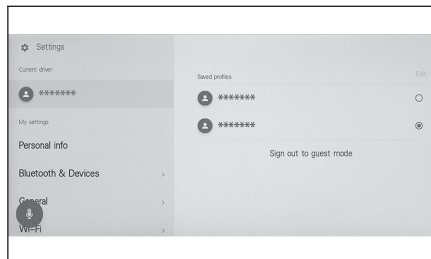
[ユーザープロファイルの変更および登録 \(P.53\)](#)

[ドライバーの特定方法を設定する \(P.56\)](#)

ユーザープロファイルの変更

車両に登録されたユーザープロファイル一覧から使用したいプロファイルを選択できます。


- 1 メインメニューの [⚙️] にタッチします。
- 2 [👤] (User profile name or vehicle name) または [👤] [Guest] をサブメニューでタッチします
- 3 「Saved profiles」から変更したいユーザープロファイル名を選択します。



- 4 PIN コードまたはパスワードを入力します。


- Toyota アカウント作成時に設定したパスワードを入力します。(タイプ A)
- ユーザープロフィール作成時に設定した PIN コードを入力します。(タイプ B)
- ユーザープロフィールが変更されると、画面にメッセージが表示されます。

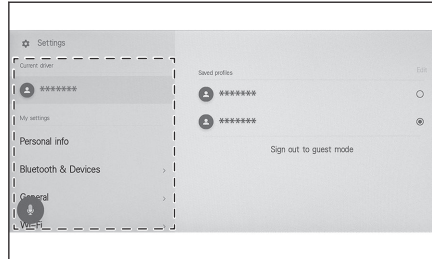
知識

別のユーザープロフィールに設定されている機器が検出された場合は、ポップアップメッセージが表示されます。 []または[Yes]をタッチすると、ユーザープロフィールを変更できるようになります。

各種設定を変更する

マルチメディアシステムや車両の各種設定を変更できます。

- 1 メインメニューの [] にタッチします。
- 2 各項目を設定します。



| 設定項目 | 内容 |
|--|--|
| 「ドライバー」 | |
| [] (ユーザープロファイル名または車両名) [] [Guest] | 現在のユーザープロファイルの名前を表示します。プロファイルをタッチすると、ユーザープロファイルを変更または登録できます。(→ P.53) |
| 「マイセッティング」 | |
| [Personal info] | ドライバーを認識するための機器を登録できます。(→ P.56) |
| [Bluetooth & Devices] | Bluetooth®機器の登録や編集を行うことができます。Bluetooth®(→ P.92) |
| [General] | 時計設定、表示言語、その他一般的なマルチメディア設定の変更(→ P.58) |
| [Wi-Fi]([Data & Wi-Fi]) | Wi-Fi®設定やその他詳細設定の構成Wi-Fi®(→ P.90) |
| [Display] | 画面のコントラストや明るさなどを調整します。(→ P.60) |
| [Sound & Media] | システムサウンドやオーディオソースに関する設定を変更します。(→ P.84) |
| [Navigation] | 地図表示やルート案内に関する設定を変更します。(→ P.70) |
| [Voice & Search] | 音声認識機能に関する設定を変更します。(→ P.62) |
| 「Vehicle」 | |
| [Vehicle customize] ⁽¹⁾ | 車両機器に関する設定を変更できます。 |

| 設定項目 | 内容 |
|------------------------------|-------------------------------------|
| [Dealer info] ⁽²⁾ | 販売店情報の登録／削除 (→ P.64) |
| [Info & Security] | セキュリティとプライバシーに関連する設定を変更します。(→ P.65) |
| [Software update] | ソフトウェア情報を確認して更新します。(→ P.67) |

- (1) 詳細は、別冊「Owner's Manual」をご覧ください。
- (2) この機能は一部の地域では利用できません。

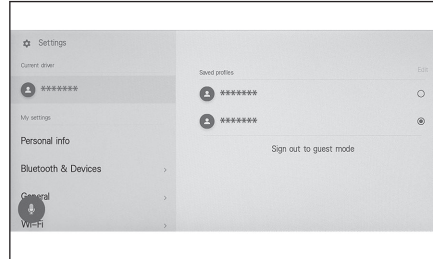
知識

走行中は安全のため、操作ができない項目があります。

ユーザープロファイルの変更および登録^{*1}

ドライバーの切りかえや登録を行います。ドライバーを登録することで、車両の個人設定をドライバーごとのプロファイルとして保存できます。

- 1 メインメニューの [⚙️] にタッチします。
- 2 [👤] (User profile name or vehicle name) または [👤][Guest] をサブメニューでタッチします
- 3 各項目を設定します。






| 設定項目 | 内容 |
|---|---|
| 「Saved profiles」 | <p>車両に登録されているユーザープロファイルがリスト表示されます。希望のプロファイル名をタッチすることで、ユーザープロファイルを切り替えて使用できます。</p> <p>[Edit]をタッチすると、登録済みユーザープロファイルを削除できます。</p> |
| [👤][Connect your account]/ [Create profile] | <p>新規ユーザープロファイルを登録できます。</p> |
| [Sign out to guest mode] / [Sign out] | <p>ゲストドライバーに変更できます。</p> <p>ゲストドライバー使用時は、個人設定を調整しても他のユーザープロファイルには保存されません。車両を他人に譲る際、[Sign out to guest mode] / [Sign out]をタッチすると、接続機器の個人情報为非表示になります。これにより、検索履歴や個人設定などのプライバシー保護が可能です。</p> <p>検索履歴や個人設定以外のプロファイルはゲストドライバーに適用されます。</p> |

📖 知識

走行中は安全のため、操作を行うことができません。

*1: この機能は一部の地域では利用できません。





新しいユーザープロフィールの作成をする (タイプ A)

- 1 メインメニューの [] にタッチします。
- 2 [] (User profile name or vehicle name) または [] [Guest] をサブメニューでタッチします
- 3 [Connect your account] をタッチします。
- 4 [Yes] をタッチします。
- 5 スマートフォンの Toyota アプリから登録する場合は [Through myToyota Connect App] をタッチします。
 - アカウントとパスワードで登録する場合は [Enter account & password] をタッチします。
- 6 [Next] をタッチします。
 - TOYOTA アプリをお持ちでない方は、画面上の QR コードからアプリをダウンロードしてください。
- 7 スマートフォンでトヨタアプリを開き、画面の指示に従って QR コードをスキャンするか、[Link account via verification code] をタッチして確認コードを入力し、ドライバーを登録します。
- 8 [Confirmed] をタッチします。

登録が完了するとメッセージが表示され、プロフィールが保存されます。
- 9 プロフィールを登録したら、ドライバーを識別するために機器を登録してください。セットアップを続行するには、[Continue] をタッチします。

機器は後から登録することもできます。
- 10 ドライバー設定画面で機器を登録してください。ドライバーを識別する機器を登録すると、プロフィールが自動的に読み込まれます。
 - スマートキーやスマートフォンなど、任意の機器をプロフィールに登録できます。
 - プロフィールに複数の機器を登録できます。

新しいユーザープロフィールの作成をする (タイプ B)

- 1 メインメニューの [] にタッチします。
- 2 [] (User profile name or vehicle name) または [] [Guest] をサブメニューでタッチします
- 3 [] [Create Profile] にタッチします。
- 4 ユーザープロフィール名を入力します。
- 5 希望する PIN コードを入力します。
 - ユーザー プロフィールのプライバシーを保護するために PIN コードを設定します。
 - PIN コードを設定せずにプロフィールを登録するには、[Skip] をタッチします。


- 6 プロファイルを登録するには、PIN コードを再入力してください。
登録が完了するとメッセージが表示され、プロファイルが保存されます。
- 7 プロファイル登録後、ドライバー識別するための機器登録を行います。続けるには[Continue]をタッチします。
機器は後から登録することもできます。
- 8 ドライバー設定画面で機器を登録してください。ドライバーを識別する機器を登録すると、プロファイルが自動的に読み込まれます。
 - スマートキーやスマートフォンなど、任意の機器をプロファイルに登録できます。
 - プロファイルに複数の機器を登録できます。

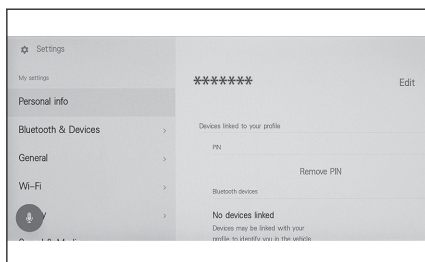
関連リンク

[ドライバーの特定方法を設定する \(P.56\)](#)

ドライバーの特定方法を設定する

ドライバーを識別するための機器を設定します。パワースイッチがACC または ON に入り、登録済み機器が検出されると、その機器に割り当てられたプロフィールが自動的に読み込まれます。登録する機器はスマートキーやスマートフォンから選択できます。

- 1 メインメニューの [] にタッチします。
- 2 サブメニューの [Personal info] をタッチします。
- 3 各項目を設定します。



▶ タイプ A

| 設定項目 | 内容 |
|----------------------------------|--|
| ドライバー名 | ユーザープロフィール名を表示します。 [Edit] をタッチしてプロフィール名を変更します。 |
| 「Devices linked to your profile」 | |
| 「Key」 | |
| [Link key] ⁽¹⁾⁽²⁾ | 登録したいキーをすべて車内に置いた後、登録操作を行ってください。他のドライバーに割り当てられているキーは登録できません。スマートエントリーシステムが OFF の場合、ドア解錠時に使用したキーをドライバーに割り当てません。 |
| 「Bluetooth 機器」 | スマートフォンやその他の Bluetooth [®] 機器でドライバー識別を行い、該当プロフィールを読み込みます。[Link devices] をタッチして登録。(→ P.109) |
| [Reset settings] | 選択したユーザープロフィールの一部マルチメディア設定がリセットされます。 |

| 設定項目 | 内容 |
|-----------------|---|
| [Delete driver] | <p>選択したユーザープロファイルの登録が削除されます。</p> <p>所有者として登録されたユーザープロファイルを削除すると、車両内の全ユーザープロファイルが削除されます。</p> |

- (1) 詳細は、別冊「Owner's Manual」をご覧ください。
 (2) レンタカーなどのフリート車両では使用できません。


▶ タイプ B

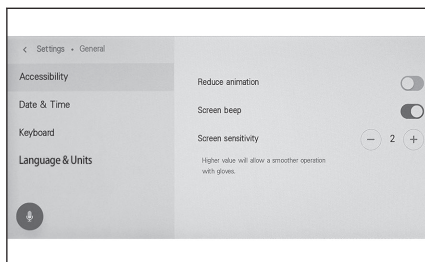
| 設定項目 | 内容 |
|----------------------------------|--|
| ドライバー名 | <p>ユーザープロファイル名を表示します。</p> <p>[Edit]をタッチしてプロファイル名を変更します。</p> |
| 「Devices linked to your profile」 | |
| 「PIN」 | <p>PIN コードでドライバー識別を行い、該当プロファイルを読み込みます。[Set new PIN]をタッチして登録します。</p> |
| 「Key」 | |
| [Link key] ⁽¹⁾ | <p>登録したいキーをすべて車内に置いた後、登録操作を行ってください。他のドライバーに割り当てられているキーは登録できません。スマートエントリーシステムが OFF の場合、ドア解錠時に使用したキーをドライバーに割り当てます。</p> |
| 「Bluetooth devices」 | <p>スマートフォンやその他の Bluetooth® 機器でドライバー識別を行い、該当プロファイルを読み込みます。[Link devices]をタッチして登録します。Bluetooth®[Link devices](→ P.109)</p> |
| [Reset settings] | <p>現在選択されている一部のマルチメディア設定を初期化します。</p> |
| [Delete driver] | <p>選択されたユーザープロファイルを車両から削除します。</p> |

- (1) 詳細は、別冊「Owner's Manual」をご覧ください。

マルチメディアシステムの共通設定を変更する

時刻設定や表示言語など、マルチメディアシステムの基本設定を変更できます。

- 1 メインメニューの [] にタッチします。
- 2 [General] をサブメニューからタッチします。
- 3 各項目を設定します。



● [Accessibility]

| 設定項目 | 内容 |
|----------------------|---------------------------------|
| [Reduce animation] | 画面切り替え時のアニメーション表示を減らします。 |
| [Screen beep] | 画面をタッチしたときの操作音の ON/OFF を設定できます。 |
| [Screen sensitivity] | スクリーンのタッチ感度を調整できます。 |

● [Date & Time]

| 設定項目 | 内容 |
|------------------------------------|--|
| [Set automatically] ⁽¹⁾ | GPS 情報を利用して時刻を自動で設定します。OFF にすると、手動で時刻を設定できます。 |
| 「Time」 | |
| [24-hour time] | 時刻の表示を 24 時間表示または 12 時間表示に切りかえることができます。 |
| [Time zone] | [Set automatically] が OFF の場合、タイムゾーンを設定できます。 |
| [Daylight savings] | [Set automatically] が OFF の場合、夏時間を [Auto] ⁽¹⁾ 、[On]、または [Off]。 |
| [Set time automatically] | [Set automatically] が OFF の場合、GPS を使用して時刻を自動設定するかどうかを選択できます。この設定を OFF にすると、時刻を手動で設定できるようになります。 |

| 設定項目 | 内容 |
|---------------------|--|
| [Set time manually] | [Set time automatically]を OFF にすると、手動で時刻を設定できます。 |
| 「Date」 | |
| [Format] | 日付の表示形式を切りかえることができます。 |

(1) ナビ機能付き

● [Keyboard]

| 設定項目 | 内容 |
|---------------------------|-----------------------------|
| 「History」 | |
| [Memorize keyboard] | システムがキーボード入力結果を学習できるようにします。 |
| [Delete keyboard history] | キーボードの入力学習履歴を削除します。 |
| [Delete search history] | キーボードの検索履歴を削除できます。 |

● [Language & Units]^{*1}

| 設定項目 | 内容 |
|---|---|
| [Language] ⁽¹⁾ | 言語を切りかえることができます。画面に表示する言語とシステム音声の言語が同時に切りかわります。 |
| [System language] ⁽¹⁾ | 画面に表示される言語を変更します。 |
| [Voice language] ⁽¹⁾ | システム音声の言語を変更します。 |
| 「Measurements」 (「Units of Measurement」) | |
| [Set automatically] | 国情報に基づき、距離、燃費などの表示単位を自動的に設定します。 |
| [Trip info. unit] | [Set automatically]を OFF にすると、燃費表示単位を手動で設定できます。 |

(1) この機能は一部の地域では利用できません。

□ 知識

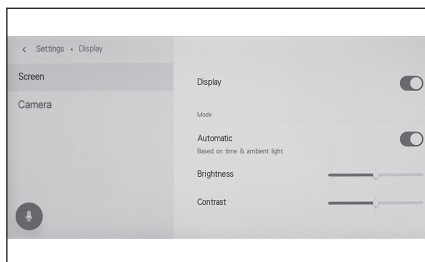
Apple CarPlay/Android Auto の言語は接続している機器側で設定してください。

*1: この機能は一部の地域では利用できません。

画面表示の設定を変更する

画面のコントラストや明るさなどを調整できます。

- 1 メインメニューの [] にタッチします。
- 2 サブメニューの [Display] にタッチします。
- 3 各項目を設定します。



● [Screen]

| 設定項目 | 内容 |
|----------------------------|---|
| [Display] | 画面表示の ON/OFF を設定できます。 OFF にすると、画面を消して音声だけを再生します。 画面を再度表示させるには、画面にタッチして、画面中央のボタンをタッチします。 |
| 「Mode」 | |
| [Automatic] ⁽¹⁾ | ヘッドランプの点灯や消灯に合わせて、昼間モードと夜間モードを自動で切りかえることができます。 |
| [Daytime (light)] | [Automatic]が OFF のとき、画面を手動で昼間モードに切りかえることができます。 |
| [Nighttime (dark)] | [Automatic]が OFF のとき、画面を手動で夜間モードに切りかえることができます。 |
| [Brightness] | 画面の明るさを調節できます。 |
| [Contrast] | 画面のコントラストの強弱を調整できます。 |

(1) 駐車中や昼夜などの状況に応じて、モードが自動で切り替わらない場合があります。

● [Camera]


| 設定項目 | 内容 |
|-----------------|----------------------|
| 「Camera screen」 | |
| [Brightness] | 画面の明るさを調節できます。 |
| [Contrast] | 画面のコントラストの強弱を調整できます。 |

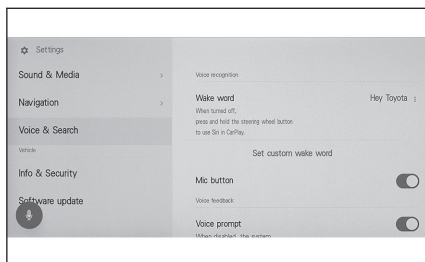
□ 知識


- オーディオ画像品質の調整方法については「[画質を調整する](#)」(→ P.88)を参照ください。
- 画面を消しても、GPS による現在地測位は継続されています。
- 画面表示について
 - 画面表示が OFF の場合でも、ステアリングのトークスイッチを押したり、シフトポジションを R にしたときなど、一時的に画面を表示することがあります。
 - 画面表示が OFF のときに画面をタッチすると、画面中央に解除ボタンが表示されます。画面を表示させる場合は、解除ボタンをタッチしてしてください。3 秒間操作がない場合は、再び画面表示が OFF になります。

音声操作の設定を変更する


音声認識機能に関する設定を変更できます。

- 1 メインメニューの [] にタッチします。
- 2 [Voice & Search] をサブメニューでタッチします。
- 3 各項目を設定します。




| 設定項目 | 内容 |
|------------------------|---|
| 「Voice recognition」 | |
| [Wake word] | 音声操作の起動ワードを変更します。 (→ P.62) |
| [Set custom wake word] | 音声操作を開始する起動ワードを任意の単語に設定します。 |
| [Mic button] | 表示／非表示 []。 |
| 「Voice feedback」 | |
| [Voice prompt] | 音声ガイダンスの ON/OFF を設定できます。 |
| 「Notification」 | |
| [Voice support] | 着信やメッセージ受信に音声で応答できます。 |

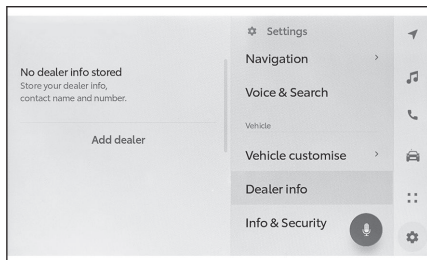
音声操作システムの起動ワードを変更する




- 1 メインメニューの [] にタッチします。
- 2 [Voice & Search] をサブメニューでタッチします。
- 3 [Wake word] をタッチします。

販売店情報の設定^{*1}

販売店情報を登録および削除できます。車両整備を受ける販売店の情報を登録すると、サービス予約時に設定画面から販売店に連絡できます。

- 1 メインメニューの [] にタッチします。
- 2 サブメニューの [Dealer info] にタッチします。
- 3 各項目を設定します。




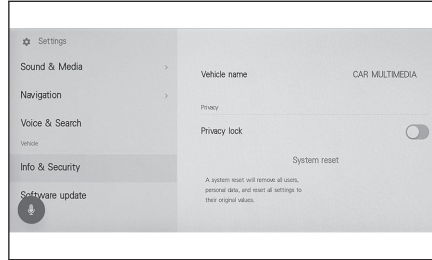
| 設定項目 | 内容 |
|-----------------|---|
| [Add dealer] | 希望する販売店、連絡先名、電話番号を登録します。 |
| 販売店名 | 保存された販売店名を表示します。[] にタッチすると情報を変更できます。 |
| 「Contact」 | 保存された連絡先名を表示します。[] にタッチすると情報を変更できます。 |
| 「Phone」 | 保存された電話番号を表示します。[] にタッチすると情報を変更できます。 |
| [Delete dealer] | 販売店情報を削除します。 |

*1: この機能は一部の地域では利用できません。

セキュリティ設定を変更する

セキュリティやプライバシーに関する設定を変更できます。

- 1 メインメニューの [] にタッチします。
- 2 サブメニューの [Info & Security] にタッチします。
- 3 各項目を設定します。



| 設定項目 | 内容 |
|----------------------------------|--|
| [Vehicle name] | システム名称（車両名称）を表示します。 これは外部機器から Bluetooth [®] 機器を検索する際に表示される機器名です。タッチすることで名前を変更できます。 |
| 「Privacy」 | |
| [Privacy lock] | 個人情報保護のための、パスワードによるセキュリティロックを有効にできます。設定を ON にすると、補機バッテリーの交換による再起動時やマルチメディアシステムを車両から取り外した際に、マルチメディアシステムを操作するためのパスワード入力が必要になります。 |
| [Reset privacy lock password] | 設定したセキュリティロックのパスワードを初期化できます。 |
| [Remote security] ⁽¹⁾ | リモートセキュリティの動作状態を表示します。 |
| [System reset] | システムの全データを初期化して工場出荷状態にもどすことができます。 |

(1) この機能は一部の地域では利用できません。

知識


- 全ての情報を初期化したあとは、しばらく通信できないことがあります。通信できない場合には、システムの再起動を実施してください。

- 全ての情報の初期化を行うと、マルチメディアシステムの全データを初期化して工場出荷状態にもどります。初期化前の状態にもどすことはできません。

— 関連リンク —

[システムを再起動する \(P.13\)](#)

プライバシーロックを設定する

- 1 メインメニューの [] にタッチします。
- 2 サブメニューの [Info & Security] にタッチします。
- 3 サブメニューの [Privacy lock] にタッチします。
- 4 サブメニューの [OK] にタッチします。
- 5 4～15文字の英数字を含むパスワードを設定します。
- 6 パスワードを再入力します。


メッセージが表示され、プライバシーロックが有効になります。

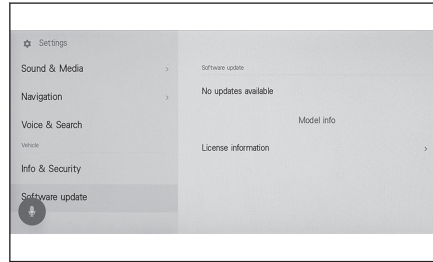
知識

- パスワード設定後、補機バッテリー交換による再起動時やマルチメディアシステムを車両から脱着した際に、マルチメディアシステムを操作するためのパスワード入力が必要になります。設定したパスワードを入力してください。
- パスワードを一定回数誤入力すると、パスワード入力ができなくなります。その場合はトヨタ販売店に解除を依頼してください。
- セキュリティ確保のため、同じパスワードや辞書に載っている単語を繰り返し使用しないでください。

ソフトウェア情報の確認や更新をする

ソフトウェア情報の確認や更新を行うことができます。より快適にご利用いただくため、マルチメディアシステムの機能や操作性向上を目的にソフトウェアの更新をします。

- 1 メインメニューの [] にタッチします。
- 2 サブメニューの[Software update] にタッチします。
- 3 各項目を設定します。



| 設定項目 | 内容 |
|--------------------------------------|---|
| 「Software update」 | |
| [Updates available] ⁽¹⁾ | [View] を選択し、ソフトウェア更新情報を確認します。更新の有無や内容を確認後、更新データをダウンロードしてソフトウェア更新をインストールできます。 更新データがない場合は [No updates available] が表示されます。 |
| [Model info] | 現在のソフトウェアのバージョンなどを確認できます。 |
| [Update software] ⁽¹⁾ | ソフトウェアを更新する 更新データがない場合は表示されません。 |
| [History] ⁽¹⁾ | ソフトウェアの更新履歴を確認できます。 更新履歴がない場合は表示されません。 |
| [License information] | ソフトウェアのライセンス情報を確認できます。 |
| [Update notification] ⁽¹⁾ | ソフトウェア更新通知の ON/OFF を設定できます。 |

(1) この機能は一部の地域では利用できません。

ソフトウェアを更新する^{*1}

以下の方法のいずれかでソフトウェアを更新します：

- ソフトウェア更新は、通信モジュール（DCM）を使って更新を行います。

^{*1}

^{*1}: この機能は一部の地域では利用できません。

● Wi-Fi[®]を使用してソフトウェアを更新

□ 知識

- このサービスでは地図データを更新できません。
- ソフトウェア更新中は一部の操作ができません。
- ご不明な点はトヨタ販売店にお問い合わせください。

⚠ 注意

利用規約

ソフトウェア更新を受け入れることで、本利用規約に同意したものとみなされます。

利用規約を受け入れない場合、トヨタ販売店にて手動更新を行わない限り、ソフトウェア更新は実行されません。

- ソフトウェア更新を受け入れる前に、本車両の保証期間をご確認ください。保証期間外にソフトウェア更新をインストールし、その結果として発生した不具合が更新ソフトウェアに起因しない場合でも、修理や交換費用を負担いただく場合があります。ただし、これはオーストラリア消費者法による権利を制限するものではありません。
- ソフトウェア更新がインストールされると、以前のバージョンには戻せません。
- ソフトウェア更新によって、車両機能の操作や仕様が取扱説明書記載と異なる場合があります。機能変更がある場合は、電子メールや SMS、書面で通知し、取扱説明書が更新されます。
- ソフトウェア更新の内容によっては、一部の車両設定が工場出荷状態に戻る場合があります。その場合は再設定が必要です。
- ソフトウェア更新後、車両は更新が正常にインストールされたことをトヨタ自動車の管理システムに自動通知します。この通知には個人情報を含められません。
- ソフトウェア更新で車両にマルチメディア機能が追加される場合、料金が発生することがあります。
- ソフトウェア更新の正確性、適合性、信頼性、特定目的への適合性について保証はありません。ただし、これはオーストラリア消費者法による権利を制限するものではありません。

DCM ^{*1}Wi-Fi[®] または Wi-Fi[®]を使用したソフトウェア更新

マルチメディアシステムは定期的に配信サーバーへアクセスし、更新ソフトウェアの有無を確認します。


1. ソフトウェア更新通知画面の指示に従い、更新内容と利用規約を確認・同意します。
 - 更新データのダウンロードが開始され、完了後にインストールが始まります。(所要時間は約 10~15 分)
 - ダウンロードとインストールにかかる時間は、通信環境により長くなる場合があります。インストール中にパワースイッチを OFF にした

*1: この機能は一部の地域では利用できません。

ときは、次回パワースイッチを ACC または ON にしたときにインストールを再開します。

- 更新が完了すると、画面にメッセージが表示されます。
- システム再起動が必要な場合、メッセージが表示されます。[Yes] にタッチするとシステムが再起動します。
- ソフトウェアの更新履歴を確認するときは、ソフトウェア更新画面で [History] にタッチします。

■ 手動でソフトウェアの更新をする場合


1. メインメニューの [] にタッチします。
2. [Software update] をサブメニューでタッチします。
3. 「Updates available」の [View] を選択します。
4. 画面の指示に従い、更新内容と利用規約を確認・同意します。
 - 更新データのダウンロードが開始され、完了後にインストールが始まります。(所要時間は約 10～15 分)
 - ダウンロードとインストールにかかる時間は、通信環境により長くなる場合があります。インストール中にパワースイッチを OFF にしたときは、次回パワースイッチを ACC または ON にしたときにインストールを再開します。
 - 更新が完了すると、画面にメッセージが表示されます。
 - システム再起動が必要な場合、メッセージが表示されます。[Yes] にタッチするとシステムが再起動します。
 - ソフトウェアの更新履歴を確認するときは、ソフトウェア更新画面で [History] にタッチします。

知識

- 配信サーバーに重要な更新データがある場合、メッセージが表示されます。[OK] にタッチして更新するデータをダウンロードすることができます。
- Wi-Fi®を使用してソフトウェア更新を行うためには、以下の条件を満たす必要があります：
 - Wi-Fi®アクセスポイント（自宅、職場など）に接続されていること
 - 車両が Wi-Fi®にアクセスできる場所にあること
 - 通信設定が [Wi-Fi] に設定されていること

ナビゲーションの設定

地図の色や文字サイズなど、ナビゲーションの各種設定を変更できます。

- 1 メインメニューの [] にタッチします。
- 2 [Navigation] にタッチします。
- 3 希望の項目にタッチします。
 - 地図表示設定
 - ルート設定
 - 案内設定
 - 地図更新設定
 - その他の設定

関連リンク

[地図表示設定をする \(P.71\)](#)


[ルート設定 \(P.73\)](#)

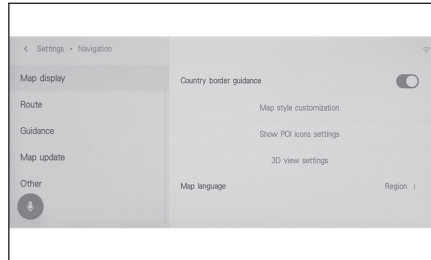
[案内設定 \(P.76\)](#)

[その他の設定 \(P.78\)](#)

[地図データベースのバージョンと対応エリア \(P.164\)](#)

地図表示設定をする

- 1 メインメニューの [] にタッチします。
- 2 [Navigation]をタッチします。
- 3 [Map display] にタッチします。
- 4 希望の項目にタッチします。



| 設定項目 | 内容 |
|---|--|
| [Country border guidance] ⁽¹⁾⁽²⁾ | 国境案内設定の ON/OFF を切り替えます。 ON に設定すると、国境を越える際に音声案内が出力され、さらにその国の制限速度や交通規則の情報が表示されます。 |
| [Map style customization] | 地図表示のカスタマイズ設定を変更します。 |
| 「リアルタイム情報」 | |
| [Show road class] ⁽²⁾ | 交通情報表示の道路種別設定を変更します。 希望する道路種別を選択後、[OK] を押します。 |
| [Show traffic jam flows] ⁽²⁾ | 現在の情報に基づく渋滞や交通混雑の表示を ON/OFF します。 |
| [Show free traffic flows] ⁽²⁾ | 現在の情報に基づく空いている道路の表示を ON/OFF します。 |
| [Guide traffic jam warnings] ⁽²⁾ | 交通事故警告の表示を ON/OFF します。 |
| [Show POI icons settings] | POI アイコン設定を変更します。 |
| [3D view settings] | 3D 地図の表示角度を変更します。 |
| [On street parking suggestion] ⁽²⁾ | 路上駐車提案の ON/OFF を切り替えます。 |

| 設定項目 | 内容 |
|-------------------------------|--|
| [Map language] ⁽²⁾ | 地図言語を変更します。 [Region] または [System Language] を選択後、[OK] を押します。 |

- (1) 内蔵ナビゲーションシステム付き
(2) この機能は一部地域では使用できません。

地図表示のカスタマイズ設定

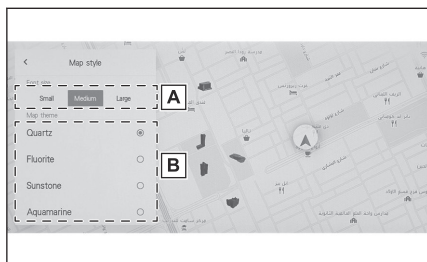
地図の色や文字サイズを変更することができます。

- 1 メインメニューの [⚙️] にタッチします。
- 2 [Navigation] にタッチします。
- 3 [Map style customization] にタッチします。
- 4 希望の項目にタッチします。

A 地図表示の文字サイズを変更します。

B 地図の色を変更します。

- 5 [OK] をタッチします。




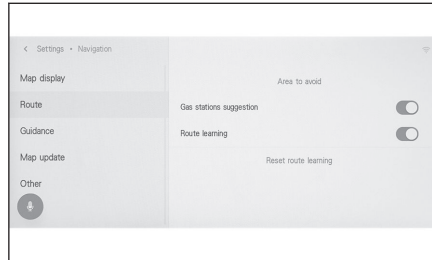
俯角設定

地図を 3D 表示するときの角度設定ができます。

- 1 メインメニューの [⚙️] にタッチします。
- 2 [Navigation] にタッチします。
- 3 [3D view setting] にタッチします。
- 4 [↑] (角度を上げる) または [↓] (角度を下げる) にタッチします。
- 5 [OK] をタッチします。

ルート設定

- 1 メインメニューの [] にタッチします。
- 2 [Navigation] を選択します。
- 3 [Route] を選択します。
- 4 希望の項目にタッチします。



| 設定項目 | 内容 |
|---|---|
| [Area to avoid] | 迂回エリアを登録・編集します。 |
| [Avoid traffic] ⁽¹⁾ | 交通迂回機能の設定を変更します。 [Auto][manual][off] をタッチした後、 [OK] をタッチします。 |
| [Gas stations suggestion]([Petrol stations suggestion]) | ガソリンスタンド一覧の自動表示を ON / OFF します。 |
| [Route learning] ⁽¹⁾ | ルート学習の ON / OFF を切り替えます。 |
| [Reset route learning] ⁽¹⁾ | ルート学習記録を消去します。 |

(1) この機能は一部地域では利用できません。


関連リンク

[検索結果リスト画面の見方 \(P.149\)](#)

[全ルート図表示画面の見方 \(P.153\)](#)

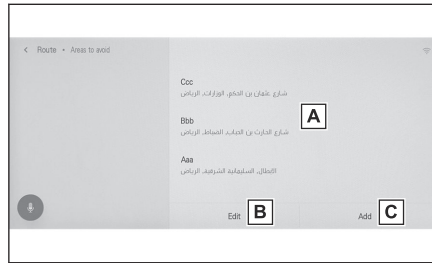
迂回エリアの設定

工事や通行止め、よく渋滞する場所などが分かっているとき、迂回エリアとして登録しておく、そのエリアを迂回するルートを探します。

- 1 メインメニューの [] にタッチします。
- 2 [Navigation] にタッチします。
- 3 [Route] にタッチします。
- 4 [Area to avoid] にタッチします。

5 希望の項目にタッチします。

- A 登録されている迂回エリア一覧を表示します。選択した迂回エリアを編集します。
- B 登録した迂回エリアを削除するにはタッチします。
- C 迂回するエリアを登録するにはタッチします。



迂回エリアを登録する

- 1 メインメニューの [⚙️] にタッチします。
- 2 [Navigation] にタッチします。
- 3 [Route] にタッチします。
- 4 [Area to avoid] にタッチします。
- 5 [Add] にタッチします。
- 6 地図をスクロールして迂回エリアを検索します。
- 7 [Complete] にタッチします。

迂回エリアの範囲が黄色の四角で表示されます。

- 8 [↔️] (範囲を広げる) または [⏏️] (範囲を狭める) をタッチして迂回エリアの範囲を設定し、[Complete] をタッチします。
- 9 編集画面で希望の項目を変更後、[OK] にタッチします。

 知識

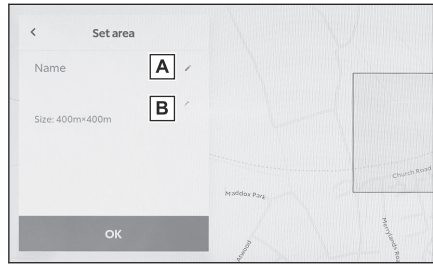
- 他に通行可能なルートがなく迂回エリアを通過する場合、検索結果にそのエリア内の道路が含まれることがあります。
- 迂回エリアを最小化すると、[⏏️] (迂回するメモリポイント) に切り替えることができます。設定された迂回エリア内の高速道路や海路は、検索結果で迂回できない場合があります。道路上で個別に迂回メモリポイントを設定してください。

迂回エリアを編集する

- 1 メインメニューの [⚙️] にタッチします。
- 2 [Navigation] をタッチします。
- 3 [Route] にタッチします。
- 4 [Area to avoid] にタッチします。
- 5 修正したい迂回エリアにタッチします。

6 設定したい項目にタッチします。

- A 迂回エリアの名称を変更します。
- B 迂回エリアと迂回範囲を変更します。




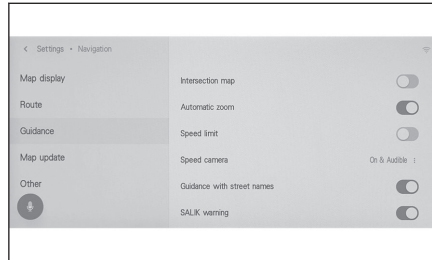
7 [OK]にタッチします。

迂回エリアを削除する

- 1 メインメニューの [⚙️] にタッチします。
- 2 [Navigation] にタッチします。
- 3 [Route] にタッチします。
- 4 [Area to avoid] にタッチします。
- 5 [Edit] にタッチします。
- 6 削除したい迂回エリアの [⊖] にタッチします。
 - [Del. All] : すべての迂回エリアを削除します。
 - [Cancel] : 迂回エリアの削除を中止します。
- 7 [Complete] にタッチします。

案内設定

- 1 メインメニューの [] にタッチします。
- 2 [Navigation] にタッチします。
- 3 [Guidance] にタッチします。
- 4 希望の項目にタッチします。



| 設定項目 | 内容 |
|---|--|
| [Intersection map] | 交差点拡大図の ON/OFF 設定をします。 |
| [Automatic zoom] | オートマップズームの ON/OFF 設定をします。 |
| [Speed limit] ⁽¹⁾⁽²⁾ | タッチすると速度制限情報の ON/OFF を設定できます。 |
| [Speed camera] ⁽¹⁾⁽²⁾ | 速度カメラアイコン表示設定を変更します。 [On]、[On & Audible] または [Off] を選択後、[OK] を押します。 |
| [Guidance with street names] | タッチすると、道路名案内の ON/OFF を設定できます。 |
| [Weather warning] ⁽²⁾⁽³⁾ | タッチして天気警報の ON/OFF を設定します。 |
| [SALIK warning] ⁽²⁾ | ルートに SALIK ゲートが含まれる場合、全ルートマップ画面に通知が表示されます。 |
| [Guide traffic jam warnings] ⁽²⁾ | タッチすると渋滞音声案内の ON/OFF が切り替わります。 |
| [Landmark voice guidance]([Guide landmarks]) ⁽¹⁾ | タッチすると、ランドマークの音声ガイドの ON/OFF を設定できます。 |

| 設定項目 | 内容 |
|---------------------------------|---|
| [Guide language] ⁽²⁾ | タッチすると音声ガイドの言語を変更できます。 <ul style="list-style-type: none"> ● 言語を選択後、[OK]を押します。 ● 一般的な音声案内言語は変更できますが、地名など固有名称の言語は変更できません。 |

- (1) 内蔵ナビゲーションシステム付き
- (2) この機能は一部地域では使用できません。
- (3) この機能は、コネクティッドナビゲーション使用時に表示されます。

知識


コンテンツ管理条件によっては、SALIK が認識できない場合があります。

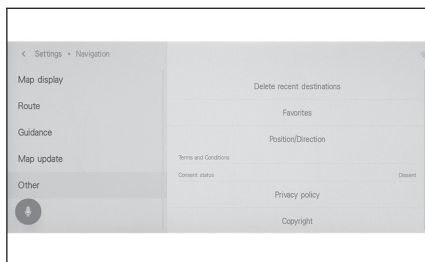
— 関連リンク —

[さまざまなレーン表示画面 \(P.160\)](#)

[速度取締りカメラ \(P.142\)](#)

その他の設定


- 1 メインメニューの [] にタッチします。
- 2 [Navigation] にタッチします。
- 3 [Other] にタッチします。
- 4 希望の項目にタッチします。



| 設定項目 | 内容 |
|---------------------------------------|--|
| [Delete recent destinations] | 目的地履歴を削除するにはタッチします。 削除する目的地を選択後、[OK] を押します。すべて削除する場合は [Delete all] を選択し、続けて [OK] を押します。 |
| [Favourites] | お気に入り編集するにはタッチします。 |
| [Position/Direction] | タッチして車両の位置を修正します。 |
| [Service information] ⁽¹⁾ | |
| [Expiration date:] ⁽¹⁾ | サービス情報の有効期限を表示します。 |
| [Service ID:] ⁽¹⁾ | サービス ID を表示します。 |
| [Terms and conditions] ⁽¹⁾ | 利用規約を表示します。 |
| [Consent status] ⁽¹⁾ | 同意状況を表示します。 |
| [Consent day] ⁽¹⁾ | 同意日を表示します。 |
| [Privacy/Policy] ⁽¹⁾ | タッチするとプライバシー/利用規約が表示されます。 |
| [Copyright] | タッチすると著作権が表示されます。 |

(1) この機能は一部地域では使用できません。

お気に入り設定

- 1 メインメニューの [] にタッチします。
- 2 [Navigation] にタッチします。

- 3 [Other] にタッチします。
- 4 [Favourites] にタッチします。
- 5 希望の項目にタッチします。

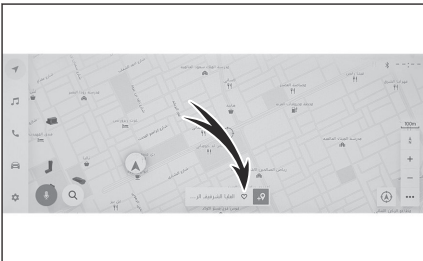
- A** お気に入りリストの編集を行います。
- B** USB 機器との間でお気に入りをインポート/エクスポートします。*1



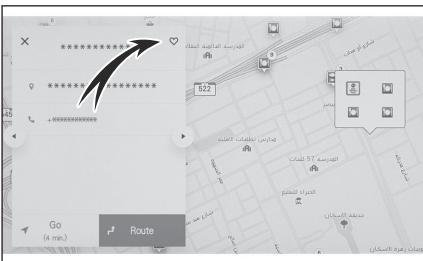
お気に入りリストの登録

地点をお気に入りに登録するには、地図をスクロールしているときや地点の情報画面が表示されているときに [♡] をタッチして地点を登録します。

▶ 地図スクロール時



▶ 地点情報画面



☐ 知識

お気に入りの保存件数は最大 400 件です。


— 関連リンク —

[地点情報の表示 \(P.138\)](#)

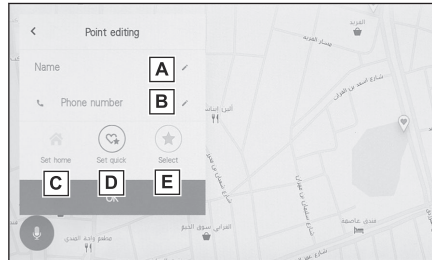
*1: この機能は一部の地域では利用できません。

全ルート図表示画面の見方 (P.153)

お気に入りリストの編集

- 1 メインメニューの [] にタッチします。
- 2 [Navigation] にタッチします。
- 3 [Other] にタッチします。
- 4 [Favourites] にタッチします。
- 5 編集したいお気に入りにタッチします。
- 6 希望の項目にタッチします。

- A** お気に入りの名称を編集します。
- B** 電話番号を編集します。
- C** この地点を自宅として登録します。
- D** この地点をよく行く地点として登録します。
- E** 地図上に表示するアイコンを変更します。





- 7 [OK] にタッチします。

 知識

よく行く地点に登録すると、目的地設定の際に登録地点がお気に入りリストの上部に表示されます。

お気に入りリストの削除

- 1 メインメニューの [] にタッチします。
- 2 [Navigation] にタッチします。
- 3 [Other] にタッチします。
- 4 [Favourites] にタッチします。
- 5 [Edit] にタッチします。
- 6 削除したいお気に入りの [] をタッチします。
 - [Del. All] : すべてのお気に入りを削除します。
 - [Cancel] : お気に入りの削除を中止します。
- 7 [Complete] にタッチします。

USB 機器への書き出し^{*1}

ナビゲーションシステムに登録されたお気に入りや USB 機器に保存できます。バックアップにはパスワードの設定が必要です。書き出したお気に入りはバックアップ専用であり、他システムでの配布や使用は禁止されています。

1 USB 機器をシステムに接続します。

USB 機器がまだ ON になっていない場合は ON にします。

2 メインメニューの [] にタッチします。

3 [Navigation] にタッチします。

4 [Other] にタッチします。

5 [Favorites] にタッチします。

6 [Import/Export] にタッチします。

7 [Export to USB] にタッチします。

8 パスワードを入力し、[Confirm PIN] を選択します。

- 推測されやすいパスワード（誕生日など）や他で使用しているパスワードは避けてください。
- 実在する単語は使用しないでください。

9 データがエクスポート中であることを示す進行バーが表示されていることを確認します。

この機能をキャンセルするには、[Cancel] を選択します。

10 操作完了時に確認画面が表示されることを確認します。

注意

データのエクスポート中は USB 機器を接続または取り外ししないでください。USB 機器が破損する恐れがあります。

USB 機器からの読み込み^{*1}

バックアップされたメモリポイントを USB メモリを使ってナビゲーションシステムに取り込むことができます。この機能を使用するには、USB メモリをナビゲーションシステムに接続する必要があります。

1 USB 機器をシステムに接続します。

USB 機器がまだ ON になっていない場合は ON にします。

2 メインメニューの [] にタッチします。

3 [Navigation] にタッチします。

4 [Other] にタッチします。

5 [Favorites] にタッチします。

*1: この機能は一部の地域では利用できません。

- 6 [Import/Export] にタッチします。
- 7 [Import from USB] にタッチします。
- 8 パスワードを入力し、[Confirm PIN] を選択します。
 - 推測されやすいパスワード（誕生日など）や他で使用しているパスワードは避けてください。
 - 実在する単語は使用しないでください。
- 9 データのインポート中であることを示す進行バーが表示されていることを確認します。

この機能をキャンセルするには、[Cancel] を選択します。
- 10 操作完了時に確認画面が表示されることを確認します。


知識

- 地図データ範囲外にあるお気に入りにはインポートできません。
- お気に入りの保存件数は最大 400 件です。
- 同じ名前のお気に入りがあるすでにナビゲーションシステムに保存されている場合、そのお気に入りはインポートできないことがあります。

パスワードの設定 *1

パスワードを設定すると、お気に入りの書き出し時だけでなく、USB 機器からナビゲーションシステムへの読み込み時にも要求されます。

- 1 USB 機器をシステムに接続します。


USB 機器がまだ ON になっていない場合は ON にします。
- 2 メインメニューの [] にタッチします。
- 3 [Navigation] にタッチします。
- 4 [Other] にタッチします。
- 5 [Favorites] にタッチします。
- 6 [Import/Export] にタッチします。
- 7 [Set new PIN] にタッチします。
- 8 パスワードを入力し、[Set PIN] を選択します。

既に登録されているパスワードを変更する場合は、パスワードを入力後、[Confirm PIN] を選択し、新しいパスワードを入力します。
- 9 確認のため、再度パスワードを入力し、[Confirm PIN] を選択します。
 - パスワードを忘れた場合：
 - [System reset] を使用してシステムから個人データを削除する必要があります。
 - トヨタ販売店にお問い合わせください。


*1: この機能は一部の地域では利用できません。

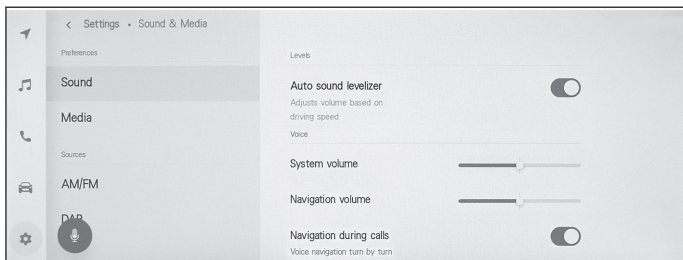
位置／方向の補正

運転中、自転車位置マークは GPS 信号によって自動的に修正されます。GPS の受信状態が悪く、自転車位置マークが自動的に修正されない場合は、手動で調整できます。

- 1 メインメニューの [] にタッチします。
- 2 [Navigation] にタッチします。
- 3 [Other] にタッチします。
- 4 [Position / Direction] にタッチします。
- 5 地図をスクロールして希望の地点を選択し、[OK] にタッチします。
- 6 現在位置マークの方向を矢印で調整し、[OK] にタッチします。

サウンドやメディアの設定を変更する

- 1 メインメニューの [] にタッチします。
- 2 [Sound & Media] をサブメニューで選択します。
- 3 各項目を設定します。



● [Sound] > [Levels]

| 設定項目 | 内容 |
|------------------------|--|
| [Auto sound levelizer] | <p>タイプ A：車両の速度と連動して、自動的にオーディオの音量が調整されます。</p> <p>タイプ B：走行速度に応じてオーディオ音量を自動調整するレベルを設定できます。</p> <p>[Low]設定と比較して、[High]設定は音量をより大きくし、高速走行時に最適なレベルにします。</p> |

● [Sound] > [Voice]

| 設定項目 | 内容 |
|---|--------------------------------------|
| [System volume] | システム音声の音量を調整できます。 |
| [Navigation volume] ^{*1} | ナビゲーション音声案内の音量を調整できます。 |
| [Navigation during calls] ^{*1} | 通話中のナビゲーション音声案内の割り込みを ON/OFF できます。 |
| [Adaptive volume control] ^{*1} | 高速道路を走行時に、音声ガイダンスの音量を自動的に上げることができます。 |
| [Driving assist volume] ^{*2} | 運転支援システムの音量ボリュームを調整できます。 |

● [Sound] > [Acoustic setting]^{*2}

| 設定項目 | 内容 |
|------------------|-----------------|
| [Surround sound] | 臨場感のある音質に設定します。 |

*1: ナビ機能付き

*2: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

● [Media] > [General]

| 設定項目 | 内容 |
|---------------------|-------------------------|
| [Display cover art] | 音楽アルバムなどのジャケット画像を表示します。 |

● [AM/FM] > [AM/FM]

| 設定項目 | 内容 |
|--|--|
| [Station list] | 局リストの並び替えを行います。 |
| [FM traffic announcement] ^{*1} | FM 放送局で交通情報が始まった際に自動的に局を切り替えます。 |
| [FM alternative frequency] ^{*1} | FM 放送局の信号が弱くなった際に、受信状態の良い代替周波数に切り替えます。 |
| [Regional code change] ^{*1} | 同一番組ネットワークの地域放送に切り替えます。 |
| [FM program type] ^{*1} | 番組タイプ (PTY) を表示します。 |
| [FM radio text] ^{*1} | FM 放送局からのラジオテキストを表示します。 |

● [Internet radio]^{*1}



| 設定項目 | 内容 |
|-------------------------|--|
| [Enable internet radio] | ラジオ受信状態が悪化した際に IP ラジオへ切り替えます。 |
| [Changing to IP stream] | IP ラジオへ切り替える際の設定を変更できます。 <ul style="list-style-type: none"> • [Auto] に設定すると、自動的に切り替わります。 • [By request] に設定すると、切り替え要求を通知します。 |
| [拡張メタデータ / アートワーク] | Gracenote [®] ラジオ認識技術を使用します。 <ul style="list-style-type: none"> • お気に入りや局リストのロゴを表示します。 • 局リストのカテゴリ名を変更します。 • 局リストを自動更新します。 |

● [DAB]^{*1}

| 設定項目 | 内容 |
|---------------------------------------|--------------------------------------|
| [Traffic announcement] | DAB で交通情報が始まった際に自動的に局を切り替えます。 |
| [Alternative frequency] ^{*1} | DAB の信号が弱くなった際に、受信状態の良い代替周波数に切り替えます。 |
| [Radio text] | DAB からのラジオテキストを表示します。 |

*1: この機能は一部地域では使用できません。

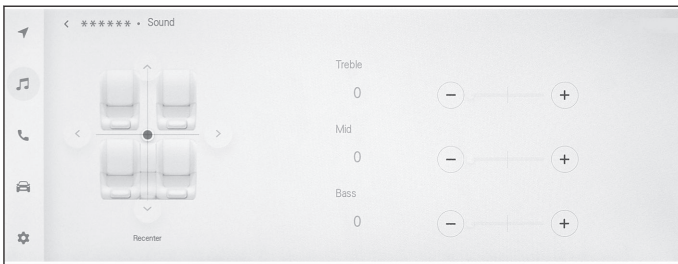
 知識

システムの音声ガイダンス中に [VOL ] ノブ/[ VOL] ノブを回すと、音声案内の音量が調整されます。

各ソースの音を調整する

各ソースの音質や音量バランスを調整できます。

- 1 メインメニューの [🎵] にタッチします。
- 2 [Sources] にタッチします。
- 3 調整する音源を選択します。
- 4 [⋯] にタッチします。
音源に応じて手順6に進みます。
- 5 [Sound] を選択します。
- 6 各項目を設定します。



「Treble」：高音の強さを調整できます。

「Mid」：中音の強さを調整できます。

「Bass」：低音の強さを調整できます。

フェーダーとバランス： [🔊] を移動してフェーダーとバランスを調整します。

[Recenter] にタッチすると中央に戻ります。

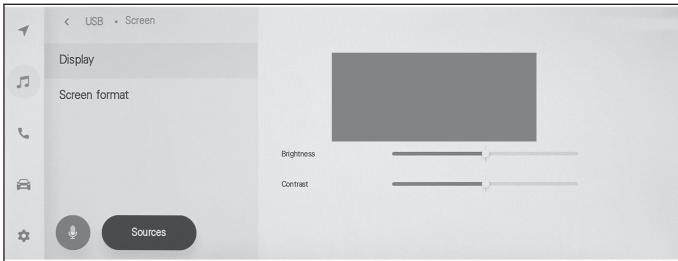
📖 知識

Treble/Mid/Bass の設定は、各ソースごとに独立して調整できます。

画質を調整する

映像のコントラストや明るさなどを調整できます。

- 1 メインメニューの [🎵] にタッチします。
- 2 [Sources] にタッチします。
- 3 画像品質を調整する音源を選択します。
- 4 [⋯] にタッチします。
- 5 [Screen] を選択します。
ビデオモードでスイッチが表示されます。
- 6 [Display] を選択します。
- 7 各項目を設定します。



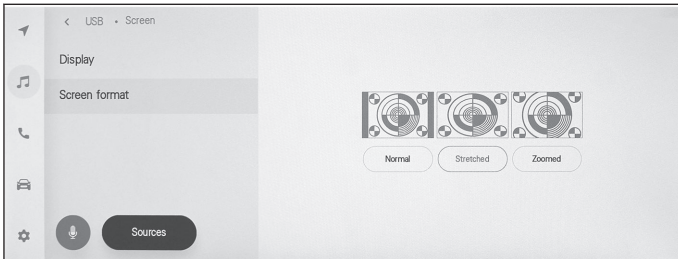
「Brightness」：明るさを調整します。

「Contrast」：コントラストを調整します。

画面モードを切りかえる

通常の映像とワイド映像を切りかえることができます。

- 1 メインメニューの [🎵] にタッチします。
- 2 [Sources] にタッチします。
- 3 画面モードを切り替える音源を選択します。
- 4 [⋯] にタッチします。
- 5 [Screen] を選択します。
ビデオモードでボタンが表示されます。
- 6 [Screen format] を選択します。
- 7 希望するモードを選択します。



[Normal]：入力映像を 4:3 アスペクト比で表示します。

[Stretched]：入力映像を画面に合わせて拡大表示します。


[Zoomed]：入力映像を縦横同じ比率で拡大表示します。

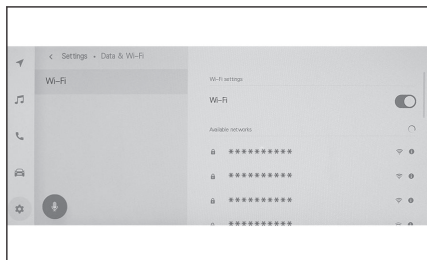
知識

- 設定可能なモードはビデオモードによって異なります。
- 映像が不自然に見えるのを防ぐために、表示領域を制限する黒帯が追加される場合があります。

Wi-Fi® 設定の変更

Wi-Fi®設定の変更

- 1 メインメニューの [] にタッチします。
- 2 [Wi-Fi] ([Data & Wi-Fi]) をサブメニューで選択します。
- 3 各項目を設定します。




● 「Wi-Fi settings」

| 設定項目 | 内容 |
|---------|------------------|
| [Wi-Fi] | Wi-Fi®機能の有効化／無効化 |

- マルチメディアシステムの設定によってはメッセージが表示されます。画面の案内にしたがって操作してください。
- [Wi-Fi]を ON にすると利用可能な近隣ネットワークが表示されます。
- [Wi-Fi]を OFF にすると Wi-Fi®接続が切断されます。

● 「Available networks」 (「Available networks」は[Wi-Fi]が ON のときに表示されます。)

| 設定項目 | 内容 |
|--|--------------------|
| 接続するネットワーク名 (SSID) | タッチしたネットワークに接続します。 |
| ネットワーク表示名 (ネットワーク SSID) [] | ネットワーク情報表示を行います。 |

- 同じネットワーク名を持つ複数の MAC アドレスがある場合は重複表示されることがあります。
- 最大 30 件までネットワークを表示できます。リストは 6 秒ごとに自動更新されます。
- 同じネットワーク名 (SSID) を使用している機器が複数ある場合、どの機器を使用するか特定できません。複数の機器を使用する場合は、それぞれ異なるネットワーク名 (SSID) を設定してください。

● ネットワーク情報画面 (ネットワーク名は[] をタッチすると表示されます。)

| 設定項目 | 内容 |
|-------------------------------------|--|
| [Auto connect]* ¹ | ネットワーク検索時に自動接続する設定の ON/OFF を切り替えます。 |
| 「Network SSID」 | ネットワーク名 (SSID) を表示します。 |
| 「MAC address」 | ネットワークの MAC アドレスを表示します。 |
| 「Security」 | ネットワークのセキュリティプロトコルを表示します。 |
| 「Frequency band」 | ネットワークの周波数を表示します。 |
| [Forget this network]* ¹ | 選択したネットワークの接続履歴をマルチメディアシステムから削除します。 削除したネットワークは、これまで接続したことがないネットワークとして認識されます。 |

- [Forget this network]は現在の Wi-Fi®ネットワーク接続を切断しません。ネットワーク情報は記憶されず、再起動後にこの Wi-Fi®ネットワークに再接続しません。

知識

- ネットワーク接続履歴は最大 20 件まで保存され、新しい履歴を保存すると最も古い履歴が削除されます。
- 安全でないネットワークは接続履歴に登録されません。

— 関連リンク —

[Wi-Fi® 機器使用時の留意事項 \(P.111\)](#)

[Wi-Fi® に接続する \(P.113\)](#)


*1: マルチメディアシステムに接続履歴があるネットワークのみ表示されます。

Bluetooth® 機器を設定する

登録した Bluetooth® 機器をマルチメディアでどのように使用するか設定できます。

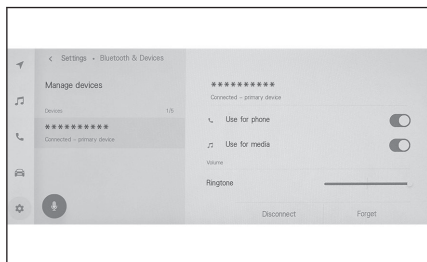
□ 知識

- 設定内容は個別の Bluetooth® 機器ごとの設定になります。
- Bluetooth® オーディオ再生中にハンズフリー通話を選択すると、音声途切れる場合があります。
- Bluetooth® 機器の機種によっては、Bluetooth® 機器の操作が必要になります。
- 緊急通報中は、Bluetooth® 機器を選択できません。
- 運転中は設定を選択できません。
- Bluetooth® 機器の状態によっては設定を選択できない場合があります。

- 1 メインメニューの [] にタッチします。
- 2 サブメニューで [Bluetooth & Devices] にタッチします。
- 3 設定する Bluetooth® 機器をサブメニューから選択します。

少なくとも 1 台の Bluetooth® 機器が登録されていないと表示されません。

- 4 各項目を設定します。



| 設定項目 | 内容 |
|-------------------------|---------------------------------------|
| [Use for phone] | ハンズフリー電話機能の ON/OFF を設定できます。*1*2 |
| [Use for media] | オーディオ機能の ON/OFF を設定できます。*1*2 |
| [Use for Apple CarPlay] | Apple CarPlay 機能の ON/OFF を設定できます。*1*2 |

*1: この機能を実行できる Bluetooth® 機器にのみ表示されます。ON/OFF を切り替えると関連機能が表示・非表示、または ON/OFF になります。Apple CarPlay または Android Auto が ON の場合、通話やオーディオには使用できません。逆の場合も同様です。

*2: OFF にすると、本機能との接続が切断されます。自動接続などで機器を接続した場合、OFF にした機能は自動的に ON になりません。ON にすると、本機能との接続が開始されます。

| 設定項目 | 内容 |
|-----------------------------------|---|
| [Use for Android Auto] | Android Auto 機能の ON/OFF を設定できます。*1*2 Android Auto を使用中に [Use for Android Auto] 設定を OFF にすると、[Use for phone] 設定が ON になります。 |
| [Setup secure password] | ワイヤレス Android Auto 機能のパスワードを変更できます。 *3 |
| [Set as secondary device] | サブ機器に設定できます。*3 本設定は、ドライバーが設定されている状態で、HFP に対応した Bluetooth® 機器がプライマリ機器に設定されていない場合に使用できます。[Set as secondary device] をタッチすると、機器がサブ機器に設定されます。Bluetooth® 機器を接続する際の優先順位は、メイン機器、サブ機器、接続履歴の新しい機器です。 |
| [Remove secondary device setting] | サブ機器から解除できます。*3 |
| [Disconnect] | マルチメディアと Bluetooth® 機器との接続を切断できます。 接続していた機能は OFF になります。再度機器を接続しても、同じ機能へ自動接続できるとは限りません。 |
| [Forget] | Bluetooth® 機器の登録を削除できます。 |

● 「Volume」

| 設定項目 | 内容 |
|-------------------|--------------------|
| [Ringtone] | 着信音量を調整します。*4 |
| [Received volume] | 受話音量を調整します。*4 |
| [New message] | メッセージ受信音量を調整します。*3 |

● 「General」

| 設定項目 | 内容 |
|------------|----------------------------|
| [Ringtone] | ハンズフリー通話の着信音は以下の方法で設定できます。 |

*1: この機能を実行できる Bluetooth® 機器にのみ表示されます。ON/OFF を切り替えると関連機能が表示・非表示、または ON/OFF になります。Apple CarPlay または Android Auto が ON の場合、通話やオーディオには使用できません。逆の場合も同様です。

*2: OFF にすると、本機能との接続が切断されます。自動接続などで機器を接続した場合、OFF にした機能は自動的に ON になりません。ON にすると、本機能との接続が開始されます。

*3: この機能は一部の地域では利用できません。

*4: 携帯電話とマルチメディアシステムのスピーカー音量／着信音量が同期する場合があります。携帯電話の機種によっては同期できない場合があります。

| 設定項目 | 内容 |
|----------------------|---|
| [Ringtone] | <ul style="list-style-type: none"> 携帯電話で設定された着信音をマルチメディアシステムの着信音として設定します。 既存の着信音を設定します。 発信者名を読み上げるように設定します。 |
| [Message tone] | <p>メッセージ着信音は以下の方法で設定できます。*1</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存の着信音を設定します。 ミュートに設定します。 送信者名を読み上げるように設定します。 |
| [Sort contacts by] | <p>連絡先に登録してある名称の表示を次のように変更できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 名前（名）順で並び替え 名前（姓）順で並び替え |
| [Auto read messages] | <p>メッセージの自動読み上げ機能を有効／無効にします。*1</p> |
| [Clear call history] | <p>ハンズフリー電話の履歴データを削除できます。</p> <p>[Sync contacts]設定が OFF の携帯電話を接続している場合に表示されます。</p> |

● 「Syncing」

| 設定項目 | 内容 |
|--------------------------|---|
| [Sync contacts] | <p>連絡先、履歴をマルチメディアシステムへ自動転送する機能を ON/OFF に設定できます。</p> <p>無効から有効に設定を変更すると、電話帳の自動転送が開始されます。</p> <p>一部の携帯電話モデルではお気に入りを転送できません。</p> |
| [Display contact images] | <p>連絡先画像の表示を有効／無効にします。</p> <p>[Sync contacts] が ON でないと連絡先画像はマルチメディアシステムにダウンロードできません。</p> |

— 関連リンク —

[Bluetooth® 機器使用上の留意事項 \(P.98\)](#)

[Bluetooth® 仕様、対応プロファイル \(P.100\)](#)

[ハンズフリー電話についての留意事項 \(P.196\)](#)

[Bluetooth® オーディオの再生についての留意事項 \(P.186\)](#)

[Apple CarPlay および Android Auto 使用上の留意事項 \(P.116\)](#)

[Bluetooth® 機器をメイン機器に設定する \(P.109\)](#)

*1: この機能は一部の地域では利用できません。

Bluetooth®機器をサブ機器に設定する (P.110)

ユーザープロファイルの登録 (P.46)

ユーザープロファイルの変更および登録 (P.53)

3-1. Bluetooth®機能の使い方

| | |
|------------------------------------|-----|
| Bluetooth®機器使用上の留意事項 | 98 |
| Bluetooth®仕様、対応プロファイル | 100 |
| Bluetooth®機器をマルチメディアシステムから登録する ... | 102 |
| Bluetooth®機器の登録を削除する | 105 |
| Bluetooth®機器との接続 | 106 |
| Bluetooth®機器をメイン機器に設定する | 109 |
| Bluetooth®機器をサブ機器に設定する | 110 |

3-2. Wi-Fi®ネットワークへの接続

| | |
|----------------------|-----|
| Wi-Fi®機器使用時の留意事項 ... | 111 |
| Wi-Fi®に接続する | 113 |

3-3. Apple CarPlay/Android Autoの使い方

| | |
|---|-----|
| Apple CarPlay および Android Auto 使用上の留意事項 | 116 |
| 未登録のスマートフォンで Apple CarPlay を使用する | 119 |
| 登録済みスマートフォンで Apple CarPlay を使用する | 122 |
| 未登録のスマートフォンで Android Auto を使用する | 125 |
| 登録済みスマートフォンで Android Auto を使用する | 128 |
| Apple CarPlay/Android Auto が故障したとお考えになる前に | 131 |

Bluetooth[®]機器使用上の留意事項

Bluetooth[®]機器をマルチメディアシステムで使用するときに、特に気を付けていただきたいことがあります。

□ 知識

- この車両は、2.4GHz 帯で Bluetooth[®]通信を使用しています。性能はさまざまな要因により変動する場合があります。
- Bluetooth[®]と同じ 2.4GHz 帯無線通信を使用する Wi-Fi[®]と同時使用する場合には、相互に影響を与える可能性があります。
- Bluetooth[®]と Wi-Fi[®]が相互に干渉することで、互いに画像の乱れや音飛び、通信速度の低下などの現象が発生することがあります。
Bluetooth[®]機器を接続した状態であれば干渉による影響が軽減されるため、Bluetooth[®]機器を登録している場合は、登録機器と接続すると問題が改善する可能性があります。(Bluetooth[®]機器が接続されているかどうかは、マルチメディアシステム画面のステータスアイコンで確認できます)
- Bluetooth[®]携帯電話と他の無線機器を同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。
- Apple CarPlay がワイヤレス接続 (2.4GHz Wi-Fi[®]) されている間は、マルチメディアシステムの Bluetooth[®]機能は使用できません。
- Wi-Fi[®]機能 (Wi-Fi[®]と Miracast[®]) は同じ 2.4GHz 帯を使用します。同時に Bluetooth[®]機器を使用すると、それぞれの通信に悪影響を及ぼす可能性があります。Wi-Fi[®]機能を OFF にすると問題なく使用できます。
- Bluetooth[®]機器は、Bluetooth[®]接続により電池が早く消耗します。
- 緊急通報中は、Bluetooth[®]接続が切断されます。緊急通報終了後に切断された Bluetooth[®]機器が再接続されます。

▲ 警告

- 携帯電話をハンズフリー電話で使用する場合、安全のため、運転者は運転中に携帯電話本体を操作しないでください。
- 安全な場所に停車して電話をかけてください。運転中に電話がかかってきたときは、安全運転に留意し、通話は手短かにしてください。

▲ 注意

- Bluetooth[®]機器をマルチメディアシステムに近づけて使用しないでください。近づけすぎると、音質が劣化したり、接続状態が悪化することがあります。
- 携帯電話は車室内に放置しないでください。車室内が高温のときに携帯電話が故障するおそれがあります。

■ ペースメーカーやその他の医療用電気機器をお使いの方は

Bluetooth®通信時の電波について、次の点にご注意ください。

▲ 警告

- Bluetooth®通信の車両アンテナはマルチメディアシステムに内蔵されています。
- 植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器をお使いの方は、Bluetooth®アンテナとの間に十分な距離を保ってください。電波がこれらの機器の動作に影響を与える場合があります。
- 植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用される場合は、電波による影響について医師や医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。電波により医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

■ Bluetooth®オーディオと同時に使用するとき

- Bluetooth®オーディオとハンズフリー電話とで異なる Bluetooth®対応機器（携帯電話）を同時に使用するときは、次のような場合があります。
- Bluetooth®オーディオを再生中にハンズフリー電話で使用する通信機器の選択を変更した場合、再生される音声途切れることがあります。
- 連絡先データ転送中は、ポータブル機の接続が切断されることがあります。この場合、転送が終了すると再接続されます。（機種によっては、再接続できないことがあります）
- ハンズフリー接続とオーディオ接続の両方に対応している携帯電話でも、ハンズフリー接続とオーディオ接続を同時に接続できない場合があります。
- このシステムで動作が確認されている特定機器の一覧は、トヨタ販売店で確認してください。

— 関連リンク —

[Wi-Fi®機器使用時の留意事項 \(P.111\)](#)

[Bluetooth®オーディオの再生についての留意事項 \(P.186\)](#)

[ハンズフリー電話についての留意事項 \(P.196\)](#)

[Miracast®再生時の留意事項 \(P.190\)](#)

[ステータスアイコンの見方 \(P.17\)](#)

Bluetooth®仕様、対応プロファイル

マルチメディアシステムは次の仕様、対応プロファイルをサポートしています。すべての Bluetooth®端末において動作を保証しているわけではありません。

▶ タイプ A

■ 対応 Bluetooth®仕様

Bluetooth® Core Specification Ver. 5.0

■ 対応プロファイル

- HFP（ハンズフリープロファイル）対応バージョン：Ver. 1.7.2
携帯電話を使用してハンズフリー通話を可能にするプロファイルです。発信および着信機能があります。
- PBAP（電話帳アクセスプロファイル）対応バージョン：Ver. 1.2.3
連絡先データや通話履歴などのデータを同期するためのプロファイル
- OPP（Object Push Profile）対応バージョン：Ver. 1.2.1
連絡先データ転送用プロファイル
- SPP（シリアルポートプロファイル）対応バージョン：Ver. 1.2
 - Bluetooth®搭載機器を仮想シリアルポート化するためのプロファイル
 - スマートフォンをリンクするためのプロファイル
- A2DP（高品質オーディオ配信プロファイル）対応バージョン：Ver. 1.3.2
ステレオ音声または高音質音声をオーディオシステムに送信するためのプロファイルです。
- AVRCP（オーディオ/ビデオリモートコントロールプロファイル）対応バージョン：Ver. 1.6.2
オーディオをリモート制御するためのプロファイルです。

▶ タイプ B

■ 対応 Bluetooth®仕様

Bluetooth® Core Specification Ver. 5.0

■ 対応プロファイル


- HFP（Hands Free Profile）サポートしているバージョン：Ver. 1.8
携帯電話を使用してハンズフリー通話を可能にするプロファイルです。発信および着信機能があります。
- PBAP（電話帳アクセスプロファイル）対応バージョン：Ver. 1.2.3
連絡先データや通話履歴などのデータを同期するためのプロファイル
- OPP（Object Push Profile）対応バージョン：Ver. 1.2.1

連絡先データ転送用プロファイル

- MAP（メッセージアクセスプロファイル）対応バージョン：Ver. 1.4.2
電話のメッセージ機能を使用するためのプロファイルです。
- SPP（シリアルポートプロファイル）対応バージョン：Ver. 1.2
 - Bluetooth[®]搭載機器を仮想シリアルポート化するためのプロファイル
 - スマートフォンをリンクするためのプロファイル
- A2DP（高品質オーディオ配信プロファイル）対応バージョン：Ver. 1.3.2
ステレオ音声または高音質音声をオーディオシステムに送信するためのプロファイルです。
- AVRCP（オーディオ/ビデオリモートコントロールプロファイル）対応バージョン：Ver. 1.6.2
オーディオをリモート制御するためのプロファイルです。

Bluetooth®機器をマルチメディアシステムから登録する

ハンズフリー電話や Bluetooth®オーディオを使用するためには、携帯電話／ポータブル機をマルチメディアシステムに登録する必要があります。登録完了後は、マルチメディアシステムを起動するたびに自動で Bluetooth®接続されます。Apple CarPlay／Android Auto 接続時は、機器が自動的に登録されます。

Bluetooth®機器が1台も接続されていない場合、ステアリングの  スイッチを押し続けることでも登録画面を表示できます。

知識

- 携帯電話を、ハンズフリー電話と Bluetooth®オーディオとして登録できます。
- Bluetooth®機器は、5台まで登録できますが、ハンズフリー電話として使用できるのは最大2台までです。(ハンズフリー電話を2台接続するには、ドライバーの特定が必要です。) *1
- Bluetooth®機器の操作方法については、Bluetooth®機器の取扱説明書を参照してください。
- 複数の Bluetooth®機器を使用する場合は、機器の数だけ登録を繰り返してください。
- PIN コードは、Bluetooth®機器をマルチメディアシステムに登録するために使用される確認コードです。
- 携帯電話の設定によっては、接続後にダイヤルロックがかかることがあります。携帯電話のオートロック機能を解除して使用してください。
- 携帯電話やポータブル機を接続しているときに、他の機器を登録する場合、オーディオ再生しているポータブル機、または携帯電話の接続が切断されます。
- Miracast® 使用中に Bluetooth®機器を登録すると音声途切れる場合があります。
- 走行中は安全のため、機器を登録できません。
- Bluetooth®機器の登録がうまくいかない場合、Bluetooth®機器を再起動してください。

1 メインメニューの  にタッチします。

2 [Bluetooth & Devices] をサブメニューで選択します。

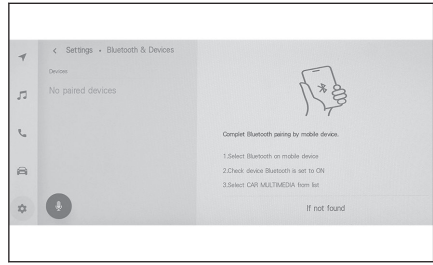
1台も機器登録をしていない場合は、手順4へ進んでください。

3 [Add another device]をタッチします。

機器がマルチメディアシステムに接続中のとき、機器を切断するための確認画面が表示される場合があります。登録をするためには、接続を切断してください。

*1: この機能は一部の地域では利用できません。

4 [If not found] を選択します。



5 メインエリアから登録する機器にタッチします。

- 機器名ではなく、Bluetooth® アドレスで表示される場合があります。
- 登録する機器がメインエリアに表示されない場合は、Bluetooth® 機器から登録を試してください。
- Bluetooth® 機器の機種により、特定の画面を Bluetooth® 機器で表示させないと、追加機器のリストに表示されない場合があります。詳しくは Bluetooth® 機器に添付の取扱説明書をご覧ください。

6 表示されている PIN コードが、Bluetooth® 機器に表示される PIN コードと同じことを確認し、[OK]にタッチします。

- 登録する機種によっては Bluetooth® 機器での操作が必要な場合があります。
- メイン機器の設定がされていないドライバーの場合、HFP 対応した Bluetooth® 機器を登録すると、自動的にその機器がメイン機器に設定されます。*1
- Apple CarPlay 設定が表示される場合があります。使用が有効になっている場合は Apple CarPlay 画面が表示されます。
- 接続完了のメッセージが表示され、サブメニューに登録した Bluetooth® 機器の名称が表示されます。
- 失敗画面が表示されたときは、画面の案内に従って操作してください。

— 関連リンク —

[ユーザープロファイルの登録 \(P.46\)](#)

[ユーザープロファイルの変更および登録 \(P.53\)](#)

[Apple CarPlay および Android Auto 使用上の留意事項 \(P.116\)](#)

Bluetooth® 機器からの登録

マルチメディアシステムで Bluetooth® 機器を検索しても見つからない場合に、Bluetooth® 機器からマルチメディアシステムを検索して登録します。

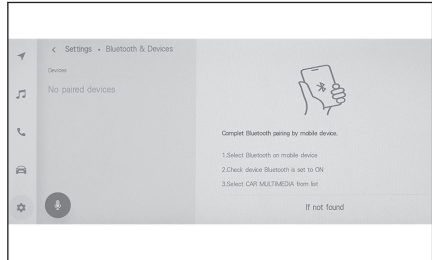
- 1 メインメニューの [⚙️] にタッチします。
- 2 [Bluetooth & Devices] をサブメニューで選択します。
1 台も機器登録をしていない場合は、手順 4 へ進んでください。
- 3 [Add another device] をタッチします。

*1: この機能は一部の地域では利用できません。

機器がマルチメディアシステムに接続中のとき、機器を切断するための確認画面が表示される場合があります。登録をするためには、接続を切断してください。

4 使用する Bluetooth®機器からマルチメディアシステムを登録します。

- Bluetooth®機器の操作手順に従って操作してください。
- Bluetooth®機器からの登録操作は、必ずこの Bluetooth®接続画面を表示させて行ってください。



5 表示されている PIN コードが、Bluetooth®機器に表示される PIN コードと同じことを確認し、[OK]にタッチします。

- 登録する機種によっては Bluetooth®機器での操作が必要な場合があります。
- メイン機器の設定がされていないドライバーの場合、HFP 対応した Bluetooth®機器を登録すると、自動的にその機器がメイン機器に設定されます。 *1
- Apple CarPlay 設定が表示される場合があります。使用が有効になっている場合は Apple CarPlay 画面が表示されます。
- 接続完了のメッセージが表示され、サブメニューに登録した Bluetooth®機器の名称が表示されます。
- 失敗画面が表示されたときは、画面の案内に従って操作してください。

関連リンク

[ユーザープロファイルの登録 \(P.46\)](#)


[ユーザープロファイルの変更および登録 \(P.53\)](#)

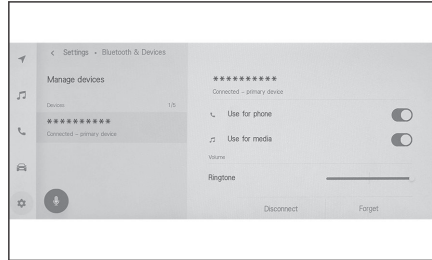
[Apple CarPlay および Android Auto 使用上の注意事項 \(P.116\)](#)

*1: この機能は一部の地域では利用できません。

Bluetooth[®]機器の登録を削除する

登録済みの Bluetooth[®]機器を削除できます。

- 1 メインメニューの [] にタッチします。
- 2 [Bluetooth & Devices] をサブメニューで選択します。
- 3 削除する Bluetooth[®] 機器をサブメニューから選択します。
- 4 [Forget] をタッチします。
他ユーザーのプライマリ機器 *1 は削除できません。
- 5 [Forget] をタッチします。



知識

- 緊急通報中は、携帯電話の登録を削除できません。
- Bluetooth[®]機器の状態によっては、1回目で削除できない場合があります。

関連リンク

[Bluetooth[®] 機器をメイン機器に設定する \(P.109\)](#)

[ユーザープロファイルの登録 \(P.46\)](#)

[ユーザープロファイルの変更および登録 \(P.53\)](#)

*1: この機能は一部の地域では利用できません。

Bluetooth®機器との接続

Bluetooth®機器との接続は、マルチメディアシステムのさまざまな機能を利用する上で必要になります。接続方法は、自動と手動の2通りの方法があります。

□ 知識

- Refer to the Bluetooth®機器側の操作については、Bluetooth®機器に添付の取扱説明書をご覧ください。
- 携帯電話接続時の動作が不安定な場合は、一度通話を切り、再度接続してください。
- Bluetooth®機器の Bluetooth®接続機能が ON になっていないと接続できません。
- Bluetooth®機器の接続が完了すると、接続完了のメッセージが画面上部に表示されます。
- Bluetooth®機器接続中は、Bluetooth®接続中のステータスアイコンが表示されます。
- 携帯電話の機種によってはパワースイッチが ON のときに表示部の照明がついたままになることがあります。この場合、携帯電話本体で照明を OFF に設定してください。（設定については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください）
- Apple CarPlay で接続中の機器は、Bluetooth®機能が使用できません。
- Android Auto で接続中の機器は、ハンズフリー電話以外の Bluetooth®機能が使用できません。
- Miracast® 使用中に Bluetooth® 機器を接続すると音声途切れる場合があります。

■ Bluetooth®接続の再接続について

パワースイッチが ON のときに、一度接続が成立した Bluetooth®接続が切断された場合は、接続処理を自動的にを行います。

■ Bluetooth®機器の接続数について

- ドライバーが設定されているとき *1
最大で2台のハンズフリー電話と1台のオーディオ機器を自動で接続します。（ハンズフリー電話とオーディオ機器は同一機器を設定することもできます）
- ドライバーが設定されていないとき
最大で1台のハンズフリー電話と1台のオーディオ機器を自動で接続します。（ハンズフリー電話とオーディオ機器は同一機器を設定することもできます）

□ 知識

- 再接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。

*1: この機能は一部の地域では利用できません。

- Apple CarPlay が接続されている場合は、Bluetooth®接続の再接続ができない場合があります。

— 関連リンク —

- [ステータスアイコンの見方 \(P.17\)](#)
- [ユーザープロファイルの登録 \(P.46\)](#)
- [ユーザープロファイルの変更および登録 \(P.53\)](#)
- [Bluetooth®機器の手動接続 \(P.107\)](#)

Bluetooth®機器の自動接続

パワースイッチを OFF から ON にするたびに、マルチメディアシステムは決められた優先順位で Bluetooth®機器に自動で接続します。*1

- ドライバーが設定されているとき*2
 - メイン機器、サブ機器、接続履歴の新しい順に自動で接続します。
 - 最大で 2 台のハンズフリー電話と 1 台のオーディオ機器を自動で接続します。(ハンズフリー電話とオーディオ機器は同一機器を設定することもできます)
- ドライバーが設定されていないとき
 - 接続履歴の新しい順に自動で接続します。
 - 最大で 1 台のハンズフリー電話と 1 台のオーディオ機器を自動で接続します。(ハンズフリー電話とオーディオ機器は同一機器を設定することもできます)

再接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。

知識

Bluetooth®機器の機種によっては、Bluetooth®機器の操作が必要な場合があります。

— 関連リンク —

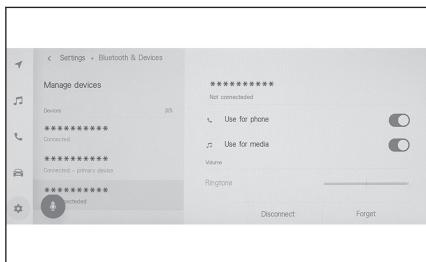
- [ユーザープロファイルの登録 \(P.46\)](#)
- [ユーザープロファイルの変更および登録 \(P.53\)](#)
- [Bluetooth®機器をメイン機器に設定する \(P.109\)](#)
- [Bluetooth®機器をサブ機器に設定する \(P.110\)](#)

Bluetooth®機器の手動接続

自動接続ができなかったときや別の Bluetooth®機器に接続したいときに、登録済みの Bluetooth®機器と接続できます。

- *1: [Disconnect]ボタンなどで手動で切断した機器は自動接続の対象にはなりません。
- *2: この機能は一部の地域では利用できません。

- 1 メインメニューの [] にタッチします。
- 2 [Bluetooth & Devices] をサブメニューで選択します。
登録済み Bluetooth®機器がない場合、メインエリアに機器検索画面が表示されます。Bluetooth®機器を登録してください。
- 3 サブメニューで接続する Bluetooth®機器にタッチします。
サブメニューに接続する Bluetooth®機器が見当たらない場合は、Bluetooth®機器を登録してください。
- 4 メインエリアの接続したい機能（電話、オーディオなど）を ON にします。



知識


Bluetooth®機器の状態によっては、1回目で接続できない場合があります。この場合はしばらくしてから再度接続してください。

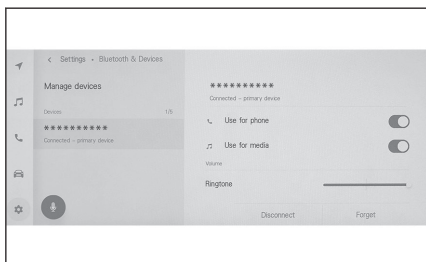
— 関連リンク —

[Bluetooth®機器をマルチメディアシステムから登録する \(P.102\)](#)

Bluetooth®機器の切断

すでに接続している Bluetooth®機器をマルチメディアシステムから切断できます。

- 1 メインメニューの [] にタッチします。
- 2 [Bluetooth & Devices] をサブメニューで選択します。
- 3 サブメニューで切断する Bluetooth®機器にタッチします。
- 4 メインエリアから [Disconnect] にタッチします。




Bluetooth® 機器をメイン機器に設定する *1

Bluetooth®機器をメイン機器に設定することで、自動接続のときに最優先で接続できます。

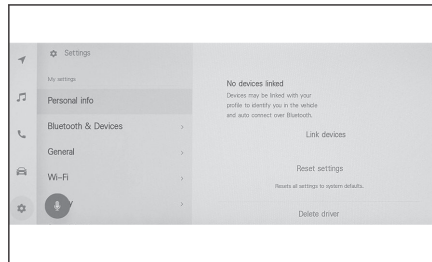
- HFP に対応した Bluetooth®機器を、マルチメディアシステムに接続しておく必要があります。
- メイン機器を設定するには、ドライバーの登録が必要です。

□ 知識

他のドライバーにメイン機器として設定されている Bluetooth®機器をメイン機器にすることはできません。

- 1 メインメニューの [] にタッチします。
- 2 [Personal info] をサブメニューで選択します。
- 3 メインエリアから [Link devices] または [Change link devices] を選択します。

メイン機器に設定可能な Bluetooth®機器が接続されていない場合は、機器検索画面が表示されます。設定する機器を検索し、マルチメディアシステムに新規登録してください。新規登録したときに、メイン機器に設定できます。



- 4 メイン機器にする Bluetooth®機器を選択します。

現在接続している Bluetooth®機器を切断し、メイン機器とサブ機器に接続します。

— 関連リンク —

[Bluetooth®機器の自動接続 \(P.107\)](#)

[ユーザープロファイルの登録 \(P.46\)](#)

[ユーザープロファイルの変更および登録 \(P.53\)](#)

[Bluetooth® 機器を設定する \(P.92\)](#)


[Bluetooth®機器をマルチメディアシステムから登録する \(P.102\)](#)

*1: この機能は一部の地域では利用できません。

Bluetooth®機器をサブ機器に設定する^{*1}

Bluetooth®機器をサブ機器に設定することで、接続したときにサブ機器として認識されます。

- ドライバーのメイン機器とサブ機器を、同じ Bluetooth®機器にすることはできません。
- HFP に対応した Bluetooth®機器を、マルチメディアシステムに接続しておく必要があります。
- サブ機器を設定するには、ドライバーの登録が必要です。

1 メインメニューの [] にタッチします。

2 [Bluetooth & Devices] をサブメニューで選択します。

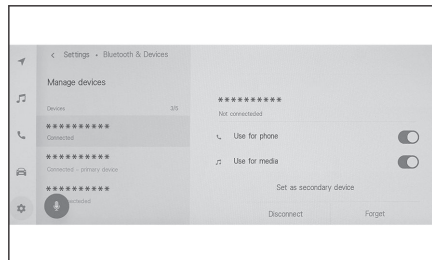
Bluetooth®機器が登録されていない場合は、機器検索画面が表示されます。Bluetooth®機器を登録してください。

3 サブ機器に設定する Bluetooth®機器にタッチします。

設定する Bluetooth®機器が見当たらない場合は、Bluetooth®機器の登録を行ってください。

4 メインエリアから [Set as secondary device] にタッチします。

サブ機器としてすでに設定されている場合、[Remove secondary device setting]にかわります。



関連リンク

[Bluetooth®機器の自動接続 \(P.107\)](#)

[ユーザープロファイルの登録 \(P.46\)](#)

[ユーザープロファイルの変更および登録 \(P.53\)](#)

[Bluetooth®機器を設定する \(P.92\)](#)

*1: この機能は一部の地域では利用できません。

Wi-Fi®機器使用時の留意事項

マルチメディアシステムの Wi-Fi®を利用するとき、特に気を付けていただきたいことがあります。

■ ペースメーカーやその他の医療用電気機器をお使いの方は

Wi-Fi®通信時の電波に関する注意事項を守ってください。

▲ 警告

- 安全かつ法的に許可された場合のみ Wi-Fi®機器を使用してください。
- Wi-Fi®通信の車両アンテナはマルチメディアシステムに内蔵されています。
- 植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器をお使いの方は、Wi-Fi®アンテナとの間に十分な距離を保ってください。

電波がこれらの機器の動作に影響を与える場合があります。

- Wi-Fi®機器を使用する前に、植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用される場合は、電波による影響について医師や医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。

電波がこれらの医療機器の動作に予期せぬ影響を与える場合があります。

■ Wi-Fi®と Bluetooth®を同時に使用する

車両は Bluetooth®と同じ周波数である 2.4GHz Wi-Fi®を使用します。両方を同時に使用すると、互いに干渉し、性能低下や接続不具合を引き起こす可能性があります。

■ Wi-Fi®について知っておいていただきたいこと

□ 知識

- 性能は周囲の環境や電氣的要因によって異なる場合があります。
- 本機能は持ち込み機器との接続にてご利用ください。持ち込み機器以外の接続を行っている場合、環境によって切断される可能性があります。
- Wi-Fi®エリアから離れると通信が切断されます。
- 車両がラジオアンテナ、ラジオ局、またはその他の強い電波や電気ノイズの発生源の近くにある場合、通信速度が遅くなったり通信不可になる場合があります。
- お客様のご利用環境（無線アンテナの設置場所、近隣での各種無線機器利用など）により、通信速度が低下したり本サービスをご利用いただけないことがあります。

対応 Wi-Fi®通信プロトコル

IEEE 802.11b/g/n (2.4GHz)

IEEE 802.11a/n/ac (5GHz)*1

対応セキュリティ方式

- WEP
- WPA™
- WPA2™
- WPA3™

関連リンク

[ステータスアイコンの見方 \(P.17\)](#)

[Wi-Fi® 設定の変更 \(P.90\)](#)

[Bluetooth® 機器使用上の留意事項 \(P.98\)](#)

[Miracast® 再生時の留意事項 \(P.190\)](#)

[Web ブラウザ \(インターネット\) 機能について \(P.234\)](#)

*1: この機能は一部の地域では利用できません。

Wi-Fi®に接続する

マルチメディアシステムを Wi-Fi®ネットワークに接続することでインターネットに接続できます。

知識


- 受信レベルは画面上部に表示されます。
- Apple CarPlay がワイヤレス接続されている場合、この機能は使用できません。
- 一部のスマートフォンでは毎回接続設定が必要な場合があります。
- Wi-Fi®機能が ON の状態でネットワークが検出されると、直近に接続したネットワークへの自動接続が優先されます。

関連リンク

[Wi-Fi® 設定の変更 \(P.90\)](#)

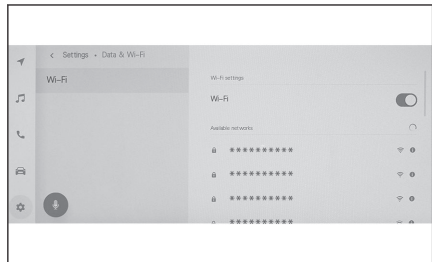
スマートフォンを使用した Wi-Fi®接続

Wi-Fi®テザリングに対応したスマートフォンで、以下の操作例を参考に Wi-Fi®接続を行ってください。テザリングの設定方法については、スマートフォンの取扱説明書などを参照してください。スマートフォンの機種によっては、毎回接続が必要な場合があります。

- 1 メインメニューの [] にタッチします。
- 2 [Wi-Fi] ([Data & Wi-Fi]) をサブメニューで選択します。

- 3 メインエリアの[Wi-Fi]を ON にします。

- マルチメディアシステムの設定によってはメッセージが表示されます。画面の案内にしたがって操作してください。
- [Wi-Fi]を ON にすると、利用可能な近くのネットワークが表示されます。



- 4 スマートフォンが送信しているネットワーク名と一致するネットワーク名を選択してください。

- 同じネットワーク名を持つ複数の MAC アドレスがある場合は重複表示されることがあります。
- 最大 30 件までネットワークを表示できます。リストは 6 秒ごとに自動更新されます。
- 同じネットワーク名 (SSID) を使用している機器が複数ある場合、使用する機器を識別できません。複数の機器を使用する場合は異なるネットワーク名 (SSID) を使用してください。

- 走行中はネットワークの選択はできません。

5 対象ネットワークのパスワードを入力してください。

- パスワードが設定されていない場合は、ネットワーク選択後に接続されます。
- 自動接続設定が ON の場合、検出されたネットワークには自動的に接続されます。


□ 知識

ネットワーク接続履歴は最大 20 件まで保存され、新しい履歴を保存すると最も古い履歴が削除されます。

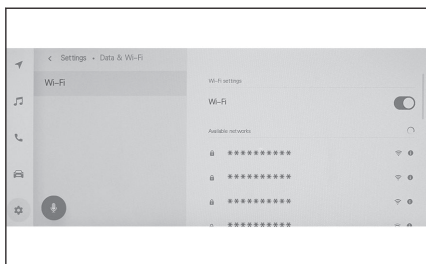
利用可能なネットワークへの Wi-Fi®接続

近くのネットワークから Wi-Fi®を使用してインターネットに接続します。


使用するネットワークのパスワードを事前に確認してください。

- 1 メインメニューの [] にタッチします。
- 2 [Wi-Fi] ([Data & Wi-Fi]) をサブメニューで選択します。
- 3 メインエリアで [Wi-Fi] を ON にします。

- マルチメディアシステムの設定によってはメッセージが表示されます。画面の案内にしたがって操作してください。
- [Wi-Fi] を ON にすると、利用可能な近くのネットワークが表示されます。



4 メインエリアの [Available networks] から接続するネットワークをタッチ

- 同じネットワーク名を持つ複数の MAC アドレスがある場合は重複表示されることがあります。
- 最大 30 件までネットワークを表示できます。リストは 6 秒ごとに自動更新されます。
- 同じネットワーク名 (SSID) を使用している機器が複数ある場合、使用する機器を識別できません。複数の機器を使用する場合は異なるネットワーク名 (SSID) を使用してください。
- 走行中はネットワークの選択はできません。
- 該当するネットワークの [] をタッチすると、ネットワークの詳細を確認できます。

5 対象ネットワークのパスワードを入力してください。


- パスワードが設定されていない場合は、ネットワーク選択後に接続されます。
- 自動接続設定が ON の場合、検出されたネットワークには自動的に接続されます。

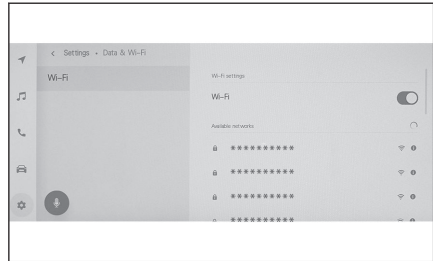
知識

ネットワーク接続履歴は最大 20 件まで保存され、新しい履歴を保存すると最も古い履歴が削除されます。

Wi-Fi®を切断する

Wi-Fi®機能を OFF にすることで Wi-Fi®を切断できます。

- 1 メインメニューの [] にタッチします。
- 2 [Wi-Fi] ([Data & Wi-Fi]) をサブメニューで選択します。
- 3 メインエリアで[Wi-Fi]を OFF に設定します



Apple CarPlay^{*1} および Android Auto^{*1} 使用上の留意事項

Apple CarPlay/Android Auto では、地図、電話、音楽などの一部のアプリケーションをマルチメディアシステムで使用できます。Apple CarPlay/Android Auto 接続中は、対応アプリケーションが表示されます。使用時は以下の情報に特に注意してください。

車で Android Auto を使用するには、Google Play Store™から Android Auto アプリをインストールしてください。

■ 対応機器

- Apple CarPlay 対応の Apple iPhone 機器 (iOS Ver.13.3 以降)

対応機器については <https://www.apple.com/ios/carplay/> でご確認ください。^{*2}

- Android Auto をサポートする Android™機器。

対応機器については <https://www.android.com/auto/> でご確認ください。^{*2}

□ 知識

- USB 接続の場合は、電話メーカーが提供するデータ通信用の USB ケーブルを使用してください。
- Apple CarPlay/Android Auto 接続中は、システムの一部のボタン機能がかわりません。
- Apple CarPlay/Android Auto を接続すると、Bluetooth®オーディオや電話などの一部機能が Apple CarPlay/Android Auto によって管理されます。
- Apple CarPlay がワイヤレス接続 (2.4GHz Wi-Fi®) されている間は、マルチメディアシステムの Bluetooth®機能は使用できません。
- Miracast® 使用中に Apple CarPlay または Android Auto を起動すると Miracast® が停止することがあります。
- [Sound & Media] 設定画面で案内音量を変更できます。オーディオシステムの音量調整でも変更可能です。
- Apple CarPlay/Android Auto を接続中に、もう一台の Apple CarPlay/Android Auto を使用することはできません。
- Apple CarPlay/Android Auto は、Apple 社/Google 社によって開発されたアプリケーションです。接続されている機器のオペレーティングシステム、ハードウェアおよびソフトウェア、または Apple CarPlay/Android Auto の仕様の変更により、その機能およびサービスは予告なしに終了または変更されることがあります。
- Apple CarPlay または Android Auto でサポートされているアプリケーションについては、それぞれの Web サイトをご覧ください。

*1: この機能は一部の地域では利用できません。

*2: 動作を保証しているわけではありません。

- Apple CarPlay/Android Auto を使用しているあいだ、場所や車速などの車両およびユーザー情報は、それぞれのアプリケーション発行元および携帯電話サービスプロバイダと共有されます。
- アプリケーションをダウンロードして使用することにより、それらの利用規約に同意したことになります。
- データはインターネットを介して送信され、料金が発生する可能性があります。データ通信料金については、携帯電話サービスプロバイダにお問い合わせください。
- アプリケーションによっては、音楽の再生など一部の機能が制限される場合があります。
- 各機能は他社が提供するアプリケーションであり、予告なく変更または中止することがあります。詳しくは、各機能の Web サイトをご覧ください。
- 車両のナビゲーションシステムでルート案内中に、Apple CarPlay/Android Auto 地図アプリを使用して新たにルート案内を開始した場合、車両のナビゲーションシステムのルート案内は終了します。Apple CarPlay/Android Auto 地図アプリでルート案内中に、車両のナビゲーションシステムを使用して新たにルート案内を開始した場合、Apple CarPlay/Android Auto 地図アプリのルート案内は終了します。
- Apple CarPlay で接続中の機器は、Bluetooth®機能が使用できません。
- Android Auto で接続中の機器は、ハンズフリー電話以外の Bluetooth®機能が使用できません。
- USB 接続の場合、接続中に USB ケーブルを抜くと Apple CarPlay または Android Auto が停止します。音声出力も停止し、画面はマルチメディアシステム画面に切り替わります。
- Android Auto を切断しても、電話接続は継続するため、ハンズフリー電話を使用することができます。

▲ 警告

安全のため、運転者は運転中にスマートフォン本体を操作しないでください。

⚠ 注意

- スマートフォンを車室内に放置しないでください。車室内が高温のときにスマートフォンが故障するおそれがあります。
- スマートフォンが接続されているときには、スマートフォンを押さえたり、不必要な圧力を加えたりしないでください。スマートフォンまたは端子が損傷する可能性があります。
- USB 端子に異物を入れしないでください。スマートフォンや端子が破損するおそれがあります。

— 関連リンク —

[オーディオの ON/OFF と音量を調整する \(P.31\)](#)

[サウンドやメディアの設定を変更する \(P.84\)](#)

[Bluetooth®機器使用上の留意事項 \(P.98\)](#)

[Wi-Fi® 機器使用時の留意事項 \(P.111\)](#)

[iPod/iPhone の再生についての留意事項 \(P.177\)](#)

[Apple CarPlay の再生についての留意事項 \(P.180\)](#)

[Android Auto の再生についての留意事項 \(P.183\)](#)

[Bluetooth® オーディオの再生についての留意事項 \(P.186\)](#)

[Miracast® 再生時の留意事項 \(P.190\)](#)

未登録のスマートフォンで Apple CarPlay を使用する

未登録のスマートフォンをマルチメディアシステムと接続して、Apple CarPlay を使用できます。登録済みスマートフォンの場合は、手順が異なります。

この機能は一部の地域では利用できません。

- Siri は Apple Inc.の商標であり、米国およびその他の国で登録されています。

関連リンク

[登録済みスマートフォンで Apple CarPlay を使用する \(P.122\)](#)

Apple CarPlay を USB 接続で使用する


マルチメディアシステムとスマートフォンをデータ通信用の USB ケーブルで接続することで、Apple CarPlay を使用できます。


- 1 スマートフォンの設定メニューから Siri を有効にします。
- 2 スマートフォンを USB 端子に接続します。

- Apple CarPlay のホーム画面が表示されます。
- 接続するスマートフォンによっては、もとの画面に戻るまでに約 3~6 秒かかることがあります。
- スマートフォンの画面に案内が表示された場合は、スマートフォンの案内に従って操作してください。

- 3 Apple CarPlay を操作します。


Apple CarPlay 対応アプリは、アプリをタッチして使用できます。

メインメニューを表示するには  をタッチします。

メインメニューを非表示にするには  をタッチします。



マルチメディアシステムの画面を表示します。

Apple CarPlay のホーム画面を再度表示するには、メインメニューから  をタッチします。





画面表示を切りかえます。

タッチし続けると Siri が起動します。



□ 知識


- Apple CarPlay 接続中にステアリングホイールの  スイッチを長押しすると Siri が起動します。Siri を終了するには、 スイッチを短く押します。
- Apple CarPlay が接続されている場合、Siri 起動ワードを話すと、Siri が起動します。^{*1}
Siri の起動ワード機能は、言語が日本語に設定されている場合のみ使用できます。また、接続する機器の iOS バージョンが 14.3 以降である必要があります。
- USB 接続で登録した時に、スマートフォン側でワイヤレス接続を使用する設定にした場合、次回からワイヤレス接続できるようになります。

— 関連リンク —

[USB 機器を接続する \(P.35\)](#)

Apple CarPlay をワイヤレス接続で使用する


Apple CarPlay は、車両のワイヤレス接続機能を使用して、マルチメディアシステムにワイヤレスで接続できます。


- 1 スマートフォンの設定メニューから Siri を有効にします。
- 2 メインメニューの  にタッチします。
- 3 [Bluetooth & Devices] をサブメニューで選択します。
 - マルチメディアシステムに登録済みのスマートフォンがない場合、機器検索画面が表示されます。手順 5 へ進んでください。
- 4 [Add another device] を選択します。
- 5 [If not found] を選択します。
- 6 登録するスマートフォンを選択します。
- 7 表示されている PIN コードが、スマートフォンに表示される PIN コードと同じことを確認し、[OK]にタッチします。
 - 画面の案内に従って操作してください。
- 8 Apple CarPlay 設定が表示されたら、[Yes]にタッチしてください。
 - Apple CarPlay のホーム画面が表示されます。
 - 接続するスマートフォンによっては、もとの画面に戻るまでに約 3~6 秒かかることがあります。
 - 失敗画面が表示されたときは、画面の案内に従って操作してください。
 - スマートフォンの画面に案内が表示された場合は、スマートフォンの案内に従って操作してください。

*1: この機能は一部の地域では利用できません。

9 Apple CarPlay を操作します。


Apple CarPlay 対応アプリは、アプリをタッチして使用できます。

メインメニューを表示するには [] をタッチします。

メインメニューを非表示にするには [] をタッチします。



マルチメディアシステムの画面を表示します。

Apple CarPlay のホーム画面を再度表示するには、メインメニューから [] にタッチします。





画面表示を切りかえます。

タッチし続けると Siri が起動します。



知識

- Apple CarPlay 接続中にステアリングホイールの [] スイッチを長押しすると Siri が起動します。Siri を終了するには、[] スイッチを短く押します。
- Apple CarPlay が接続されている場合、Siri 起動ワードを話すと、Siri が起動します。*¹

Siri の起動ワード機能は、言語が日本語に設定されている場合のみ使用できません。また、接続する機器の iOS バージョンが 14.3 以降である必要があります。

*1: この機能は一部の地域では利用できません。

登録済みスマートフォンで Apple CarPlay を使用する

登録済みスマートフォンをマルチメディアシステムと接続して、Apple CarPlay を使用できます。登録していないスマートフォンの場合は、手順が異なります。この機能は一部の地域では利用できません。

関連リンク

[未登録のスマートフォンで Apple CarPlay を使用する \(P.119\)](#)

Apple CarPlay を USB 接続で使用する

マルチメディアシステムとスマートフォンをデータ通信用の USB ケーブルで接続することで、Apple CarPlay を使用できます。

- スマートフォンがマルチメディアシステムに登録されているかご確認ください。
- 1 スマートフォンの設定メニューから Siri を有効にします。
 - 2 スマートフォンを USB 端子に接続します。
 - Apple CarPlay のホーム画面が表示されます。
 - 接続するスマートフォンによっては、もとの画面に戻るまでに約 3~6 秒かかることがあります。
 - 失敗画面が表示されたときは、画面の案内に従って操作してください。
 - スマートフォンの画面に案内が表示された場合は、スマートフォンの案内に従って操作してください。
 - Apple CarPlay のホーム画面が表示されなかった場合は、以下をご確認ください。
 - ・メインメニューから [C] をタッチします。
 - ・メインメニューの [C] が表示されない場合は、Apple CarPlay で使用するスマートフォンを選択し、[Use for Apple CarPlay] を ON に設定してください。
 - ・画面の案内に従って操作してください。
 - 3 Apple CarPlay を操作します。

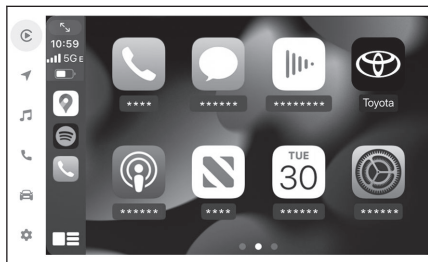
Apple CarPlay 対応アプリは、アプリをタッチして使用できます。

メインメニューを表示するには [↖] をタッチします。

メインメニューを非表示にするには [↗] をタッチします。



マルチメディアシステムの画面を表示します。





Apple CarPlay のホーム画面を再度表示するには、メインメニューから [C] をタッチします。



画面表示を切りかえます。

タッチし続けると Siri が起動します。

知識

- Apple CarPlay 接続中にステアリングホイールの  スイッチを長押しすると Siri が起動します。Siri を終了するには、 スイッチを短く押します。
- Apple CarPlay 接続中に Siri の起動ワードを話すと Siri が起動します。^{*1}
Siri の起動ワード機能は、言語が日本語に設定されている場合のみ使用できます。また、接続する機器の iOS バージョンが 14.3 以降である必要があります。



関連リンク

[USB 機器を接続する \(P.35\)](#)

[Bluetooth® 機器を設定する \(P.92\)](#)

Apple CarPlay をワイヤレス接続で使用する


Apple CarPlay は、車両のワイヤレス接続機能を使用して、マルチメディアシステムにワイヤレスで接続できます。


- スマートフォンがマルチメディアシステムに登録されているかご確認ください。
- 1 スマートフォンの設定メニューから Siri を有効にします。
 - 2 メインメニューの  にタッチします。
 - 3 [Bluetooth & Devices] をサブメニューで選択します。
 - 4 Apple CarPlay を使用するスマートフォンを選択し、[Use for Apple CarPlay]を ON にします。
 - Apple CarPlay のホーム画面が表示されます。
 - 接続するスマートフォンによっては、もとの画面に戻るまでに約 3~6 秒かかることがあります。
 - 失敗画面が表示されたときは、画面の案内に従って操作してください。
 - スマートフォンの画面に案内が表示された場合は、スマートフォンの案内に従って操作してください。
 - Apple CarPlay のホーム画面が表示されない場合は、メインメニューから  にタッチします。

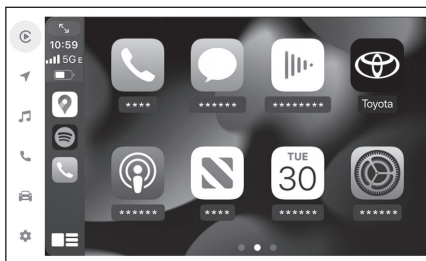
*1: この機能は一部の地域では利用できません。

5 Apple CarPlay を操作します。


Apple CarPlay 対応アプリは、アプリをタッチして使用できます。

メインメニューを表示するには [] をタッチします。

メインメニューを非表示にするには [] をタッチします。



マルチメディアシステムの画面を表示します。



Apple CarPlay のホーム画面を再度表示するには、メインメニューから [] をタッチします。



画面表示を切りかえます。

タッチし続けると Siri が起動します。

知識

- Apple CarPlay 接続中にステアリングホイールの [] スイッチを長押しすると Siri が起動します。Siri を終了するには、[] スイッチを短く押します。
- Apple CarPlay が接続されている場合、Siri 起動ワードを話すと、Siri が起動します。*1

Siri の起動ワード機能は、言語が日本語に設定されている場合のみ使用できません。また、接続する機器の iOS バージョンが 14.3 以降である必要があります。

関連リンク

[Bluetooth® 機器を設定する \(P.92\)](#)

*1: この機能は一部の地域では利用できません。

未登録のスマートフォンで Android Auto を使用する

未登録のスマートフォンをマルチメディアシステムに接続すると Android Auto が使用できます。登録済みスマートフォンの場合は手順が異なります。

この機能は一部の地域では利用できません。

関連リンク

[登録済みスマートフォンで Android Auto を使用する \(P.128\)](#)

Android Auto を USB 接続で使用する


マルチメディアシステムとスマートフォンをデータ通信用の USB ケーブルで接続することで、Android Auto を使用できます。

- 1 接続するスマートフォンに Android Auto アプリケーションがインストールされていることを確認します。
- 2 スマートフォンを USB 端子に接続します。
 - Android Auto のホーム画面が表示されます。
 - 接続するスマートフォンによっては、もとの画面に戻るまでに約 3~6 秒かかることがあります。
 - スマートフォンの画面に案内が表示された場合は、スマートフォンの案内に従って操作してください。
- 3 Android Auto を操作します。

アプリケーションにタッチすることで、Android Auto でサポートされているアプリケーションを使用できます。

[]



マルチメディアシステム画面を表示します。Android Auto のホーム画面を再度表示するには、メインメニューから

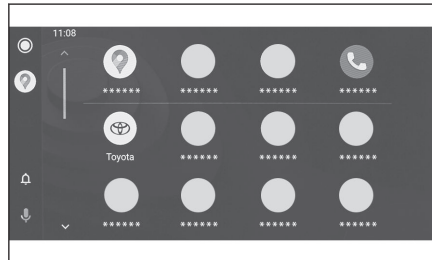
[] をタッチします。

[]

Google Assistant™を起動します。

知識

Android Auto 接続中に、ステアリングホイールの [] スイッチを長押しすると Google アシスタント™が起動します。Google アシスタント™を停止するには、ステアリングホイールの [] スイッチを短く押します。



関連リンク

[USB 機器を接続する \(P.35\)](#)

Android Auto をワイヤレス接続で使用する *1

Android Auto は、車両のワイヤレス接続機能を使用して、マルチメディアシステムにワイヤレスで接続できます。

1 接続するスマートフォンに Android Auto アプリケーションがインストールされていることを確認します。

2 メインメニューの [⚙️] をタッチします。

3 [Bluetooth & Devices] をサブメニューで選択します。

マルチメディアシステムに登録済みのスマートフォンがない場合、機器検索画面が表示されます。手順 5 へ進んでください。

4 [Add another device] をタッチします。

5 [If not found] を選択します。

6 登録するスマートフォンを選択します。

7 表示された PIN コードがスマートフォンに表示された PIN コードと一致していることを確認し、[OK] をタッチします。

● 画面の案内に従って操作してください。

8 Android Auto 設定が表示された場合は、[Yes] をタッチします。

● Android Auto のホーム画面が表示されます。

● 接続するスマートフォンによっては、もとの画面に戻るまでに約 3~6 秒かかることがあります。

● 失敗画面が表示されたときは、画面の案内に従って操作してください。

9 Android Auto を操作します。

アプリケーションにタッチすることで、Android Auto でサポートされているアプリケーションを使用できます。

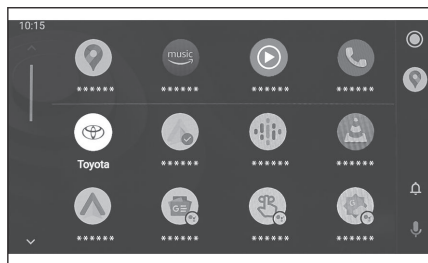
[📶]

マルチメディアシステム画面を表示します。Android Auto のホーム画面を再度表示するには、メインメニューから

[📶] をタッチします。



[🗣️]

Google Assistant™ を起動します。



*1: この機能は一部の地域では利用できません。

 知識

Android Auto 接続中に、ステアリングホイールの  スイッチを長押しすると Google アシスタント™が起動します。Google アシスタント™を停止するには、ステアリングホイールの  スイッチを短く押します。

登録済みスマートフォンで Android Auto を使用する

登録済みスマートフォンをマルチメディアシステムと接続して、Android Auto を使用できます。登録していないスマートフォンの場合は、手順が異なります。

この機能は一部の地域では利用できません。

関連リンク

[未登録のスマートフォンで Android Auto を使用する \(P.125\)](#)

Android Auto を USB 接続で使用する

マルチメディアシステムとスマートフォンをデータ通信用の USB ケーブルで接続することで、Android Auto を使用できます。

- スマートフォンがマルチメディアシステムに登録されているかご確認ください。
- 1 **接続するスマートフォンに Android Auto アプリケーションがインストールされていることを確認します。**
 - 2 **スマートフォンを USB 端子に接続します。**
 - Android Auto のホーム画面が表示されます。
 - 接続するスマートフォンによっては、もとの画面に戻るまでに約 3~6 秒かかることがあります。
 - 失敗画面が表示されたときは、画面の案内に従って操作してください。
 - スマートフォンの画面に案内が表示された場合は、スマートフォンの案内に従って操作してください。
 - Android Auto のホーム画面が表示されなかった場合は、以下をご確認ください。
 - ・メインメニューの [▲] をタッチします。
 - ・メインメニューの [▲] が表示されない場合は、Android Auto で使用するスマートフォンを選択し、[Use for Android Auto] を ON にしてください。

- 3 **Android Auto を操作します。**

アプリケーションにタッチすることで、Android Auto でサポートされているアプリケーションを使用できます。

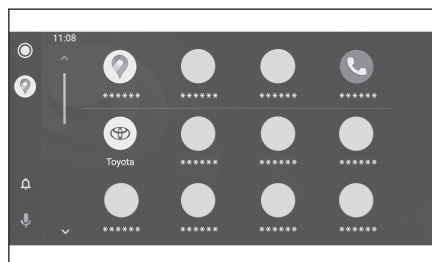
[🚗]

マルチメディアシステム画面を表示します。Android Auto のホーム画面を再度表示するには、メインメニューから



[▲] にタッチします。

[🗣️]

Google Assistant™を起動します。



□ 知識

Android Auto 接続中に、ステアリングホイールの  スイッチを長押しすると Google アシスタント™ が起動します。Google アシスタント™ を停止するには、ステアリングホイールの  スイッチを短く押します。



— 関連リンク —

[USB 機器を接続する \(P.35\)](#)

[Bluetooth® 機器を設定する \(P.92\)](#)

Android Auto をワイヤレス接続で使用する *1

Android Auto は、車両のワイヤレス接続機能を使用して、マルチメディアシステムにワイヤレスで接続できます。


- スマートフォンがマルチメディアシステムに登録されているかご確認ください。
- 1 接続するスマートフォンに Android Auto アプリケーションがインストールされていることを確認します。
 - 2 メインメニューの  をタッチします。
 - 3 [Bluetooth & Devices] をサブメニューで選択します。
 - 4 Android Auto で使用するスマートフォンを選択し、[Use for Android Auto] を ON にします。
 - Android Auto のホーム画面が表示されます。
 - 接続するスマートフォンによっては、もとの画面に戻るまでに約 3~6 秒かかることがあります。
 - 失敗画面が表示されたときは、画面の案内に従って操作してください。
 - スマートフォンの画面に案内が表示された場合は、スマートフォンの案内に従って操作してください。
 - Android Auto のホーム画面が表示されない場合は、メインメニューから  にタッチします。

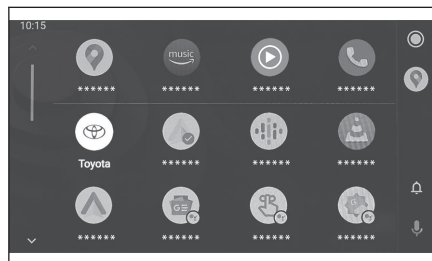
5 Android Auto を操作します。

アプリケーションにタッチすることで、Android Auto でサポートされているアプリケーションを使用できます。

]

マルチメディアシステム画面を表示します。Android Auto のホーム画面を再度表示するには、メインメニューから

] にタッチします。





*1: この機能は一部の地域では利用できません。



Google Assistant™を起動します。

知識

Android Auto 接続中に、ステアリングホイールの  スイッチを長押しすると Google アシスタント™が起動します。Google アシスタント™を停止するには、ステアリングホイールの  スイッチを短く押します。


関連リンク

[Bluetooth® 機器を設定する \(P.92\)](#)

Apple CarPlay/Android Auto が故障したとお考えになる前に

Apple CarPlay/Android Auto でお困りの際は、まず次の表を確認してください。

| 症状 | 処置 |
|-----------------------------------|--|
| Apple CarPlay/Android Auto が起動しない | <p>接続するスマートフォンが Apple CarPlay/Android Auto をサポートしているか確認してください。</p> <p>スマートフォン側で Apple CarPlay/Android Auto が有効になっているか確認してください。</p> <p>接続するスマートフォンに Android Auto アプリケーションがインストールされているか確認してください。詳細については、次の URL をご覧ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Apple CarPlay: https://www.apple.com/ios/carplay/ ● Android Auto: https://www.android.com/auto/ |
| | <p>登録済みスマートフォンの Apple CarPlay/Android Auto 機能がマルチメディアシステムで ON になっているか確認してください。</p> |
| | <p>USB 接続の場合、使用している USB ケーブルがスマートフォンと USB 端子にしっかりと接続されているか確認してください。USB ハブは使用せずに、直接 USB 端子にスマートフォンを接続してください。</p> <p>Apple CarPlay や Android Auto を接続するには、正しい USB ポートを使用してください。充電専用 USB ポートはスマートフォンアプリには使用できません。ワイヤレス充電器⁽¹⁾をワイヤレス充電に使用すると、ワイヤレス Apple CarPlay 接続は開始されません。</p> <p>Apple CarPlay ワイヤレス接続の場合は、以下の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● スマートフォンでマルチメディアシステムに Bluetooth[®]接続できているかご確認ください。 ● スマートフォンが Wi-Fi[®]を使用できる設定になっているかご確認ください。 <p>Apple CarPlay の場合：使用している Lightning ケーブルが Apple 認証されているものか確認してください。</p> <p>Siri が有効になっているか確認してください。</p> <p>充電専用の USB ケーブルではスマートフォン連携機能はご利用になれません。</p> <p>データ転送が可能なケーブルをご利用ください。一部ケーブルには対応できないものがあります。</p> <p>USB ケーブルに関する推奨要件は下記となります。</p> |

| 症状 | 処置 |
|--|---|
| Apple CarPlay/Android Auto が起動しない | <ul style="list-style-type: none"> ● iPhone：Apple 純正の USB ケーブルもしくは、Apple の MFi 認証取得済み USB ケーブルを使用してください。 ● Android：1.8m 以下のケーブルを使用し、延長ケーブルは使用しないでください。 ● USB マーク  のあるケーブルを使用してください。 <p>これまで動作していたスマートフォン連携機能が動作しなくなった場合は、USB ケーブルを交換すると問題が解決する場合があります。</p> <p>上記をすべて確認したあとに、Apple CarPlay/Android Auto を接続してください。</p> |
| Apple CarPlay/Android Auto 接続時に動画を再生している場合、映像は表示されず、音声のみがシステムから出力されます。 | このシステムは Apple CarPlay/Android Auto 経由で動画再生するよう設計されていないため、故障ではありません。 |
| 音声が出力されない。 | <p>マルチメディアシステムがミュートになっているか、音量が小さい可能性があります。マルチメディアシステム側の音量を上げてください。</p> <p>Apple がサポートするアプリが Apple CarPlay に使用されている、Android Auto では Google™ 対応アプリを使用してください。Web ブラウザから音楽を再生すると、音声が出力されないか、適切な音声が出力されない場合があります。</p> |
| 画面がちらつく、音声にノイズが入る。 | <p>マルチメディアシステムとの接続に使用している USB ケーブルが損傷していないか確認してください。USB ケーブルが内部で損傷しているかは、スマートフォンを PC などの別のシステムに接続し、充電が開始され、接続したシステムで認識されることを確認してください。</p> <p>USB ケーブルを別のケーブルに交換してください。</p> |
| Apple CarPlay 地図アプリで地図表示を拡大／縮小できない。 | Apple CarPlay 地図アプリはピンチアウト／ピンチイン操作することはできません。 |
| Apple CarPlay の画面がディスプレイの中央に表示され、画面全体に表示されない。 | iOS Ver.10 以降で画面全体表示がサポートされています。最新の iOS にアップデートしてください。 |

| 症状 | 処置 |
|--|--|
| Apple CarPlay 音楽アプリ (Apple Music や Spotify など) の再生中に、iPhone で Apple CarPlay ⁽²⁾ と互換性のないアプリを起動して音声を出力し、その後マルチメディアシステムで音量を変更すると、互換性のないアプリの音声が停止し、元の音楽アプリで再生が再開されます。 | 本動作はマルチメディアシステムの仕様のため、誤動作ではありません。 |
| マルチメディアシステム (FM など) でのオーディオ再生中に、Apple CarPlay ⁽²⁾ と互換性のないアプリから割り込みオーディオが出力された場合、システムは元のオーディオソースに戻りません。 | この動作はマルチメディアシステムの仕様によるものであり、故障ではありません。オーディオソースを手動で変更してください。または、Apple CarPlay ⁽²⁾ に対応していないアプリの使用は避けてください。一部のナビゲーションアプリは iOS 12 以降に対応しています。iOS とアプリを最新バージョンにアップデートしてください。 |
| Apple CarPlay を使用中に、マルチインフォメーションディスプレイに、ルート案内矢印とターンバイターンナビゲーションが表示されない。 | 本機能はマルチインフォメーションディスプレイの仕様、または使用している地図アプリによっては表示されない場合があります。 |
| Android Auto を使用中に、マルチインフォメーションディスプレイに、ルート案内矢印が表示されない。 | |
| Android Auto を使用中に、マルチインフォメーションディスプレイおよびマルチメディアシステム画面に、ターンバイターンナビゲーションが表示されない。 | 本動作はマルチメディアシステムの仕様のため、誤動作ではありません。 |
| Android Auto を使用中、ハンズフリー通話の音声が車両のスピーカーから聞こえない。 | 通話を終了してください。 スマートフォンを USB ケーブルからはずし、ハンズフリー電話を使用した場合に、音声が聞こえるかどうかを確認してください。 |
| | マルチメディアシステムの音量を上げて、ハンズフリー電話の音声が聞こえるかどうかを確認してください。他のスマートフォンにかえた場合に、音声が聞こえるかどうかを確認してください。 |
| Android Auto を終了したあと、電話が接続されていた。 | 本動作はマルチメディアシステムの仕様のため、誤動作ではありません。 |

(1) グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

- (2) Apple CarPlay 非対応アプリとは、Apple CarPlay 画面のアプリ一覧に表示されないが iPhone 上にインストールされたアプリのこと。

— 関連リンク —

- [タッチスクリーン操作上の留意事項 \(P.20\)](#)
- [オーディオの ON/OFF と音量を調整する \(P.31\)](#)
- [USB 機器を接続する \(P.35\)](#)
- [サウンドやメディアの設定を変更する \(P.84\)](#)
- [Bluetooth® 機器を設定する \(P.92\)](#)
- [Bluetooth® 機器との接続 \(P.106\)](#)

4-1. ナビゲーション

- Wi-Fi®を使用した地図情報提供
サービスの利用について136
- コネクティッドナビ137

4-2. 地図の情報について

- 地点情報の表示138
- 地図オプション画面139
- POI アイコンの表示140
- 地図表示設定141
- 高速略図（ハイウェイモード）
について144

4-3. 目的地の検索

- 目的地検索について145
- 目的地検索画面の見方146
- 検索結果リスト画面の見方149
- 経由地を追加する150
- スマートフォンから目的地を
設定する151

4-4. 目的地の設定

- 全ルート図表示画面の見方153
- 目的地案内のデモを見る154
- ルートオプションを変更する ..155
- 他の経路に変更する156
- 通過する地点を設定する157
- 経由地を編集する158

4-5. ルート案内

- ルート案内画面の見方159
- さまざまなレーン表示画面160
- ルートを再探索する162
- 代表的な音声案内メッセージ ..163

4-6. 地図データの更新

- 地図データベースのバージョ
ンと対応エリア164

Wi-Fi[®]を使用した地図情報提供サービスの利用について

- Wi-Fi[®] を使用するサービス（以下「本サービス」）は、本マルチメディアシステムが搭載された車両を初めて購入した時点から一定の有効期間^{*1} 内で無料で利用できます。

*1：有効期限はナビゲーションシステム設定画面で確認できます。詳細はナビゲーションシステム設定画面を参照してください。有効期限後もサービスを利用する場合は、トヨタ販売店にお問い合わせください。

- 本サービスには、以下のような第三者サービスプロバイダーが提供するサービスが含まれます。
 - 渋滞情報：車両の接続時間等および位置情報は TomTom Global Content B.V.（以下「TomTom」といいます）に送信されます。TomTom は受信した情報に基づき、本マルチメディアシステムに表示される渋滞情報の送信を含むオンラインサービスを提供します。
 - 施設情報・周辺情報：検索された施設名および位置情報は、HERE Global B.V.（以下「HERE」といいます）に送信されます。HERE は、受信した情報に基づき、施設情報や周辺情報の送信、本マルチメディアシステムへの表示など、オンラインサービスを提供します。
- これらのサービスを利用するには、マルチメディアシステムを Wi-Fi[®] アクセスポイントに接続し、各サービスプロバイダーの画面に表示される注意事項、プライバシーポリシー、または利用規約^{*2} に同意します。[Agree] をポップアップ画面で選択します。

*2：各サービスプロバイダーの利用規約は以下の URL を参照してください。

| | |
|--------|--|
| TomTom | https://www.tomtom.com/en_gb/legal/eula-automotive/ https://www.tomtom.com/en_us/privacy/ |
| HERE | https://legal.here.com/terms/ https://legal.here.com/privacy/policy |

- トヨタ自動車株式会社およびその関連会社は、本サービスの動作、品質、提供される情報の正確性、またはその他の保証を行わず、本サービスの内容、遅延、中断によりユーザーに生じた損害について一切の責任を負いません。本マルチメディアシステムを通じて提供されるサービスは、予告なく変更、中止、または停止される場合があります。

コネクティッドナビ^{*1}


コネクティッドナビゲーションは、トヨタスマートセンターから取得した最新の地図データと目的地情報を使用する、無線通信ベースのナビゲーションサービスです。このサービスを利用するには、トヨタスマートセンター利用契約の締結が必要です。

- トヨタスマートセンターから取得した現在地周辺の最新地図を表示します。ルート案内中は、ルート沿いの最新地図を取得します。
- トヨタスマートセンターは、ルート案内中を含め定期的に最適なルートを検索し、目的地までより時間短縮が可能なルートが見つかった場合は新しいルートを提案します。

コネクティッドナビ（内蔵ナビゲーションシステム付き）

車載器にナビゲーションの地図データが搭載されているため、トヨタサービスセンターとの通信ができないエリアでも、このデータを活用し、車載ナビゲーションの地図表示やルート探索を行います。良好な通信環境に入ると、自動的にトヨタスマートセンターとの通信が開始され、接続されたナビゲーションが地図表示やルート探索を行います。

知識

- 目的地を設定すると、トヨタスマートセンターが自動でルートを探します。トヨタスマートセンターから送信されたルートは  で表示されます。
- トヨタスマートセンター加入契約を締結していない場合は、車載ナビゲーションシステムで地図表示やルート案内がご利用いただけません。

コネクティッドナビ（内蔵ナビゲーションシステムなし）

車載器にはナビゲーション地図データが搭載されていないため、トヨタスマートセンターとの通信ができない地域では、一時的に保存された地図を表示します。通信環境が悪い場合、ルート探索などのナビゲーション機能が利用できない場合があります。

知識

- トヨタスマートセンター加入契約を締結していない場合、ナビゲーション機能は利用できず、コンパス画面が表示されます。
- 一時保存地図は、自車を中心とした約 80km 四方のエリアと、目的地設定時のルート沿いのエリアでご利用いただけます。地図保存エリア外のエリアで通信状況の悪い状態が一定時間続くと、地図が表示できないなど、ナビゲーション機能がさらに制限されます。

*1: この機能は一部の地域では利用できません。

地点情報の表示

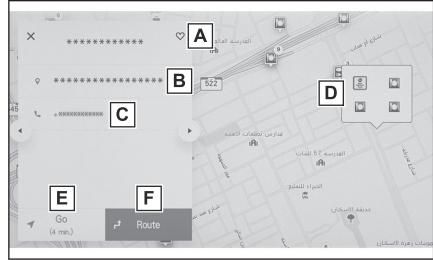
地図画面上で選択した地点や POI の情報を確認できます。

1 POI をタッチするか、目的のポイントをタッチして長押しします。

目的の地点を選択すると、その地点の住所が表示されます。[♡] をタッチすると、選択した地点をお気に入りに登録できます。

2 希望の項目にタッチします。

- A タッチした地点をお気に入りに登録します。
- B 選択した地点の住所詳細を表示します。
- C POI に登録された電話番号に発信します。
- D 同じ地点に複数の POI が存在する場合は、POI のリストが表示されます。



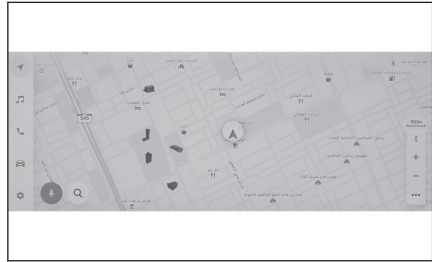
POI をタッチすると、その情報が表示されます。[◀] または [▶] をタッチすると、表示される情報を変更できます。

- E タッチするとその地点を目的地に設定し、ルート案内を開始します。
- F タッチすると目的地が設定され、全ルート地図画面を表示します。既に別の目的地が設定されている場合は、経由地として追加できます。

地図オプション画面

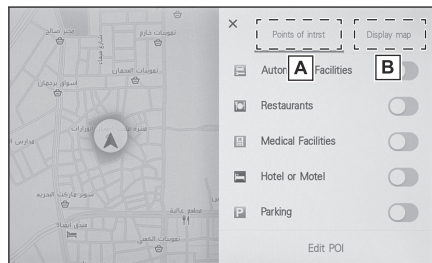
POI アイコンや交通情報など、地図に表示される情報の設定ができます。

- 1 地図画面で [⋮] にタッチします。



- 2 [Points of interest] または [Display map] にタッチします。

- A** 地図上に表示する POI アイコンを設定できます。
- B** 地図上に表示される情報を設定できます。



関連リンク

[POI アイコンの表示 \(P.140\)](#)

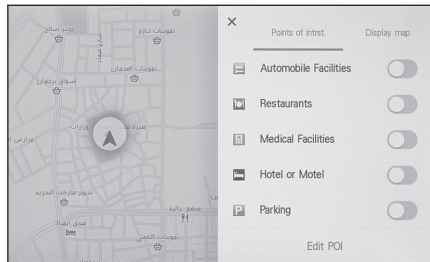
[地図表示設定 \(P.141\)](#)

POI アイコンの表示

レストランなどの POI アイコンを地図に表示できます。

- 1 地図画面で [⋮] にタッチします。
- 2 [Points of interest] にタッチします。
- 3 地図画面に表示する POI を選択します。

地図に表示されていないジャンルの POI を設定するには、[Edit POI] を選択します。



知識

- 地図データに含まれていない POI は表示できません。
- 地図の縮尺が 800m 以上に設定されている場合、POI は表示されません。
- 現在位置マーク [📍] または [📍] から半径約 10km 以内にある POI のみ表示可能です (最大 200 件)。
- 地図の縮尺を 800m 以下に設定した場合、表示対象に設定されたカテゴリの POI を密集表示するのではなく、エリア内の POI アイコンを代表画像として表示します。(これにより、地図上の道路が見やすくなります)
表示されたアイコンの右上には、アイコンが表す POI の数が表示されます (例: [📍 6])。アイコンをタッチすると、すべて表示されます。
- ナビゲーションの詳細設定画面では、近くの POI の表示も設定できます。

関連リンク

[地図表示設定をする \(P.71\)](#)

表示する POI アイコンの設定

走行中はオプションの変更が制限されます。

- 1 地図画面で [⋮] にタッチします。
- 2 [Points of interest] にタッチします。
- 3 [Edit POI] にタッチします。
- 4 置き換えたい登録済み POI にタッチします。
- 5 新しい POI をタッチして登録します。

地図表示設定

交通情報などの地図上に表示する情報を設定することができます。

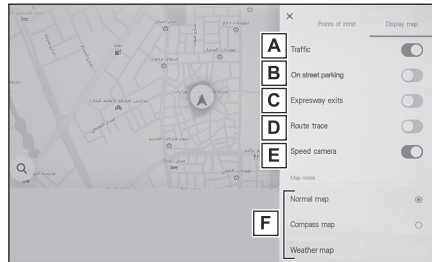
1 地図画面で [⋮] にタッチします。

2 [Display map] にタッチします。

- A タッチすると、交通情報の表示/非表示を切り替えます。*¹
- B タッチすると、近くの路上駐車場の表示/非表示が切り替わります。*¹
- C タッチすると、高速道路の出口の表示/非表示が切り替わります。
- D タッチすると走行ルート（ルートトレース）の表示/非表示を切り替えます。

非表示に変更すると、保存された情報の削除を確認するポップアップが表示されます。

- E タッチすると、速度カメラの表示/非表示を切り替えます。*¹*²
- F タッチすると、地図表示が通常の地図、コンパス、天気図に切り替わります。
*¹



路上駐車*¹

地図表示設定で[On street parking]を ON にすると、車両周辺の路上駐車が表示されます。OFF の場合、目的地周辺の路上駐車は表示されません。

地図画面で [P] にタッチします。

地図上に路上駐車を表示します。駐車可能状況に応じて表示色が変わります。



*¹: この機能は一部の地域では利用できません。

*²: 内蔵ナビゲーションシステム付き

- 地図縮尺が 1/5,000 以上（縮尺表示が 50m 以上）の場合、路上駐車は表示されません。

走行経路（ルートトレース）の表示

走行ルートは最大約 1000km まで保存および表示できます。

- 1 地図画面で [⋮] にタッチします。
- 2 [Display map] にタッチします。
- 3 [Route trace] にタッチします。

知識

- 保存された走行距離が上限を超えると、最も古いルートトレースが削除され、最新のルートトレースが保存されます。
- 走行ルートは、縮尺 1/2,500 から 1/5,120,000 の範囲で表示できます。

速度取締りカメラ *1*2

速度取締りカメラを地図上にアイコンとして表示できます。

- A 地図上に速度カメラの位置を表示します。
- B 速度カメラアイコンや速度カメラまでの距離情報を表示します。



知識

- 上記項目は地図の縮尺によって表示されます。
- 上記項目は利用可能な地図データによって表示されます。
- 上記項目の表示は OFF に切り替えることができます。
- コンテンツ管理条件によっては、実際のカメラ位置が表示されない場合があります。

関連リンク

[案内設定 \(P.76\)](#)

交通情報 *1

IP-Traffic を介して交通データを受信し、地図画面に交通情報を表示できます。

*1: この機能は一部の地域では利用できません。

*2: 内蔵ナビゲーションシステム付き

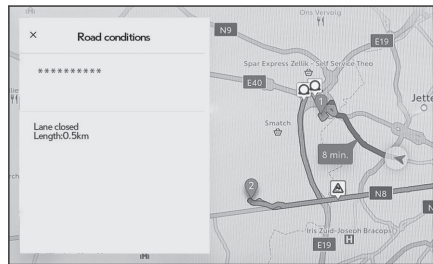
この機能を使用するには、トヨタスマートセンター利用契約が必要です。

- 1 地図画面で [⋮] にタッチします。
- 2 [Display map] にタッチします。
- 3 [Traffic] にタッチします。

交通情報が地図画面に表示されます。

- アイコンは工事や事故などの交通情報を示します。
- 矢印は交通の流れを示し、速度に応じて色が変わります。

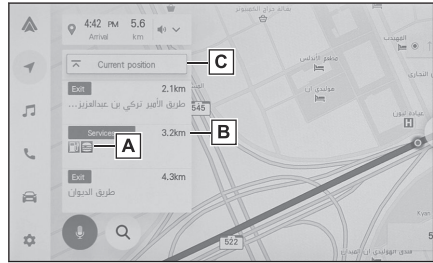
交通障害アイコンを選択すると、選択した交通障害の詳細情報が表示されます。



高速略図（ハイウェイモード）について

高速道路や自動車専用道路に入ると、自動的にハイウェイモード表示に切り替わります。

- A** 施設ごとに最大 8 件の POI を表示します。
 - POI が 8 件を超える場合、未表示 POI があることを示すマークが表示されます。
- B** 車両の現在位置からの距離を表示します。
- C** 表示区間が変更された場合、タッチすると走行中の区間に地図が戻ります。



目的地検索について

目的地検索画面で目的地を検索して設定できます。

- 1 地図画面で [🔍] にタッチします。
- 2 目的地検索画面が表示されます。希望する検索方法をタッチします。



- 3 検索結果一覧画面が表示されます。一覧から目的地に設定したい項目をタッチします。
 - 既に目的地が設定されている場合は、[New destination]（新しい目的地を設定）または [Add to route]（ルートに追加）をタッチします。
 - コネクテッドナビゲーション使用時は、クラウド上のコンテンツを利用して目的地を検索することもできます。

関連リンク

[キーボードで情報を検索する \(P.44\)](#)

[経由地を追加する \(P.150\)](#)

目的地検索画面の見方

- A** 地点名、住所、電話番号で検索するにはタッチします。
- B** タッチするとテキストカーソルが移動します。
- C** お気に入りに登録されたすべての地点の周辺エリア一覧を表示します。この機能は、地点がお気に入りに登録されている場合のみ使用できます。
- D** タッチすると、目的地履歴（以前に設定した目的地）のポイント一覧が表示されます。この機能は、目的地履歴が存在する場合のみ使用できます。
- E** タッチすると、スマートフォンから事前送信されたドライブプランの目的地一覧を表示します。^{*1}
- F** 自宅を目的地としてルート検索を開始します。自宅が登録されていない場合は、[🏠]にタッチして登録できます。
- G** 目的地名をタッチすると、全ルート地図画面が表示されます。[Go]をタッチするとすぐにルート案内を開始します。



文字入力で目的地を検索する

施設の名称や住所、電話番号を入力して目的地を検索できます。

- 1 地図画面で[🔍]にタッチします。
- 2 [Where to? (POI, Street, Town etc.)]にタッチします。
- 3 地点名、住所、電話番号などを入力し、[Go]にタッチします。
 - 入力するごとに候補地点が検索され、表示されます。
 - 入力文字に基づき、過去に検索した語句、目的地履歴、お気に入りをもとに予測検索候補が表示されます。
 - 誤入力の可能性がある場合、適切と思われる検索候補が表示されます。
 - 入力文字数が制限を超えると、超過分は削除されます。

関連リンク

[文字や数字の入力 \(P.24\)](#)

自宅を登録する

- 1 地図画面で[🔍]にタッチします。
- 2 [🏠]にタッチします。

^{*1}: この機能は一部の地域では利用できません。

3 登録したい地点まで地図を移動し、[OK] をタッチします。

自宅を目的地に設定する

- 1 地図画面で [🔍] にタッチします。
- 2 [🏠] にタッチします。
[Start] をタッチすると、すぐにルート案内を開始します。

関連リンク

[お気に入り設定 \(P.78\)](#)

お気に入り地点を目的地に設定する

- 1 地図画面で [🔍] にタッチします。
- 2 希望するお気に入りをタッチします。
目的地名をタッチすると、全ルート地図画面が表示されます。
[Go] をタッチするとすぐにルート案内を開始します。

知識

登録済みのお気に入り地点は名前を入力して検索することもできます。

関連リンク

[お気に入り設定 \(P.78\)](#)

履歴で目的地を検索する

- 1 地図画面で [🔍] にタッチします。
- 2 [Recents] にタッチします。
- 3 目的地履歴から希望する目的地をタッチします。
目的地名をタッチすると、全ルート地図画面が表示されます。
[Go] をタッチするとすぐにルート案内を開始します。

おでかけプランで目的地を検索する^{*1}

スマートフォンのナビゲーションアプリで設定されたドライブプラン（目的地、出発時刻など）は、車両に乗車後、車両ナビゲーションシステムに通知されます。

この機能を使用するには、ドライバー登録が必要です。

- 1 地図画面で [🔍] にタッチします。
- 2 [Trips] をタッチします。
- 3 希望するドライブプランにタッチします。

*1: この機能は一部の地域では利用できません。

4-3. 目的地の検索

目的地名をタッチすると、全ルート地図画面が表示されます。

[Go] をタッチするとすぐにルート案内を開始します。

知識

車両ナビゲーションシステムで設定した目的地情報をスマートフォンのナビゲーションアプリに引き渡すこともできます。

関連リンク

[ユーザープロフィールの登録 \(P.46\)](#)

検索結果リスト画面の見方

目的地を検索したとき、検索結果が複数あった場合、検索結果リストが表示されます。

- A タッチすると前の画面に戻ります。
- B 検索に入力された文字を表示します。
- C 検索オプションを表示するにはタッチします。
- D 検索結果一覧を表示します。
地点内の候補目的地も表示されず。
- E 現在表示されている一覧項目の位置を地図上に表示します。



- 地図をスクロール後、[Search this area] をタッチすると、スクロールしたエリア内で目的地を検索できます。

検索オプションについて

検索結果一覧画面で表示範囲や順序を変更できます。

- 1 検索結果一覧画面で [=] をタッチします。
- 2 検索オプションを設定します。
- 3 [OK] をタッチして設定変更を完了します。

経由地を追加する

既に目的地が設定されている場合、新しい目的地を経由地として追加できます。

● **目的地が既に設定されている状態で、新しい目的地を検索します。**

目的地を設定しようとするメッセージが表示されます。

- **[New destination]** : 現在設定されている目的地を削除し、新しい目的地までのルート検索を開始します。
- **[Add to route]** : 選択した地点を経由地として追加し、目的地までのルート検索を開始します。

知識

- 地図画面上の任意の地点をタッチすると、経由地として追加できます。
- 経由地を含め、最大 10 件の目的地を設定できます。
- 最後に追加された経由地が最初の目的地として設定されます。目的地の順序は経由地の編集で変更できます。

— 関連リンク —

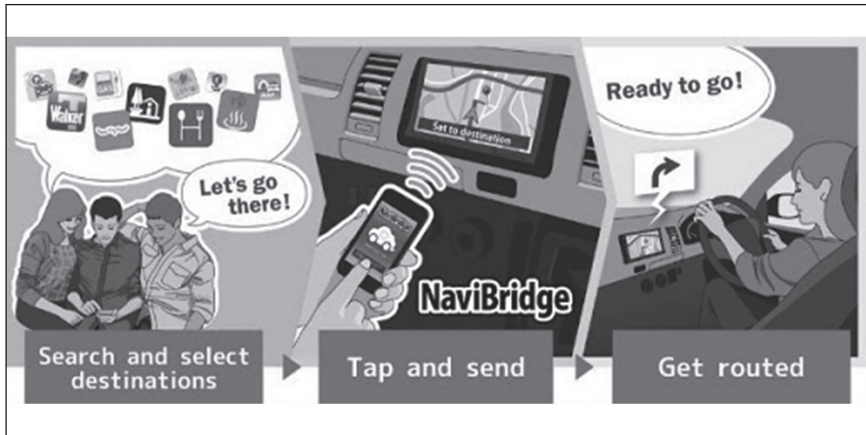
[目的地検索について \(P.145\)](#)

[経由地を編集する \(P.158\)](#)

スマートフォンから目的地を設定する

NaviBridge について

NaviBridge^{*1} は、キーワード検索やスマートフォン上の幅広い対応アプリで検索した目的地を車載ナビゲーションシステムに簡単に送信し、自動的にナビの目的地として設定できる「Send To Car」アプリです。



NaviBridge (iOS/Android 対応) は無料でダウンロードできます。

ダウンロード方法などの詳細は以下のウェブサイトを参照してください。

NaviBridge サポートサイト：<https://www.navicon.com/navibridge/support>



▶ 接続方法:

| 接続方法 | iOS 機器 | Android 機器 |
|--------------------|------------------|------------|
| Bluetooth® (ワイヤレス) | ○ | ○ |
| USB (有線) | △ ⁽¹⁾ | × |

(1) HF 接続が必要です

*1: 「NaviBridge」は Micware Co.,Ltd.の登録商標です。

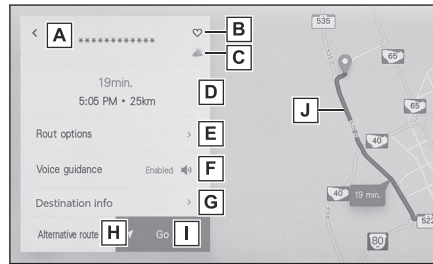
▶ 利用可能な機能:

| 目的地の設定 | 複数目的地 | 地図操作 | 友人との位置共有 |
|--------|-------|------|----------|
| ○ | ○ | × | × |

全ルート図表示画面の見方

目的地を設定すると、全ルート図表示画面になります。全ルート図表示画面で、希望ルートの選択やルート情報を確認することができます。

- A 目的地の名称または住所を表示します。
- B タッチすると目的地をお気に入り地点として登録します。
- C 目的地の現在の天気を表示します。^{*1}
- D 出発地点から目的地までの距離、所要時間、到着予定時刻を表示します。
複数の目的地が設定されている場合、各目的地の到着予定時刻一覧を表示します。
- E タッチするとルートオプションを表示します。
- F 音声案内をミュートします。
- G 目的地の詳細情報を表示します。
- H 別のルートを選択します。
- I ルート案内を開始します。長押しすると目的地までのルート案内デモを開始します。
- J 現在案内中のルート以外の希望ルートを選択します。



- 以下の3種類から選択します：推奨ルート、時間優先ルート、一般道路優先ルート。初期設定では推奨ルートが選択されています。

関連リンク


- [ルート設定 \(P.73\)](#)
- [目的地案内のデモを見る \(P.154\)](#)
- [ルートオプションを変更する \(P.155\)](#)
- [他の経路に変更する \(P.156\)](#)

*1: この機能はコネクテッドナビゲーション使用時に表示されます。一部地域では利用できません。

目的地案内のデモを見る

目的地案内を開始する前に、目的地案内のデモを見ることができます。

- 全ルート画面で [Go] を長押しします。

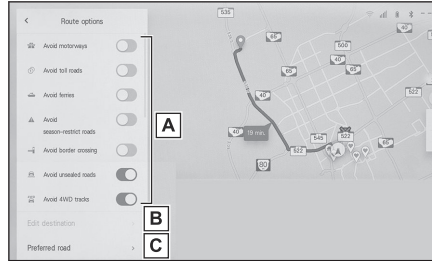
デモを終了するには、 をタッチするか、運転を開始してください。

ルートオプションを変更する

有料道路や高速道路を含むルート避けるなど、ルート検索条件を変更できます。

- 1 全ルート地図画面で [Route options] をタッチします。
- 2 希望条件に合わせて項目の設定を変更します。

- A** 特定の種類の道路を回避／回避しない設定に切り替えます。ON に設定された道路種別を回避してルート案内を行います。
- B** 設定された経由地の順序を変更します。
- C** ルート上の経由地を追加、削除、または変更します。



関連リンク

[通過する地点を設定する \(P.157\)](#)

[経由地を編集する \(P.158\)](#)

他の経路に変更する

条件の異なるいくつかのルートから、希望のルートを選択できます。

- 1 全ルート地図画面で [Alt route] にタッチします。
- 2 希望するルートを選択後、[OK] にタッチします。

知識

- 新しい代替ルートは順次配信されます。*1
- 希望するルートへの変更は、全ルート地図画面の地図上でタッチして行うことができます。

*1: この機能はコネクテッドナビゲーション使用時のみ表示されます。

通過する地点を設定する

目的地を設定したあと、ルート上の通過する地点を設定することができます。

- 1 経路地設定画面で [+] をタッチします。




- 2 地図上で経路地として追加したい地点をタッチし、[OK] を押します。

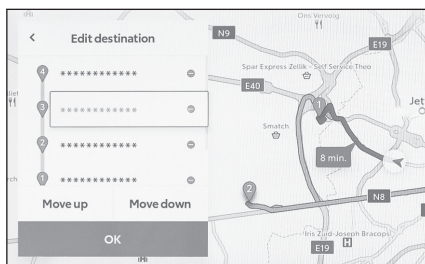
[-] : 該当する経路地を削除します。]: Delete the corresponding waypoint.

経路地を編集する

ルート上に設定している経路地の順番の変更、および削除ができます。

- 1 タッチすると [Move up] および [Move down] が表示され、経路地の順序を変更できます。

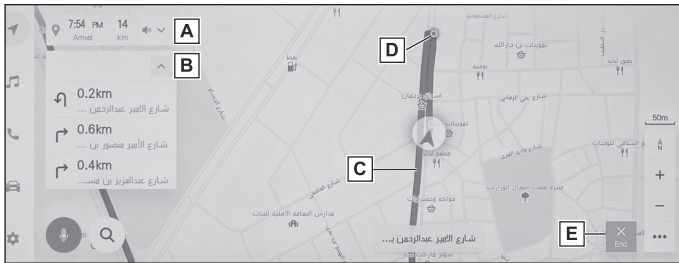
[] : 該当する経路地を削除します。



- 2 [OK]にタッチします。

ルート案内画面の見方

交差点やジャンクションなどのルート案内時には、音声と映像による案内が行われます。



- A** 車両の現在位置から目的地までの距離と到着予定時刻を表示します。
 ルートが外れた場合、到着予定時刻は表示されず、目的地までの直線距離が表示されます。
 タッチすると全ルート地図画面が表示されます。
- B** 次の曲がり角までの距離と曲がる方向を表示します。
 目的地までの車線一覧を表示するにはタッチします。
- C** 目的地までのルートを表示します。
 ルートの表示色を設定するには、地図表示設定を参照してください。
- D** ルート案内中に通過または曲がる最寄りの交差点／ジャンクションを表示します。
- E** ルート案内を終了するにはタッチします。複数の目的地が設定されている場合、[Delete destination] をタッチするとすべての目的地を削除してルート案内を停止し、[Delete next destination] をタッチすると次の目的地のみを削除し、ルート案内を継続します。
- ルートが検索できない場合、画面にメッセージが表示されます。

関連リンク

[地図表示設定をする \(P.71\)](#)

[さまざまなレーン表示画面 \(P.160\)](#)

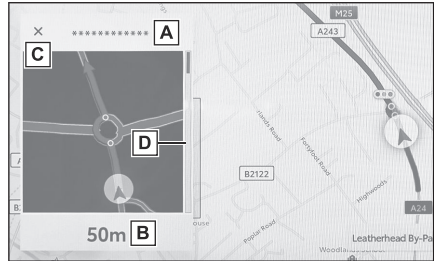
さまざまなレーン表示画面

目的地案内中で、現在地がルート上にあるとき、分岐する交差点に近づくと、交差点拡大図に切りかわります。

交差点拡大図

分岐する交差点に近づくと、交差点案内が行われます。また、分岐する交差点手前では、交差点拡大図が表示されます。

- A** 通過または曲がる道路名を表示します。
- B** 現在位置からの距離を表示します。
- C** 拡大交差点表示を閉じます。
- D** 案内ポイントまでの残り距離バーを表示します。



知識

- 地図データに情報がない交差点では、車線情報表示や交差点名は表示されません。
- 表示される拡大交差点表示は、実際の交差点と異なる場合があります。
- ルート案内開始直後は、交差点案内がすぐに出力されない場合があります。
- 拡大交差点表示が遅れてまたは早く表示される場合があります。
- 曲がる交差点同士が近い場合、拡大交差点表示が連続して表示されます。
- 曲がる交差点について拡大交差点表示が行われます。曲がる交差点の手前の交差点では案内は出力されません。
- 拡大交差点表示とマルチインフォメーションディスプレイに表示される残り距離は異なる場合があります。
- ナビゲーションシステム画面とマルチインフォメーションディスプレイに表示される拡大交差点表示は異なる場合があります。

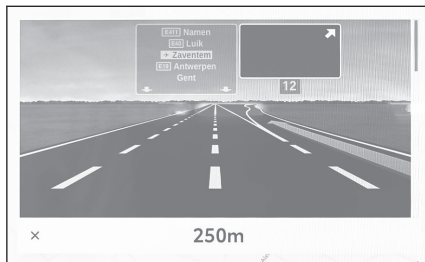
関連リンク

[案内設定 \(P.76\)](#)

立体的な拡大図

目的地案内中の分岐をわかりやすくするために、交差点手前の景観にあわせた立体的な拡大図が表示されることがあります。

拡大表示を解除するには [X] をタッチします。



知識

地図データ内に情報が存在するポイントに表示されます。

ルートを再探索する

目的地案内中（ルートからはずれたときも含む）に、ルートの再探索をすることができます。

- 1 地図画面で[V]にタッチします。



- 2 [Route options]または[Alt route]にタッチします。
- 3 検索条件をタッチします。
- 4 [OK]にタッチします。

関連リンク

[全ルート図表示画面の見方 \(P.153\)](#)

[ルートオプションを変更する \(P.155\)](#)

[他の経路に変更する \(P.156\)](#)

代表的な音声案内メッセージ

車両が交差点や進路変更が必要な地点に近づくと、ナビゲーションシステムの音声案内がさまざまなメッセージを提供します。

知識

- 音声案内は早めまたは遅めに行われる場合があります。
- ナビゲーションシステムが現在位置を正しく認識できない場合、音声案内が聞こえない、または画面に拡大交差点が表示されないことがあります。

警告

特に道路データベースに完全にデジタル化されていない IPD 道路（未完全デジタル化道路）を走行する場合は交通規則を守り、道路状況に注意してください。ルート案内は一方通行の方向など最新情報を反映していない場合があります。

— 関連リンク —


[案内設定 \(P.76\)](#)

[サウンドやメディアの設定を変更する \(P.84\)](#)

地図データベースのバージョンと対応エリア

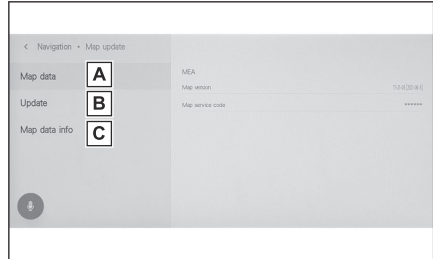
対応エリアや法的情報を表示し、地図データを更新できます。

■ 地図情報の表示

- 1 メインメニューの [] をタッチします。
- 2 [Navigation] にタッチします。
- 3 [Map update] にタッチします。
- 4 地図情報画面が表示されていることを確認します。

- A タッチすると、地図の対象エリアと地図のバージョンが表示されます。
- B 地図を更新するにはタッチします。
- C 法的情報を表示するにはタッチします。

地図データの更新についてはトヨタ販売店にお問い合わせください。



- 5-1. ラジオの操作
 - ラジオを聴く166
 - DAB を聴く168
- 5-2. インターネットラジオ
 - インターネットラジオの使用 ..170
- 5-3. USB メモリーの操作
 - USB メモリーの再生について
の留意事項171
 - USB メモリーの音楽ファイル
を再生する173
 - USB メモリーの動画ファイル
を再生する175
- 5-4. iPod/iPhone の操作
 - iPod/iPhone の再生について
の留意事項177
 - iPod/iPhone を再生する178
- 5-5. Apple CarPlay の操作
 - Apple CarPlay の再生について
の留意事項180
 - Apple CarPlay を再生する181
- 5-6. Android Auto の操作
 - Android Auto の再生について
の留意事項183
 - Android Auto を再生する184
- 5-7. Bluetooth® オーディオの操作
 - Bluetooth®オーディオの再生
についての留意事項186
 - Bluetooth®オーディオを再生 ..187
- 5-8. Miracast® の操作
 - Miracast®再生時の留意事項190
 - Miracast®対応機器の接続191
 - Miracast®の再生192

ラジオを聴く

お好みの周波数に切りかえてラジオを受信できます。

□ 知識

- ステレオ放送を受信すると、自動的にステレオ放送に切り替わります。
- 信号が弱くなると、弱い信号による雑音を防ぐためにチャンネルセパレーションを減らします。信号が極端に弱くなると、ステレオからモノラル受信に切り替わります。

1 メインメニューの [🎵] にタッチします。

2 [Sources] にタッチします。

3 [AM] または [FM] にタッチします。

4 必要に応じて局の選択方法を選びます。

[Presets]: プリセットに登録されている放送局から選択します。

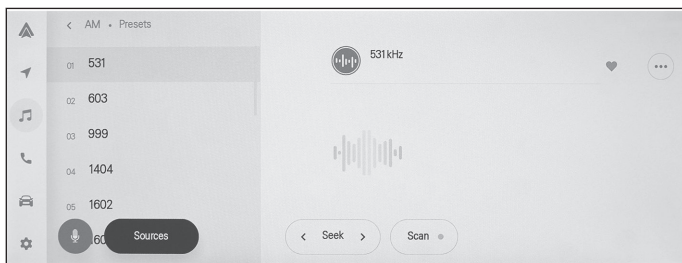
[Station list]: 放送局リストから放送局を選択します。

[Refresh]^{*1} をタッチすると、受信可能な放送局を再度検索します。

[Direct tune]: 数値キーパッドで周波数を入力して放送局を選択します。

5 必要に応じて、受信中のラジオを操作します。

- 画面で操作する



[Seek]: [<] または [>] をタッチすると、その位置に最も近い、受信状態が最も良い放送局が自動的に選択されます。

長押しすると、タッチし続けている間、周波数が切りかわり、手を離すと、その位置からいちばん近い周波数を自動で選択します。

[Scan]: 周波数を高い方へ自動的に移動しながら放送局を検索します。

放送局を受信すると約5秒間モニターできます。継続して聴くにはタッチします。

[♥]: 受信した放送局をプリセットに登録します。登録済みの場合はタッチして解除します。

[⋮]: 設定可能な項目を表示します。

*1: この機能は一部の地域では利用できません。

- **[Radio text]**^{*1}: FM 放送局が配信するラジオテキストを表示します。

サブメニューのプリセットボタンまたは放送局リスト：選択した放送局を受信します。

- ステアリングスイッチで操作する

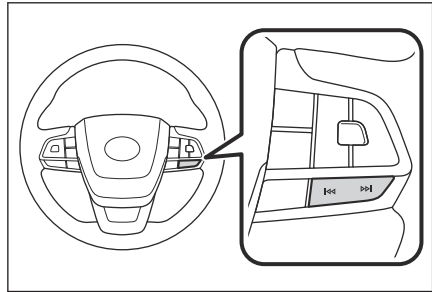
[◀◀] / [▶▶] スイッチ

「Presets」画面から選択すると、プリセットボタンに登録された周波数や放送局の順序が切り替わります。

「Station list」画面から選択すると、放送局リストに表示された放送局が切り替わります。

「Direct tune」画面から選択すると、その位置で最も受信状態の良い放送局を自動的に選択します。

押し続けると周波数が切りかわり、手を離すと、受信感度が良く、その位置からいちばん近い放送局を自動で選択します。



— 関連リンク —

[オーディオのソースを変更する \(P.33\)](#)

[サウンドやメディアの設定を変更する \(P.84\)](#)

[各ソースの音を調整する \(P.87\)](#)

*1: この機能は一部の地域では利用できません。

DAB を聴く ^{*1}

お好みの周波数に切り替えて DAB を聴く

□ 知識

DAB のタイムシフト再生可能時間は、録音ビットレート、DAB ユニットのメモリ容量、放送受信開始時刻によって異なります。

1 メインメニューの [🎵] にタッチします。

2 [Sources] にタッチします。

3 [DAB] にタッチします。

4 必要に応じて局の選択方法を選びます。

[Presets]: プリセットに登録されているサービスから選択します。

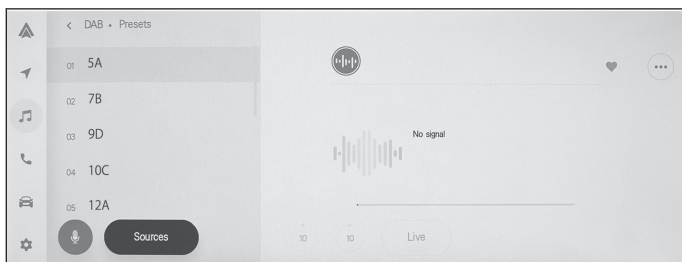
[Station list]: プリセットに登録されているサービスから選択します。

[Refresh]^{*1} をタッチすると、受信可能な放送局を再度検索します。

[Manual tune]: 放送局を手動で選択します。[Ensemble]/[Channel] または [Component]/[Service] をタッチして放送局を選択します。

5 必要に応じて、受信中のラジオを操作します。

● 画面で操作する



[←10]/[10→]: タイムシフト機能を使って現在聴いているサービスをもう一度聴くことができます。タッチすると 10 秒単位で前後にスキップします。

長押しで早戻しまたは早送りします。

[Live]: タイムシフトを解除して現在放送中のサービスを受信します。

[♡]: 現在受信しているサービスをプリセットに登録します。登録済みの場合はタッチして解除します。

[⋮]: 設定可能な項目を表示します。

- [Radio text]: DAB が配信するラジオテキストを表示します。

サブメニューのプリセットボタンまたは放送局リスト: 選択したサービスを受信します。

● ステアリングスイッチで操作する

*1: この機能は一部の地域では利用できません。

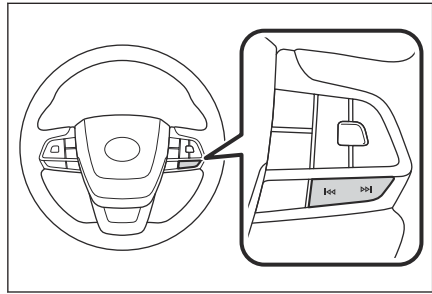
[]/[] スイッチ

「Presets」画面から選択すると、プリセットボタンに登録されたサービスの順序が切り替わります。

「Station list」画面から選択すると、放送局リストに表示されたサービスが切り替わります。

「Manual tune」画面から選択すると、その位置で最も受信状態の良いサービスを自動的に選択します。

長押しでサービスを切り替えます。離すと、その位置で最も受信状態の良いサービスが自動的に選択されます。



— 関連リンク —

[オーディオのソースを変更する \(P.33\)](#)

[サウンドやメディアの設定を変更する \(P.84\)](#)

[各ソースの音を調整する \(P.87\)](#)

インターネットラジオの使用

AM/FM/DAB を聴いているときに、ラジオで放送される曲名、カバーアート、局ロゴなどの情報が利用可能です。この情報は Gracenote[®]サーバーから DCM または Wi-Fi[®]経由で取得して表示できます。

DCM または Wi-Fi[®]でインターネットに接続している場合、ラジオ信号の受信状態が悪化すると放送接続をインターネットに切り替えることができます。これにより同じ放送を継続して聴くことができます。

この機能は一部の地域では利用できません。

知識

- すべての放送局が必ずしも対応しているわけではありません。
- ラジオ信号の受信状態が悪化した場合、インターネットラジオを受信できます。
- インターネットラジオ使用時、ラジオ信号が一定時間連続して受信可能になると、放送は自動的にアナログ放送に切り替わります。
- 設定でインターネットラジオの ON/OFF や、自動/手動の切り替えを行うことができます。

— 関連リンク —

[サウンドやメディアの設定を変更する \(P.84\)](#)

USB メモリーの再生についての留意事項

USB メモリーを再生するとき、特に気を付けていただきたいことがあります。マルチメディアシステムで使用できる USB メモリーについては、「[使用できるメディアについての情報](#)」(→ P.312)を参照ください。

□ 知識

- USB ハブを使用して複数の機器を接続した場合、最初に認識された機器以外は使用できません。
- 再生中に USB メモリーを抜いたり、接続する機器を抜き挿ししたりすると、雑音が出ることがあります。
- USB メモリーを接続している状態で、他のソースから USB メモリーに切りかえたときは、最初のファイルが再生されます。もし、同じ USB メモリー（内容が変更されていないもの）が再び挿し込まれたときは、前回、最後に再生していた曲から再生されます。
- 対応していないフォーマットのファイルを読み込んだ場合、動作に影響が出ることがあります。

▲ 警告

安全のため、運転者は運転中に USB メモリーを操作しないでください。

⚠ 注意

- USB メモリーを車室内に放置しないでください。車室内が高温のときに USB メモリーが故障するおそれがあります。
- 接続中に USB メモリーを押さえたり、不必要な圧力を加えたりしないでください。USB メモリーや端子が破損するおそれがあります。
- 端子に異物を入れないでください。USB メモリーや端子が破損するおそれがあります。

■ MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALAC/Ogg Vorbis の再生

MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALAC/Ogg Vorbis ファイルが収録されている USB メモリーを接続すると、最初に USB メモリー内のすべてのファイルをチェックします。

USB メモリー内のチェックを早く終わらせるために、MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALAC/Ogg Vorbis ファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

□ 知識

MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALAC/Ogg Vorbis は市場にフリーウェアなど、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズの発生、また再生できない場合もあります。

 **注意**

ファイルに間違った拡張子をつけないでください。ファイルの中身と一致しない拡張子をファイルに付けると、誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。

間違いの例：

- MP3 ではないファイルに、「.mp3」の拡張子をつける
- WMA ではないファイルに、「.wma」の拡張子をつける

— **関連リンク** —

[使用できるメディアについての情報 \(P.312\)](#)

[フォーマットについての情報 \(P.312\)](#)

[USB メモリーから再生できる動画データについての情報 \(P.315\)](#)

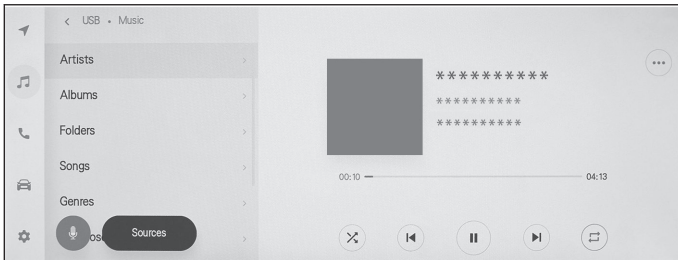
[USB メモリーについての情報 \(P.320\)](#)

USB メモリーの音楽ファイルを再生する

USB 端子に接続した USB メモリー内の音楽ファイルを再生して、音楽を楽しむことができます。USB メモリーを接続すると、ソース選択画面には、その機器名称のボタンが表示されます。機器によっては、表示されないことがあります。USB メモリーを接続してください。

- 1 メインメニューから [🎵] にタッチします。
- 2 [Sources] にタッチします。
- 3 機器名称または [USB] にタッチします。
USB メモリーに動画ファイルがない場合は、手順 5 に進みます。
- 4 [Music] にタッチします。
- 5 必要に応じて、再生中の USB メモリーを操作します。

● 画面で操作する



[🔀]: ランダム再生をします。

タッチするたびに、全ファイル／トラック、解除、再生中のフォルダ／アルバムの順に切りかわります。

[⏮]: 再生中のファイル／トラックの先頭から再生します。ファイル／トラックの先頭のときは、前のファイル／トラックの先頭から再生します。

長押しすると、早もどしします。手を離すと、その位置から再生します。

[⏸]: 再生を一時停止します。

[▶]: 再生

[⏭]: ファイル／トラックが切りかわります。

長押しすると、早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

[🔄]: タッチするとリピート再生を行います。

タッチするたびに、再生中のファイル／トラック、再生中のフォルダ／アルバム、全ファイル／トラックの順に切りかわります。

[⋮]: 設定可能な項目を表示します。

サブメニュー一覧：以下の条件からトラックを選択します。

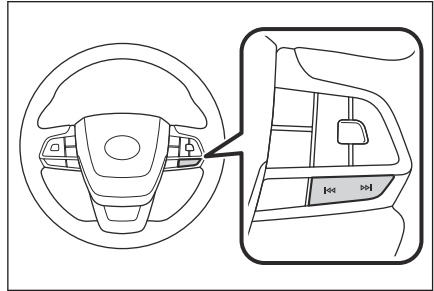
- [Artists]: アーティスト名でトラックを選択します。
- [Albums]: アルバム名からトラックを選択します。
- [Folders]: フォルダー名からトラックを選択します。
- [Songs]: 曲名からトラックを選択します。
- [Genres]: ジャンルからトラックを選択します。
- [Composers]: 作曲者名からトラックを選択します。

● ステアリングスイッチで操作する

[]/[] スイッチ

ファイルまたはトラックを切り替えます。

長押しで早戻しまたは早送り。離すとその位置から再生します。



— 関連リンク —

[オーディオのソースを変更する \(P.33\)](#)

[USB 機器を接続する \(P.35\)](#)

[サウンドやメディアの設定を変更する \(P.84\)](#)

[各ソースの音を調整する \(P.87\)](#)

USB メモリーの動画ファイルを再生する

USB 端子に接続した USB メモリー内の動画ファイルを再生して、音楽や映像を楽しむことができます。USB メモリーを接続すると、ソース選択画面には、その機器名称のボタンが表示されます。機器によっては、表示されないことがあります。

USB メモリーを接続してください。

- 1 メインメニューの [🎵] にタッチします。
- 2 [Sources] にタッチします。
- 3 機器名または [USB] にタッチします。
- 4 [Video] にタッチします。
- 5 必要に応じて、再生中の USB メモリーを操作します。

● 全画面表示中の操作

画面をタッチすると操作ボタンが表示されます。



[◀]: 現在再生中のファイルを最初から再生します。ファイルの冒頭にいる場合は、前のファイルを最初から再生します。

タッチして長押しすると動画を早戻しします。離すとその位置から再生を開始します。

[⏸]: 動画再生を一時停止します。

[▶]: 動画を再生します。

[⏪]: ファイルを切り替えます。

タッチして長押しすると動画を早送りします。離すとその位置から再生を開始します。

動画を一時停止中にタッチして長押しするとスロー再生します。

[Move]: 操作ボタンを移動します。

操作ボタンが重なって動画が見つからない場合に操作ボタンを移動します。

[⏏]: 操作画面を表示します。

● 操作画面からの操作

操作画面を表示するには、全画面表示で [⏏] をタッチします。



[◀]: 現在再生中のファイルを最初から再生します。ファイルの冒頭にいる場合は、前のファイルを最初から再生します。

長押しすると動画を早戻しします。離すとその位置から再生を開始します。

[⏸]: 動画再生を一時停止します。

[▶]: 動画を再生します。

[▶|◀]: ファイルを切り替えます。

長押しすると動画を早送りします。離すとその位置から再生を開始します。

動画を一時停止中に長押しするとスロー再生します。

[⏏]: 全画面表示に切り替えます。

[⋮]: 設定可能な項目を表示します。

サブメニューのフォルダー名またはファイル名：フォルダー名をタッチするとフォルダーを選択し、ファイル名をタッチすると再生ファイルを変更します。

● ステアリングスイッチで操作する

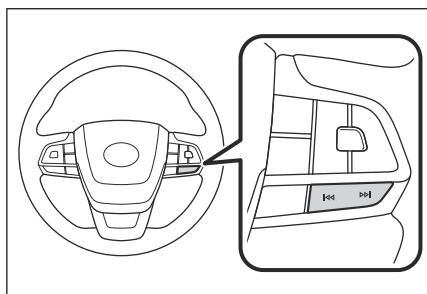
[◀◀]/[▶▶] スイッチ

ファイルを切り替えます。

長押しすると動画を早戻しまたは早送りします。離すとその位置から再生を開始します。

全画面ビデオを一時停止中に

[▶▶] スイッチを押し続けると、スロー再生が行われます。



— 関連リンク —

[オーディオのソースを変更する \(P.33\)](#)

[USB 機器を接続する \(P.35\)](#)

[サウンドやメディアの設定を変更する \(P.84\)](#)

[各ソースの音を調整する \(P.87\)](#)

[画質を調整する \(P.88\)](#)

[画面モードを切りかえる \(P.89\)](#)

iPod/iPhone の再生についての留意事項

iPod/iPhone を再生するとき、特に気を付けていただきたいことがあります。マルチメディアシステムで使用できる iPod/iPhone については、「iPhone/iPod」(→ P.315) をご覧ください。

📄 知識

- iPod/iPhone モード中に端子を抜いたり、接続する機器を抜き挿ししたりすると、雑音が出る場合があります。
- USB ハブを使用して複数の機器を接続した場合、最初に認識された機器以外は使用できません。
- iPod/iPhone を接続している状態で、他ソースから iPod/iPhone に切りかえたとき、前回、最後に再生していたトラックから再生されます。*1

⚠️ 警告

安全のため、運転者は運転中に iPod/iPhone を操作しないでください。

⚠️ 注意

- iPod/iPhone を車室内に放置しないでください。車室内が高温のときに iPod/iPhone が故障するおそれがあります。
- 接続中に iPod/iPhone を押さえたり、不必要な圧力を加えたりしないでください。iPod/iPhone や端子が破損するおそれがあります。
- 端子に異物を入れないでください。iPod/iPhone や端子が破損するおそれがあります。

— 関連リンク —

[iPhone/iPod \(P.315\)](#)

*1: お使いの機器によっては、動作が異なる場合があります。

iPod/iPhone を再生する

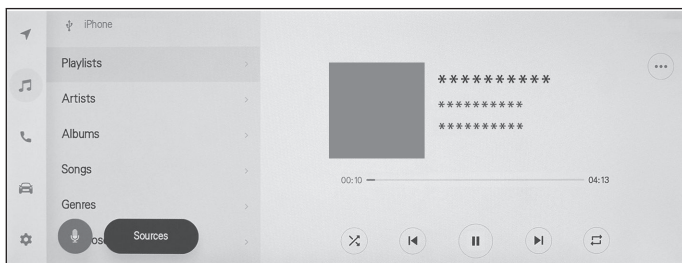
USB 端子に接続した iPod/iPhone の音楽ファイルを再生できます。iPod/iPhone を接続すると、ソース選択画面には、その機器名称のボタンが表示されます。機器によっては、表示されないことがあります。

知識

- 接続する iPod/iPhone の世代や機種によって、カバーアートの画像が粗くなったり、リストスクロールの表示が遅くなる場合があります。
- 接続する iPod/iPhone の世代や機種によって、操作できなかったり、異なる動作をすることがあります。

iPod/iPhone を接続してください。

- 1 メインメニューの [🎵] にタッチします。
- 2 [Sources] にタッチします。
- 3 機器名称または [USB] にタッチします。
- 4 必要に応じて再生中の iPod/iPhone を操作します。
 - 画面で操作する



[🔀]: シャッフル再生をします。

タッチするたびに、シャッフルの設定が切りかわります。*1

[⏮]: 再生中のトラックの先頭から再生します。トラックの先頭のときは、前のトラックの先頭から再生します。

長押しすると、早もどしします。手を離すと、その位置から再生します。


[⏸]: 再生を一時停止します。

[▶]: 再生します。


[⏭]: トラックが切りかわります。

長押しすると、早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

*1: シャッフル／リピートの設定がどの順番で切りかわるかは接続する機器によって異なります。

[]: リピート再生をします。

タッチするたびに、リピートの設定が切りかわります。*1

[]: 設定可能な項目を表示します。

サブメニュー一覧：以下の条件からトラックを選択します。

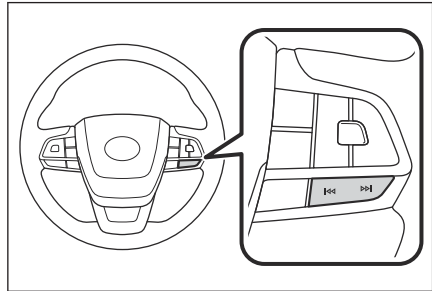
- [Playlists]: プレイリストからトラックを選択します。
- [Artists]: アーティスト名でトラックを選択します。
- [Albums]: アルバム名からトラックを選択します。
- [Songs]: 曲名からトラックを選択します。
- [Genres]: ジャンルからトラックを選択します。
- [Composers]: 作曲者名からトラックを選択します。
- [Radio]: ラジオ局からトラックを選択します。
- [Audiobooks]: オーディオブック名からトラックを選択します。
- [Podcasts]: ポッドキャスト名からトラックを選択します。

● ステアリングスイッチで操作する

[]/[] スイッチ

トラックが切りかわります。

長押しで早戻しまたは早送り。離すとその位置から再生します。



— 関連リンク —

[オーディオのソースを変更する \(P.33\)](#)

[USB 機器を接続する \(P.35\)](#)

[サウンドやメディアの設定を変更する \(P.84\)](#)

[各ソースの音を調整する \(P.87\)](#)

*1: シャッフル／リピートの設定がどの順番で切りかわるかは接続する機器によって異なります。

Apple CarPlay の再生についての留意事項

Apple CarPlay を再生するとき、特に気を付けていただきたいことがあります。この機能は一部の地域では利用できません。

知識

- Android Auto を接続しているときは、この機能を使用できません。
- Apple CarPlay を USB で接続しているときに、接続する機器を抜き挿ししたりすると、雑音が出ることがあります。
- iPhone が接続されている状態で、他ソースから Apple CarPlay に切りかえたとき、前回、最後に再生していたトラックから再生されます。

警告

安全のため、運転者は運転中に iPhone を操作しないでください。

注意

- iPhone を車室内に放置しないでください。車室内が高温のときに iPhone が故障するおそれがあります。
- 接続中に iPhone を押さえたり、不必要な圧力を加えたりしないでください。iPhone や端子が破損するおそれがあります。
- 端子に異物を入れないでください。iPhone や端子が破損するおそれがあります。

— 関連リンク —

[Apple CarPlay および Android Auto 使用上の留意事項 \(P.116\)](#)

Apple CarPlay を再生する

USB 端子に接続した iPhone またはワイヤレス接続した iPhone の音楽ファイルを再生して楽しむことができます。Apple CarPlay に接続すると、ソース選択画面には、その機器名称のボタンが表示されます。機器によっては、表示されないことがあります。

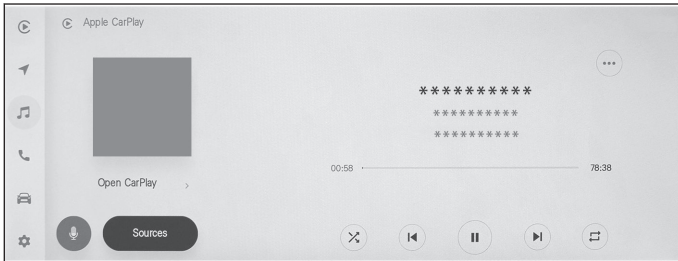
知識

- 接続する iPhone の世代や機種によって、操作できなかつたり、異なる動作をすることがあります。
- 曲が正常に再生されない場合や音が途切れるなどの症状がある場合、iOS を最新のバージョンに更新してください。更新すると、問題が解消されることがあります。

Apple CarPlay を接続してください。

- 1 メインメニューの [🎵] にタッチします。
- 2 [Sources] にタッチします。
- 3 [Apple CarPlay] (機器名称) にタッチします。
- 4 必要に応じて再生中の Apple CarPlay を操作します。

- 画面で操作する



[🔀]: シャッフル再生をします。

タッチするたびに、シャッフルの設定が切りかわります。*1

[⏮]: 再生中のトラックの先頭から再生します。

トラックの先頭のときは、前のトラックの先頭から再生します。

長押しすると、早もどしします。手を離すと、その位置から再生します。


[⏸]: 再生を一時停止します。

[▶]: 再生します。

[⏭]: トラックが切りかわります。

長押しすると、早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

*1: シャッフル/リピートの設定がどの順番で切りかわるかは接続する機器によって異なります。

[]: リピート再生をします。

タッチするたびに、リピートの設定が切りかわります。 *1

[]: 設定可能な項目を表示します。

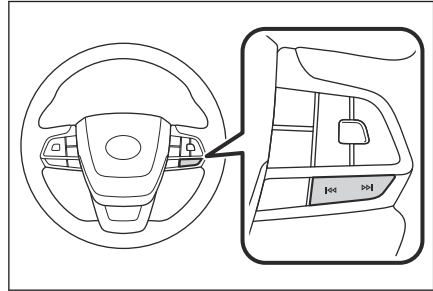
[**Open CarPlay**]: Apple CarPlay 画面を表示します。

- ステアリングスイッチで操作する

[]/[] スイッチ

トラックが切りかわります。

長押しで早戻しまたは早送り。離すとその位置から再生します。



— 関連リンク —

[オーディオのソースを変更する \(P.33\)](#)

[サウンドやメディアの設定を変更する \(P.84\)](#)

[各ソースの音を調整する \(P.87\)](#)

[Bluetooth® 機器を設定する \(P.92\)](#)

[未登録のスマートフォンで Apple CarPlay を使用する \(P.119\)](#)

[登録済みスマートフォンで Apple CarPlay を使用する \(P.122\)](#)

*1: シャッフル／リピートの設定がどの順番で切りかわるかは接続する機器によって異なります。

Android Auto の再生についての留意事項

Android Auto を再生するとき、特に気を付けていただきたいことがあります。
この機能は一部の地域では利用できません。

📄 知識

- Apple CarPlay を接続しているときは、この機能を使用できません。
- Android Auto を接続しているときに、接続する機器を抜き挿ししたりすると、雑音が出る場合があります。
- Android 機器を接続している状態で、他のソースから Android Auto に切りかえたとき、前回、最後に再生していたトラックから再生されます。

⚠️ 警告

安全のため、運転者は運転中に Android 機器を操作しないでください。

⚠️ 注意

- Android 機器を車室内に放置しないでください。車室内が高温のときに Android 機器が故障するおそれがあります。
- 接続中に Android 機器を押さえたり、不必要な圧力を加えたりしないでください。Android 機器や端子が破損するおそれがあります。
- 端子に異物を入れないでください。Android 機器や端子が破損するおそれがあります。

— 関連リンク —

[Apple CarPlay および Android Auto 使用上の留意事項 \(P.116\)](#)

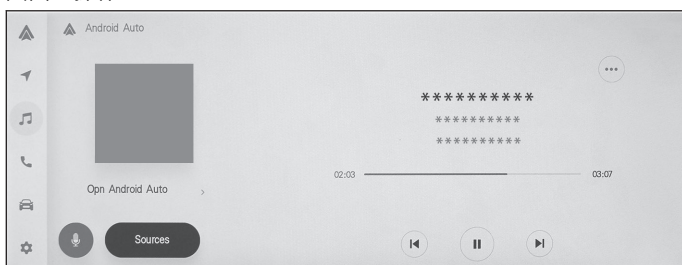
Android Auto を再生する

USB 端子に接続した Android 機器の音楽ファイルを再生して楽しむことができます。Android 機器を接続すると、ソース選択画面には、その機器名称のボタンが表示されます。機器によっては、表示されないことがあります。

Android Auto を接続してください。

- 1 メインメニューの [🎵] にタッチします。
- 2 [Sources] にタッチします。
- 3 [Android Auto] (機器名称) にタッチします。
- 4 必要に応じて、再生中の Android Auto を操作します。

● 画面で操作する



[⏮]: 再生中のトラックの先頭から再生します。トラックの先頭のときは、前のトラックの先頭から再生します。

[⏸]: 再生を一時停止します。

[▶]: 再生します。

[⏪]: トラックが切りかわります。

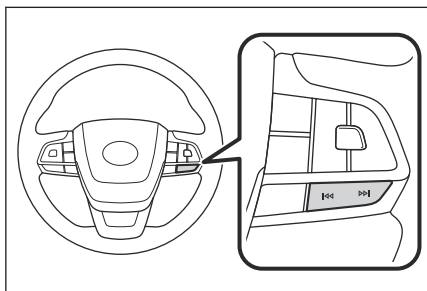
[⋮]: 設定可能な項目を表示します。

[Open Android Auto]: Android Auto 画面を表示します。

● ステアリングスイッチで操作する

[⏮][⏪] スイッチ

トラックが切りかわります。



関連リンク

[オーディオのソースを変更する \(P.33\)](#)

[サウンドやメディアの設定を変更する \(P.84\)](#)

[各ソースの音を調整する \(P.87\)](#)

[Bluetooth® 機器を設定する \(P.92\)](#)

[未登録のスマートフォンで Android Auto を使用する \(P.125\)](#)

[登録済みスマートフォンで Android Auto を使用する \(P.128\)](#)

Bluetooth® オーディオの再生についての留意事項

Bluetooth® オーディオを再生するとき、特に気を付けていただきたいことがあります。

□ 知識

- 携帯電話を含む Bluetooth® ポータブルオーディオプレーヤー（以下ポータブル機）を使用するためには、まずマルチメディアシステムにポータブル機を登録する必要があります。
- ポータブル機の機種により、一部機能が制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- Apple CarPlay がワイヤレス（2.4 GHz Wi-Fi®）接続されている場合、この機能は使用できません。
- 他の無線機器と同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。
- マルチメディアシステム設定で Wi-Fi® 機能を ON にしているときは、Bluetooth® オーディオの音が途切れる場合があります。

▲ 警告

- 安全のため、運転者は運転中にポータブル機本体の操作をしないでください。
- Bluetooth® 通信用の車両側アンテナはマルチメディアシステムに内蔵されています。

植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用される場合は、電波による影響について医師や医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。

▲ 注意

- ポータブル機を車室内に放置しないでください。車室内が高温のときにポータブル機が故障するおそれがあります。
- ポータブル機をマルチメディアシステムに近づけて使用しないでください。近づけすぎると、音質が劣化したり、接続状態が悪化する場合があります。

— 関連リンク —

[Wi-Fi® 設定の変更 \(P.90\)](#)

[Bluetooth® 機器使用上の留意事項 \(P.98\)](#)

[Bluetooth® 機器をマルチメディアシステムから登録する \(P.102\)](#)

[Bluetooth® についての情報 \(P.320\)](#)


Bluetooth® オーディオを再生

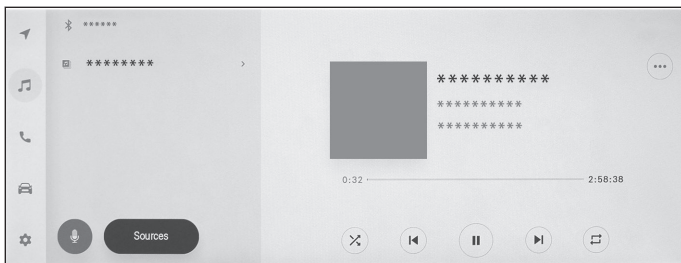
ポータブル機を接続することで、ポータブル機を直接操作することなく使用できます。


□ 知識

- 接続したポータブル機によっては、次の情報が表示されないことがあります。
 - フォルダタイトル
 - 曲名
 - アルバム名
 - アーティスト名
 - 再生時間
 - 合計時間
 - ランダム
 - リピート
 - 再生／一時停止
 - トラックアップ／ダウン
- 接続した機器によっては、次のような場合があります。
 - マルチメディアシステムで操作できない。
 - 動作や音量が異なる。
 - マルチメディアシステムとポータブル機で曲情報や時間表示などの表示が異なる。
 - 再生を停止すると、接続が切断される。
- 長時間再生した場合、音飛びすることがあります。
- 接続時の音量は、ポータブル機によって異なります。


ポータブル機をマルチメディアシステムに接続してください。

- 1 メインメニューの [] にタッチします。
- 2 [Sources] にタッチします。
- 3 機器名称または[Bluetooth] にタッチします。
- 4 必要に応じて再生中の Bluetooth® オーディオを操作します。
 - 画面で操作する





[]: ランダム再生をします。


タッチするたびに、ランダムの設定が切りかわります。 *1

[]: 再生中のトラックの先頭から再生します。トラックの先頭のときは、前のトラックの先頭から再生します。


長押しすると、早もどしします。手を離すと、その位置から再生します。

[]: タッチすると再生を一時停止します。


[]: 再生します。

[]: トラックが切りかわります。

長押しすると、早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

[]: リピート再生をします。

タッチするたびに、リピートの設定が切りかわります。 *1

[]: 設定可能な項目を表示します。

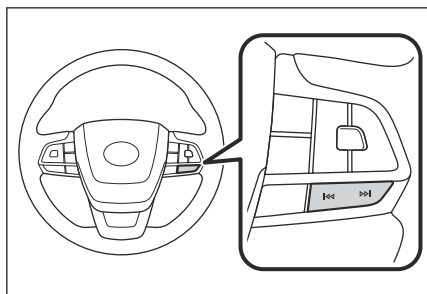
サブメニューのフォルダ名またはトラック名：フォルダー名をタッチするとフォルダーを選択し、ファイル名をタッチすると再生ファイルを変更します。

● ステアリングスイッチで操作する

[]/[] スイッチ

トラックが切りかわります。

長押しで早戻しまたは早送り。離すとその位置から再生します。



— 関連リンク —

[オーディオのソースを変更する \(P.33\)](#)

[サウンドやメディアの設定を変更する \(P.84\)](#)

*1: ランダム／リピートの設定がどの順番で切りかわるかは機種によって異なります。

各ソースの音を調整する (P.87)

Bluetooth® 機器を設定する (P.92)

Miracast® 再生時の留意事項

Pay special attention to the following information when using Miracast® playback.

📄 知識

- 機器は Wi-Fi® (P2P ード) 経由で接続されています。
- Apple CarPlay がワイヤレス接続されている場合、この機能は使用できません。
- 性能は周囲の環境や電氣的要因によって異なる場合があります。
- Miracast® の表示名は機器によって異なります。
- Wi-Fi® ネットワーク接続を有効にすると、Wi-Fi® ネットワーク接続通信と Miracast® 通信が相互に影響を与える可能性があります。その結果、画像の歪みや音声の途切れが発生する場合があります。

⚠️ 警告

運転中にスマートフォンやタブレットを接続したり、操作したりしないでください。

⚠️ 注意

スマートフォンやタブレットを車内に放置しないでください。車内が高温になり、スマートフォンやタブレットが故障する恐れがあります。

— 関連リンク —

[Wi-Fi® 設定の変更 \(P.90\)](#)

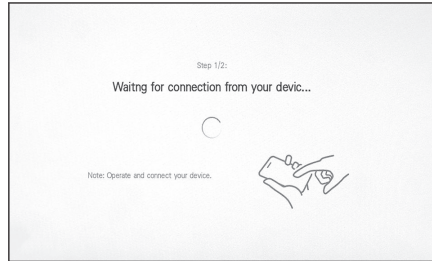
[Wi-Fi® 機器使用時の留意事項 \(P.111\)](#)

Miracast® 対応機器の接続

Miracast® に対応した Android スマートフォンやタブレットを接続できます。

使用している機器が Miracast® をサポートしているかどうかを確認するには、機器に付属の取扱説明書を参照してください。

- 1 メインメニューの [🎵] にタッチします。
- 2 [Sources] にタッチします。
- 3 [Miracast®] にタッチします。
- 4 Miracast® 対応機器を接続可能にします。
 - 操作方法の詳細については、機器に付属の取扱説明書を参照してください。
 - 接続失敗画面が表示された場合は、最初から接続手順をやり直してください。
- 5 機器名を確認し、[OK] にタッチします。



— 関連リンク —

[Wi-Fi® 設定の変更 \(P.90\)](#)

Miracast® の再生

スマートフォンまたはタブレットの音声や映像を、マルチメディアシステムで再生して楽しむことができます。

□ 知識

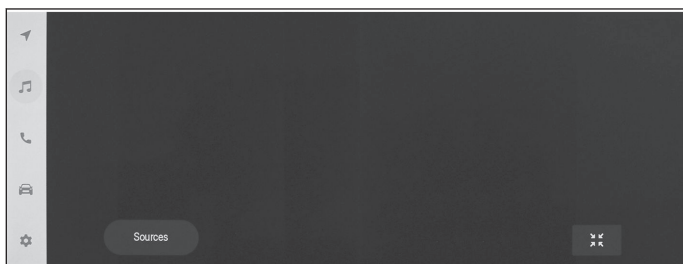
- 接続された機器によって Miracast® の音量が異なる場合があります。
- Wi-Fi® 接続が切断されると音声は OFF になります。

Miracast® 対応機器を接続します。

- 1 メインメニューの [🎵] にタッチします。
- 2 [Sources] にタッチします。
- 3 [Miracast®] にタッチします。
- 4 必要に応じて再生中の Miracast® コンテンツを操作します。

- 全画面表示中の操作

画面をタッチすると操作ボタンが表示されます。



[🔳]: 操作画面を表示します。

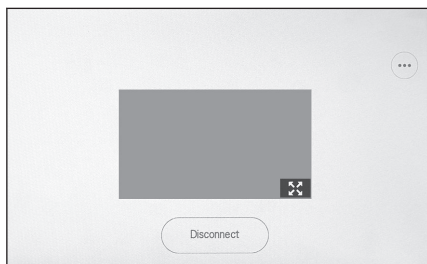
- 操作画面からの操作

操作画面を表示するには、全画面表示で [🔳] をタッチします。

[🔄]: 全画面表示に切り替えます。

[⋮]: 設定可能な項目を表示します。

[Disconnect]: Miracast® の切断オーディオが OFF になります。



— 関連リンク —

[オーディオのソースを変更する \(P.33\)](#)

[サウンドやメディアの設定を変更する \(P.84\)](#)

各ソースの音を調整する (P.87)

画質を調整する (P.88)

画面モードを切りかえる (P.89)

6-1. ハンズフリー電話使用上の留意事項

| | |
|------------------------------|-----|
| ハンズフリー電話についての留意事項 | 196 |
| ハンズフリー電話が故障したとお考えになる前に | 200 |

6-2. ステアリングスイッチでのハンズフリー電話の操作

| | |
|-----------------------|-----|
| ステアリングスイッチで操作する | 203 |
|-----------------------|-----|

6-3. 電話のかけ方

| | |
|----------------------------|-----|
| 履歴から電話をかける | 205 |
| お気に入りリストから電話をかける | 206 |
| 連絡先から電話をかける | 207 |
| キーパッドから電話をかける .. | 208 |
| ウェイト／ポーズ信号を使って電話をかける | 209 |

6-4. 電話の受け方

| | |
|---------------|-----|
| 電話に出る | 210 |
| 着信を拒否する | 212 |

6-5. 通話中の操作

| | |
|-------------------------|-----|
| 通話画面で操作する | 213 |
| 割込着信の電話に出る | 215 |
| 通話中に別の通話相手へ電話をかける | 216 |
| グループ通話をする | 217 |
| 電話を切る | 218 |

6-6. ハンズフリー電話の変更

| | |
|----------------------|-----|
| ハンズフリー電話を切りかえる | 219 |
|----------------------|-----|

6-7. 連絡先データの編集

| | |
|----------------------|-----|
| 連絡先データの転送 | 220 |
| 連絡先に新規データを追加する | 224 |

| | |
|-------------------|-----|
| お気に入りリストの登録 | 226 |
|-------------------|-----|

6-8. メッセージ機能の使用法

| | |
|-----------------------|-----|
| メッセージ機能使用時の留意事項 | 227 |
| メッセージ機能から電話をかける | 231 |

ハンズフリー電話についての留意事項

動作確認済みの Bluetooth® 携帯電話（以下、「携帯電話」）以下「携帯電話」）を接続することで、携帯電話を直接操作することなく、「電話をかける」「電話を受ける」という電話機能を使用できます。これをハンズフリー電話と呼びます。

接続する携帯電話は、マルチメディアシステムの仕様に対応している必要があります。ただし、携帯電話の機種により、一部機能が制限される場合があります。

Apple CarPlay/Android Auto 接続中でも、状況によっては Apple CarPlay/Android Auto のハンズフリー電話画面にならない場合があります。

□ 知識

- 携帯電話をハンズフリーで使用する場合は、次の点に注意してください。
 - ハンズフリー通話を使用するには、携帯電話を、マルチメディアシステムに登録して Bluetooth® 接続しないとハンズフリー電話として使用できません。ハンズフリー電話を使用するときは、まず携帯電話の登録を行ってください。
 - 携帯電話が Bluetooth® 機能を使用できる状態で使用してください。
 - Bluetooth® オーディオ再生中に発信／着信すると、画面の表示および発信音／着信音の鳴る動作が遅れる場合があります。

- マルチメディアシステムに対して、すべての Bluetooth® 端末において動作を保証しているわけではありません。

携帯電話の機種によっては以下のような問題が発生する場合があります。

- ハンズフリー通話中にパワースイッチを操作すると、通話が切れる場合があります。
- 発信画面が表示されず、相手が電話に出る前に通話画面が表示される場合があります。
- 発信画面でキーパッドを使用して入力をして、携帯電話会社のサービスによりトーン信号を送れない場合があります。
- 発信操作後に携帯電話の操作が必要になる場合があります。
- 次の場合は、ハンズフリー電話を使用できないことがあります。
 - 通話エリア外るとき
 - 回線が混雑しているなど、発信規制中るとき
 - 緊急通話中
 - 携帯電話から連絡先データを転送中るとき
 - 携帯電話がダイヤルロックされているとき
 - データ通信中など、携帯電話が使用中るとき
 - 携帯電話が故障しているとき
 - 携帯電話が接続されていないとき
 - 携帯電話のバッテリー残量が不足しているとき

- 携帯電話の電源が OFF のとき
- 携帯電話がハンズフリーを使用できない設定のとき
- マルチメディアシステムでデータ通信や連絡先転送からハンズフリー電話に切りかえているとき。(切りかえ中はマルチメディアシステムの Bluetooth®接続状態が表示されません)
- その他、携帯電話自体が使えないとき
- ハンズフリー通話と Wi-Fi®機能 (Wi-Fi®または Miracast®) を同時に使用すると、携帯電話の Bluetooth®接続が切断される場合があります。

▲ 警告

- 安全のため、運転中は携帯電話本体を操作しないでください。
- 植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器をお使いの方は、Bluetooth®アンテナとの間に十分な距離を保ってください。電波がこれらの機器の動作に影響を与える場合があります。
- 植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用される場合は、電波による影響について医師や医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。電波により医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

▲ 注意

携帯電話は車室内に放置しないでください。車室内が高温のときに携帯電話が故障するおそれがあります。

— 関連リンク —

[Bluetooth®機器使用上の留意事項 \(P.98\)](#)

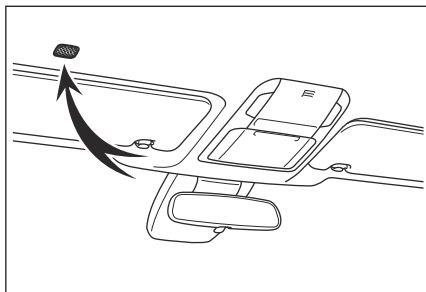
[Bluetooth®仕様、対応プロファイル \(P.100\)](#)

[Bluetooth®機器をマルチメディアシステムから登録する \(P.102\)](#)

通話音声の留意事項

ハンズフリー電話では、車両側に装備されているマイクを通して通話ができます。ハンズフリー電話で通話するときに、特に気を付けていただきたいことがあります。

- 着信時や通話時などの音声は、前席両側のスピーカーから出力されます。
- ハンズフリー電話で音声や呼び出し音などが出力されると、オーディオ音声などはミュート（消音）されます。



□ 知識

- 通話時は通話相手と交互に話をしてください。通話相手と同時に話した場合、相手の音声はこちらに聞こえにくくなる場合があります。
- 受信音量が大きい場合、相手の音声が車外にもれたり、エコーが聞こえるおそれがあります。
- 音声は大きくはっきりと話してください。
- 以下の場合、相手があなたの声を聞き取りにくくなる場合があります。
 - 未舗装路を走行している場合。
 - 高速走行中
 - 窓やルーフを開けているとき
 - エアコンの吹き出し口をマイクの方に向けたとき
 - エアコン送風の音が大きいとき
 - 携帯電話をマイクに近付けたとき
- 使用する携帯電話やネットワークの影響により、音質が悪化（ノイズ、エコーなど）することがあります。
- 他の Bluetooth[®] 機器が同時に接続されている場合、ハンズフリー電話の音声にノイズが発生することがあります。
- マルチメディアシステムで Wi-Fi[®] 機能（Wi-Fi[®] または Miracast[®]）を使用するように設定されている場合、ハンズフリーシステムの音声にノイズが発生することがあります。
- 携帯電話とマルチメディアシステムのスピーカー音量／着信音量が同期する場合があります。携帯電話の機種によっては同期できない場合があります。

△ 注意

マイクにふれたり、先の尖ったものを入れないでください。故障の原因となります。

お車を手放すときの注意

ハンズフリーを使用すると、多数の個人情報が登録されます。お車を手放すときには、全ての情報を初期化してください。

全ての情報の初期化を行うと、マルチメディアシステムの全データを初期化して工場出荷状態にもどります。初期化前の状態にもどすことはできません。

— 関連リンク —

[セキュリティ設定を変更する \(P.65\)](#)

ハンズフリー電話が故障したとお考えになる前に

次の症状で気になったりお困りになったときは、考えられることと処置を参考に、もう一度確認してください。

■ ハンズフリー電話を使う

| 症状 | 考えられること | 処置 |
|--------------------|----------------------------------|--|
| ハンズフリー電話を使うことができない | 携帯電話が Bluetooth® に対応していない。 | マルチメディアシステムで動作確認済みの特定機器一覧については、トヨタ販売店にご確認ください。 |
| | 携帯電話のバージョンが Bluetooth® に適合していない。 | Bluetooth® Core Specification Ver. 5.0 以降に対応した携帯電話を使用してください。 |

■ 携帯電話の登録と接続

| 症状 | 考えられること | 処置 |
|--------------------|--------------------------------------|---|
| 携帯電話が登録できない | 携帯電話の登録操作が完了していない。 | 携帯電話に承認ボタンが表示されているときは承認ボタンを選択して、登録操作を継続してください。 |
| | マルチメディアシステム、携帯電話どちらか一方の登録情報が残っている。 | マルチメディアシステム、携帯電話双方の登録情報を削除してから、再度登録操作を行ってください。 |
| Bluetooth® 接続ができない | お使いになる携帯電話以外がすでに Bluetooth® 接続状態にある。 | お使いになる携帯電話をマルチメディアシステムから手動で Bluetooth® 接続してください。 |
| | 携帯電話の Bluetooth® 機能が有効状態でない。 | パワースイッチが ACC または ON の状態で、携帯電話の Bluetooth® 機能を有効にしてください。 |
| | 携帯電話の登録情報が削除されている。 | マルチメディアシステム、携帯電話双方の登録情報を削除してから、登録操作を行ってください。 |

■ 着信と発信

| 症状 | 考えられること | 処置 |
|-----------------|--------------------------------|----------------------------------|
| 電話をかける、受けるができない | 圏外にいる | 通話可能エリア内に移動してください。 |
| | 携帯電話の発信制限（ダイヤルロック）が ON になっている。 | 携帯電話の発信制限（ダイヤルロック）を OFF にしてください。 |

■ 連絡先

| 症状 | 考えられること | 処置 |
|---------------------|--|--|
| 連絡先データの転送／自動転送ができない | 携帯電話のプロファイルが連絡先データの転送に対応していません。 | マルチメディアシステムで動作確認済みの特定機器一覧については、トヨタ販売店にご確認ください。 |
| | マルチメディアシステムの Bluetooth®設定で [Sync contacts] が OFF になっている。 | マルチメディアシステムの Bluetooth®設定で、[Sync contacts] を ON になっている。 |
| | 携帯電話が連絡先転送の承認待ちになっている。 | 携帯電話で連絡先転送承認ボタンを選択してください。 |
| 携帯電話に承認の確認画面が表示される | 携帯電話が常に承認する設定になっていない。 | 携帯電話を常に承認する設定にしてください。 |
| 連絡先データがその他に登録される | 携帯電話に連絡先が登録されていない。 | 携帯電話に連絡先を登録してください。 |
| 連絡先データを編集できません。 | マルチメディアシステムの Bluetooth®設定で [Sync contacts] が ON に設定されています。 | マルチメディアシステムの Bluetooth®設定で [Sync contacts] を OFF に設定します。 |

■ Bluetooth®メッセージ機能を使用する場合^{*1}

| 症状 | 考えられること | 処置 |
|------------------|--------------------------|--|
| メッセージを表示できません。 | 携帯電話でメッセージ転送が有効になっていません。 | 携帯電話でメッセージ転送を有効にします（携帯電話上でメッセージ転送を承認してください）。 |
| 新着メッセージ通知が表示されない | 携帯電話で自動転送機能が有効になっていません。 | 携帯電話で自動転送機能を有効にしてください。 |

■ その他の状況

| 症状 | 考えられること | 処置 |
|-------------------------|------------------------------|-------------------------------|
| 考えられる処置をしても、症状が改善されないとき | 携帯電話とマルチメディアシステムの距離が離れすぎている。 | 携帯電話とマルチメディアシステムの距離を近づけてください。 |

*1: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

| 症状 | 考えられること | 処置 |
|-------------------------|--------------|---|
| 考えられる処置をしても、症状が改善されないとき | 電波干渉が発生している。 | Wi-Fi®機器など電磁波を発生させる可能性のある機器の電源を切ってください。 マルチメディアシステムの Wi-Fi®設定を OFF にしてください。 |
| | 携帯電話に要因がある。 | 携帯電話の電源を OFF にして、電池パックを取り出してください。 携帯電話の Bluetooth®接続を OFF から ON にしてください。 携帯電話の Wi-Fi®接続を OFF にしてください。 携帯電話のセキュリティソフト、または常駐アプリケーションを停止してください。 携帯電話にインストールしたアプリケーションは、提供元および動作状況について十分ご確認の上ご利用ください。 |

 知識

詳細は、携帯電話に添付の取扱説明書で確認してください。

— 関連リンク —

[Bluetooth® 機器を設定する \(P.92\)](#)

[Bluetooth® 機器をマルチメディアシステムから登録する \(P.102\)](#)

[Bluetooth® 機器の登録を削除する \(P.105\)](#)

[Wi-Fi® を切断する \(P.115\)](#)

ステアリングスイッチで操作する

電話を受ける／かけるなど、一部のハンズフリー電話機能をステアリングスイッチから操作できます。マルチメディアシステムの状態によって、ステアリングスイッチの機能がかわります。

● 必要に応じて、各スイッチを操作します。

[+] スイッチ

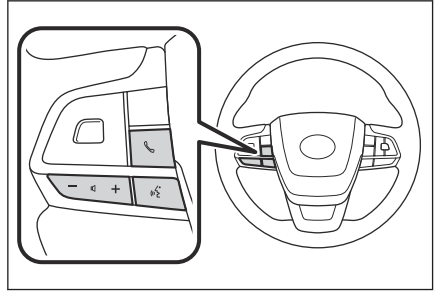
着信音量／受話音量を大きくします。

押し続けると、連続して調整できます。

[-] スイッチ

着信音量または受話音量を小さくします。

押し続けると、連続して調整できます。



[📞] スイッチ

音声認識で電話をかけることができます。

音声認識システムを終了するには、トークスイッチを長押しします。

[📞] スイッチ

- 通話ができない場合は、履歴画面を表示します。
- 電話画面に [📞] が表示されているときは、電話をかけることができます。
- 発信中／通話中は、電話を切ります。
- 着信中／割り込み着信中は、電話に出ます。

☐ 知識

- Apple CarPlay または Android Auto が接続されているときに [📞] を押すと、マルチメディアシステムに Apple CarPlay または Android Auto の電話画面が表示されます。
- Apple CarPlay とハンズフリー電話が接続されているときに [📞] を押すと、Apple CarPlay またはマルチメディアシステムの電話画面が表示されます。最後に使用した機能が優先されます。どちらも使用されていない場合は、メイン機器が優先されます。^{*1}
- Android Auto とハンズフリーフォンが接続されているときに [📞] を押すと、マルチメディアシステムのフォン画面が表示されます。
- 着信時は携帯電話の着信画面（ハンズフリー電話／Apple CarPlay/Android Auto）が表示されます。

*1: この機能は一部の地域では利用できません。

— 関連リンク —

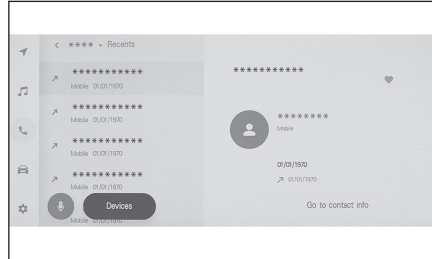
[音声操作システム \(P.38\)](#)

[Apple CarPlay および Android Auto 使用上の留意事項 \(P.116\)](#)

履歴から電話をかける

発信または着信履歴として登録されている電話番号から電話をかけることができます。

- 1 メインメニューの [📞] にタッチします。
- 2 サブメニューで[Recents]にタッチします。
- 3 通話相手を選択します。
連絡先に登録されていない電話番号は、電話番号のまま表示されます。
- 4 希望の電話番号にタッチします。



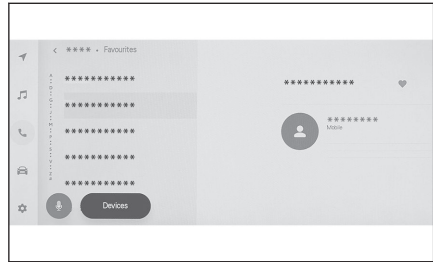
□ 知識

- 最新の履歴 100 件を表示します。履歴が 100 件をこえると、古い履歴から自動で削除されます。
- 発信履歴は、状況によって次のように登録されます。
 - 連絡先またはマルチメディアシステムに登録されている電話番号に発信した場合、そのデータに名称情報および画像情報があると、名称および画像も登録されます。
 - 同じ電話番号に複数回発信した場合、連絡先名の後に通話回数が表示されます。
- 着信履歴は、状況によって次のように登録されます。
 - 連絡先に登録してある電話番号から着信した場合、そのデータに名称情報および画像情報があると、名称および画像も登録されます。
 - 同一電話番号から着信した場合は、すべて登録されます。
 - 不在着信および着信拒否も登録されます。
 - 相手先電話番号の通知がない場合は、「Unknown」と登録されます。
- 保留した通話も履歴に登録されます。
- 携帯電話の機種によっては、国際電話がかけられない場合があります。

お気に入りリストから電話をかける

お気に入りに登録した連絡先から発信できます。

- 1 メインメニューの [📞] にタッチします。
- 2 サブメニューで[Favourites]にタッチします。
- 3 お気に入りリストから発信したい相手を選択します。
- 4 希望の電話番号にタッチします。



📖 知識

- [Sync contacts]が ON のとき、携帯電話のお気に入りが自動的にマルチメディアシステムへ転送されます。
- 携帯電話の機種によってはお気に入りが転送できない場合があります。
- お気に入りデータは、マルチメディアシステムに登録されている連絡先データからも登録できます。


— 関連リンク —

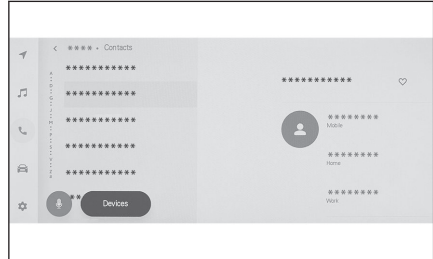
[連絡先データの転送 \(P.220\)](#)

[Bluetooth® 機器を設定する \(P.92\)](#)

連絡先から電話をかける

マルチメディアシステムに登録された連絡先から発信できます。

- 1 メインメニューの [] にタッチします。
- 2 サブメニューで[Contacts]にタッチします。
- 3 通話相手を選択します。
- 4 希望の電話番号にタッチします。



知識

- 画面に[Sync contacts]が表示された場合、タッチすると携帯電話の連絡先データがマルチメディアシステムに転送されます。
- 連絡先データが登録されていない場合は、マルチメディアシステムに転送または追加する必要があります。
- マルチメディアシステムの連絡先データは、接続しているハンズフリー電話の連絡先データが表示されます。2台接続などでハンズフリー電話を切りかえた場合、連絡先データも切りかわります。*1

関連リンク

[連絡先データの転送 \(P.220\)](#)

[連絡先に新規データを追加する \(P.224\)](#)

*1: この機能は一部の地域では利用できません。

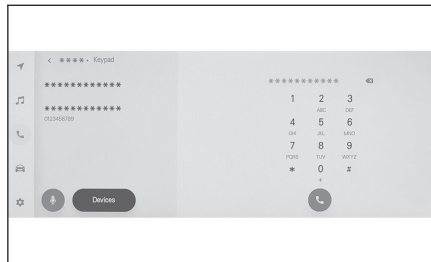
キーボードから電話をかける

電話番号をキーボードで入力し、電話をかけます。

- 1 メインメニューの [📞] にタッチします。
- 2 サブメニューで [Keypad] にタッチします。
- 3 電話番号を入力します。

- 4 [📞] をタッチするか、ステアリングホイールの [📞] スイッチを押します。

サブメニューに表示された連絡先にタッチして発信することもできます。



📖 知識

携帯電話の機種によっては、携帯電話側で操作が必要な場合があります。

— 関連リンク —

[ステアリングスイッチで操作する \(P.203\)](#)

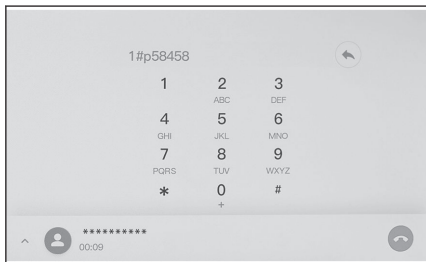
ウェイト／ポーズ信号を使って電話をかける

待機 (w) または一時停止 (p) 信号を含む番号に発信できます。待機 (w) または一時停止 (p) 信号の後に続く番号の送信は、約 2 秒間中断または停止されます。

- 待機 (w) 信号は番号の送信を中断します。次の待機 (w) 信号までユーザーの操作後に送信が再開されます。途中に一時停止 (p) 信号が含まれる場合、次の番号を送信する前に約 2 秒間送信が停止します。
- 一時停止 (p) 信号は番号の送信を約 2 秒間停止します。

- 1 メインメニューの [📞] にタッチします。
- 2 サブメニューで [Contacts] にタッチします。
- 3 通話相手を選択します。
- 4 待機 (; または w) または一時停止 (, または p) 信号を含む電話番号を選択します。
- 5 電話番号に待機 (w) 信号が含まれている場合は、[📞] を選択します。

[📞] をタッチすると、ウェイト (w) 信号によって送信が中断されていた番号は、次のウェイト (w) 信号があるまで送信を再開します。途中にポーズ (p) 信号がある場合は、次の番号を送信する前に 2 秒間送信を停止します。





📖 知識

- 携帯電話の機種によっては、待機信号がセミコロン (;)、一時停止信号がカンマ (,) として携帯電話画面に表示されることがあります。
- この機能は国際電話をかける際に使用します。
- 留守番電話や銀行の電話サービスなど、電話ベースのサービスを自動操作する場合にリリーストーンを使用できます。待機 (w) または一時停止 (p) 信号を含む電話番号は連絡先リストに登録できます。

電話に出る

着信時には着信音が鳴り、着信画面または着信通知が表示されます。音声操作システム設定[Voice support]が ON の場合、着信時に音声操作システムが起動します。

● 次のいずれかの操作をして、電話に出ます。

- [] にタッチします。
- ステアリングホイールの [] スイッチを押します。
- 音声認識システムで音声コマンドを話すと、電話に応答できます。



□ 知識

- 周辺監視画面表示中は着信画面が表示されません。着信音のみで着信が通知されます。
- 着信中は、ハンズフリー電話以外で出力される音声をミュート（消音）します。ただし、ハンズフリー電話より優先される音声案内は、ミュートされません。
- マルチメディアシステムで携帯電話の着信音を設定していても、携帯電話の設定によっては、マルチメディアシステムでは違う着信音出力される場合があります。
- ドライブモードなど、携帯電話の設定によっては、着信できない場合があります。
- 携帯電話の機種によっては、次のことがあります。
 - ・ 着信音は、車両スピーカーと携帯電話の両方から聞こえる場合があります。
 - ・ 着信時に相手の電話番号が表示されない場合があります。
 - ・ 携帯電話を直接操作して電話を受けたとき、または携帯電話を自動着信応答に設定したときは、携帯電話での通話になる場合があります。
 - ・ 携帯電話でデータ通信を行っている最中に着信があったときは、着信画面がマルチメディアシステムに表示されず、着信音も鳴らない場合があります。
- 携帯電話が自動連絡先データ転送（PBAP）に対応しており、連絡先の画像データが転送され、[Display contact images]が ON に設定されている場合、着信時に電話番号の横に連絡先の画像が表示されます。
- マルチメディアシステムの着信音設定が携帯電話の着信音以外に設定されている場合、携帯電話がマナーモード（バイブレーション）や着信音削除状態で、マルチメディアシステムに登録されている着信音が鳴ります。
- 携帯電話の設定で着信拒否に設定している電話番号から着信した場合、着信を拒否します。

関連リンク

[音声操作の設定を変更する \(P.62\)](#)

[音声で操作する \(P.36\)](#)


[Bluetooth® 機器を設定する \(P.92\)](#)

[ステアリングスイッチで操作する \(P.203\)](#)

着信を拒否する

マルチメディアシステムではいくつかの方法で着信を拒否できます。

● **着信中に、次のいずれかの操作をして、着信を拒否します。**

- [] にタッチします。
- 電話機を直接操作します。
- 音声認識システムで音声コマンドを話すと、通話を拒否できます。

 **知識**

携帯電話の設定で着信拒否に設定している電話番号から着信した場合、着信を拒否します。

— **関連リンク** —

[音声で操作する \(P.36\)](#)

[ステアリングスイッチで操作する \(P.203\)](#)

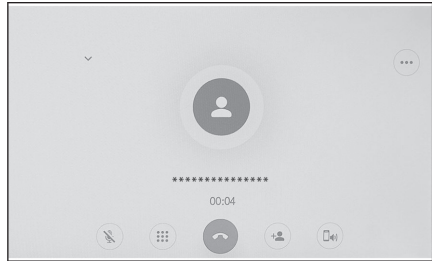
通話画面で操作する

通話中は通話画面でいろいろな操作ができます。

[🔇]: 通話相手に発話した声が聞こえないように、送話音をミュート（消音）します。ミュート（消音）中はボタンが青くなります。

解除するときは、再度ボタンにタッチします。

- 通話相手の声は聞くことができます。



[⋮]: キーパッド画面を表示します。キーパッド画面表示中は、通話画面が縮小されます。

[🔄]: 通話中の電話を切ります。

[👤]: 別の通話相手に電話をかけるために、サブメニューに連絡先リストを表示します。

- 通話中に電話番号をタッチして電話をかけることで、別の相手に電話をかけます。

[📶]: 携帯電話とマルチメディアシステムのあいだで、通話を切りかえることができます。携帯電話で通話中のときは、ボタンが青くなります。

[⏸]: 保留中の通話を解除します。保留中のみ表示されます。

[▽]: 通話画面を縮小します。

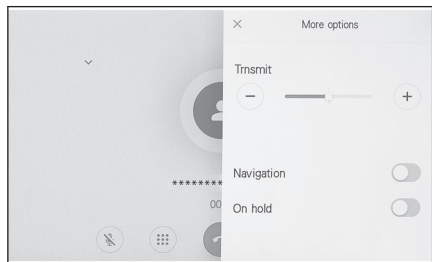
[^]: メインエリアに通話画面を表示します。

[⋮]: オプション画面を表示します。

オプション画面で以下の操作が可能です。

- [Transmit]: 送信音量を調整します。
送信音量を変更すると、音質が劣化する場合があります。
- [Navigation]^{*1}: 通話中にナビゲーションシステムの音声ガイドを中断するかどうかを ON または OFF にします。
- [On hold]: 通話を一時的に保留します。

[On hold]を OFF にすると保留が解除されます。



*1: ナビ機能付き

携帯電話の機種によっては、通話を保留できない場合があります。

- [×]: 通話画面に戻ります。保留中に通話画面へ戻った場合、再度オプション画面を表示することで保留を解除できます。

知識

- マルチメディアシステムの状態によっては、通話画面が縮小されたり、表示されない場合があります。
- 携帯電話の機種によっては、通話を切りかえることができません。
- 運転中は、ハンズフリーシステムから携帯電話への通話切り替えはできません。
- 通話中の携帯電話がハンズフリー電話としてマルチメディアシステムに接続された場合、通話画面が表示されます。携帯電話の機種によって、携帯電話がマルチメディアシステムのどちらかの通話になります。
- ハンズフリー電話で通話中にパワースイッチを操作した場合、携帯電話の機種によって、通話が切断される場合と、携帯電話で継続される場合があります。携帯電話で継続される場合は、携帯電話の操作が必要になることがあります。

— 関連リンク —

[ステアリングスイッチで操作する \(P.203\)](#)

割込着信の電話に出る

通話中に第三者から着信が入った場合、割込通話で両者と通話できます。割込着信が入ると、画面上部に着信通知が表示されます。

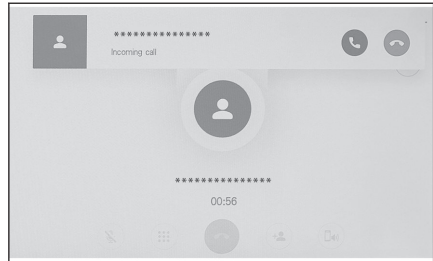
📄 知識

- 携帯電話会社との契約でキャッチホンサービスが必要です。
- 携帯電話が HFP Ver. 1.5 以降に対応していない場合、キャッチホンは利用できません。
- 携帯電話の機種や契約内容によっては、この機能を利用できない場合があります。

- **2 回目の着信があった場合は、画面の [📞] をタッチするか、ステアリングの [📞] スイッチを押します。**

2 件目の通話に応答すると、前の通話が保留になります。

[Swap calls] にタッチするごとに通話相手が切りかわります。



— 関連リンク —

[ステアリングスイッチで操作する \(P.203\)](#)

割込着信を拒否する

通話中に第三者から着信が入った場合、割込着信を拒否できます。

When receiving a second call, touch [📞].

📄 知識


携帯電話の機種によっては、両者とも通話が切れる場合があります。携帯電話に添付の取扱説明書をご覧ください。

— 関連リンク —

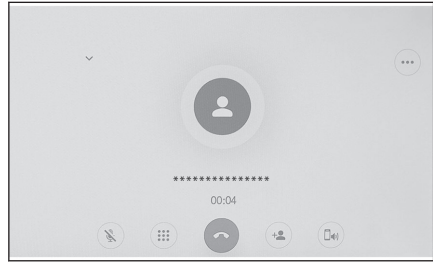
[ステアリングスイッチで操作する \(P.203\)](#)

通話中に別の通話相手へ電話をかける

通話中に新たに第三者へ電話をかけることができます。

- 1 通話画面で [] をタッチします。
- 2 通話相手を選択します。
- 3 電話番号を選択します。

本機能を利用すると、通話中の相手を保留します。



知識

- 携帯電話会社との契約でキャッチホンサービスが必要です。
- 携帯電話が HFP Ver. 1.5 以降に対応していない場合、キャッチホンは利用できません。
- 携帯電話の機種や契約内容によっては、この機能を利用できない場合があります。

グループ通話をする

通話を保留中に別の相手と話すときに、保留中の相手を追加します。

● **第三者と通話中に、[Merge calls]にタッチします。**

保留中の電話が保留解除され、グループ通話へ切りかわります。



 **知識**

- 携帯電話会社とグループ通話の契約をしている必要があります。
- 携帯電話の機種や契約内容によっては、この機能を利用できない場合があります。
- グループ通話を切ると、グループ全員との通話が終了します。

電話を切る

ハンズフリー電話を切るには、いくつかの方法があります。

● **通話中に、次のいずれかの操作をします。**

- ステアリングホイールの  スイッチを押します。
- 通話中または通話画面で  をタッチします。
- 携帯電話の操作で電話を切ります。

— 関連リンク —

[ステアリングスイッチで操作する \(P.203\)](#)

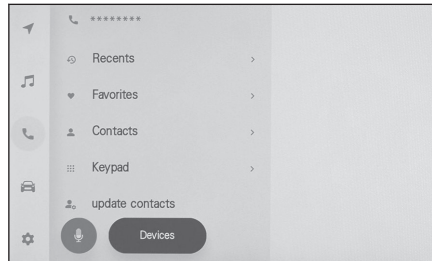
ハンズフリー電話を切りかえる^{*1}

2 台の携帯電話をハンズフリー電話として接続している場合、それぞれの携帯電話を利用できます。ハンズフリー電話には、利用する携帯電話を切りかえる機能があります。ハンズフリー電話画面では、選択している携帯電話の連絡先や履歴などのデータが表示されます。着信などの機能は、選択されていない携帯電話も機能します。

2 台の携帯電話をハンズフリー電話として接続するには、ドライバーを登録・設定する必要があります。

- 1 メインメニューの [📞] にタッチします。
- 2 [Devices] にタッチします。
- 3 使用する携帯電話を選択します。

通話中、着信中、発信中は他の携帯電話を選択できません。



□ 知識

- ハンズフリー電話画面以外から電話をかける場合、メイン機器として発信されます。
- いずれかのハンズフリー電話で通話している場合、もう一方のハンズフリー電話からは発信できません。
- いずれかのハンズフリー電話で通話しているときに、もう一方のハンズフリー電話の着信に出た場合、最初の通話が切れます。
- 電話の着信機能は、選択されていない携帯電話の分も機能します。
 - 電話の着信機能
 - メッセージ受信・送信機能（メッセージ受信時）^{*2}
- 携帯電話を切りかえても、メイン機器が変更されるわけではありません。

— 関連リンク —

[ユーザープロファイルの登録 \(P.46\)](#)

[ユーザープロファイルの変更および登録 \(P.53\)](#)

[Bluetooth[®] 機器をメイン機器に設定する \(P.109\)](#)

*1: この機能は一部の地域では利用できません。

*2: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

連絡先データの転送

連絡先は接続された携帯電話 1 台につき、5000 名分のデータを登録できます。接続されている携帯電話に対応した連絡先のみ表示できます。この連絡先は、1 名につき最大 4 件の電話番号が登録できます。接続された電話機ごとに連絡先は管理されます。

この機能は、手動連絡先データ転送（OPP）または自動連絡先データ転送（PBAP）のいずれかに対応している携帯電話でのみ使用できます。接続する携帯電話の付属取扱説明書または対応プロファイルを参照し、対応しているかご確認ください。

自動連絡先データ転送（PBAP）で連絡先を転送するには、マルチメディアシステムの Bluetooth® 設定で [Sync contacts] を ON に設定する必要があります。

□ 知識

- 連絡先データを転送する際、各データについては、次のような制限があります。
 - 1 つの連絡先に 5 件以上の電話番号が登録されている場合、同じ名前の複数の連絡先としてマルチメディアシステムに登録されます。
 - 電話番号と同時に名称も転送されます。機種によっては記号などが転送されないことや、すべての文字が転送されないことがあります。また、転送されても正しく表示されないことがあります。
 - 通常はシークレットメモリの読み出しは行いません。（携帯電話の仕様により可能な場合もあります）
 - 携帯電話に登録されているグループ名は転送されません。
 - マルチメディアシステム側の連絡先で表示される電話番号の種別は、転送元の情報をもとにして自動で割り当てられます。ただし、携帯電話の機種や使用環境によっては、表示されるアイコンがすべて同じになることがあります。
 - 携帯電話の機種によっては、連絡先データ転送時に携帯電話の PIN コードや認証パスワードを入力する必要がある場合があります。その際は「1234」を認証パスワードとして入力してください。
 - 手動転送（OPP）に対応していない携帯電話の連絡先は、Bluetooth® 経由で追加・登録できません。この場合も「1234」を認証パスワードとして入力してください。
- 一括転送可能な機種は、連絡先データを転送する際、次のような特徴があります。
 - 転送には 10 分程度かかる場合があります。
 - 連絡先データ転送画面が表示されているときでも他画面に切りかえることができます。この場合、連絡先データ転送は継続されます。
- 連絡先リスト転送中の動作は以下の通りです。
 - 手動連絡先リスト転送（OPP）中に着信があった場合、通話は携帯電話本体で受信されます。手動転送中はマルチメディアシステムから発信できません。
 - 携帯電話が自動連絡先リスト転送（PBAP）、手動連絡先リスト転送（OPP）のいずれにも対応していない場合、Bluetooth® で連絡先データを転送することは

できません。なお、USB メモリーを使用して連絡先データを転送することは可能です。

- 連絡先データ転送中にパワースイッチを OFF にした場合、転送は中止されます。この場合は、ハイブリッドシステムを始動して、再度転送操作をやりなおしてください。
- 次の場合、転送中の連絡先データは保存されません。(転送された一部のデータも保存されません。)
 - マルチメディアシステム側のメモリ容量により途中で自動転送 (PBAP) が終了したとき。
 - 何らかの原因で自動転送 (PBAP) が中断されたとき。
- マルチメディアシステム側の連絡先データを携帯電話に転送することはできません。
- 連絡先データ転送中は、Bluetooth[®]オーディオの接続が切断されることがあります。この場合、転送が終了すると再接続されます。(機種によっては、再接続できないことがあります)
- 転送するときは、マルチメディアシステムを起動した状態で行ってください。
- 自動転送 (PBAP) 機能により連絡先、履歴をマルチメディアシステムに転送できます。一部の携帯電話はお気に入りを転送できません。
- [Sync contacts]が ON の場合、携帯電話のお気に入りが自動的にマルチメディアシステムに転送されます。
- 機種によっては、自動連絡先データ転送 (PBAP) を行う際に携帯電話で操作が必要な場合があります。
- 自動転送 (PBAP) で連絡先を転送する場合、携帯電話の連絡先の共有設定を有効にする必要があります。
- 自動連絡先データ転送 (PBAP) が開始しない場合、他のすべての機能が完了すると開始されることがあります。
- 連絡先画像を表示するには、Bluetooth[®]設定で[Display contact images]を ON に設定します。連絡先画像データを転送するには、Bluetooth[®]設定で[Sync contacts]と[Display contact images]を ON に設定する必要があります。

— 関連リンク —

[Bluetooth[®] 機器を設定する \(P.92\)](#)

[Bluetooth[®] 仕様、対応プロファイル \(P.100\)](#)

手動転送 (OPP) を利用して携帯電話の連絡先データを転送する

携帯電話に登録してある電話番号 (連絡先データ) を、手動転送 (OPP) を利用してマルチメディアシステムへ転送できます。

[Sync contacts]が ON に設定されている場合、電話帳転送完了後に[Sync contacts]が OFF になります。

Apple CarPlay または Android Auto を使用している携帯電話では、手動転送 (OPP) による連絡先データ転送はできません。

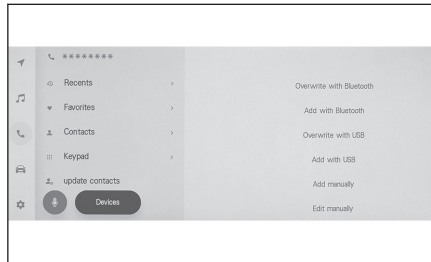
- 1 メインメニューの [📞] にタッチします。
- 2 サブメニューで[update contacts] ([Edit contacts]) をタッチします。
- 3 以下の転送方法から選択します。

[Overwrite with Bluetooth] : 現在の連絡先データを上書きします。

[Add with Bluetooth] : 現在の連絡先データに追加します。

- 4 携帯電話を操作して連絡先データを転送します。

転送失敗画面が表示された場合は、最初からやり直してください。



関連リンク

[Bluetooth® 仕様、対応プロファイル \(P.100\)](#)

USB メモリーの連絡先データを転送する

USB メモリーに登録してある電話番号（連絡先データ）をマルチメディアシステムへ転送できます。

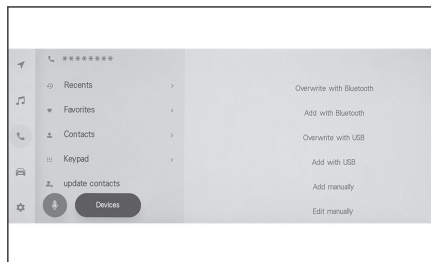
- [Sync contacts]が ON に設定されている場合、電話帳転送完了後に[Sync contacts]が OFF になります。
- Apple CarPlay または Android Auto 接続中は、この機能を使用できません。
- USB メモリーに保存された vCard 形式 (.vcf) の連絡先データのみ転送可能です。
- USB メモリー単体からはデータを転送できません。操作する前に、携帯電話がマルチメディアシステムで使用可能か確認してください。

- 1 USB 端子に USB メモリーを接続します。
- 2 メインメニューの [📞] にタッチします。
- 3 サブメニューで[update contacts] ([Edit contacts]) にタッチします。
- 4 以下の転送方法から選択します。

[Overwrite with USB] : USB メモリー内の連絡先データで現在の連絡先データを上書きします。

[Add with USB] : USB メモリー内の連絡先データを現在の連絡先データに追加します。

- 5 ファイルリストから転送したいファイルを選択します。
- 6 [OK]にタッチします。



転送失敗画面が表示された場合は、最初からやり直してください。

 **知識**

携帯電話の種類によっては、USB 接続された携帯電話を使用して vCard データを連絡先情報として転送できます。また、携帯電話に接続された SD カードから情報を転送できる場合もあります。

関連リンク


[USB 機器を接続する \(P.35\)](#)

連絡先に新規データを追加する

マルチメディアシステムの連絡先に直接データを入力して連絡先を作ることができます。連絡先には、1名のデータにつき、名称、電話番号（最大4件）、種別（自宅や携帯など、各電話番号にそれぞれ1つ）が登録できます。

- 履歴画面の[**Modify contact list**]から連絡先編集画面を表示し、新しいデータを追加することもできます。
- [**Sync contacts**]がONに設定されている場合、新しいマルチメディアシステムの連絡先は追加できません。追加する前に[**Sync contacts**]をOFFにしてください。

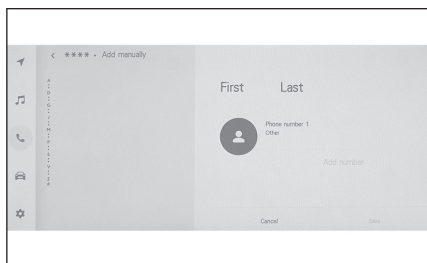
Apple CarPlay または Android Auto 接続中は、この機能を使用できません。

- 1 メインメニューの [] にタッチします。
- 2 サブメニューで[update contacts] ([Edit contacts]) にタッチします。
- 3 [Add manually]にタッチします。
- 4 各項目を選択し、入力します。

- [Add number]をタッチして電話番号を追加設定します。

電話番号が入力されていない場合は、電話番号を追加できません。

- 電話番号の種類（自宅や携帯など）を選択します。



- 5 [Save]にタッチします。

名前と電話番号が入力されていない項目は登録できません。

関連リンク

[Bluetooth® 機器を設定する \(P.92\)](#)


[履歴から電話をかける \(P.205\)](#)

連絡先のデータを修正する

登録済みの連絡先データを修正できます。

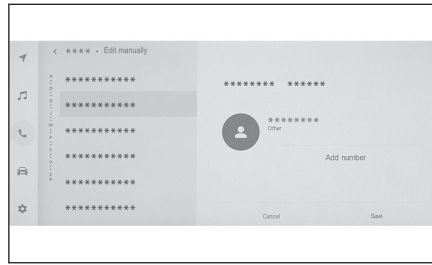
[**Sync contacts**]がONの場合、マルチメディアシステムの連絡先は編集できません。編集する前に[**Sync contacts**]をOFFにしてください。

Apple CarPlay または Android Auto 接続中は、この機能を使用できません。

- 1 メインメニューの [] にタッチします。
- 2 サブメニューで[update contacts] ([Edit contacts]) にタッチします。
- 3 [Edit manually]にタッチします。
- 4 編集したい連絡先を選択します。

5 各項目を選択し、入力します。

- [Add number]をタッチして電話番号を追加設定します。
- 電話番号の下に表示される種類（自宅や携帯など）をタッチして、電話番号の種類を選択します。



6 [Save]にタッチします。

名前と電話番号が入力されていない項目は登録できません。

— 関連リンク —

[Bluetooth® 機器を設定する \(P.92\)](#)

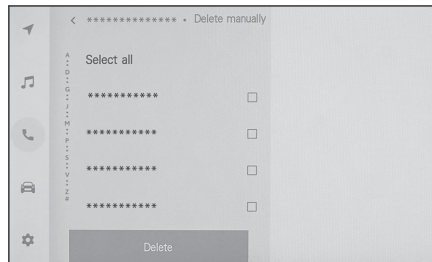
連絡先のデータを削除する

すでに登録済みの連絡先のデータを削除できます。

[Sync contacts]がONの場合、マルチメディアシステムの連絡先は削除できません。削除する前に[Sync contacts]をOFFにしてください。

Apple CarPlay または Android Auto 接続中は、この機能を使用できません。

- 1 メインメニューの [📞] にタッチします。
- 2 サブメニューで[update contacts] ([Edit contacts]) にタッチします。
- 3 [Delete manually]にタッチします。
- 4 削除したいデータを選択します。
- 5 サブメニュー下部の[Delete]にタッチします。



— 関連リンク —

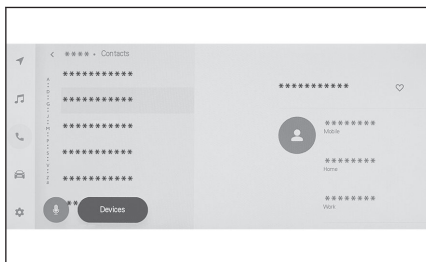
[Bluetooth® 機器を設定する \(P.92\)](#)

お気に入りリストの登録

よく使う連絡先をお気に入りに登録できます。

この機能を使用するには[Sync contacts]を OFF に設定してください。

- 1 メインメニューの [📞] にタッチします。
- 2 サブメニューで[Contacts]または[Recents]にタッチします。
- 3 登録したいデータを選択します。
- 4 登録したいデータ項目の [❤️] をタッチします。



関連リンク

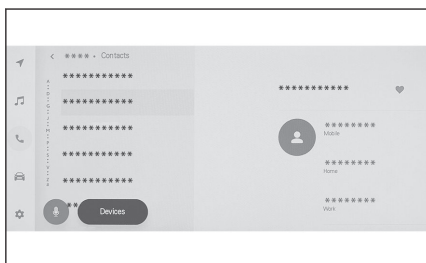
[Bluetooth® 機器を設定する \(P.92\)](#)

お気に入りリストの削除

登録済みのお気に入りを削除できます。

この機能を使用するには[Sync contacts]を OFF に設定してください。

- 1 メインメニューの [📞] にタッチします。
- 2 サブメニューで[Favourites]、[Contacts]、または[Recents]にタッチします。
- 3 削除したいデータを選択します。
- 4 削除したいデータ項目の [❤️] をタッチします。



関連リンク

[Bluetooth® 機器を設定する \(P.92\)](#)

メッセージ機能使用時の留意事項^{*1}

接続した携帯電話からメッセージを転送します。マルチメディアシステムでメッセージの確認、返信、送信が可能です。機種によってはメッセージ転送ができない場合や、携帯電話がメッセージ機能に対応していない場合は使用できません。

この機能は HFP および MAP に対応した携帯電話で利用できます。携帯電話が HFP や MAP に対応しているかどうかは、携帯電話付属の取扱説明書や対応プロファイルを確認してください。

□ 知識

- 携帯電話の設定からメッセージ共有設定を有効にしてください。
- 緊急通話中はこの機能は使用できません。
- 携帯電話の機種によっては、Eメール機能を使用できない場合があります。
- 携帯電話の機種によっては返信機能が利用できない場合があります。
- 各メッセージ機能使用時に、携帯電話のメッセージが自動的に転送されます。
- 接続する携帯電話の機種によっては、追加操作が必要な場合があります。
- SMS メッセージでは件名は表示されません。
- 受信した MMS の件名が表示されない場合があります。
- [Auto read messages] が ON の場合、メッセージが音声で読み上げられます。
- 携帯電話の機種やマルチメディアシステムへの登録状況によっては表示されない情報があります。


— 関連リンク —

[Bluetooth® 機器を設定する \(P.92\)](#)

[Bluetooth® 仕様、対応プロファイル \(P.100\)](#)


メッセージの確認


送受信されたメッセージを確認できます。


- 1 メインメニューの [] にタッチします。
- 2 サブメニューで [Messages] にタッチします。
- 3 アカウントを選択します。
- 4 メッセージ送信者を選択します。


*1: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

5 必要に応じて各項目を選択します。

[]: メッセージ画面を拡大または縮小します。


[]: メッセージ返信画面を表示します。

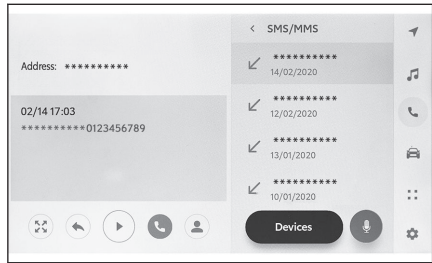
[]: メッセージを音声で読み上げます。

メッセージの読み上げを停止するには、[] をタッチします。

[]: メッセージ送信者に電話をかけます。

連絡先の登録状況によっては、電話番号を選択する必要があります。

[]: 相手の連絡先情報を表示します。



知識

Eメールのメッセージ画面を拡大表示中に[Mark Unread]または[Mark Read]をタッチすると、メッセージを未読または既読に設定できます。

— 関連リンク —

[連絡先から電話をかける \(P.207\)](#)

[メッセージへの返信 \(P.229\)](#)


[メッセージ機能から電話をかける \(P.231\)](#)

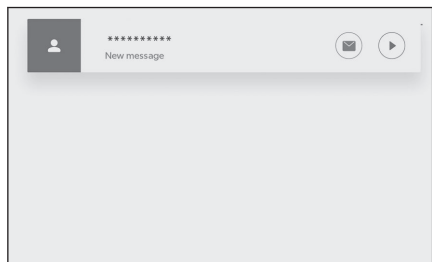
新着メッセージの確認

EメールやSMS、MMSメッセージを受信すると、画面上部に新着メッセージ通知が表示されます。[Voice support]がONの場合、音声認識システム^{*1}が起動します。

● メッセージ受信時に以下の操作が可能です。

[]: メッセージ本文を表示します。

[]: メッセージを音声で読み上げます。



— 関連リンク —

[メッセージへの返信 \(P.229\)](#)

*1: この機能はEメールでは使用できません。

メッセージへの返信

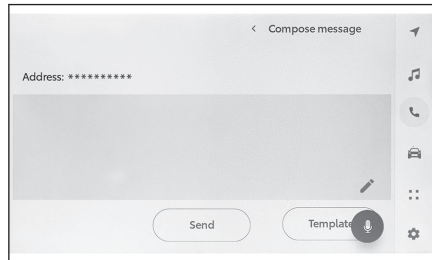
受信したメッセージへの返信が可能です。

- 1 メインメニューの [📧] にタッチします。
- 2 サブメニューで[Messages]にタッチします。
- 3 アカウントを選択します。
- 4 メッセージ送信者を選択します。
- 5 [↩] にタッチします。
- 6 各項目を入力します。

[Template]: 選択したテンプレートメッセージを入力します。

[✍]: キーボードを使用して入力します。

- 7 返信するには[Send]にタッチします。



関連リンク

[文字や数字の入力 \(P.24\)](#)

[音声で操作する \(P.36\)](#)

[テンプレートの編集 \(P.230\)](#)

新規メッセージの送信

新しいEメールやSMSメッセージを送信できます。MMSは非対応です。

- 1 メインメニューの [📧] にタッチします。
- 2 サブメニューで[Contacts]にタッチします。
- 3 連絡先リストから宛先を選択します。
- 4 ご希望の [✉] またはメールアドレスを選択してください。

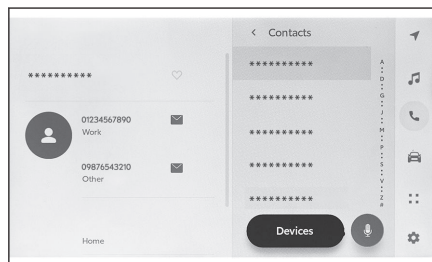
Eメールアドレスの場合、送信者アカウントを選択します。

- 5 各項目を入力します。

[Template]: 選択したテンプレートメッセージを入力します。

[✍]: キーボードを使用して入力します。

- 6 [Send]にタッチします。



— 関連リンク —

[文字や数字の入力 \(P.24\)](#)

[音声で操作する \(P.36\)](#)

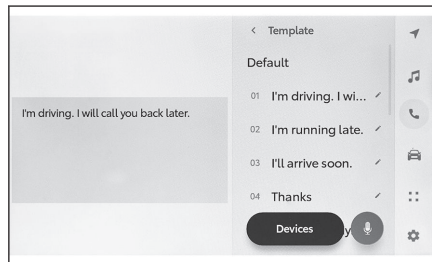
[テンプレートの編集 \(P.230\)](#)

テンプレートの編集

テンプレートを編集できます。

- 1 メインメニューの [📞] にタッチします。
- 2 サブメニューで [Template] にタッチします。
- 3 編集するテンプレートの [✏️] をタッチします。
- 4 テンプレートを入力して保存します。

[Default] をタッチすると、すべてのテンプレートセットが初期化されます。



📄 知識

- テンプレートは携帯電話ごとに別々に設定されます。
- 一部のテンプレートは編集できない場合があります。

— 関連リンク —

[メッセージへの返信 \(P.229\)](#)

[新規メッセージの送信 \(P.229\)](#)

メッセージ機能から電話をかける

メッセージ機能を使用してハンズフリー通話を行うことができます。

- **青色の番号をタッチすると発信できます。**

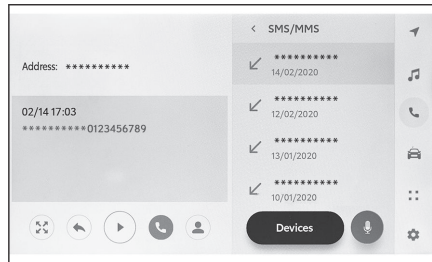
連続した数字が電話番号として認識される場合があります。また、国際電話番号など一部の番号は認識されない場合があります。

Eメール、SMS、MMS メッセージ画面からの発信

Eメール、SMS、MMS 送信者に発信できます。

- Eメールの場合、同じ連絡先データに電話番号が登録されている必要があります。
- MMS の場合、同じ連絡先データに電話番号を登録する必要がある場合があります。

- 1 メインメニューの [📞] にタッチします。
- 2 サブメニューで[Messages]にタッチします。
- 3 アカウントを選択します。
- 4 メッセージ送信者を選択します。
- 5 [📞]をタッチするか、ステアリングホイールの[📞]スイッチを押します。



— 関連リンク —

[ステアリングスイッチで操作する \(P.203\)](#)

7-1. Web ブラウザ（インターネット）

- Web ブラウザ（インターネット）機能について234
- Web ブラウザ画面の表示235
- Web ブラウザ画面の操作236

Web ブラウザ（インターネット）機能について^{*1*2}

インターネットに接続することで、ニュースサイト、ブログ、音楽ストリーミングサイト、動画サイトなどを閲覧できます。

知識

車両の Wi-Fi[®]をアクセスポイントに接続する必要があります。


警告

安全のため、ウェブサイトの閲覧は必ず車両を完全に停止し、パーキングブレーキをかけるか、シフトポジションを「P」にしてから行ってください。（走行中は音声のみ出力されます）

*1: 内蔵ナビゲーションシステム付き

*2: この機能は一部の地域では利用できません。

Web ブラウザ画面の表示

- 1 メインメニューの [] にタッチします。
- 2 [Web browser] にタッチします。

Web ブラウザ画面が表示されます。

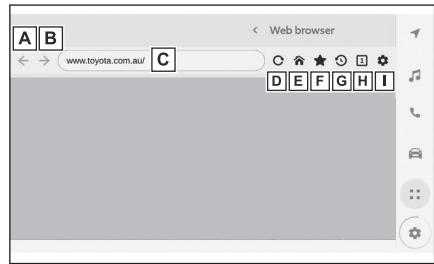
知識

- 「HTTPS」(安全な接続) を使用するウェブサイトのみアクセス可能です。
- ウェブサイトによっては正しく表示されない場合がございます。
- 一部のウェブサイトは表示または遷移できません。
- ウェブサイトによっては文字が正しく表示されない場合があります。
- コンテンツによっては動画や音声を再生できない場合があります。
- 動画や画像の解像度、通信環境によって表示に時間がかかる場合があります。
- 著作権保護された動画コンテンツは再生できません。
- クレジットカード情報や銀行口座情報などの情報は入力しないでください。
- ファイルのダウンロードやウェブサイトへのログインなど、一部の機能がご利用いただけません。
- Web ブラウザは、Web サイトでの音声入力をサポートしていません。(音声ディクテーションなど)

Web ブラウザ画面の操作

ページ上の表示項目やブラウザ画面上部のツールバーをタッチして操作できます。

- A 前のページに戻ります。
- B 次のページへ進みます。
- C ページの URL を表示します。
URL を入力して該当ページを表示します。
- D 表示中のページを再読み込みします。



ページの再読み込み中は、ボタンが変わります。ページの再読み込みをキャンセルするには、

- E ホームページを表示します。
- F ブックマーク管理画面を表示します。
管理画面でブックマーク名をタッチすると、該当ページが表示されます。
- G 閲覧履歴管理画面を表示します。
管理画面でページ名をタッチすると、該当ページが表示されます。
- H タブ管理画面を表示します。
管理画面でタブ名をタッチすると、該当タブが表示されます。
- I 設定画面を表示します。

知識

- ページを再読み込み中は、ツールバーの背景色が変化することで状態を確認できません。
- 画面上の文字を長押しすると、コピーする文字を選択できます。コピーするにはコピーボタンをタッチします。コピーした文字は、URL 表示エリアをタッチすると貼り付けできます。

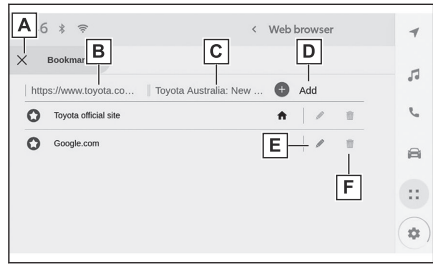
ブックマークの管理

ブックマーク管理画面で登録／編集／削除ができます。

- 1 ツールバーの [★] をタッチします。

2 希望する項目をタッチします。

- A** ブックマーク管理画面を閉じます。
- B** 最後に表示されたページの URL を表示します。
タッチすると URL を編集できます。
- C** 最後に表示されたページのブックマーク名を表示します。
ブックマーク名はタッチして編集できます。
- D** **B**と**C**に入力した内容でブックマークを追加します。
- E** ブックマークを編集します。
- F** ブックマークを削除します。



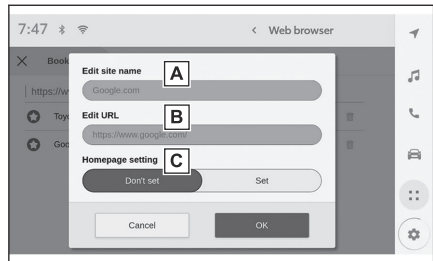
知識

ブックマークは最大 100 件まで保存できます。

ブックマークの編集

ブックマーク名と URL を編集し、ホームページとして設定できます。

- A** ブックマーク名を編集します。
- B** ブックマーク URL を編集します。
- C** **[Set]** をタッチすると、ブックマークに登録されたページをホームページに設定できます。
ホームページに設定されているブックマークには **[🏠]** アイコンが表示されます。



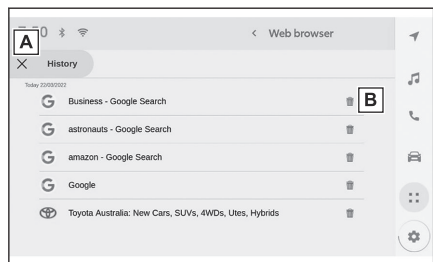
編集が終わったら **[OK]** をタッチしてブックマーク管理画面に戻ります。

閲覧履歴の管理

閲覧履歴管理画面で履歴を削除できます。

- 1 ツールバーの **[🕒]** をタッチします。
- 2 希望の項目にタッチします。

- A** 閲覧履歴管理画面を閉じます。
- B** 閲覧履歴を削除します。



□ 知識

閲覧履歴は最大 100 件まで保存できます。100 件を超えると最も古い履歴が自動的に削除されます。

タブの管理

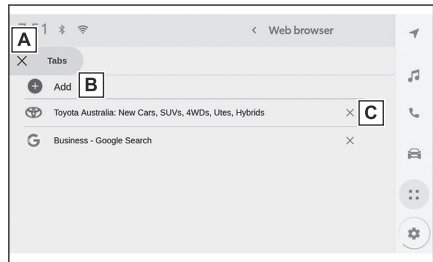
タブ管理画面でタブの切替、追加、閉じる操作ができます。

1 ツールバーの [1] をタッチします。

画面内に表示されている数字 [1] は、現在開いているタブの数です。

2 希望の項目にタッチします。

- A タブ管理画面を閉じます。
- B 新しいタブを追加します。追加したタブをタッチすると、ホーム画面が表示されます。
- C タブを削除します。



□ 知識

- タブは最大 10 個まで開くことができます。
- 新しいタブを開くと、再生中の動画や音楽が停止する場合があります。

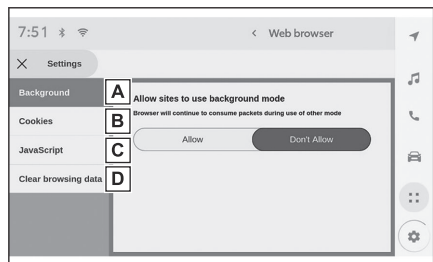
Web ブラウザ機能の設定

Web ブラウザ機能に関する設定を変更できます。

1 ツールバーの [設定] をタッチします。

2 希望の項目にタッチします。

- A 他の機能使用中に Web ブラウザをバックグラウンドで操作するかを有効/無効にするにはタッチします。
- B Cookie データの保存・読み込み、およびサードパーティ Cookie のブロック/解除を有効/無効にするにはタッチします。
- C JavaScript の使用を有効/無効にするにはタッチします。
- D 閲覧履歴、Cookie、その他のサイトデータ、キャッシュされた画像やファイルを削除するにはタッチします。



 知識

もし [**Background**]が[**Allow**] に設定されている場合、他の機能を使用中でもデータ転送が行われます。

8-1. リヤビューモニター

| | |
|-----------------------------|-----|
| リヤビューモニターの機能と はたらき | 242 |
| リヤビューモニターの注意点 .. | 245 |
| 故障とお考えになる前に | 251 |

8-2. バックガイドモニター

| | |
|------------------------------|-----|
| バックガイドモニターの機能 とはたらき | 252 |
| ガイド画面を表示する | 253 |
| ガイド線表示モードの切りか え | 255 |
| バックガイドモニターの注意 点 | 260 |

8-3. パノラミックビューモニター

| | |
|-----------------------------------|-----|
| パノラミックビューモニター の機能とはたらき | 269 |
| シフトレバーが「P」のときの 表示モード | 273 |
| シフトレバーが「D」、「N」の ときの表示モード | 275 |
| シフトレバーが「R」のときの 表示モード | 282 |
| ドアミラー格納時の画面 | 289 |
| 画面を拡大表示する | 290 |
| 床下透過映像を表示する | 292 |
| パノラミックビューモニター の設定を変更する | 294 |
| パノラミックビューモニター の注意点 | 295 |
| 故障とお考えになる前に | 309 |

リヤビューモニターの機能とはたらき^{*1}

リヤビューモニターは、車両後方の映像を画面に固定ガイドライン付きで表示し、後退時（例：駐車時）にドライバーを補助する装置です。

□ 知識

本文中で使用している画面のイラストは例であり、イラストと実際に映し出される映像では車両の映り込みなどが異なることがあります。

運転時の注意事項

リヤビューモニターは、後退操作を補助する装置です。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認してください。お守りいただかないと、車をぶつけるなど思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。

リヤビューモニターを使用するときは次のことをお守りください。

▲ 警告

- 後退時にリヤビューモニターのみには頼らないでください。画面に表示される映像やガイドラインの位置は実際の状態と異なる場合があります。
通常の後退時と同様に注意してください。
- 後退するときは、ブレーキペダルを踏んで速度調整しながら、ゆっくり後退してください。
- 表示される指示はあくまで目安です。駐車時のハンドル操作量やタイミングは交通状況、路面状況、車両状態などにより異なります。使用前に十分理解してください。
- 駐車するときは、必ず駐車スペースに車を駐車できるかを確認してから後退してください。
- 以下のような状況では、リヤビューモニターを使用しないでください：
 - 雪道、凍結した道などのすべりやすい路面
 - タイヤチェーン、応急用タイヤを使用しているとき
 - バックドアが完全に閉まっていないとき
 - カーブや坂道など平坦やまっすぐではない道路
- 低温時は画面が暗くなったり映像が薄くなる場合があります。走行中に映像が歪む、画面が見えなくなる場合がありますので、必ず目視で周囲を確認してください。
- タイヤサイズを変更すると画面上の固定ガイドラインの位置が変わる場合があります。
- カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。

*1: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

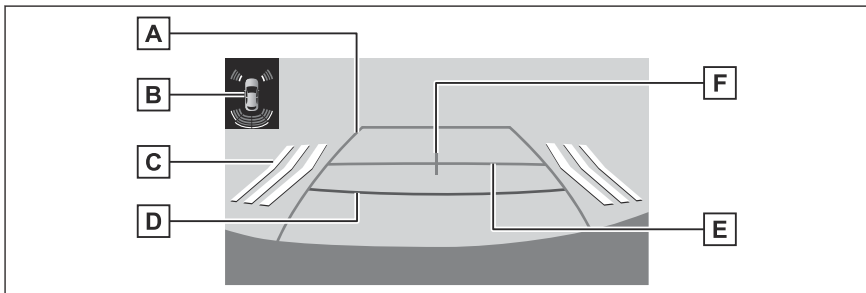
⚠ 注意

カメラが正しく作動せず、画面が次のように表示されることがあります。

- シフトレバーを「R」にしたときに、画面の一部、もしくはすべてが黒映像で表示される
- シフトレバーを「R」にしたときに、カメラ映像に切りかわらない
- シフトレバーを「R」以外にしたときに、カメラ映像が表示されたままになる
- カメラ映像にガイド線などが表示されず、着目マークや注意文が表示される

画面の説明

パワースイッチがONの状態ですフトレバーを「R」にする、リヤビューモニターの画面が表示されます。



A 車幅ガイドライン

車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。
実際の車幅より広く表示します。

B クリアランスソナー^{*1}

センサーが障害物を検知すると、画面にインジケータが表示され、ブザーが鳴ります。(クリアランスソナーについては、別冊「取扱説明書」をご覧ください。)

C RCTA (リヤクロストラフィックアラート)^{*1}

後方レーダーが後方から接近する車両を検知すると、画面にインジケータが表示されます。(RCTA (リヤクロストラフィックアラート) については、別冊「取扱説明書」をご覧ください。)

D 距離ガイドライン

車の後方の距離を示します。
バンパー後端の位置から約0.5m先(赤色)を示します。

E 距離ガイドライン

車の後方の距離を示します。
バンパー後端から約1m先(青色)を示します。

F 車両中央線

地面上の推定車両中心を示す線です。

*1: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

▲ 警告

- 乗車人数、積載量、路面の勾配などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- クリアランスソナー、RCTA（リヤクロストラフィックアラート）の表示は、カメラ映像に重畳して表示しているため、周囲の明るさや色などによっては見えにくい場合があります。

リヤビューモニターを解除する

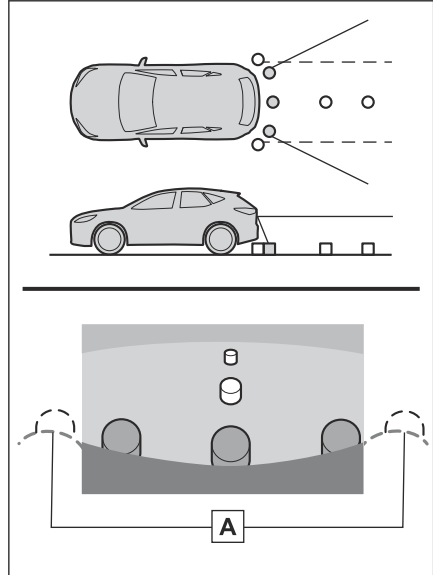
シフトレバーを「R」位置以外に入れると、リヤビューモニターはキャンセルされます。

リヤビューモニターの注意点

画面に映る範囲

リヤビューモニターは、バンパー後端から車の後方が映ります。

- A** バンパーの角
バンパーの両端付近は映りません。



知識

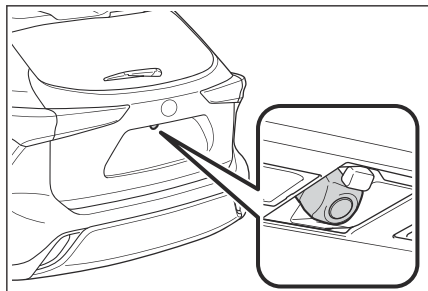
- リヤビューモニターの画質調整の方法は、マルチメディア画面の調整と同じです。
- 画面表示範囲は車両の向きによって異なる場合があります。
- バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
- カメラのレンズ特性により、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- カメラより高い位置にあるものについては、モニターに映らないことがあります。

関連リンク

[画面表示の設定を変更する \(P.60\)](#)

カメラの位置

リヤビューモニターのカメらは、図の位置にあります。



カメラのお手入れ方法

カメラに水滴、雪、泥などの異物や汚れが付着していると、鮮明な画像を見ることができません。この場合、大量の水でカメラの汚れを流し、水で湿らせたやわらかい布でカメラレンズをふき取ってください。

⚠ 注意

- リヤビューモニターが正常に作動しなくなるおそれがあります。次のことにご注意ください
 - カメラ部を強くたたいたり、ものをぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取り付け角度がずれるおそれがあります。
 - カメラ部は防水構造となっています。取りはずし、分解、改造をしないでください。
 - カメラレンズを洗うときは、大量の水でカメラの汚れを流したあと、水で湿らせたやわらかい布でカメラレンズをふき取ってください。カメラレンズを強くこするとカメラレンズが傷付いて、鮮明な画像を見ることができなくなるおそれがあります。
 - カメラのカバーは樹脂です。有機溶剤、ボデーワックス、油膜取り剤、ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
 - 寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化を与えないでください。
 - 洗車時に高圧洗浄機でカメラやカメラ周辺に直接水を当てないでください。強い水圧により衝撃が加わり、装置が正常に作動しなくなるおそれがあります。
- カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などのおそれがあります。早めにトヨタ販売店で点検を受けてください。

■ ウォッシャー液によるカメラ洗浄について

リヤカメラレンズの汚れは、カメラ洗浄用のウォッシャーを作動させて洗浄することができます。詳細は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

- カメラ洗浄中は、噴射されるウォッシャー液により、車両後方の状態が見えにくくなる場合があります。必ず目視やインナーミラー、ドアミラーなどで周囲の安全を確認し、十分注意した上で後退してください。
- カメラ洗浄後にウォッシャー液がカメラレンズ面に残った場合、夜間に後方車両ヘッドランプの高さや傾きにより、車両後方の状態が見えにくくなる場合があります。
- カメラ洗浄をしても、汚れによっては完全にきれいにならない場合があります。この場合、大量の水でカメラの汚れを流し、水で湿らせた柔らかい布でカメラレンズの水滴をふき取ってください
- カメラ洗浄は、カメラレンズ面にウォッシャー液を噴射するため、カメラ周辺に付着した氷や雪などの映り込むものについては、洗浄することができません。

⚠ 注意

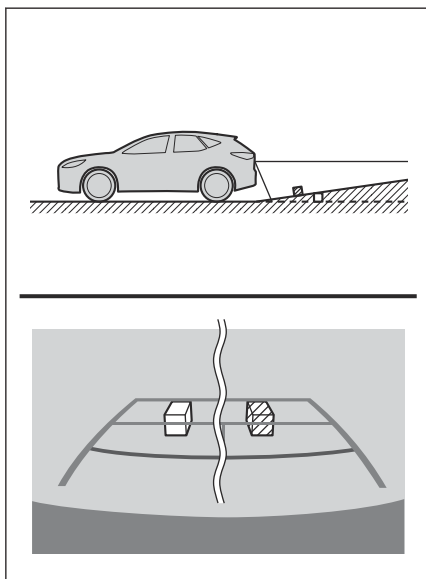
ノズル部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。ノズルの位置、取り付け角度がずれるおそれがあります。

画面と実際の路面との誤差

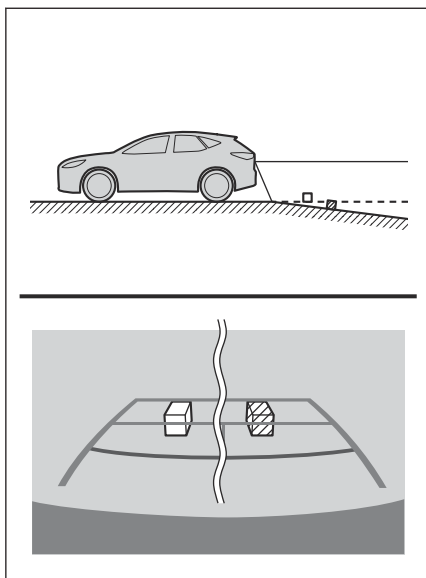
- 距離目安線や車幅延長線と駐車スペースの区画線が画面では平行に見えても、実際は平行ではない場合があります。必ず直接確かめてください。
- 車幅ガイドラインと駐車スペースの左右の区切り線との距離が、見た目では等しくても実際には等しくない場合があります。必ず目視で確認してください。
- 距離目安線は、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、次の状態のときは、画面のガイドと実際の路面上の距離や進路に誤差が生じます。

■ 急な上り坂が後方にあるとき

実際の距離より手前に距離目安線が表示されます。そのため、上り坂にある障害物は実際より遠くに見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

**■ 急な下り坂が後方にあるとき**

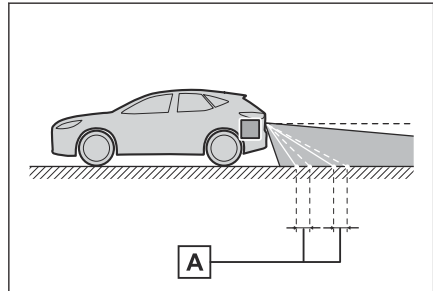
実際の距離よりうしろに距離目安線が表示されます。そのため、下り坂にある障害物は、実際より近くに見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。



■ 車が傾いているとき

乗車人数、積載量などにより車が傾いているときは、実際の距離、進路と誤差が生じます。

A 誤差



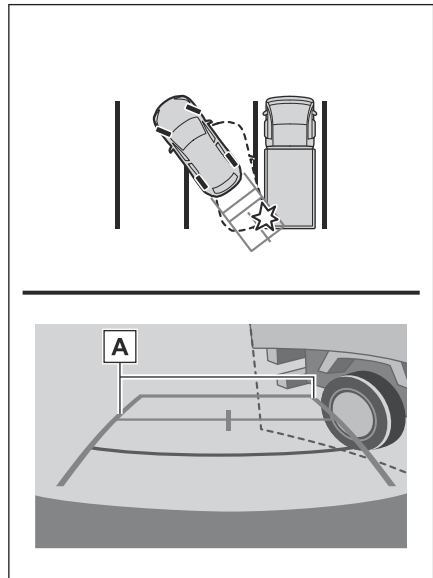
立体物への接近時

予想進路線や距離目安線は路面に対して表示されているため、立体物の位置を判断できません。張り出しのある立体物（トラックの荷台のような障害物）が近くにあるときは、次のことにご注意ください。

■ 車幅平行線

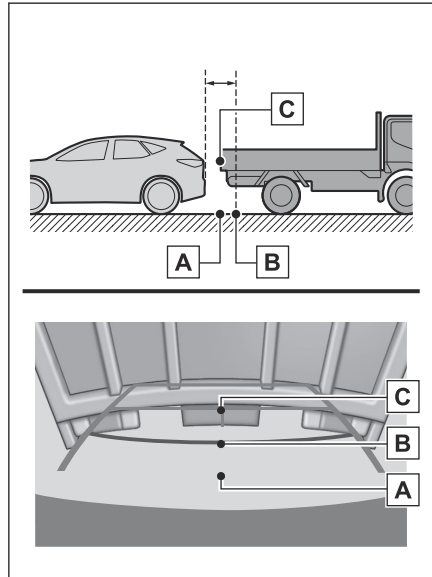
後方や周囲の安全を直接確認してください。画面では、トラックの荷台が予想進路線の外側にあり、ぶつからないように見えても、実際は荷台が進路上に張り出しているためぶつかることがあります。

A 車幅平行線



■ 距離目安線

後方や周囲の安全を直接確認してください。画面上ではトラックが[B]に駐車しているように見えます。しかし実際には[A]の位置まで後退すると、ぶつかります。画面では[A]が最も近く、[C]が最も遠くに見えますが、実際には[A]と[C]の距離は同じであり、[B]は[A]や[C]より遠くにあります。



故障とお考えになる前に

次のような症状で気になったりお困りになったときは、考えられる原因と処置を参考に、もう一度確認してください。

処置をしても直らないときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

| 症状 | 考えられる原因 | 処置 |
|-------------|---|---|
| 画面が見にくい | <ul style="list-style-type: none"> ● 夜間など暗いところで使用。 ● レンズ付近の温度が高い、または低い。 ● 外気温が低いとき。 ● カメラに水滴がついた。 ● 雨天時など湿度が高い。 ● カメラ付近に異物（泥など）がついた。 ● 太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズにあたった。 ● 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの照明下で使用した。 | <p>車両周囲の状況を直接確認しながら、運転してください。</p> <p>(カメラおよびその周辺環境が改善されてから、再びご使用ください。)</p> <p>リヤビューモニターシステムの画質調整方法は、マルチメディア画面の調整と同じです。</p> |
| 画面が不鮮明 | カメラのレンズに水滴、雪、泥など異物や汚れが付着している。 | <p>大量の水でカメラの汚れを流したあと、水で湿らせたやわらかい布でカメラレンズをふき取ってください。</p> <p>カメラ洗浄用のウォッシャーを 작동させ、リヤカメラレンズの汚れを洗浄してください。詳細は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。</p> |
| 画面がずれている | カメラ部に強い衝撃が与えられた。 | トヨタ販売店で点検を受けてください。 |
| ガイド線が大きくずれる | <ul style="list-style-type: none"> ● カメラの位置がずれている。 ● 車が傾いているとき（重い荷物の積載やパンクしてタイヤ空気圧が低いときなど）。 ● 傾斜地で使用する時。 | <p>トヨタ販売店で点検を受けてください。</p> <p>これらの原因による場合は故障ではありません</p> <p>車両周囲の状況を直接確認しながら、運転してください。</p> |

関連リンク

[画面表示の設定を変更する \(P.60\)](#)

バックガイドモニターの機能とはたらき^{*1}

バックガイドモニターは、車両に装着されたリアカメラの映像を表示することで駐車時やその他の後退時に運転者を支援する装置です。

☐ 知識

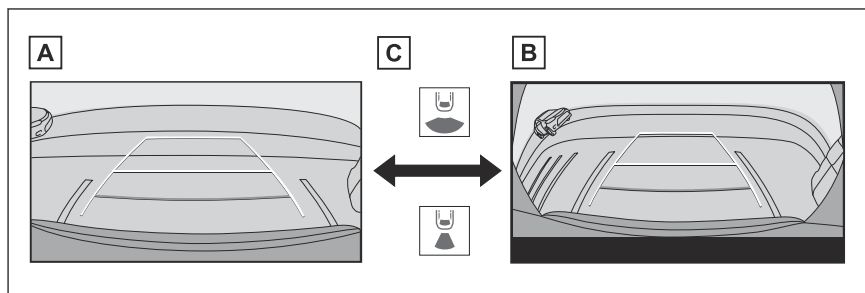
本文中で使用している画面のイラストは例であり、イラストと実際に映し出される映像では車両の映り込みなどが異なることがあります。

▲ 警告

- 必ず周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。

ガイド画面を表示する

パワースイッチがONの状態ですフトレバーを「R」にすると、バックガイドモニターの画面が表示されます。



- A バックビュー
- B ワイドバックビュー
- C 画面モード切りかえボタンをタッチ

☐ 知識

ガイドラインモードなどの表示設定は、ユーザープロフィールに登録することでマイセッティングとして保存できます。運転者が認識されると呼び出すことができます。

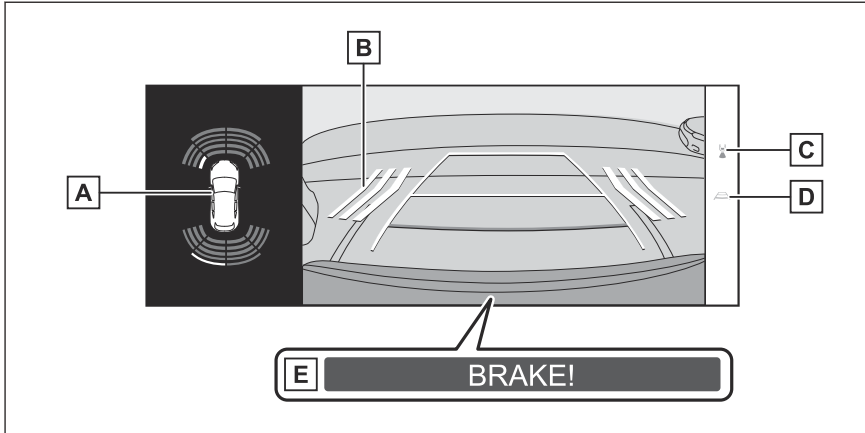
*1: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

ガイド画面を表示する

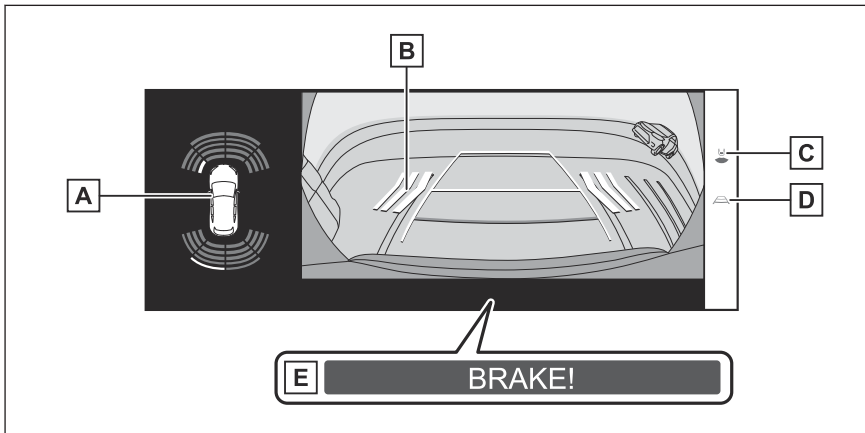
シフトレバーを「R」にします。

表示モード切替ボタンを押すごとにモードが切り替わります。

■ バックビュー



■ ワイドバックビュー



A クリアランスソナー

センサーが障害物を検知すると、画面にインジケータが表示され、ブザーが鳴ります。(クリアランスソナーについては、別冊「取扱説明書」をご覧ください。)

B RCTA (リヤクロストラフィックアラート)

後側方からの接近車両を後側方レーダーで検知すると、画面にインジケータが表示されます。(RCTA (リヤクロストラフィックアラート) については、別冊「Owner's Manual」をご覧ください。)

C 画面モード切りかえボタン

バックビューとワイドバックビューの表示モードを切り替えます。

D ガイド線切りかえボタン

ガイドラインモードを切り替えます。

E PKSB（パーキングサポートブレーキ）

衝突の恐れがある物体を検知すると、画面にメッセージが表示されます。（PKSB（パーキングサポートブレーキ）の詳細については「Owner's Manual」をご覧ください。）

▲ 警告

- 乗車人数、積載量、路面の勾配などにより、画面のガイド線の示す位置はわかりません。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- クリアランスソナー、RCTA（リヤクロストラフィックアラート）の表示は、カメラ映像に重畳して表示しているため、周囲の明るさや色などによっては見えにくい場合があります。

バックガイドモニターを解除する

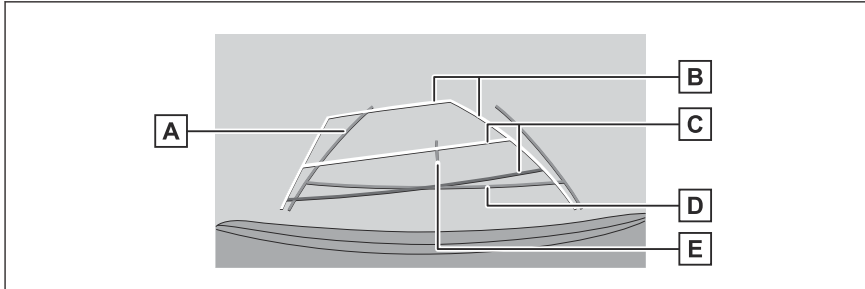
シフトレバーを「R」以外にすると、バックガイドモニターは解除されます。

ガイド線表示モードの切りかえ

ガイドライン切り替えボタンをタッチするたびにガイドラインの表示モードが切り替わります。

■ 予想進路線モード

ハンドル操作に連動した予想進路線などが表示されます。



A 後方車幅延長線

車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。

- 実際の車幅より広く表示します。
- 直進状態になっているときは、予想進路線と重なります。

B 後方予想進路線

ハンドル操作と連動して、進路の目安（黄色）を示します。

C 後方距離目安線

車の後方の距離を示します。

- 後方距離目安線は後方予想進路線に連動します。
- リヤバンパー後端の中心位置から約 0.5m 先（赤色）／約 1m 先（黄色）を示します。

D 後方距離目安線

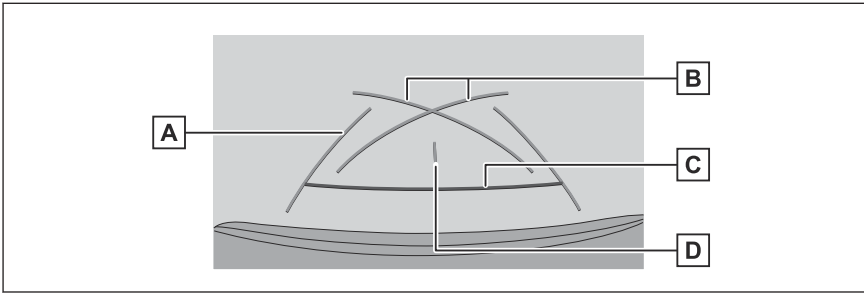
リヤバンパー後端から約 0.5m 先（青色）を示します。

E 車両中央線

後方車幅延長線の中心を表示します。

■ 駐車ガイド線モード

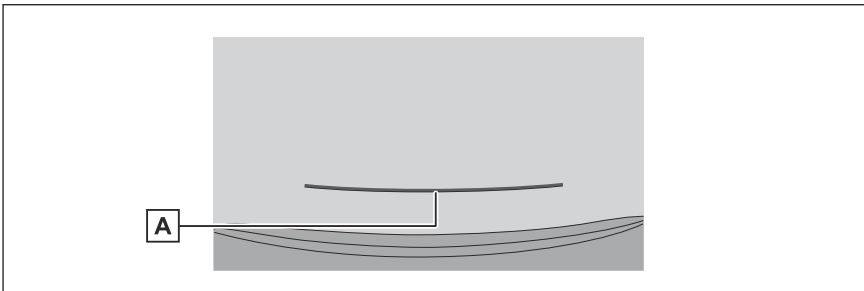
ハンドルの切り返し点（駐車ガイド線）が表示されます。予想進路線表示を必要とせずに駐車できる、車両感覚に慣れた方におすすめします。



- A 後方車幅延長線**
車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。
● 実際の車幅より広く表示します。
- B 駐車ガイド線**
もっとも後方へ小まわりしたときの進路の目安を示します。
● 駐車時にハンドルを操作する位置の目安にしてください。
- C 距離ガイドライン**
車の後方の距離を示します。
● リヤバンパー後端から約 0.5m 先（赤色）を示します。
- D 車両中央線**
後方車幅延長線の中心を表示します。

■ 距離目安線モード

距離目安線のみ表示されるモードです。ガイド線を必要としない方におすすめします。



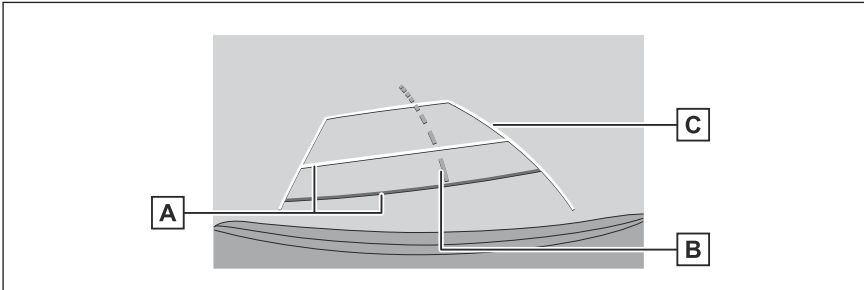
- A 後方距離目安線**
車の後方の距離を示します。
● リヤバンパー後端から約 0.5m 先（赤色）を示します。

■ 車両中央予想進路線モード^{*1}

ハンドル操作に連動して、予想進路線や車両中央線の目安などが表示されます。

^{*1}: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

またリヤバンパーの中心を、看板やポールなどの目印に寄せる場合に使用します。



A 後方距離目安線

車の後方の距離を示します。

- 後方距離目安線は後方予想進路線に連動します。
- リヤバンパー後端の中心位置から約 0.5m 先（赤色）／約 1m 先（黄色）を示します。

B 車両中央予想進路線

ハンドル操作と連動して、車両中央線（緑色）の目安を示します。

C 後方予想進路線

ハンドル操作と連動して、進路の目安（黄色）を示します。

☐ 知識

- バックドアが閉じていないとガイド線は表示されません。バックドアを閉じていてもガイド線が表示されない場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。
- クリアランスソナーは作動対象の接近をお知らせする機能であり、画面に作動対象検知方向の映像が映ることはありません。
- クリアランスソナーの表示位置とカメラ映像に映し出される作動対象の位置は合わないことがあります。

▲ 警告

後方車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

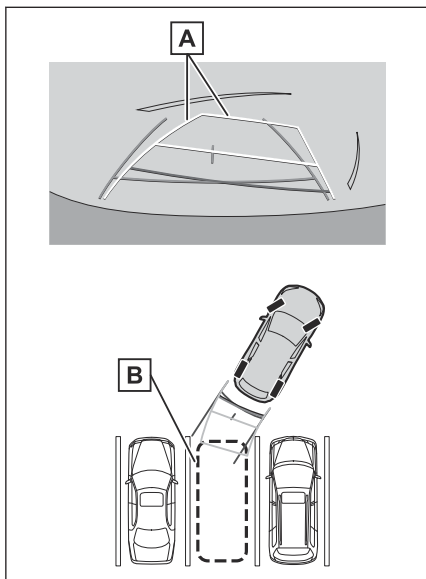
予想進路線モードを使用して駐車する

1 シフトレバーを「R」にします。

- 2 予想進路線が駐車スペースの中に入るようにハンドルを操作して、ゆっくり後退します。

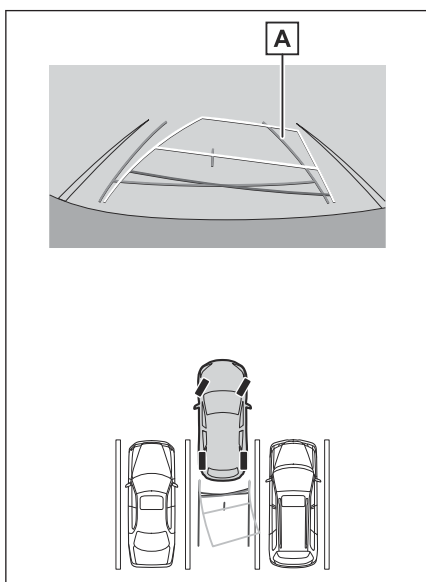
A 予想進路線

B 駐車スペース



- 3 車の後部が駐車スペースの中に入ったら、車幅延長線が駐車スペース左右の区画線のあいだに入るようにハンドルを操作します。

A 車幅延長線

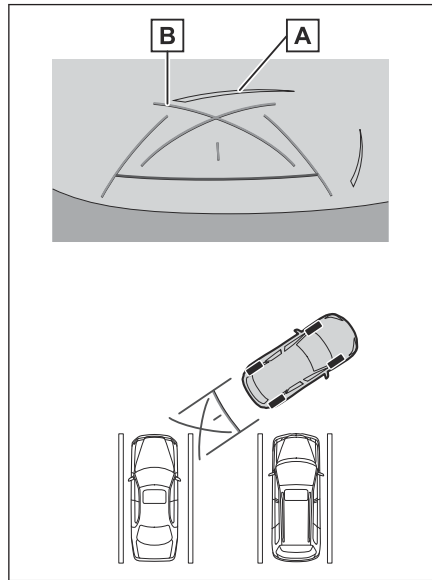


- 4 車幅延長線と駐車スペースの区画線が平行になったら、ハンドルをまっすぐにして、車が駐車スペースにすべて入るまで、ゆっくり後退します。
- 5 適切な位置で停車し、駐車を終えます。

駐車ガイド線モードを使用して駐車する

- 1 シフトレバーを「R」にします。
- 2 駐車ガイド線が駐車スペースの区切り線と一致するまで後退します。

- A 駐車場の区画線
B 駐車ガイド線



- 3 ハンドルをいっぱいにまわして、ゆっくり後退します。
- 4 車が駐車スペースと平行になったら、ハンドルをまっすぐにして、車が駐車スペースにすべて入るまで、ゆっくり後退します。
- 5 適切な位置で停車し、駐車を終わめます。

バックガイドモニターの注意点

運転時の注意事項

バックガイドモニターは、後退操作を補助する装置です。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認してください。お守りいただかないと、車をぶつけるなど思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。バックガイドモニターを使用するときは次のことをお守りください。

▲ 警告

- 画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。画面に映っている映像と実際の状況は異なることがあり、画面だけを見て後退すると車をぶついたり、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。特に周辺に駐車している車や障害物などに接触しないようにしてください。後退するときは、必ず目視やミラーなどで後方や周囲の安全を直接確認してください。
- 後退するときは、ブレーキペダルを踏んで速度調整しながら、ゆっくり後退してください。
- 周辺の車両や障害物、人などに接触しそうなとき、または路肩に乗り上げそうになったときは、ブレーキペダルを踏んで停車してください。
- バックガイドモニターの各モードの操作手順はあくまでも一例であり、駐車時の道路事情、路面、車の状況などにより、ハンドル操作のタイミングや操作量は異なります。以上のことを十分理解した上で、バックガイドモニターをご使用ください。
- 駐車するときは、必ず駐車スペースに車を駐車できるかを確認してから後退してください。
- 次のような状況では、バックガイドモニターを使用しないでください：
 - ・ 雪道、凍結した道などのすべりやすい路面
 - ・ タイヤチェーン、応急用タイヤを使用しているとき
 - ・ バックドアが完全に閉まっていないとき
 - ・ カーブや坂道など平坦やまっすぐではない道路
- 外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像がうすれることがあります。特に動いているものの映像が歪む、または画面から見えなくなることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- タイヤサイズを変更した場合、画面に表示されるガイド線の位置に誤差が生じることがあります。
- カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。

▲ 注意

カメラが正しく作動せず、画面が次のように表示されることがあります。

- シフトレバーを「R」にしたときに、画面の一部、もしくはすべてが黒映像で表示される
- シフトレバーを「R」にしたときに、カメラ映像に切りかわらない

⚠ 注意

- シフトレバーを「R」以外にしたときに、カメラ映像が表示されたままになる
- 雪道、凍結した道などのすべりやすい路面

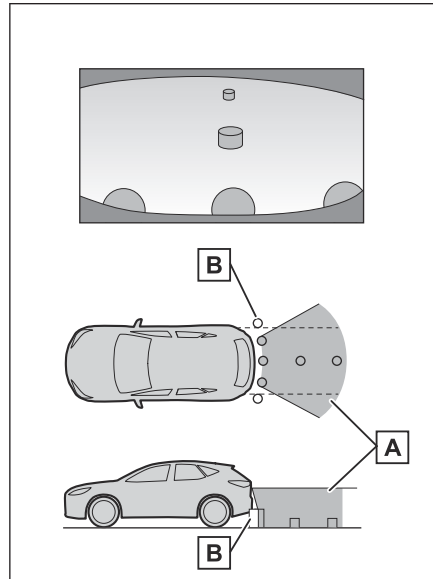
画面に映る範囲

■ バックビュー

A 画面に映るエリア

B 画面には映らない障害物

バンパー両端付近の範囲は画面に表示されません。

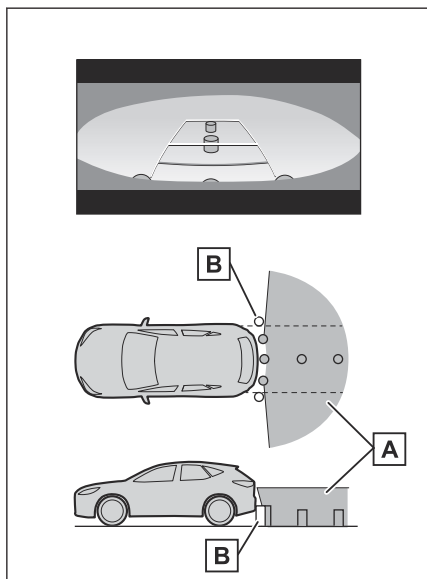


■ ワイドバックビュー

A 画面に映るエリア

B 画面には映らない障害物

バンパー両端付近の範囲は画面に表示されません。

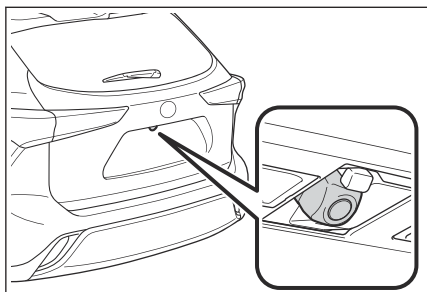


☐ 知識

- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
- カメラのレンズ特性により、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- カメラより高い位置にあるものについては、モニターに映らないことがあります。

カメラの位置

バックガイドモニターのカメらは、図の位置にあります。



カメラのお手入れ方法

カメラに水滴、雪、泥などの異物や汚れが付着していると、鮮明な画像を見ることができません。この場合、大量の水でカメラの汚れを流し、水で湿らせたやわらかい布でカメラレンズをふき取ってください。

⚠ 注意

- トヨタパーキングアシストモニターが正常に動作しなくなる場合があります。次の事項に注意してください：
 - カメラ部を強くたたいたり、ものをぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取り付け角度がずれるおそれがあります。
 - カメラ部は防水構造となっています。取りはずし、分解、改造をしないでください。
 - カメラレンズを洗うときは、大量の水でカメラの汚れを流したあと、水で湿らせたやわらかい布でカメラレンズをふき取ってください。カメラレンズを強くこするとカメラレンズが傷付いて、鮮明な画像を見ることができなくなるおそれがあります。
 - カメラのカバーは樹脂です。有機溶剤・ボデーワックス、油膜取り剤、ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
 - 寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化を与えないでください。
 - 洗車時に高圧洗浄機でカメラやカメラ周辺に直接水を当てないでください。強い水圧により衝撃が加わり、装置が正常に作動しなくなるおそれがあります。
- カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などのおそれがあります。早めにトヨタ販売店で点検を受けてください。

■ ウォッシャー液によるカメラ洗浄について

リアカメラレンズの汚れは、カメラ洗浄用のウォッシャー液を作動させて洗浄することができます。詳細は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

- カメラ洗浄中は、噴射されるウォッシャー液により、車両後方の状態が見えにくくなることがあります。必ず目視やインナーミラー、ドアミラーなどで周囲の安全を確認し、十分注意した上で後退してください。
- カメラ洗浄後にウォッシャー液がカメラレンズ面に残った場合、夜間に後方車両ヘッドランプの高さや傾きにより、車両後方の状態が見えにくくなることがあります。
- カメラ洗浄をしても、汚れによっては完全にきれいにならない場合があります。この場合、大量の水でカメラの汚れを流し、水で湿らせた柔らかい布でカメラレンズの水滴をふき取ってください
- カメラ洗浄は、カメラレンズ面にウォッシャー液を噴射するため、カメラ周辺に付着した氷や雪などの映り込むものについては、洗浄することができません。

⚠ 注意

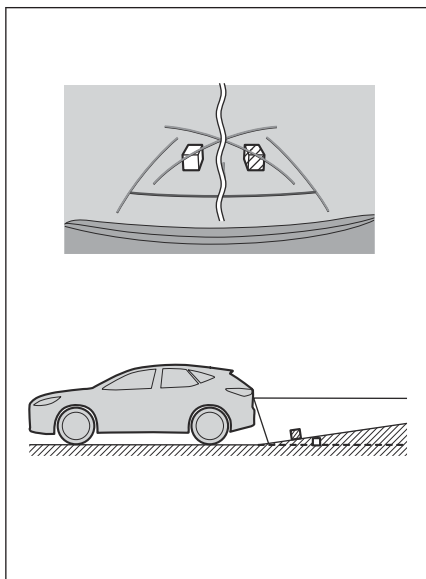
ノズル部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。ノズルの位置、取り付け角度がずれるおそれがあります。

画面と実際の路面との誤差

- 距離目安線や車幅延長線と駐車スペースの区画線が画面では平行に見えても、実際は平行ではないことがあります。必ず直接確かめてください。
- 車幅延長線と駐車スペース左右の区画線の間隔が画面では左右均等に見えても、実際は左右均等ではないことがあります。必ず直接確かめてください。
- 距離目安線は、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、次の状態のときは、画面のガイドと実際の路面上の距離や進路に誤差が生じます。

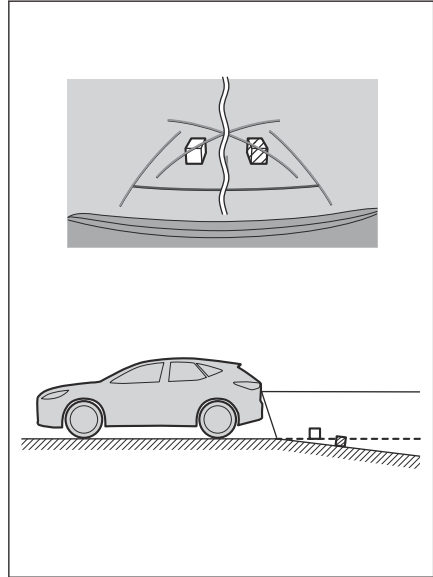
■ 急な上り坂が後方にあるとき

実際の距離より手前に距離目安線が表示されます。そのため、上り坂にある障害物は実際より遠くに見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。



■ 急な下り坂が後方にあるとき

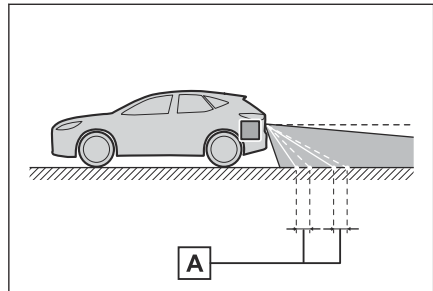
実際の距離よりうしろに距離目安線が表示されます。そのため、下り坂にある障害物は、実際より近くに見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。



■ 車が傾いているとき

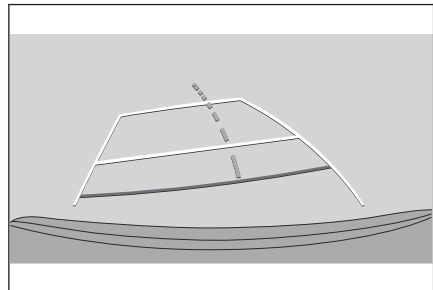
乗車人数、積載量などにより車が傾いているときは、実際の距離、進路と誤差が生じます。

A 誤差



■ 車両中央予想進路線*1

リヤバンパー付近の空中にガイド線が描かれているため、車両の中央からずれているように見えることがあります。



*1: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

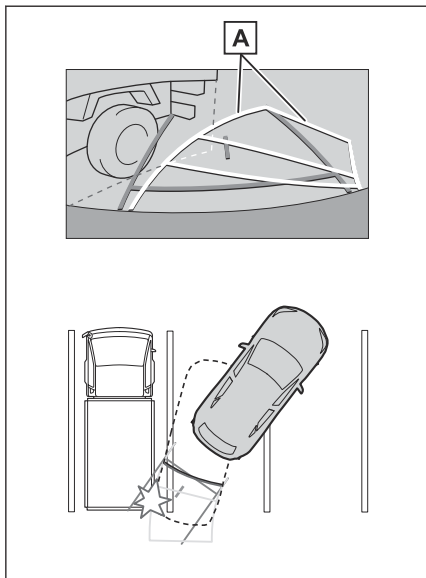
立体物が近くにあるとき

予想進路線や距離目安線は路面に対して表示されているため、立体物の位置を判断できません。張り出しのある立体物（トラックの荷台のような障害物）が近くにあるときは、次のことにご注意ください。

■ 予想進路線について

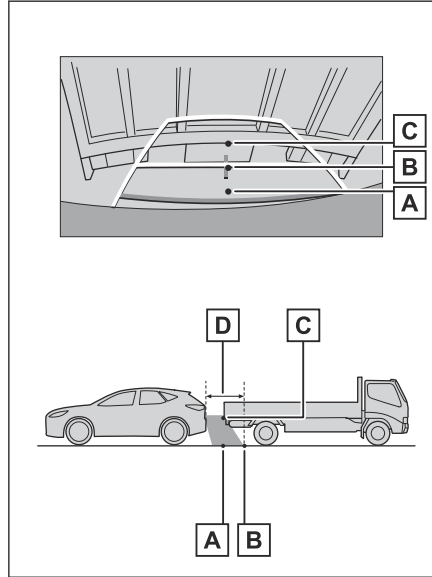
後方や周囲の安全を直接確認してください。画面では、トラックの荷台が予想進路線の外側にあり、ぶつからないように見えても、実際は荷台が進路上に張り出しているためぶつかることがあります。

A 予想進路線



■ 距離目安線について

必ず目視で後方や周囲を確認してください。画面上では距離ガイドラインが、トラックがポイント **B** に駐車しているように示しています。しかし実際にはポイント **A** まで後退すると、トラックと衝突します。画面上ではポイント **A** が最も近く、その次にポイント **B**、**C** が近いように見えます。しかし実際にはポイント **A** と **C** までの距離は同じであり、ポイント **B** は **A** や **C** よりも遠くにあります。ポイント **D** までの距離は約 1m です。



故障とお考えになる前に

次のような症状で気になったりお困りになったときは、考えられる原因と処置を参考に、もう一度確認してください。

処置をしても直らないときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

| 症状 | 考えられる原因 | 処置 |
|----------|---|--|
| 画面が見えにくい | <ul style="list-style-type: none"> ● 夜間など暗いところで使用。 ● レンズ付近の温度が高い、または低い。 ● 外気温が低いとき。 ● カメラに水滴がついた。 ● 雨天時など湿度が高い。 ● カメラ付近に異物（泥など）がついた。 ● 太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズにあたった。 ● 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの照明下で使用した。 | <p>走行中は必ず目視で車両周囲を確認してください。（カメラや条件が改善されたら再度パーキングアシストモニターを使用してください）</p> <p>トヨタパーキングアシストモニターの画質調整方法は、マルチメディア画面の調整方法と同じです。</p> |

| 症状 | 考えられる原因 | 処置 |
|---|---|--|
| 画面が不鮮明 | カメラのレンズに水滴、雪、泥など異物や汚れが付着している。 | 大量の水でカメラの汚れを流したあと、水で湿らせたやわらかい布でカメラレンズをふき取ってください。 カメラ洗浄用のウォッシャーを 작동させ、リヤカメラレンズの汚れを洗浄してください。詳細は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。 |
| 画面がずれている | カメラ部に強い衝撃が与えられた。 | トヨタ販売店で点検を受けてください。 |
| ガイド線が大きくずれる | カメラの位置がずれている。 | トヨタ販売店で点検を受けてください。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ● 車が傾いているとき（重い荷物の積載やパンクしてタイヤ空気圧が低いときなど）。 ● 傾斜地で使用するとき。 | 走行中は必ず目視で車両周囲を確認してください。 |
| ハンドルがまっすぐでも予想進路線が動く（車幅ガイドラインと予想進路線がずれている） | ステアリングセンサーの信号に異常が発生した。 | トヨタ販売店で点検を受けてください。 |
| ガイド線が表示されない | バックドアが開いている。 | バックドアを閉める。 直らない場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。 |

 関連リンク

[画面表示の設定を変更する \(P.60\)](#)

パノラミックビューモニターの機能とはたらき^{*1}

パノラミックビューモニターは、車両に取り付けたフロント、サイド、バックカメラの映像を合成して画面上につなぎ目のない車両上方からの映像を表示させることで、低速時の運転を補助する装置です。

☐ 知識

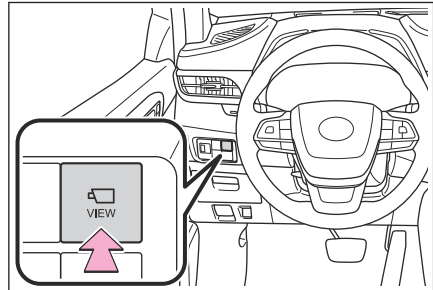
本文中で使用している画面のイラストは例であり、イラストと実際に映し出される映像では車両の映り込みなどが異なることがあります。

▲ 警告

- パノラミックビューモニターは、車両周囲確認を補助する装置です。必ず周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。

カメラスイッチについて

パノラミックビューモニターの表示や表示モードの切りかえをします。

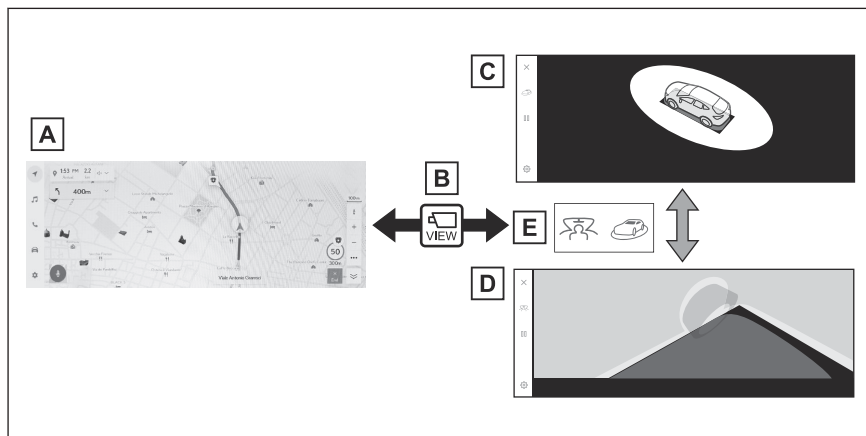


パノラミックビューモニター画面を表示する

パワースイッチが ON の状態で、カメラスイッチを押すか、シフトレバーを「R」にすると、パノラミックビューモニターが表示されます。

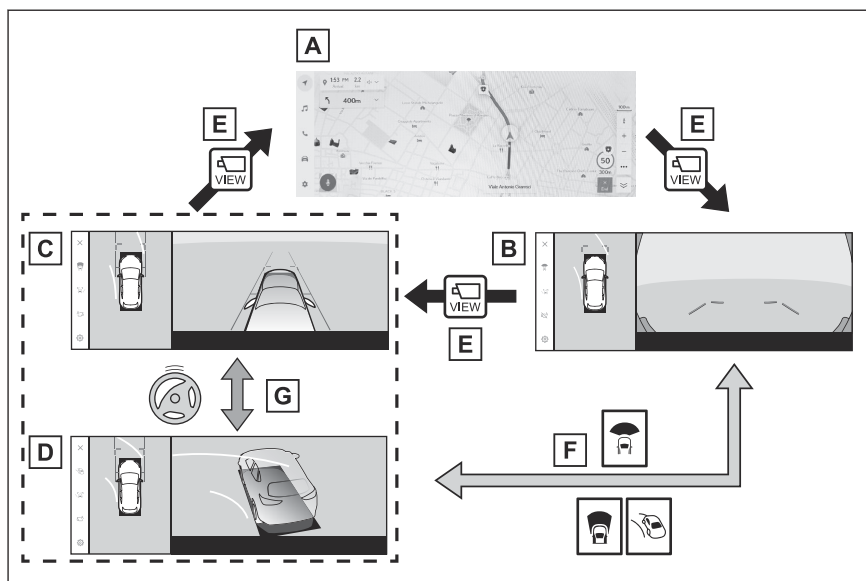
^{*1}: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ シフトレバーが「P」のときの表示モード



- A ナビゲーション画面、オーディオ画面など
- B カメラスイッチを押す
- C ムービングビュー
- D シースルービュー
- E 画面モード切りかえボタンをタッチ

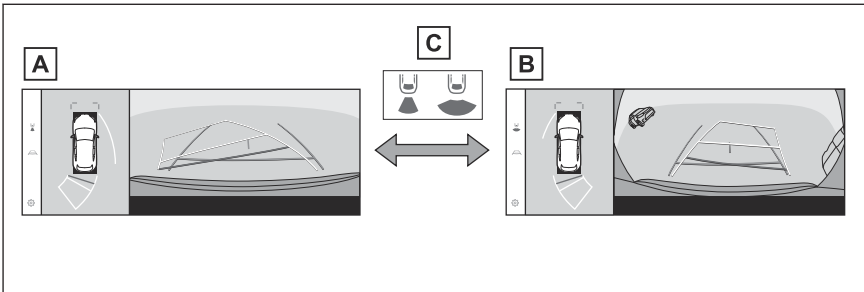
■ シフトレバーが「D」または「N」のときの表示モード



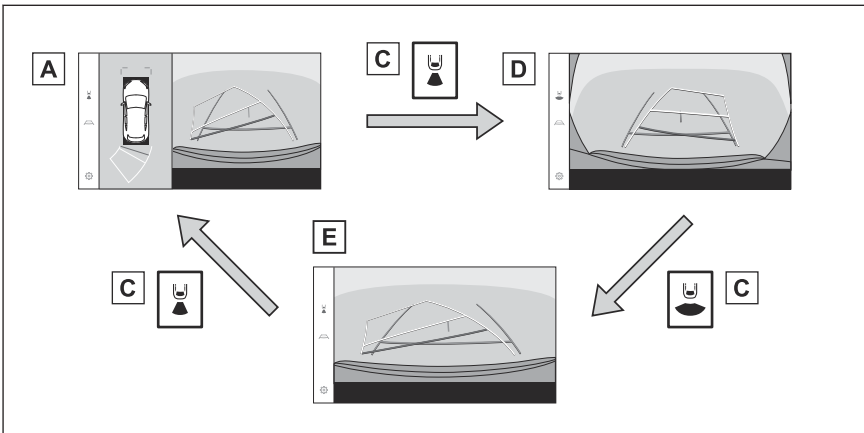
- A ナビゲーション画面、オーディオ画面など

- B** パワースイッチが ON の状態で、カメラスイッチを押すか、シフトレバーを R にすると、パノラミックビューモニターが表示されます。
 - C** パノラミックビュー&サイドクリアランスビュー
 - D** パノラミックビュー&コーナリングビュー
 - E** カメラスイッチを押す
 - F** 画面モード切りかえボタンをタッチ
 - G** 直進状態から 180 度以上ハンドルを操作
- シフトレバーが「R」のときの表示モード

▶ 12.3 インチディスプレイ装着車



▶ 8 インチディスプレイ装着車



- A** パノラミックビュー&バックビュー
- B** ワイドバックビュー&パノラミックビュー
- C** 画面モード切りかえボタンをタッチ
- D** ワイドバックビュー
- E** バックビュー

 知識

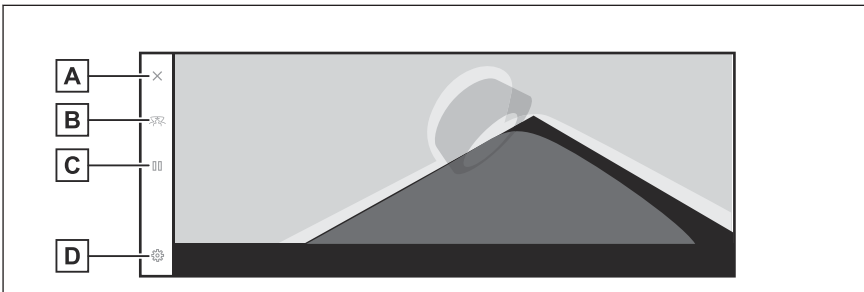
- 車両が時速約 20km 以下で走行中にカメラスイッチを押すと、パノラミックビューモニター画面が表示されます。車両が時速約 20km を超えると、パノラミックビューモニター画面は消え、以前の画面が表示されます。
- ガイドラインモードなどの表示設定は、ユーザープロフィールに登録することでマイセッティングとして保存できます。運転者が認識されると呼び出すことができます。

シフトレバーが「P」のときの表示モード

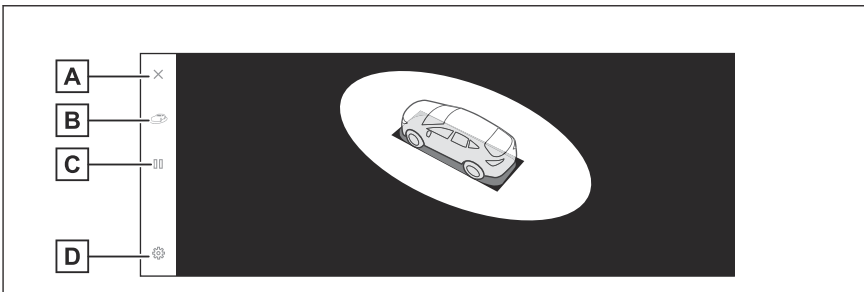
車両周辺の障害物を確認するために、カメラ映像を合成して表示するモードです。運転席から見たような映像と、車両を斜め上から見たような映像が表示されます。

- シフトレバーを「P」にします。
- カメラスイッチを押します。
 - 画面モード切り替えボタンをタッチするたびに、モードが切りかわります。
 - カメラスイッチをもう一度押すと、ナビゲーション画面など、以前表示していた画面にもどります。

■ シースルービュー



■ ムービングビュー



- A** 画面消去ボタン
カメラ映像を消して、ナビゲーション画面など以前表示していた画面にもどります。
- B** 画面モード切り替えボタン
シースルービュー／ムービングビューを切りかえます。
- C** 一時停止／再回転ボタン
回転表示を一時停止、再開します。
- D** カスタマイズ設定ボタン
コーナリングビュー自動表示や車両のボディカラー、クリアランスソナーの検知距離などの設定を変更できます。

 知識

- クリアランスソナーが ON のときのみ、シースルービュー／ムービングビューを表示できます。(クリアランスソナーについては、別冊「取扱説明書」をご覧ください。)
- シースルービュー／ムービングビュー画面の回転表示は、画面上の任意の場所をタッチしても一時停止／再開できます。

— 関連リンク —

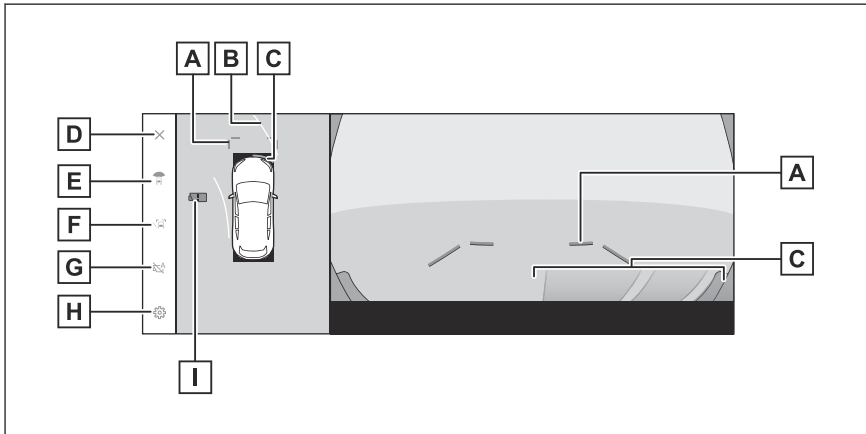
[パノラミックビューモニターの設定を変更する \(P.294\)](#)

シフトレバーが「D」、「N」のときの表示モード

見通しの悪い交差点やT字路などで、左右方向の状況を画面に映し、接近している車や自転車、歩行人の確認を行うことができます。また、車両側方の安全確認や狭い道路での接触回避、路肩への幅寄せ運転などをサポートします。

- シフトレバーを「D」または「N」にします。
- カメラスイッチを押します。
 - カメラスイッチを押すたびにモードが切りかわります。
 - コーナリングビューモードが ON になっている場合、ハンドルを直進状態から 180 度以上回転させると、パノラミックビュー&サイドクリアランスビューからパノラミックビュー&コーナリングビューに切りかわります。

■ パノラミックビュー&ワイドフロントビュー



- A** 前方距離目安線
車両前端から約 1m 先を示します。
- B** 前進予想進路線
ハンドル操作と連動して、進路の目安を示します。(黄色)
直進状態から 90 度以上ハンドル操作をした場合に表示します。
- C** クリアランスソナー
センサーが障害物を検知すると、画面にインジケータが表示され、ブザーが鳴ります。(クリアランスソナーについては、別冊「取扱説明書」をご覧ください。)
- D** 画面消去ボタン
カメラ映像を消して、ナビゲーション画面など以前表示していた画面にもどります。
- E** 画面モード切りかえボタン
ボタンをタッチするたびに、画面モードが切りかわります。
- F** ガイド線切りかえボタン
ボタンをタッチするたびに、ガイド線表示モードが切りかわります。

G 自動表示ボタン

自動表示モードの ON/OFF を切りかえます。シフトレバーが「D」または「N」のとき、車速に応じて自動でパノラミックビュー&ワイドフロントビューまたはパノラミックビュー&サイドクリアランスビュー/コーナリングビューが表示されます。

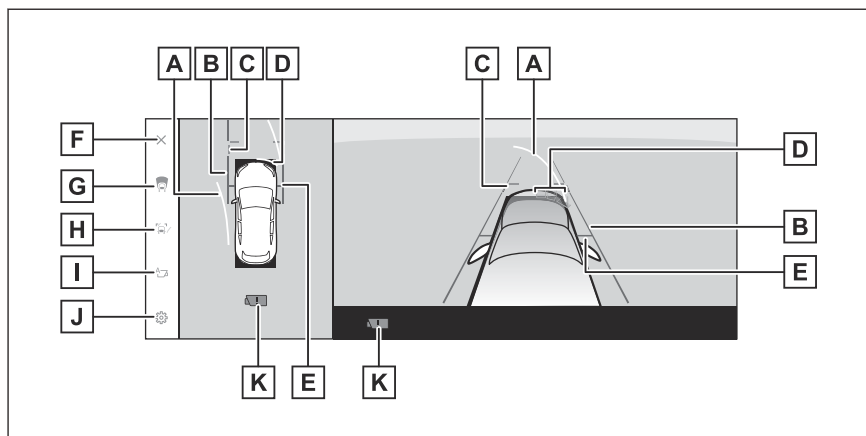
H カスタマイズ設定ボタン

コーナリングビュー自動表示や車両のボディカラー、クリアランスソナーの検知距離などの設定を変更できます。

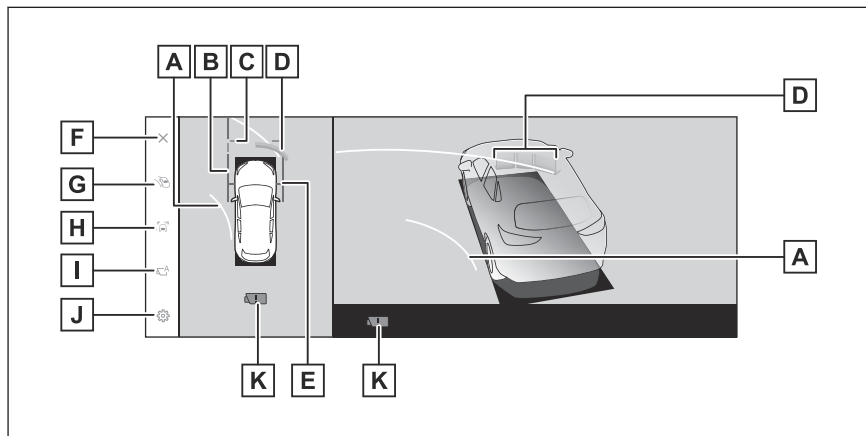
I カメラ汚れ検知アイコン

カメラの汚れを検知した場合にアイコンが表示されます。

■ パノラミックビュー&サイドクリアランスビュー



■ パノラミックビュー&コーナリングビュー



A 前進予想進路線

ハンドル操作と連動して、進路の目安を示します。(黄色)
直進状態から 90 度以上ハンドル操作をした場合に表示します。

B 車幅平行線

ドアミラー分を含んだ車幅の目安を示します。

C 前方距離目安線

車両前端から約 1 m先を示します。

D クリアランスソナー

センサーが障害物を検知すると、画面にインジケーターが表示され、ブザーが鳴ります。(クリアランスソナーについては、別冊「取扱説明書」をご覧ください。)

E 前輪接地線

前タイヤの位置を示します。

F 画面消去ボタン

カメラ映像を消して、ナビゲーション画面など以前表示していた画面にもどります。

G 画面モード切りかえボタン

ボタンをタッチするたびに、画面モードが切りかわります。

H ガイド線切りかえボタン

ボタンをタッチするたびに、ガイド線表示モードが切りかわります。

I 自動表示ボタン

自動表示モードの ON/OFF を切りかえます。シフトレバーが「D」または「N」のとき、車速に応じて自動でパノラミックビュー&ワイドフロントビューまたはパノラミックビュー&サイドクリアランスビュー／コーナリングビューが表示されます。

J カスタマイズ設定ボタン

コーナリングビュー自動表示や車両のボディカラー、クリアランスソナーの検知距離などの設定を変更できます。

K カメラ汚れ検知アイコン

カメラの汚れを検知した場合にアイコンが表示されます。

 知識

- クリアランスソナーが ON のときのみ、パノラミックビュー&サイドクリアランスビュー／コーナリングビューを表示できます。(クリアランスソナーについては、別冊「取扱説明書」をご覧ください。)
- クリアランスソナーの表示位置とカメラ映像に映し出される障害物の位置は合わないことがあります。

▲ 警告

- 乗車人数、積載量、路面の勾配などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- クリアランスソナーの表示は、カメラ映像に重畳して表示しているため、周囲の明るさや色などによっては見えにくい場合があります。

— 関連リンク —

[ガイド線表示モードの切りかえ \(P.278\)](#)

自動表示モード (P.278)

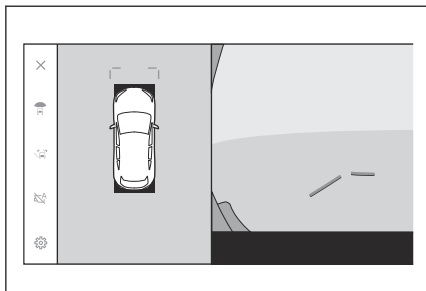
パノラミックビューモニターの設定を変更する (P.294)

ガイド線表示モードの切りかえ

ガイド線切りかえボタンをタッチするたびに、ガイド線表示モードが切りかわります。

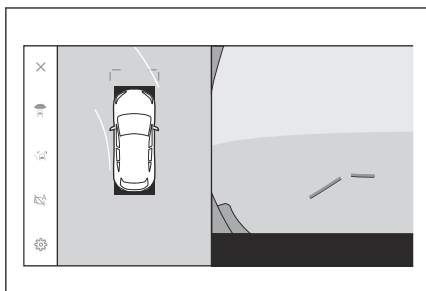
■ 距離目安線表示モード

車両前端から約 1m 先を示します。(青色)




■ 予想進路線モード

ハンドル操作と連動して、進路の目安を示します。(黄色) 直進状態から 90 度以上ハンドル操作をした場合に表示します。



自動表示モード

カメラスイッチの操作による表示に加え、車速に応じて自動的にパノラミックビュー&ワイドフロントビュー、パノラミックビュー&サイドクリアランスビュー／コーナリングビューが表示される自動表示モードを設定できます。

- 自動表示ボタン [] にタッチすると自動表示モードが ON になります。
- 自動表示モードを ON にすると、次の場合に自動で表示されます：
 - ・ シフトレバーを「D」または「N」にしたとき
 - ・ 車速が約 10km/h 以下に減速したとき (シフトレバーが「R」以外)

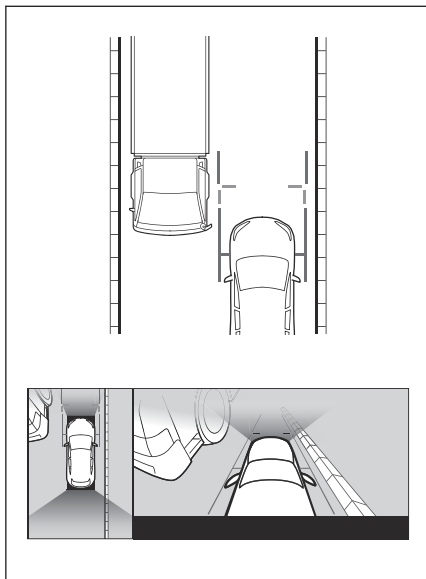
コーナリングビュー自動表示

ハンドル操作に応じて自動的にパノラミックビュー&コーナリングビューが表示されるコーナリングビュー自動表示モードを設定できます。

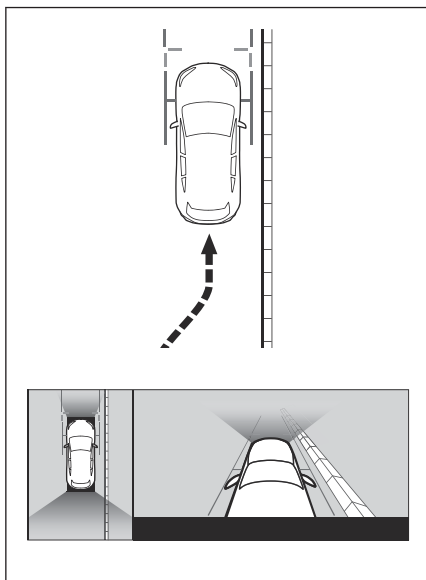
車幅平行線の使い方

■ パノラミックビュー&サイドクリアランスビュー

- 車幅平行線と障害物との位置関係を確認します。
- 車幅平行線が実際の障害物などに重ならないようにハンドル操作をして前進します。



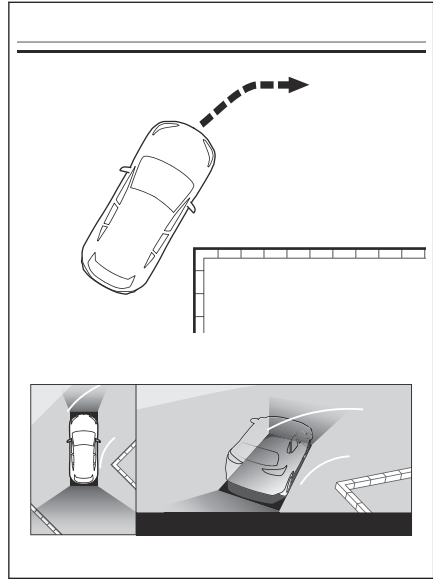
- 車両平行線と路肩の縁石などの目標物との位置関係を確認します。
- 図のように車幅平行線が重ならないように車両を幅寄せします。
- 同時に車幅平行線と目標物が平行になるように運転操作することで、目標物に沿って駐車できます。



前進予想進路線の使い方

■ パノラミックビュー&コーナリングビュー

- 前進予想進路線と障害物との位置関係を確認します。
- 前進予想進路線が実際の障害物と重ならないようにハンドル操作をして前進します。



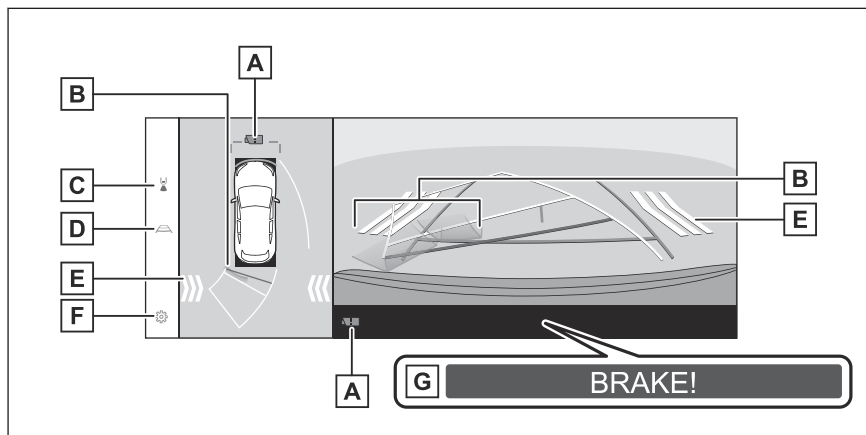
シフトレバーが「R」のときの表示モード

駐車時の安全確認を行うために、車両上方からの映像と後方カメラからの映像を表示します。

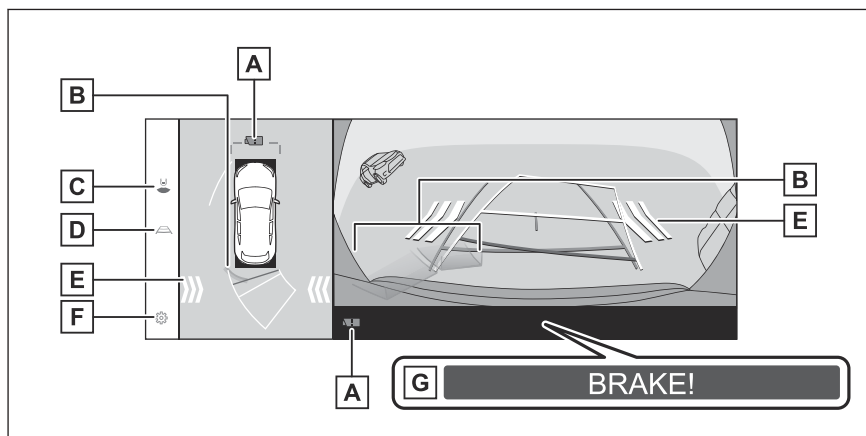
1. シフトレバーを「R」にします。

- 画面モード切りかえボタンをタッチするたびに、モードが切りかわります。

■ パノラミックビュー&バックビュー



■ ワイドバックビュー&パノラミックビュー



A カメラ汚れ検知アイコン

カメラの汚れを検知した場合にアイコンが表示されます。

B クリアランスソナー

センサーが障害物を検知すると、画面にインジケータが表示され、ブザーが鳴ります。(クリアランスソナーについては、別冊「取扱説明書」をご覧ください。)

C 画面モード切りかえボタン

ボタンをタッチするたびに、画面モードが切りかわります。

D ガイド線切りかえボタン

ボタンをタッチするたびに、ガイド線表示モードが切りかわります。

E RCTA（リヤクロストラフィックアラート）

後方レーダーが後方から接近する車両を検知すると、画面にインジケーターが表示されます。（RCTA（リヤクロストラフィックアラート）については、別冊「取扱説明書」をご覧ください。）

F カスタマイズ設定ボタン

コーナリングビュー自動表示や車両のボディカラー、クリアランスソナーの検知距離などの設定を変更できます。

G PKSB（パーキングサポートブレーキ）^{*1}

衝突の可能性がある対象物を検知すると、画面にメッセージが表示されます。（PKSB（パーキングサポートブレーキ）については、別冊「取扱説明書」をご覧ください。）

知識

クリアランスソナーの表示位置とカメラ映像に映し出される障害物の位置は合わないことがあります。

警告

- 乗車人数、積載量、路面の勾配などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- クリアランスソナー、RCTA（リヤクロストラフィックアラート）の表示は、カメラ映像に重畳して表示しているため、周囲の明るさや色などによっては見えにくい場合があります。

関連リンク

[ガイド線表示モードの切りかえ \(P.283\)](#)

[自動表示モード \(P.278\)](#)

[パノラミックビューモニターの設定を変更する \(P.294\)](#)

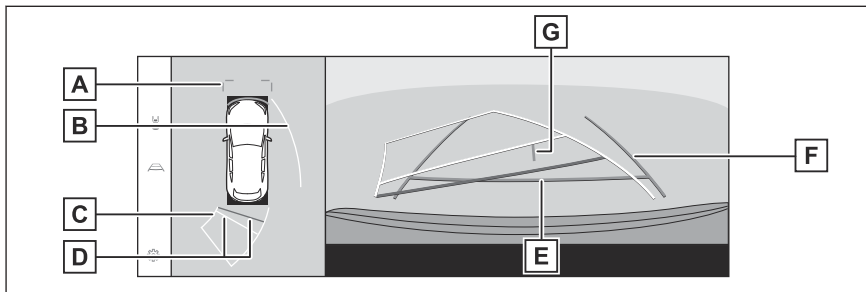
ガイド線表示モードの切りかえ

ガイドライン切り替えボタンをタッチするたびにガイドラインの表示モードが切り替わります。

■ 予想進路線モード

ハンドル操作に連動した予想進路線などが表示されます。

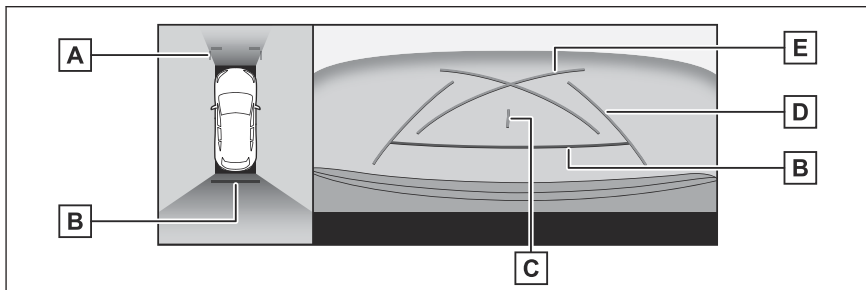
*1: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。



- A** 前方距離目安線
 車両前端から約 1m 先（青色）を示します。
- B** 側方予想進路線
 ハンドル操作と連動して、進路の目安（黄色）を示します。
- C** 後方予想進路線
 ハンドル操作と連動して、進路の目安（黄色）を示します。
- D** 後方距離目安線
 車の後方の距離を示します。
 ● 距離目安線は予想進路線に連動します。
 ● リヤバンパー後端の中心位置から約 0.5m 先（赤色）／約 1m 先（黄色）を示します。
- E** 後方距離目安線
 リヤバンパー後端から約 0.5m 先（青色）を示します。
- F** 車幅平行線
 車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。
 ● 実際の車幅より広く表示します。
 ● 直進状態になっているときは、予想進路線と重なります。
- G** 車両中央線
 車幅平行線の中心を表示します。

■ 駐車ガイド線モード

ハンドルの切り返し点（駐車ガイド線）が表示されます。予想進路線表示を必要とせず、駐車できる、車両感覚に慣れた方におすすめします。



A 前方距離目安線

車両前端から約 1m 先（青色）を示します。

B 後方距離目安線

車の後方の距離を示します。

- リヤバンパー後端の中心位置から約 0.5m 先（赤色）を示します。

C 車両中央線

車幅平行線の中心を表示します。

D 車幅平行線

車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。

- 実際の車幅より広く表示します。

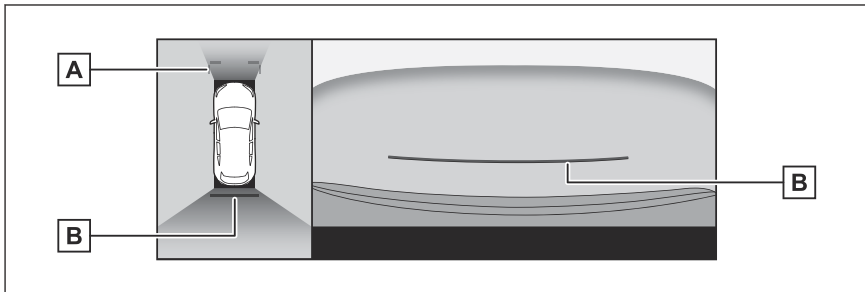
E 駐車ガイド線

もっとも後方へ小まわりしたときの進路の目安を示します。

- 駐車時にハンドルを操作する位置の目安にしてください。

■ 距離目安線表示モード

距離目安線のみ表示されるモードです。ガイド線を必要としない方におすすめします。

**A** 前方距離目安線

車両前端から約 1m 先（青色）を示します。

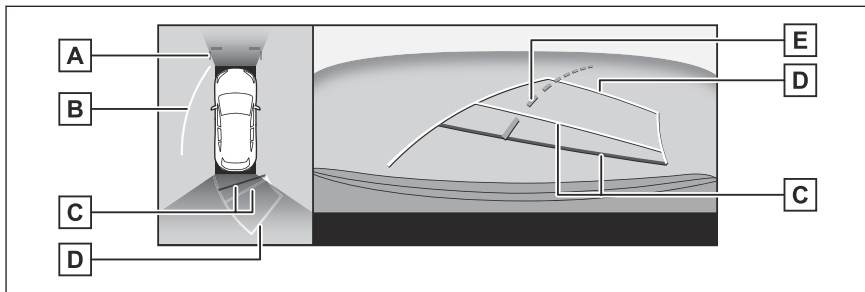
B 後方距離目安線

車の後方の距離を示します。

- リヤバンパー後端の中心位置から約 0.5m 先（赤色）を示します。

■ 車両中央予想進路線モード

ハンドル操作に連動して、予想進路線や車両中央線の目安などが表示されます。またリヤバンパーの中心を、看板やポールなどの目印に寄せる場合に使用します。



A 前方距離目安線

車両前端から約 1m 先（青色）を示します。

B 側方予想進路線

ハンドル操作と連動して、進路の目安（黄色）を示します。

C 後方距離目安線

車の後方の距離を示します。

● 距離目安線は予想進路線に連動します。

● リヤバンパー後端の中心位置から約 0.5m 先（赤色）／約 1m 先（黄色）を示します。

D 後方予想進路線

ハンドル操作と連動して、進路の目安（黄色）を示します。

E 車両中央予想進路線

ハンドル操作と連動して、車両中央線（緑色）の目安を示します。

知識

バックドアが閉じていないとガイド線は表示されません。バックドアを閉じてガイド線が表示されない場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

▲ 警告

後方車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

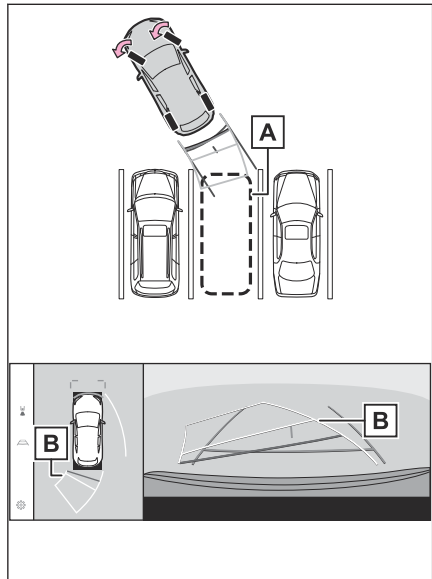
予想進路線モードを使用して駐車する

1 シフトレバーを「R」にします。

- 2 予想進路線が駐車スペースの中に入るようにハンドルを操作して、ゆっくり後退します。

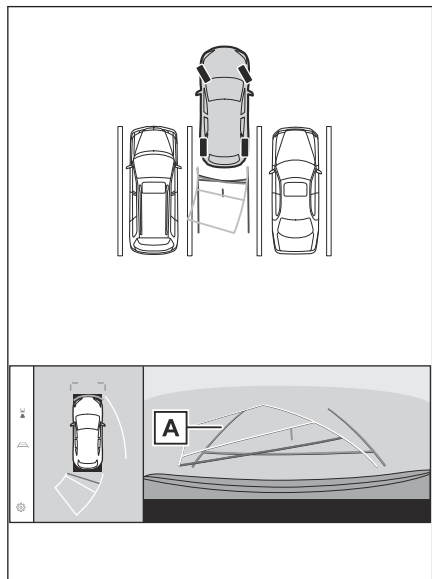
A 駐車スペース

B 予想進路線



- 3 車の後部が駐車スペースの中に入ったら、車幅延長線が駐車スペース左右の区画線のあいだに入るようにハンドルを操作します。

A 車幅平行線

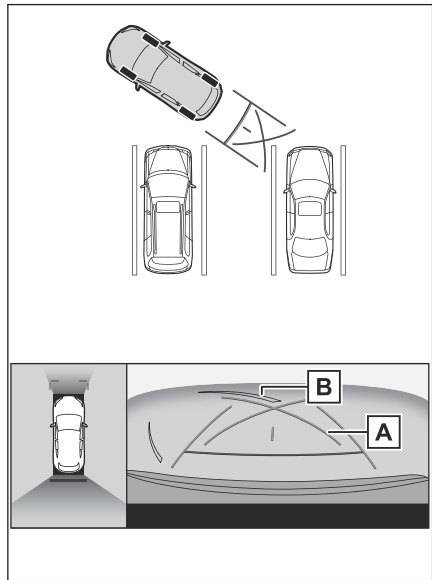


- 4 車幅延長線と駐車スペースの区画線が平行になったら、ハンドルをまっすぐにして、車が駐車スペースにすべて入るまで、ゆっくり後退します。
- 5 適切な位置で停車し、駐車を終えます。

駐車ガイド線モードを使用して駐車する

- 1 シフトレバーを「R」にします。
- 2 駐車ガイド線が駐車スペースの区切り線と一致するまで後退します。

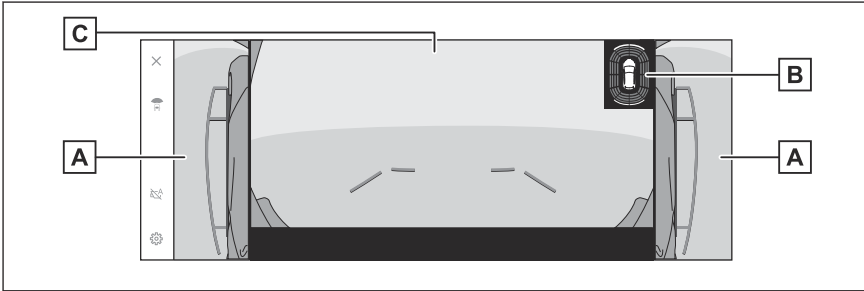
- A 駐車ガイド線
- B 駐車場の区画線



- 3 ハンドルをいっぱいにまわして、ゆっくり後退します。
- 4 車が駐車スペースと平行になったら、ハンドルをまっすぐにして、車が駐車スペースにすべて入るまで、ゆっくり後退します。
- 5 適切な位置で停車し、駐車を終わめます。

ドアミラー格納時の画面

ドアミラーを格納した場合、パノラミックビューのかわりにサイドカメラからの映像が表示されます。狭い場所での幅寄せ駐車の際などに、車両周辺の安全確認を補助します。



A サイドビュー

B クリアランスソナー

センサーが障害物を検知すると、画面にインジケータが表示され、ブザーが鳴ります。(クリアランスソナーについては、別冊「取扱説明書」をご覧ください。)

C ワイドフロントビュー／バックビュー

知識

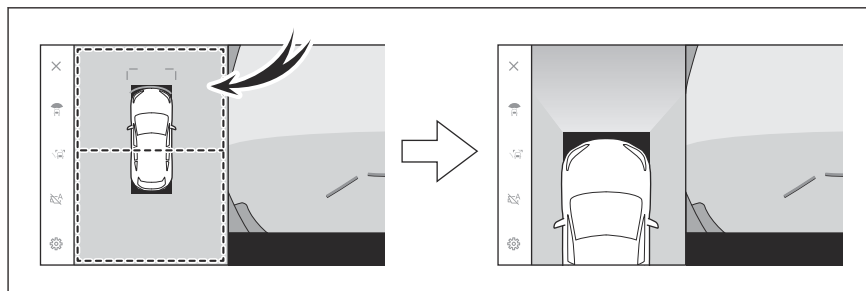
クリアランスソナーの表示位置とカメラ映像に映し出される障害物の位置は合わないことがあります。

画面を拡大表示する

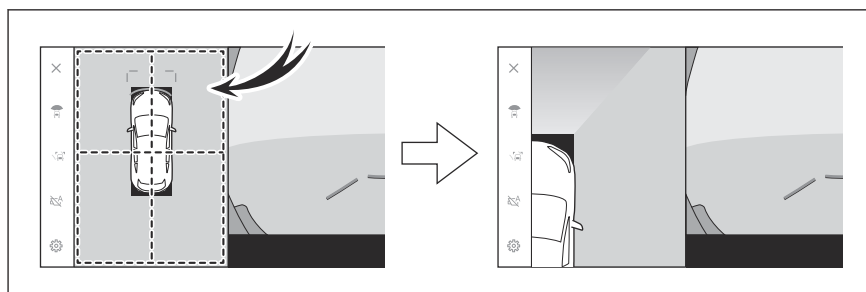
画面に映っているものが小さく見えにくい場合に、画面を拡大して表示させることができます。

パノラミックビューまたはワイドフロントビューの拡大させたいエリアをタッチします。

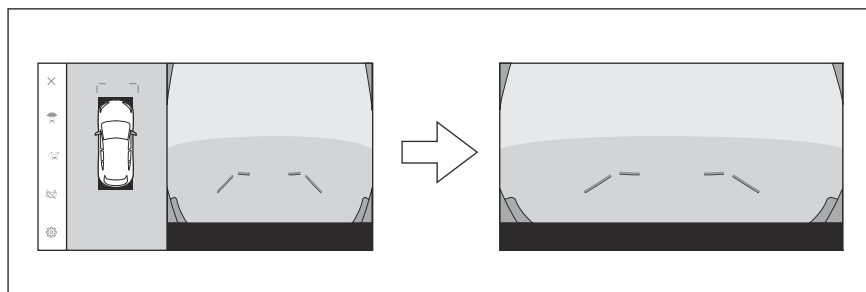
▶ パノラミックビュー（12.3インチディスプレイ装着車）



▶ パノラミックビュー（8インチディスプレイ装着車）



▶ ワイドフロントビュー（8インチディスプレイ装着車）



- 選択したエリアが拡大表示されます。
- パノラミックビューでは、車両前方または後方の2か所のいずれか（または車両のコーナー付近4か所のいずれか）を拡大して表示させることができます。^{*1}

*1: 8インチディスプレイ装着車

- 拡大表示を解除するには、再度画面をタッチします。

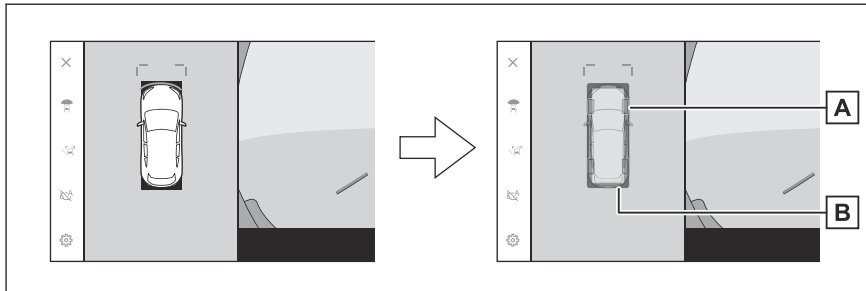
知識

- 次の条件をすべて満たすと拡大機能を使用できます：
 - 車速が 12km/h 未満
 - クリアランスソナーが ON になっている
- 次のいずれかの条件を満たすと拡大表示が自動的に解除されます：
 - 車速が 12km/h 以上になった
 - クリアランスソナーを OFF にした
- パノラミックビューの拡大表示は、ガイド線を表示しません。

床下透過映像を表示する

現在の車両位置から撮影された過去のカメラ映像が車両下に合成表示され、車両下の状況やタイヤ位置の把握などを補助できます。映像はパノラミックビュー、サイドクリアランスビュー、コーナリングビューに表示されます。

床下透過映像表示は、カスタマイズ設定画面の設定を ON にし、車両を前進もしくは後退すると表示されます。



A タイヤ形状線

ハンドルと連動してタイヤ位置の目安を示します。

B 車両形状目安線

車両の外形の目安を示します。

知識

- 次の場合は、床下透過映像が表示されません：
 - 車速が 20km/h 以上になったとき
 - 車両が停止し、一定時間が経過したとき
 - 車両始動後、一定以上の距離を走行していないとき
 - ドアミラーを格納しているとき
 - ABS が作動したとき
 - システムが正常に作動しないとき
- 次のような状況では、システムが正常に作動しない場合があります：
 - 積雪路
 - 照明などによる影があるとき
 - カメラレンズに汚れや異物が付着しているとき
 - 水面（川、海など）
 - オプション装備を取り付けたとき
 - カメラの前に障害物があるとき
 - タイヤを交換したとき
 - バックドアが開いて、カメラの位置が正しくない場合

- すべりやすい路面や車輪が空転したとき
- 坂道などの勾配があるとき
- 過去に撮影された映像を表示しているため、次のような場合は、画面と実際の状況が異なることがあります。
 - 撮影後に障害物が現れたり動いたりしたとき
 - 撮影後に砂や雪などが崩れて動いたとき
 - 表示範囲に水たまりやぬかるみなどがあるとき
 - 車両がスリップしたとき
- 次のような状況では、床下透過映像が一部、もしくはすべて黒映像で表示される場合があります：
 - 撮影した映像がない状態で、発進したとき
 - ハンドルを一定以上の角度まで回したとき
 - 車両が停止し、一定時間が経過したとき
 - ドアミラーを格納しているとき
 - ABSが作動したとき
 - システムが正常に作動しないとき

▲ 警告


- 乗車人数、積載量、路面の勾配、路面状況、周囲の明るさ、オプションの装備、タイヤの履きかえなどにより、タイヤ形状線や車両形状目安線と実際の車両位置がずれる場合があります。必ず周囲の安全を確認しながら運転してください。
- 表示される映像は、過去に撮影された映像です。そのため、撮影後に障害物が動くなど、床下透過映像表示と実際の状況とが必ずしも一致しない場合があります。

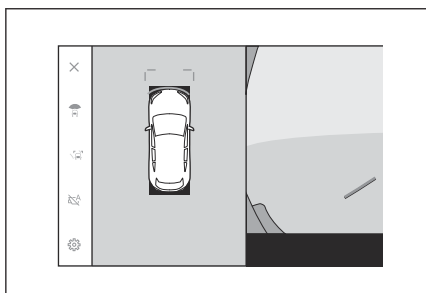
関連リンク

[パノラミックビューモニターの設定を変更する \(P.294\)](#)

パノラミックビューモニターの設定を変更する

コーナリングビュー自動表示や車両のボディカラーなどのパノラミックビューモニターに関する設定を変更できます。

- 1  にタッチします。



- 2 各項目を設定します。

- [Cornering View]

コーナリングビューの自動表示の ON/OFF を設定できます。

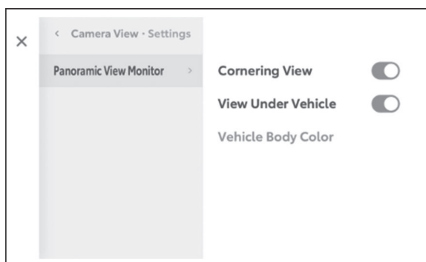
- [View Under Vehicle]

床下透過映像表示の設定を ON/OFF できます。設定を ON にし、車両を前進もしくは後退すると、現在の車両位置から撮影された過去のカメラ映像が車両下に合成表示され、車両

下の状況やフロントタイヤ位置の把握などを補助できます。映像はパノラミックビュー、サイドクリアランスビュー、コーナリングビューに表示されます。

- [Vehicle Body Color]

画面に表示される車両のボディカラーを変更できます。



知識

走行中は安全のため、カスタマイズ設定画面を表示できません。

— 関連リンク —

[ボディカラーを変更する \(P.294\)](#)

ボディカラーを変更する

画面に表示される車両のボディカラーを変更できます。

- 1 [Vehicle Body Color]にタッチします。
- 2 希望のボディカラーを選択します。
- 3 [OK]にタッチします。

パノラミックビューモニターの注意点

運転操作時は、必ず後方や周囲の安全を直接確認してください。お守りいただかないと、車をぶつけるなど、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。パノラミックビューモニターを使用するときは次のことをお守りください。

▲ 警告

- パノラミックビューモニターを過信しないでください。一般の車と同様、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら慎重に運転してください。特に周辺に駐車している車や障害物などに接触しないようにしてください。
- 運転操作時は、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 画面だけを見ながら運転操作することは絶対にしないでください。画面に映し出されている映像と実際の状況は異なることがあります。また、カメラの映し出す範囲はかぎられています。画面だけを見て右左折、後退することは絶対にしないでください。車をぶつけたり、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。必ず目視やインナーミラー、ドアミラーなどで周囲の安全を確認し、十分注意した上で運転してください。
- 乗車人数、積載量、路面の勾配などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 次のような状況では、パノラミックビューモニターを使用しないでください：
 - 雪道、凍結した道などのすべりやすい路面
 - タイヤチェーン、応急用タイヤを使用しているとき
 - フロントドア、バックドアが完全に閉まっていないとき
 - 坂道など平坦でない道路
 - タイヤをメーカー指定のものから交換しているとき
 - サスペンションを改造しているとき
 - 画面に映るエリアに社外品を装着しているとき
- 外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像がうすれることがあります。特に動いているものの映像が歪む、または画面から見えなくなることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- タイヤを交換すると、画面に表示されるガイド線の示す位置に誤差が生じることがあります。

▲ 注意

- シースルービュー、ムービングビュー、パノラミックビュー、サイドクリアランスビュー、コーナリングビューは、フロントカメラとバックカメラ、左右サイドカメラが撮影した映像を合成処理した映像です。表示可能な範囲や表示内容には限界があるため、パノラミックビューモニターの特性を十分理解した上で使用してください。
- シースルービュー、ムービングビュー、パノラミックビュー、サイドクリアランスビュー、コーナリングビューの四隅には、それぞれのカメラ映像境界位置を中心に

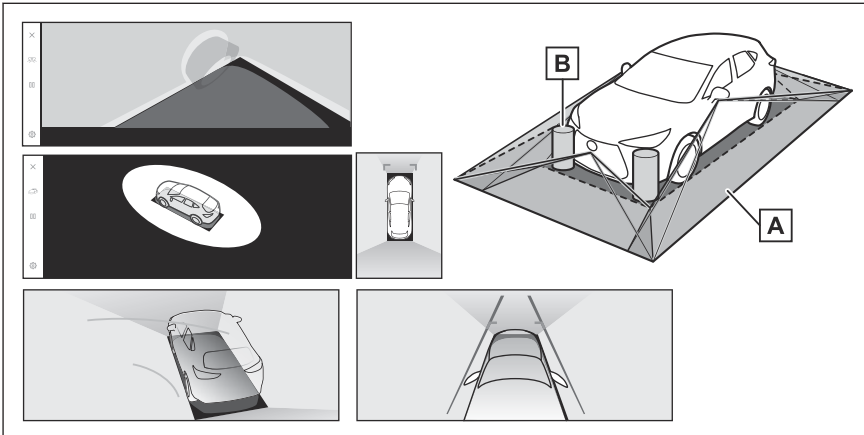
⚠ 注意

映像合成処理領域が存在し、映像の鮮明度が低下することがありますが、故障ではありません。

- それぞれのカメラ付近の照度条件により、シースルービュー、ムービングビュー、パノラミックビュー、サイドクリアランスビュー、コーナリングビューに明暗ができる場合があります。
- シースルービュー、ムービングビュー、パノラミックビュー、サイドクリアランスビュー、コーナリングビューでは、それぞれのカメラの取り付け位置や撮像範囲より上部は表示されません。
- 車両付近には死角があり、パノラミックビューモニターには表示されない領域があります。
- ワイドフロントビューまたはバックビュー、ワイドバックビュー、サイドビューに表示されている立体物が、シースルービュー、ムービングビュー、パノラミックビュー、サイドクリアランスビュー、コーナリングビューでは表示されない場合があります。
- パノラミックビューモニターは、人物や障害物などの立体物が実際と異なって表示される場合があります。(倒れているように表示される場合や、映像合成処理領域付近で消えてしまう場合、映像合成処理領域付近から現れるように表示される場合、表示位置の距離感が実際と異なるなど)
- バックカメラが取り付けられたバックドア、サイドカメラを内蔵したドアミラーが取り付けられたフロントドアが開いている場合、パノラミックビューモニターは正しく表示されません。
- シースルービュー、ムービングビュー、パノラミックビュー、サイドクリアランスビュー、コーナリングビューに表示される車両アイコンは、コンピューターグラフィックによる画像を表示しているため、実際の車両とは色や形状、大きさなどが異なります。このため、車両付近の立体物が車両と接触しているように見える場合や、立体物との位置関係が実際の位置関係と異なる場合があります。
- カメラが正しく作動せず、画面が次のように表示されることがあります。
 - シフトレバーを「R」にしたときに、画面の一部、もしくはすべてが黒映像で表示される
 - シフトレバーを「R」にしたときに、画面の一部、もしくはすべてが黒映像で表示される
 - シフトレバーを「R」にしたときに、カメラ映像が表示されたままになる
 - カメラ映像にガイド線などが表示されず、着目マークや注意文が表示される

画面に映る範囲

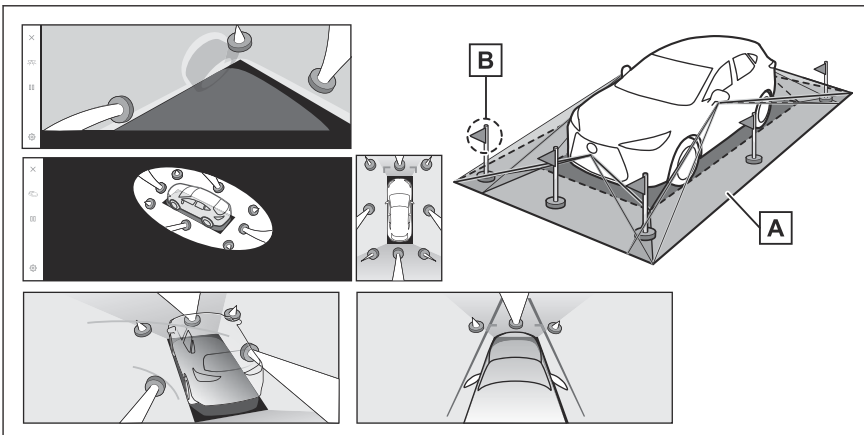
車両付近には死角があり、表示されない領域があります。画面では車両の周辺に何も表示されていなくても、実際には障害物が進路上にあるため、接触することがあります。必ず周囲の安全を直接確認してください。



A 画面に映るエリア

B 画面に映らない障害物

黒色部分内にある障害物は画面に表示されません。



A 画面に映るエリア

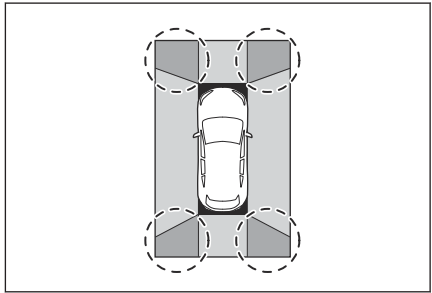
B 画面に映らない部分

路面より高い部分は画面に表示されません。

知識

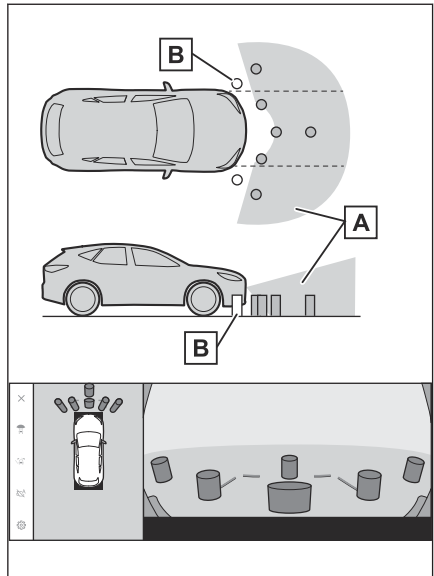
- 車両アイコンまわりの黒色部分はカメラに映らない部分です。直接確認してください。
- シースルービュー、ムービングビュー、パノラミックビュー（拡大表示を含む）、サイドクリアランスビュー、コーナリングビューは、4つのカメラから得られた画像を平らな路面を基準に加工して表示しているため、次のように表示されることがあります。

- 立体物が倒れて細長く、もしくは大きく見える。
- 路面より高い位置にある立体物が実際より遠くに見える、もしくは見えない。
- 高さのあるものが合成のつぎ目から現れてくるように見える場合がある。
- 照度条件により、カメラごとの映像の明るさにばらつきが出る場合があります。
- 乗員人数、積載状況、ガソリン残量による車体の傾きや車高の変化などにより、表示映像がずれる場合があります。
- ドアが完全に閉まっていないと、表示映像やガイド線が正しく表示されない場合があります。
- シースルービュー、ムービングビュー、パノラミックビュー（拡大表示を含む）、サイドクリアランスビュー、コーナリングビューに表示されている車両アイコンと、路面や障害物との位置関係は実際の位置とは異なる場合があります。
- 図の○部分は画像を合成しているため、映像が見えにくい場合があります。



■ ワイドフロントビュー

- A** 画面に映るエリア
- B** 画面に映らない障害物
バンパーの両端付近は画面に映りません。

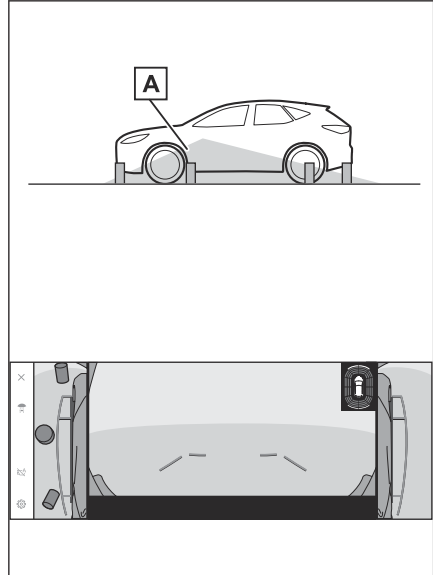


□ 知識

- カメラの映し出される範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの真下付近にあるものは映し出されません。
- 画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- ワイドフロントビューのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感は実際の距離とは異なります。

■ 両サイドビュー（ドアミラー格納時）について

A 画面に映るエリア



□ 知識

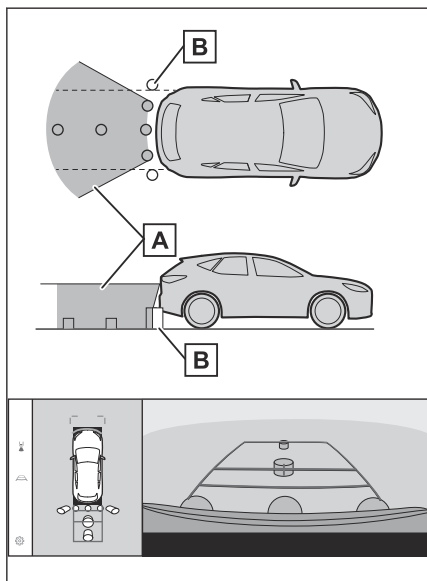
- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- カメラの映し出される範囲には限度があり、助手席側のバンパー付近やバンパーの真下付近にあるものは映し出されません。
- 画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- 両サイドビューのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感は実際の距離とは異なります。

■ バックビュー

A 画面に映るエリア

B 画面に映らない障害物

バンパーの両端付近は画面に映りません。

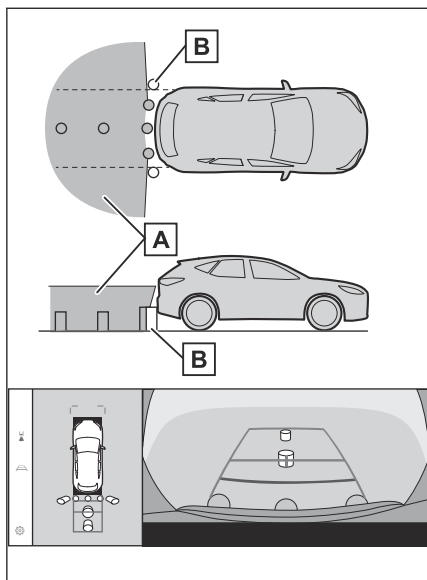


■ ワイドバックビュー

A 画面に映るエリア

B 画面に映らない障害物

バンパーの両端付近は画面に映りません。



知識

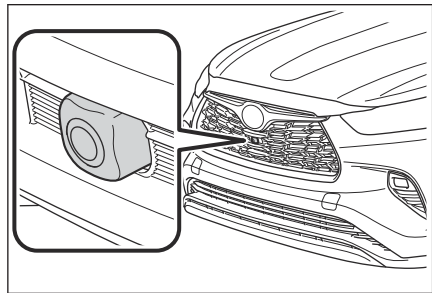
- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。

- カメラの映し出される範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの真下付近にあるものは映し出されません。
- 画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- バックビューやワイドバックビューのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感とは異なります。
- バックカメラより高い位置にあるものについては、モニターに映らないことがあります。

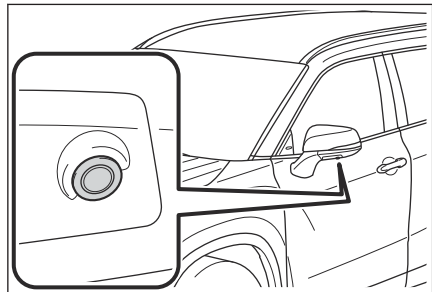
カメラの位置

パノラミックビューモニターの各カメラは図の位置にあります。

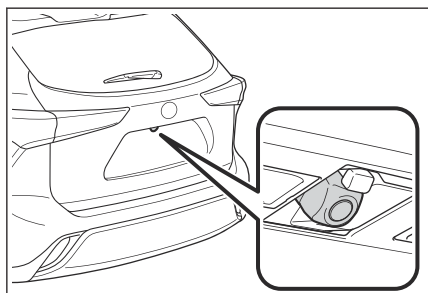
■ フロントカメラ



■ サイドカメラ



■ リアカメラ



カメラのお手入れ方法

カメラに水滴、雪、泥などの異物や汚れが付着していると、鮮明な画像を見ることができません。この場合、大量の水でカメラの汚れを流し、水で湿らせたやわらかい布でカメラレンズをふき取ってください。

⚠ 注意

- パノラミックビューモニターが正常に作動しなくなるおそれがあります。次のことにご注意ください。
 - カメラ部を強くたたいたり、ものをぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取り付け角度がずれるおそれがあります。
 - カメラ部は防水構造となっています。取りはずし、分解、改造をしないでください。
 - カメラレンズを洗うときは、大量の水でカメラの汚れを流したあと、水で湿らせたやわらかい布でカメラレンズをふき取ってください。カメラレンズを強くこするとカメラレンズが傷付いて、鮮明な画像を見ることができなくなるおそれがあります。
 - カメラのカバーは樹脂です。有機溶剤・ボデーワックス、油膜取り剤、ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
 - 寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化を与えないでください。
 - 洗車時に高圧洗浄機でカメラやカメラ周辺に直接水を当てないでください。強い水圧により衝撃が加わり、装置が正常に作動しなくなるおそれがあります。
- カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などのおそれがあります。早めにトヨタ販売店で点検を受けてください。

■ ウォッシャー液によるカメラ洗浄について

リアカメラレンズの汚れは、カメラ洗浄用のウォッシャーを作動させて洗浄することができます。詳細は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

- カメラ洗浄中は、噴射されるウォッシャー液により、車両後方の状態が見えにくくなることがあります。必ず目視やインナーミラー、ドアミラーなどで周囲の安全を確認し、十分注意した上で後退してください。

- カメラ洗浄後にウォッシャー液がカメラレンズ面に残った場合、夜間に後方車両へヘッドランプの高さや傾きにより、車両後方の状態が見えにくくなる場合があります。
- カメラ洗浄をしても、汚れによっては完全にきれいにならない場合があります。この場合、大量の水でカメラの汚れを流し、水で湿らせた柔らかい布でカメラレンズの水滴をふき取ってください
- カメラ洗浄は、カメラレンズ面にウォッシャー液を噴射するため、カメラ周辺に付着した氷や雪などの映り込むものについては、洗浄することができません。

⚠ 注意

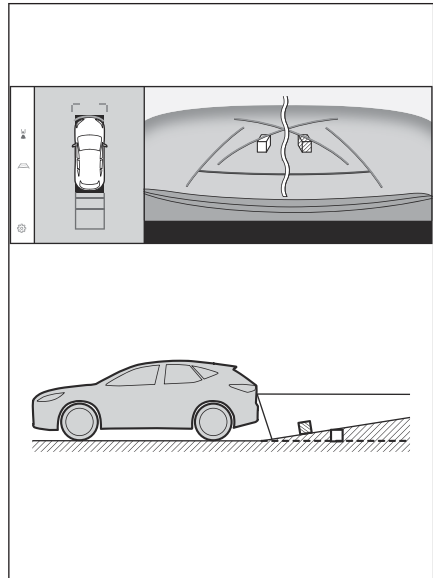
ノズル部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。ノズルの位置、取り付け角度がずれるおそれがあります。

画面と実際の路面との誤差

パノラミックビューモニターの合成映像やガイド線は、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、次の状態のときは、画面のガイドと実際の路面上の距離や進路に誤差が生じます。

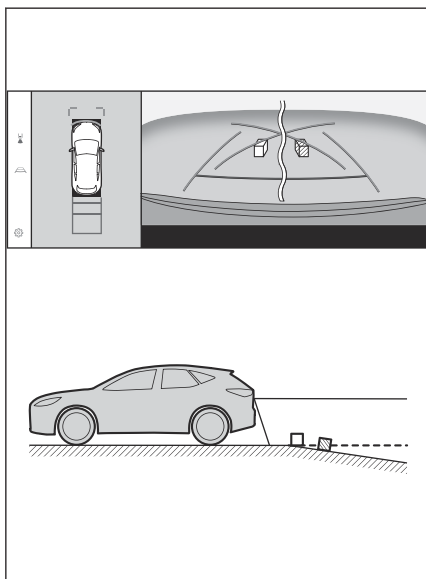
■ 急な上り坂が後方にあるとき

実際の距離より手前に距離目安線が表示されます。そのため、上り坂にある障害物は実際より遠くに見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。



■ 急な下り坂が後方にあるとき

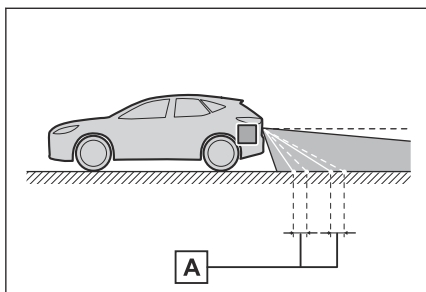
実際の距離よりうしろに距離目安線が表示されます。そのため、下り坂にある障害物は、実際より近くに見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。



■ 車が傾いているとき

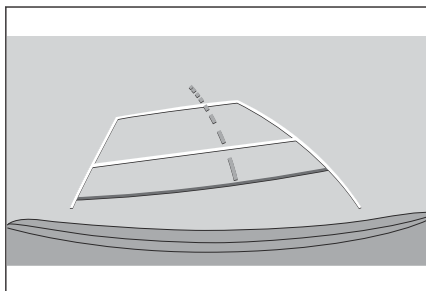
乗車人数、積載量などにより車が傾いているときは、実際の距離、進路と誤差が生じます。

A 誤差



■ 車両中央予想進路線について

リアバンパー付近の空中にガイド線が描かれているため、車両の中央からずれているように見えることがあります。



画面と実際の立体物との誤差

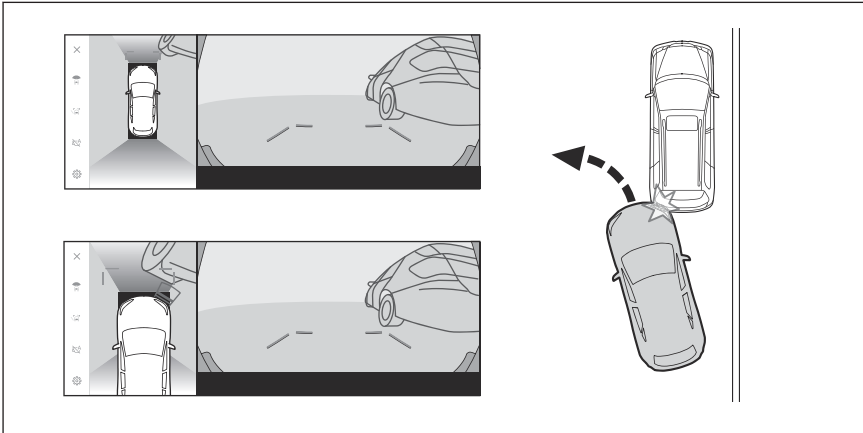
画面に表示されるガイド線は路面に対して表示されているため、立体物の位置を判断できません。張り出しのある立体物（トラックの荷台のような障害物）が近くにあるときは、次のことにご注意ください。

▲ 警告

クリアランスソナーの表示が赤色のときは、必ず直接確認して、それ以上進まないでください。車をぶつけるなど、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。

■ パノラミックビュー（拡大表示含む）の表示

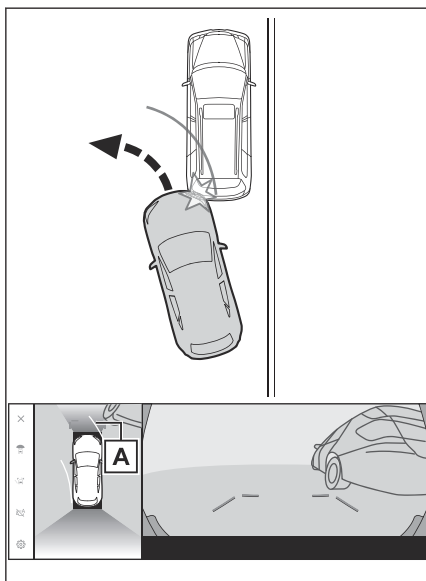
画面では車両のバンパーとのあいだに余裕があり、ぶつからないように見えても、実際には車両が進路上にあるためぶつかることがあります。周囲の安全を直接確認してください。



■ 予想進路線について

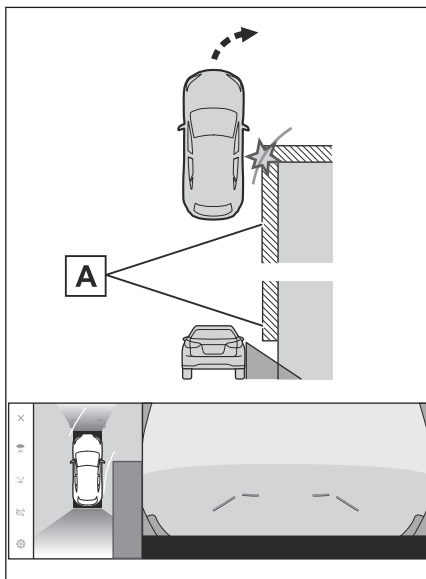
- 画面では車両のバンパーが予想進路線の外側にあり、ぶつからないように見えても、実際には車両が進路上にあるためぶつかることがあります。周囲の安全を直接確認してください。

A 予想進路線



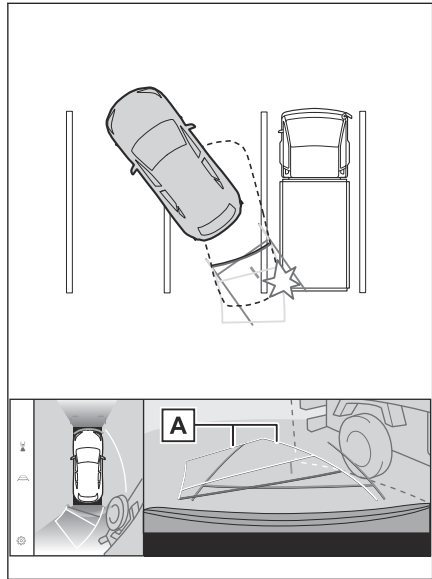
- 高い位置にある立体物（張り出しのある壁やトラックの荷台など）は、画面に映らない場合があります。周囲の安全を直接確認してください。

A 壁の張り出し部分



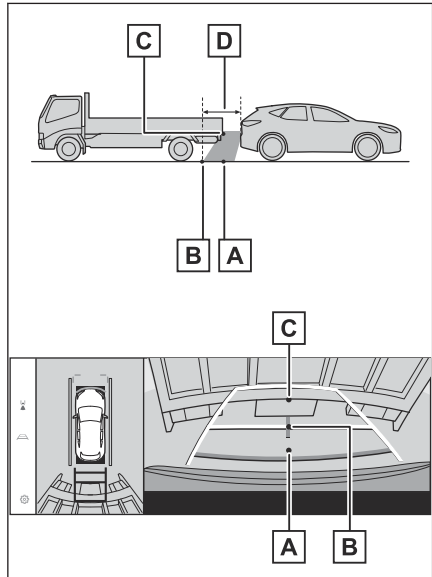
- 画面では、トラックの荷台が予想進路線の外側にあり、ぶつからないように見えても、実際は荷台が進路上に張り出しているためぶつかることがあります。周囲の安全を直接確認してください。

A 予想進路線



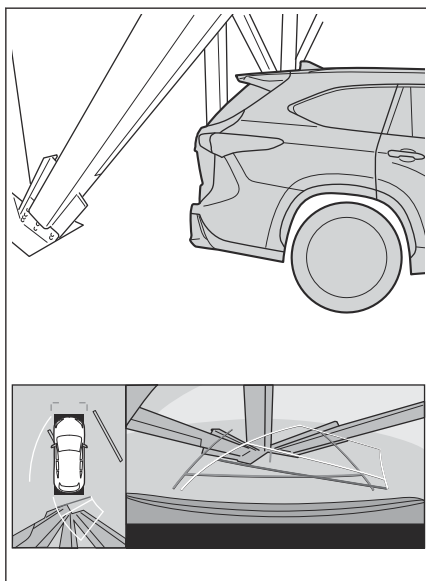
■ 距離目安線について

画面では、距離目安線により**B**の位置にトラックが駐車してあるように見えますが、実際には**A**の位置まで後退すると、ぶつかります。画面では**A**、**B**、**C**の順に近く見えますが、実際の距離は**A**と**C**は同じ距離で、**B**は**A**と**C**より遠い距離にあります。後方や周囲の安全を直接確認してください。**D**の距離は約1mです



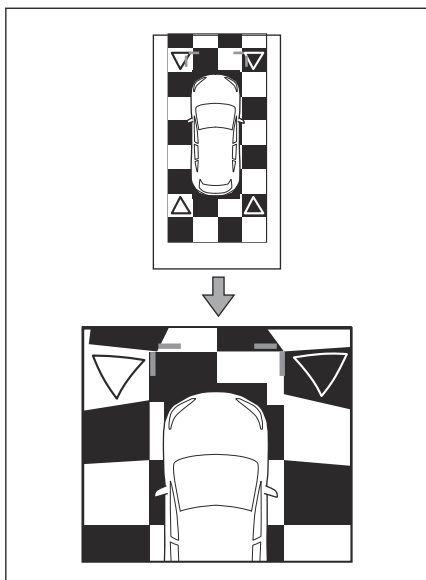
■ 斜めの柱の張り出し部について

パノラミックビューでは倒れた柱がまっすぐでぶつからないように見えても、実際は柱の上部が張り出しているため、ぶつかる可能性があります。後方や周囲の安全を直接確認してください。



■ 拡大機能について

パノラミックビューの拡大機能は、通常のパノラミックビューとは違い、車両アイコンのほうへ映像を縮めています。そのため、路上の白線や壁などが曲がって見える場合があります。



故障とお考えになる前に

次のような症状で気になったりお困りになったときは、考えられる原因と処置を参考に、もう一度確認してください。

処置をしても直らないときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

| 症状 | 考えられる原因 | 処置 |
|-------------|---|--|
| 画面が見えにくい | <ul style="list-style-type: none"> ● 夜間など暗いところで使用。 ● レンズ付近の温度が高い、または低い。 ● 外気温が低いとき。 ● カメラに水滴がついた。 ● 雨天時など湿度が高い。 ● カメラ付近に異物（泥など）がついた。 ● 太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズにあたった。 ● 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの照明下で使用した。 | <p>車両周囲の状況を直接確認しながら、運転してください。</p> <p>カメラおよびその周辺環境が改善されてから、再びバックガイドモニターをご使用ください。</p> <p>パノラミックビューモニターの画質調整の方法は、マルチメディア画面の調整と同じです。</p> |
| 画面が不鮮明 | カメラのレンズに水滴、雪、泥など異物や汚れが付着している。 | <p>大量の水でカメラの汚れを流したあと、水で湿らせたやわらかい布でカメラレンズをふき取ってください。</p> <p>カメラ洗浄用のウォッシャーを作動させ、リヤカメラレンズの汚れを洗浄してください。詳細は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。</p> |
| 画面がずれている | カメラ部に強い衝撃が与えられた。 | トヨタ販売店で点検を受けてください。 |
| ガイド線が大きくずれる | カメラの位置がずれている。 | トヨタ販売店で点検を受けてください。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ● 車が傾いているとき（重い荷物の積載やパンクしてタイヤ空気圧が低いときなど）。 ● 傾斜地で使用するとき。 | 車両周囲の状況を直接確認しながら、運転してください。 |

| 症状 | 考えられる原因 | 処置 |
|--|-----------------------------|--|
| ハンドルが直進状態であるにも関わらず予想進路線が曲がっている(車幅延長線と予想進路線がずれる) | ステアリングセンサーの信号に異常が発生した。 | トヨタ販売店で点検を受けてください。 |
| ガイド線が表示されない | バックドアが開いている。 | バックドアを閉める。 直らない場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。 |
| パノラミックビュー表示が拡大できない。シースルービュー／ムービングビュー、サイドクリアランスビュー、コーナリングビューが表示されない | クリアランスソナーに異常(汚れや故障など)が発生した。 | クリアランスソナー異常時の対処方法にしたがってください。(クリアランスソナーについては、別冊「取扱説明書」をご覧ください。) |

関連リンク

[画面表示の設定を変更する \(P.60\)](#)

フリー／オープンソースソフトウェア情報

本製品はフリー／オープンソースソフトウェアを含んでいます。

これらのフリー／オープンソースソフトウェアのライセンス情報やソースコードの両方または片方については、次の URL から入手できます。

<https://www.denso.com/global/en/opensource/svss/toyota>

9-1. 付録

| | |
|---------------------------|-----|
| メディア／データについての 情報 | 312 |
| 認証・商標についての情報 | 324 |

メディア／データについての情報

使用できるメディアについての情報

使用できるメディアなどの仕様は、次のとおりです。

■ USB メモリーのフォーマット、仕様

使用できる USB メモリーのフォーマット、規格ならびに制限事項は次のとおりです。

| | |
|---------------------|------------------------------|
| USB コミュニケーションフォーマット | USB 2.0 HS (480MBPS) |
| ファイルフォーマット | FAT 16/32 |
| 通信クラス | マスストレージクラス |
| 最大フォルダ数 | 3000 (ルート含む) |
| 最大フォルダ階層数 | 8 |
| 最大ファイル数 | 9999 (1 フォルダにつき、最大 255 ファイル) |
| メモリ容量 | ～32GB |
| 1 ファイルの最大サイズ | 2GB |

- 上記フォーマット以外のファイルは正常に再生できなかつたり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。
- ご利用の USB メモリーによっては、再生できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- パソコンを使用して USB メモリーにファイルを保存する場合、パソコンによっては再生ファイルに加えて不可視ファイルも保存される場合があります。再生時に不可視ファイルが悪影響をおよぼし、正常にファイルを切りかえられない場合がありますので、不可視ファイルは削除することを推奨します。

フォーマットについての情報

使用できる音楽データの仕様は、次のとおりです。

■ MP3

| | |
|--------------------------------|---|
| 対応規格 | MP3 (MPEG1 LAYER 3、MPEG2 LSF LAYER 3) |
| 対応サンプリング周波数 (kHz) | MPEG1 LAYER 3 : 32、44.1、48 MPEG2 LSF LAYER 3 : 16、22.05、24 |
| 対応ビットレート (kbps) ⁽¹⁾ | MPEG1 LAYER 3 : 32～320 MPEG2 LSF LAYER 3 : 8～160 |

| | |
|------------|---------------------------------------|
| 対応チャンネルモード | ステレオ、ジョイントステレオ、デュアルチャンネル、モノラル |
| ID3 タグ | ID3 Ver.1.0、1.1、2.2、2.3（文字数は各Ver.に準拠） |

(1) VBR（Variable Bit Rate）に対応しています。

■ WMA

| | |
|----------------------------------|---|
| 対応規格 | WMA Ver.7、8、9（9.1、9.2） |
| 対応サンプリング周波数（kHz） | 32、44.1、48 |
| 対応ビットレート（kbps） ⁽¹⁾⁽²⁾ | Ver.7、8：CBR（Constant Bit Rate）48～192 Ver.9（9.1/9.2）：CBR 48～320 |

(1) VBR（Variable Bit Rate）に対応しています。

(2) マルチチャンネルの音源は2chに変換されます。

■ AAC

| | |
|-------------------------------|----------------------------------|
| 対応規格 ⁽¹⁾ | MPEG4 AAC-LC |
| 対応サンプリング周波数（kHz） | 11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48 |
| 対応ビットレート（kbps） ⁽²⁾ | 8～320 |
| 対応チャンネルモード ⁽³⁾ | 1ch（1/0）、2ch（2/0） |

(1) ADIF には対応していません。

(2) VBR（Variable Bit Rate）に対応しています。

(3) デュアルチャンネルには対応していません。

■ WAV（LPCM）

| | |
|---------------------------------|--|
| 対応サンプリング周波数（kHz） ⁽¹⁾ | 8、11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48、88.2、96、176.4、192 |
| 対応量子化 bit 数（bit） ⁽²⁾ | 16/24 |
| 対応チャンネルモード | 1ch（1/0）、2ch（2/0） |

(1) 96kHz/24bit 以上の音源は96kHz/24bit にダウンコンバートされます。

(2) マルチチャンネルの音源は2chに変換されます。

■ FLAC

| | |
|---------------------------------|--|
| 対応サンプリング周波数（kHz） ⁽¹⁾ | 8、11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48、88.2、96、176.4、192 |
|---------------------------------|--|

| | |
|-----------------------|-------|
| 対応量子化 bit 数 (bit) (2) | 16/24 |
|-----------------------|-------|

- (1) 96kHz/24bit 以上の音源は 96kHz/24bit にダウンコンバートされます。
- (2) マルチチャンネルの音源は 2ch に変換されます。

■ ALAC

| | |
|-----------------------|---|
| 対応サンプリング周波数 (kHz) (1) | 8、11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48、64、88.2、96 |
| 対応量子化 bit 数 (bit) (2) | 16/24 |

- (1) 96kHz/24bit 以上の音源は 96kHz/24bit にダウンコンバートされます。
- (2) マルチチャンネルの音源は 2ch に変換されます。

■ Ogg Vorbis

| | |
|-----------------------|------------------------------|
| 対応サンプリング周波数 (kHz) (1) | 8、11.025、16、22.05、32、44.1、48 |
| 対応ビットレート (kbps) (2) | 32～500 |

- (1) 96kHz/24bit 以上の音源は 96kHz/24bit にダウンコンバートされます。
- (2) VBR (Variable Bit Rate) に対応しています。

■ ファイル名

MP3/WMA/AAC/WAV(LPCM)/FLAC/ALAC/Ogg Vorbis と認識し再生するファイルは MP3/WMA/AAC/WAV(LPCM)/FLAC/ALAC/Ogg Vorbis の拡張子「.mp3」/「.wma」/「.m4a」/「.3gp」/「.aac」/「.wav」/「.flac」/「.fla」/「.ogg」/「.ogx」/「.oga」がついたものだけです。MP3/WMA/AAC/WAV(LPCM)/FLAC/ALAC/Ogg Vorbis ファイルには、「.mp3」/「.wma」/「.m4a」/「.3gp」/「.aac」/「.wav」/「.flac」/「.fla」/「.ogg」/「.ogx」/「.oga」の拡張子をつけて保存してください。

■ ID3 タグ/WMA タグ/AAC タグ/タグ/Vorbis comment

- MP3 ファイルには、ID3 タグと呼ばれる付属文字情報があり、曲のアーティスト名、タイトル名、アルバム名などを保存できます。
- WMA ファイルには、WMA タグと呼ばれる付属文字情報があり、曲のアーティスト名、タイトル名、アルバム名などを保存できます。
- AAC ファイルには、AAC タグと呼ばれる付属文字情報があり、曲のアーティスト名、タイトル名、アルバム名などを保存できます。
- WAV (LPCM) ファイルには、タグと呼ばれる付属文字情報があり、曲のアーティスト名、タイトル名、アルバム名などを保存できます。
- FLAC ファイルには、タグと呼ばれる付属文字情報があり、曲のアーティスト名、タイトル名、アルバム名などを保存できます。
- ALAC ファイルには、タグと呼ばれる付属文字情報があり、曲のアーティスト名、タイトル名、アルバム名などを保存できます。

- Ogg Vorbis ファイルには、Vorbis comment と呼ばれる付属文字情報があり、曲のアーティスト名、タイトル名、アルバム名などを保存できます。

■ ハイレゾリューション（ハイレゾ）音源

マルチメディアシステムはハイレゾ音源に対応しています。ハイレゾ音源の定義は、一般社団法人電子技術産業協議会（JEITA）の定義に準拠しています。

対応フォーマットと再生可能メディアについては、次のとおりです。

対応フォーマット

WAV、FLAC、ALAC、Ogg Vorbis

再生可能メディア

USB メモリー

USB メモリーから再生できる動画データについての情報

パソコンから USB メモリーに記録した動画ファイルについては、次のフォーマットに対応しています。

| フォーマット | コーデック |
|--|--|
| MPEG4 拡張子：「.mp4」 「.m4v」 | <ul style="list-style-type: none"> ● 動画コーデック：H.264、MPEG-4 AVC、MPEG-4 ● オーディオコーデック：MP3、AAC |
| AVI container extension: 「.avi」 | <ul style="list-style-type: none"> ● Video codec: H.264, MPEG-4, MPEG-4 AVC, WMV9, WMV9 Advanced Profile ● Audio codec: MP3, AAC, WMA 9.2 (7, 8, 9.1, 9.2) |
| Windows Media Video extension: 「.wmv」 | <ul style="list-style-type: none"> ● Video codec: WMV9, WMV9 Advanced Profile ● Audio codec: WMA 9.2 (7, 8, 9.1, 9.2) |

- 対応画像サイズは、最大 1920×1080 ピクセルです。
- 対応フレームレートは最大 60i/30p です。
- 録画機器の種類や記録条件、使用する USB メモリーによっては、動画を再生できない場合があります。

iPhone/iPod

■ 商標・設計認証情報

- タイプ A



Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple product(s) identified in the badge, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.

Apple is not responsible for the operation of this vehicle or its compliance with safety and regulatory standards.

Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.

iPhone, iPod, iPod touch, Siri and Lightning are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

Made for

- iPhone 12 Pro Max
- iPhone 12 Pro
- iPhone 12
- iPhone 12 mini
- iPhone SE (2nd generation)
- iPhone 11 Pro Max
- iPhone 11 Pro
- iPhone 11
- iPhone XS Max
- iPhone XS
- iPhone XR
- iPhone X
- iPhone 8 Plus
- iPhone 8
- iPhone 7 Plus
- iPhone 7
- iPhone SE
- iPhone 6s Plus

- iPhone 6s
 - iPod touch (7th generation)
- タイプ B



Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple product(s) identified in the badge, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this vehicle or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.

iPhone, iPod, iPod touch, iPad, iPad mini, iPad Pro, and Lightning are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

Made for

- iPhone 12 Pro Max
- iPhone 12 Pro
- iPhone 12
- iPhone 12 mini
- iPhone SE (2nd generation)
- iPhone 11 Pro Max
- iPhone 11 Pro
- iPhone 11
- iPhone XS Max
- iPhone XS
- iPhone XR
- iPhone X
- iPhone 8 Plus
- iPhone 8
- iPhone 7 Plus
- iPhone 7
- iPhone SE

- iPhone 6s Plus
- iPhone 6s
- iPhone 6 Plus
- iPhone 6
- iPhone 5s
- iPad Pro 12.9-inch (5th generation)
- iPad Pro 12.9-inch (4th generation)
- iPad Pro 12.9-inch (3rd generation)
- iPad Pro 12.9-inch (2nd generation)
- iPad Pro 12.9-inch (1st generation)
- iPad Pro 11-inch (3rd generation)
- iPad Pro 11-inch (2nd generation)
- iPad Pro 11-inch (1st generation)
- iPad Pro 10.5-inch
- iPad Pro 9.7-inch
- iPad Air (3rd generation)
- iPad Air 2
- iPad Air
- iPad mini (5th generation)
- iPad mini 4
- iPad mini 3
- iPad mini 2
- iPad (8th generation)
- iPad (7th generation)
- iPad (6th generation)
- iPad (5th generation)
- iPod touch (7th generation)
- iPod touch (6th generation)

Apple CarPlay についての情報

■ 商標・設計認証情報



● タイプ A

Use of the Apple CarPlay logo means that a vehicle user interface meets Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this vehicle or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this product with iPhone, iPod, or iPad may affect wireless performance.

Apple CarPlay is a trademark of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

● タイプ B

Use of the Apple CarPlay logo means that a vehicle user interface meets Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this vehicle or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this product with iPhone, iPod, or iPad may affect wireless performance.

Apple CarPlay is a trademark of Apple Inc.

Android および Android Auto についての情報

■ 商標・設計認証情報

Android Auto

Android and Android Auto are trademarks of Google LLC.

USB メモリーについての情報

■ パソコンで記録した音楽ファイル

次の音楽ファイルを再生できます。

- MP3
- WMA
- AAC
- FLAC
- WAV
- ALAC
- Ogg Vorbis

MP3/WMA/AAC

使用できる MP3/WMA/AAC ファイルの規格やそれを記憶したメディア、フォーマットには制限があります。Microsoft、Windows、Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

使用できる音楽データの仕様は、次のとおりです。

MP3

MP3 (MPEG Audio LAYER 3) は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3 を使用すれば、もとのファイルを約 1/10 のサイズに圧縮できます。

WMA

WMA (Windows Media Audio) はマイクロソフト社の音声圧縮フォーマットです。MP3 よりも小さいサイズに圧縮できます。

This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft.

AAC

AAC (Advanced Audio Coding) は MPEG2、MPEG4 で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

Bluetooth[®]についての情報

使用できる Bluetooth[®] の仕様およびプロファイルは次のとおりです。

| 項目 | Bluetooth [®] オーディオ |
|------------------------------|---|
| 対応 Bluetooth [®] 仕様 | Bluetooth [®] Core Specification Ver. 5.0 以上 |

| 項目 | Bluetooth®オーディオ |
|----------|---|
| 対応プロファイル | <ul style="list-style-type: none"> ● A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) 音楽データを伝送するためのプロファイル：Ver. 1.3.2 以上 ● AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) マルチメディアシステムからポータブルオーディオなどをコントロール（再生や停止など）するためのプロファイル：Ver. 1.6.2 以上 |
| 対応コーデック | LDAC™ ⁽¹⁾ /AAC/SBC |

(1) この機能は一部の地域では利用できません。

☐ 知識

マルチメディアシステムに対して、すべての Bluetooth®機器との接続性を保証するものではありません。

■ 商標・設計認証情報

Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG,inc が所有する登録商標です。



■ LDAC*¹

LDAC および LDAC ロゴはソニー株式会社の商標です。



*1: この機能は一部地域では使用できません。

Gracenote[®] についての情報^{*1}

音楽を再生した場合、マルチメディアシステムのデータベースの中からアルバム名やアーティスト名、ジャンル、トラック名を検索し、各情報がデータベースに収録されていると、各情報を自動で付与します。マルチメディアシステムに収録されているデータベース情報は、Gracenote[®]メディアデータベースを使用しています。

■ Gracenote[®]メディアデータベース

- 自動で付与されたタイトル情報は、実際のタイトル情報と異なる場合があります。
- 「Gracenote media database」によって提供されたデータについては内容を100%保証するものではありません。
- Gracenote, the Gracenote logo and logotype, 「Powered by Gracenote」 and Gracenote MusicID are either registered trademarks or trademarks of Gracenote, Inc. in the United States and/or other countries.



文字情報の表示についての情報

各種画面で情報として表示できる文字数には制限があるため、すべてを表示できないことがあります。また、記録されている内容によっては正しく表示されなかったり、表示ができないことがあります。

Wi-Fi[®] についての情報

- Wi-Fi[®]、Miracast[®]、Wi-Fi Direct[®]と WMM[®]は Wi-Fi Alliance[®]の登録商標です。
- Wi-Fi Protected Setup[™]、Wi-Fi CERTIFIED[™]、WPA2[™]、WPA3[™]は、Wi-Fi Alliance[®]の商標です。

*1: この機能は一部の地域では利用できません。

MPEG LA

This product is licensed under the MPEG-4 patent portfolio license, AVC patent portfolio license and VC-1 patent portfolio license for the personal use of a consumer or other uses in which it does not receive remuneration to

- (i) encode video in compliance with the MPEG-4 Visual Standard, AVC Standard and VC-1 Standard (“MPEG-4/AVC/VC-1 Video”) and/or
- (ii) decode MPEG-4/AVC/VC-1 Video that was encoded by a consumer engaged in a personal activity and/or was obtained from a video provider licensed to provide MPEG-4/AVC/VC-1 Video.

No license is granted or shall be implied for any other use.

Additional information may be obtained from MPEG LA, L.L.C. See <http://www.mpegla.com>.

認証・商標についての情報

QRコードについて

「QR Code」は(株)デンソーウェーブの登録商標です。

地図データについて

©2024 HERE

データライセンスについては以下のリンクをご覧ください。

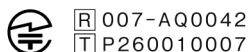
<https://legal.here.com/terms/general-content-supplier/terms-and-notice/>

エンドユーザーライセンス契約

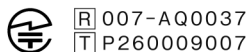
<https://legal.here.com/en-gb/terms/end-user-license-agreement>

マルチメディアシステムについて

本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。
製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。
本書は紛失しないよう取扱説明書と一緒に保管してください。



本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。
製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。
本書は紛失しないよう取扱説明書と一緒に保管してください。



A

| | |
|----------------------------|-----|
| Android Auto を再生する..... | 184 |
| Android Auto を使用する | |
| 登録済みスマートフォン..... | 128 |
| 未登録のスマートフォン..... | 125 |
| Apple CarPlay を再生する..... | 181 |
| Apple CarPlay を使用する | |
| 登録済みスマートフォン..... | 122 |
| 未登録のスマートフォン..... | 119 |
| ASL..... | 84 |

B

| | |
|---------------------------|-----|
| Bluetooth®オーディオを再生する..... | 187 |
| Bluetooth® 機器 | |
| 削除する..... | 105 |
| Bluetooth® 機器 | |
| サブ機器に設定する..... | 110 |
| 接続する..... | 106 |
| 登録する..... | 102 |
| メイン機器に設定する..... | 109 |

D

| | |
|--------------|-----|
| DAB ラジオ..... | 168 |
| DAB を聴く..... | 168 |

F

| | |
|-------------|-----|
| FM ラジオ..... | 166 |
|-------------|-----|

G

| | |
|-----------------|---------|
| Gracenote®..... | 170,312 |
|-----------------|---------|

I

| | |
|------------------------|-----|
| iPod/iPhone を再生する..... | 178 |
|------------------------|-----|

M

| | |
|-------------------------|-----|
| Miracast®..... | 192 |
| Miracast®対応機器を接続する..... | 191 |

N

| | |
|-----------------|-----|
| NaviBridge..... | 151 |
|-----------------|-----|

P

| | |
|------------------|-----|
| POI アイコンの表示..... | 140 |
|------------------|-----|

T

| | |
|-------------------|----|
| TOYOTA アカウント..... | 46 |
|-------------------|----|

U

| | |
|--------------------|---------|
| USB 機器を接続する..... | 35 |
| USB ハブ..... | 35 |
| USB メモリーを再生する..... | 173,175 |

W

| | |
|-----------------|-----|
| Web ブラウザ..... | 234 |
| 画面..... | 235 |
| 操作..... | 236 |
| Wi-Fi®..... | 113 |
| Wi-Fi® の設定..... | 90 |

い

位置

| | |
|-----------------|-----|
| 現在地..... | 78 |
| インターネット..... | 234 |
| 画面..... | 235 |
| 操作..... | 236 |
| インターネットラジオ..... | 170 |

う

| | |
|------------|----|
| 迂回エリア..... | 74 |
| 迂回する..... | 73 |

お

| | |
|---------------|----|
| 音質を調整する..... | 87 |
| 音声コマンド..... | 40 |
| 音声操作システム..... | 36 |
| 音声で操作する..... | 36 |

音量を調整する..... 31
 オーディオ..... 31
 システム音声の音量.....84
 電話（着信／受話）..... 92,203
 ナビゲーション音声案内の音量..... 84
 オーディオ..... 166
 オーディオシステムの ON/OFF.....31

か

画質調整..... 88
 カメラのお手入れ方法.....260,295
 カメラを使用する..... 245
 画面モードを切りかえる..... 89

き

キーボード
 文字や数字の入力..... 24

く

グループ通話をする.....217

け

携帯電話
 削除する.....105
 接続する.....106
 登録する.....102
 経由地の編集.....157
 経由地を追加する..... 150
 言語を切り替える..... 71
 現在地
 表示する..... 27
 検索キーワード..... 44
 検索結果リスト.....149

こ

故障したとお考えになる前に
 Apple CarPlay/Android Auto..... 131
 バックガイドモニター.....267
 パノラミックビューモニター.....309

ハンズフリー（電話）.....200
 リヤビューモニター.....251
 コネクティッドナビ.....137

さ

再生する
 Android Auto..... 184
 Apple CarPlay.....181
 Bluetooth®オーディオ.....187
 iPod/iPhone.....178
 Miracast®..... 192
 USB メモリー..... 173,175

削除する

Bluetooth® 機器..... 105
 迂回エリア..... 75
 お気に入りリスト..... 226
 目的地.....159
 目的地履歴..... 78
 ユーザープロファイル..... 56
 連絡先データ（電話番号）..... 225

し

市街図の表示..... 28
 自宅
 登録する.....147
 縮尺を切りかえる..... 28
 新規メッセージを送信する.....229

す

スケールを切りかえる..... 28
 ステアリングスイッチ
 音声操作.....38
 オーディオ..... 31
 ハンズフリー（電話）.....203
 ステータスアイコン.....17
 スマートフォン
 削除する.....105
 接続する.....106

| | |
|----------------------------|-----|
| 登録する..... | 102 |
| 目的地を設定する (NaviBridge) | 151 |

せ

| | |
|-----------------------|-----------|
| セキュリティ設定 | 65 |
| 接続する | |

| | |
|-------------------|-----|
| Bluetooth®機器..... | 106 |
| iPod..... | 35 |
| Miracast®..... | 191 |
| USB 端子..... | 35 |
| Wi-Fi®..... | 113 |

設定

| | |
|-----------------------|--------|
| Bluetooth®機器の設定..... | 92 |
| Wi-Fi®の設定..... | 90 |
| 案内設定..... | 76 |
| 迂回エリア..... | 73 |
| 音声操作の設定..... | 62 |
| 各種設定..... | 51 |
| 画面表示の設定..... | 60 |
| 共通設定..... | 58 |
| サウンドやメディアの設定..... | 84 |
| セキュリティ設定..... | 65 |
| 地図表示設定..... | 71,141 |
| ナビゲーションの設定..... | 70 |
| パノラミックビューモニターの設定..... | 294 |
| 販売店情報の設定..... | 64 |
| プライバシー設定..... | 65 |
| ユーザープロファイル設定..... | 56 |
| ラジオの設定..... | 84 |
| ルート設定..... | 73 |

た

| | |
|------------------|-------|
| 対応プロファイル..... | 100 |
| タッチスクリーンの操作..... | 19,22 |

ち

地図

| | |
|----------|----|
| 動かす..... | 30 |
|----------|----|

| | |
|----------------|----|
| 拡大／縮小..... | 28 |
| 交通情報..... | 71 |
| 市街図の表示..... | 28 |
| スタイルを変更する..... | 71 |
| 3D 表示設定..... | 71 |
| 向きを切りかえる..... | 29 |

地図アイコン

| | |
|---------------|-----|
| 速度取締りカメラ..... | 142 |
|---------------|-----|

地図オプション

| | |
|----------------|-----|
| 地図オプション画面..... | 139 |
|----------------|-----|

| | |
|--------------|----|
| 地図画面の表示..... | 25 |
|--------------|----|

地図情報

| | |
|--------------------|-----|
| POI アイコンの表示設定..... | 140 |
|--------------------|-----|

| | |
|----------------|-----|
| 地図情報を表示する..... | 138 |
|----------------|-----|

| | |
|-------------|-----|
| 地図表示設定..... | 141 |
|-------------|-----|

| | |
|-----------|-----|
| 走行軌跡..... | 142 |
|-----------|-----|

| | |
|-----------|-----|
| 路上駐車..... | 141 |
|-----------|-----|

地図表示のカスタマイズ設定

| | |
|-----------------|----|
| 地図表示カスタマイズ..... | 72 |
|-----------------|----|

| | |
|-----------|-----|
| 着信拒否..... | 212 |
|-----------|-----|

| | |
|-----------|-----|
| 割込着信..... | 215 |
|-----------|-----|

| | |
|-----------------------|----|
| 駐車場情報の表示の ON/OFF..... | 71 |
|-----------------------|----|

調整する

| | |
|---------|----|
| 音質..... | 87 |
|---------|----|

| | |
|---------|----|
| 画質..... | 88 |
|---------|----|

て

転送する

| | |
|---------------------|-----|
| 連絡先データ (電話番号) | 220 |
|---------------------|-----|

| | |
|-------------------|-----|
| 電話に出る／電話を受ける..... | 210 |
|-------------------|-----|

| | |
|-----------|-----|
| 割込着信..... | 215 |
|-----------|-----|

電話をかける

| | |
|--------------|-----|
| 一括トーン送付..... | 209 |
|--------------|-----|

| | |
|---------------|-----|
| お気に入りリスト..... | 206 |
|---------------|-----|

| | |
|--------------|-----|
| キーパッド入力..... | 208 |
|--------------|-----|

| | |
|----------|-----|
| 通話中..... | 216 |
|----------|-----|

| | |
|----------------|-----|
| 登録している連絡先..... | 207 |
|----------------|-----|

| | |
|-----------------|-----|
| 発信または着信の履歴..... | 205 |
| メッセージ..... | 231 |
| 電話を切りかえる..... | 219 |

と

登録する

| | |
|-------------------|-----|
| Bluetooth®機器..... | 102 |
| 迂回エリア..... | 74 |
| お気に入りリスト..... | 226 |
| 販売店情報..... | 64 |
| 保存済みプロファイル..... | 53 |
| ユーザープロファイル..... | 46 |
| ユーザープロファイル設定..... | 53 |

な

| | |
|------------------|-----|
| ナビゲーション..... | 137 |
| ナビゲーションの設定..... | 78 |
| お気に入りリストの編集..... | 80 |
| 現在地の修正..... | 83 |

は

| | |
|-------------------------|-----|
| ハイウェイモード..... | 144 |
| ハイレゾリューション(ハイレゾ)音源..... | 312 |
| バックガイドモニター..... | 252 |
| ガイド画面を表示する..... | 253 |
| バックガイドモニターの注意点 | |
| カメラの位置..... | 262 |
| パノラミックビューモニター..... | 269 |
| ハンズフリー(電話)..... | 196 |
| 販売店情報..... | 64 |

ふ

| | |
|----------------|-----|
| フォーマット情報..... | 312 |
| 俯角設定 | |
| 角度を変更する..... | 72 |
| プライバシーロック..... | 65 |
| ブラウザ..... | 234 |
| 画面..... | 235 |

| | |
|---------|-----|
| 操作..... | 236 |
|---------|-----|

へ

| | |
|-----------------|----|
| ヘディングアップ表示..... | 29 |
|-----------------|----|

む

| | |
|---------------|----|
| 向きを切りかえる..... | 29 |
|---------------|----|

め

| | |
|-----------------|-----|
| メインメニュー..... | 15 |
| メッセージ..... | 227 |
| メッセージに返信する..... | 229 |

も

目的地

| | |
|------------------|-----|
| 検索する..... | 145 |
| 削除する..... | 159 |
| 追加する..... | 150 |
| 履歴を消去する..... | 78 |
| 目的地案内のデモを見る..... | 154 |

目的地の検索

| | |
|-----------------|-----|
| 目的地検索画面の見方..... | 146 |
| 目的地を検索する..... | 145 |
| お気に入り地点..... | 147 |
| おでかけプラン..... | 147 |
| 自宅..... | 147 |
| スマートフォン連携..... | 151 |
| 目的地履歴..... | 147 |
| 文字入力..... | 146 |

ゆ

ユーザープロファイル

| | |
|-------------------|----|
| 登録する..... | 46 |
| プロファイルの変更と登録..... | 53 |

ら

| | |
|-------------|-----|
| ラジオを聴く..... | 166 |
|-------------|-----|

り

| | |
|---------------------|-----|
| リビューモニター..... | 242 |
| 画面..... | 243 |
| レビューモニターの注意点 | |
| カメラ..... | 246 |

る

| | |
|--------------------|-----|
| ルート案内..... | 159 |
| ルートオプションを変更する..... | 155 |
| ルート情報の表示 | |
| 到着予想時刻..... | 153 |
| ルートを再探索する..... | 162 |
| ルートを選択する..... | 156 |

れ

連絡先データ（電話番号）

| | |
|--------------|-----|
| 削除する..... | 225 |
| 修正する..... | 224 |
| 追加する..... | 224 |
| 転送する..... | 220 |
| レーン表示画面..... | 160 |

お車の取り扱い方法、故障、修理に関するご相談については、お買い上げ
いただきましたトヨタ販売店、または最寄りのトヨタ販売店へお問合せください。
また、リコール情報については、右記の QR コードからご確認ください。

販売店検索



リコール等情報



トヨタ自動車株式会社 お客様相談センター

所在地 〒450-8711 名古屋市中村区名駅4丁目7番1号



お電話によるお問い合わせ



全国共通・フリーコール

0800-700-7700



WEBページからのお問い合わせ



インターネットフォーム
によるお問い合わせ



チャットによる
お問い合わせ



手話通訳サービス
によるお問い合わせ

各お問い合わせサービスのご利用・受付時間など詳細につきましては右記の QR コードからご確認ください。
「個人情報保護方針」については、https://toyota.jp/privacy_statement/にて掲載しております。



- ご愛用車のお問い合わせは、自動車検査証（車検証）をご用意いただくと、スムーズな対応が可能です。
- QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

トヨタ自動車株式会社
<https://toyota.jp>



Publication No.M48L54

Part No.01999-48L54

Printed in japan 01-2605 C

ハイランダー ハイブリッド マルチメディア